

得々歳計ヲ立テテ行クト云フコトガ、所謂兵農兩全主義ニ却ツテ適フ場
合モアルノデハナイカ、唯サウ云フ意味ニ於キマシテ、私ハ姑息ナコト
ハ致サヌデ、寧ロ根本的ニ再検討ヲシテ、全體ノ均齊ヲ得テ兵、農、財
三全テアルカ、二全デアアルカハ別ト致シマシテ、即チ國防ノ充實モ出來
産業貿易ノ發展ニモナリ、國民生活ノ安定ニモ振向ケテ行クト、斯ウ致
シテ行ク方宜イノデハナカラウカト私ハ考ヘマシテ、豫算總會ニモ左
様ナ意味カラ、特別會計或ハ外地會計ニ付テモ、相當ノ檢討ヲスルト云
フコトハ御答ヲシタ譯デアリマスカラ、只今ノ石坂君ノ御説ノヤウナ姑
息のノコトヲ私ハ致シタクハナイノデアリマス、寧ロ稍根本的ニ總テノ
特別會計ノ收支ニ付テ再検討ヲ致スベキ、時機ニ來テ居ルヤウニ私ハ
考ヘテ居ルノデアリマス、左様ナ意味ニ於テ、私ハ單ニ内地ノ増税ノミ
デナク、全體ヲ見渡シテ、相當ニ國民負擔ノ均衡ヲ考ヘテ行ク方宜イ
デハナカラウカ、左様ナ考テ今後研究ヲ致シタイト思ツテ居リマス、サ
ウ云フコトヲ御答申シタイトデアリマス

○石坂委員 根本的ノ調査トシテ、各特別會計ノコトト一般會計トノ間
ニ、國家的ニ之ヲ再検討セラレルト云フコトニ付テハ、毫モ異存ハナイ
ノデアリマス唯此案ハ先程冒頭ニ於テ述ベマシタ如ク、嗚嗚ノ思付キニ
足ラヌ金ヲ集メタ、恰モ定九郎ガ與市兵衛ノ懐ロニ目掛ケテ出來心ヲ起
シタト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其證據ハ第二項ニ於キマシ
テ前項ノ規定ニ依リ繰入レタル金額ニ付テハ後日一般會計ヨリ同額ヲ當
該特別會計ニ繰入ルベシト云フコトガ、規定サレテ居ルノヲ見テモ分リ
マスケレドモ、此法律案ノ後日一般會計ニ繰入レルト云フ、此後日ト云
フ文字ハ、何時ノコトデアアルカ、是ハ恰モ昔ノ證文デアツテ、五十年以
前ニ馬方ガ入レタ、後日ノ爲ニ仍テ件ノ如シト云フ證文ニ、相似テ居ル
ヤウナ法律案デアアルト云フヤウナコトヲ見マスルト、如何ニモ何處ノ會
計ニ金ガ剩ツテ居ルカラ出サセルト云フヤウナコトハ、洵ニ宜シクナイ

見マセスト 此二項ノ適用ヲ何時スルカト云フコトハ、尙更御答シ兼ネ
ル譯デアリマス

五 農村ノ生活安定ト滿洲移民ニ就

テ

末次委員、寺内陸軍大臣トノ一問一答

○末次委員 我國ノ農村ニ付キマシテハ、是ハ誰モガ能ク分ツテ居ルコ
トデアリマスガ、非常ニ生活ノ安定ヲ缺イテ居ル、此國民ノ生活安定ト
云フコトト、人間ヲ減ラスト云フコトトハ、非常ニ關係ガアルコトト思フ
私ハ是ガ殆ド根本デヤナイカト思フ、ソレデ何處ニ其人間ヲ持ツテ行ク
カト云ウテモ、殆ド世界中移民スル所ハナイヤウナ有様デアリマスカラ
ドウシテモハ滿洲ニ澤山ノ人間ヲ、少々ノ費用ガ要ツテモ早クヤルヤ
ウニシテ載カナケレバナラヌト云フヤウニ、思ツテ居リマスノニ、滿洲國
ガ出來マシテカラ殆ド五箇年ニナリマスガ、其跡ガナイ、僅カ二千八位
ノ移民シカ行ツテナイ、ソレカラ各個人デ行ツテ居ルノガ僅カ七八百ト
云フコトト、ドウシテ此大事ナ移民ノコトヲ何時マデモ放ツテ置クカ、
是ガ私共ニハ非常ニ分ラヌ、陸軍大臣モ農村ノ生活安定ト云フコトニ付
テハ、隨分御考ヘニナツテ居ルト云フコトトゴザイマスガ、ドウ云フ風
ニ此移民ヲナサルト云フ御考デアアルカ、之ヲ一寸伺ヒタイ

○寺内國務大臣 滿洲移民ノコトニ付キマシテハ、實ハ拓務省ガ主管ト
シテヤウテ居リマスガ、私共モ是非之ヲ成功サセナケレバナラヌ、又集
合移民モ送ラナケレバナラヌ、ソレガ國策上、國防上ニ於テモ極メテ必
要デアルト云フ見地カラ、色々研究致シテ居リマシテ、漸ク今日其成功
ノ曙光ガ現レテ來タト云フ所デアリマシテ、是カラ大々的ニ拓務省ト協

農村ノ生活安定ト滿洲移民ニ就テ

コトデハナイカ、斯様ナコトヲシマスルト、ソレノ特別會計ノ經理ニ
當ツテ居ル者ハ、誠心誠意國費ヲ處理シテ居ルコトハ間違ガナイコトデ
アリマセウケレドモ、若シ金ガ剩ツテ居ル所ハ、皆取ラレテ行クト云フ
コトガ起リマシタナラバ、此結果或ハ一面ニ於キマシテ、此經費ノ使ヒ
方ニ付テモ親切ヲ缺クト云フコトガ、人情ノ然ラシムル所デアリマス、
斯ウ云フコトハ經理上カラ考ヘマシテモ、ソレハ役人トシテハソナナ不
都合ナコトヲシテハイカヌト云フコトハ、是ハ理窟デハアリマスケレド
モ、中々長イ年月間ニ於ケル所ノ經理官ノ心理狀態ニ、非常ナ私ハ間違
ガ生ジハシナイカト云フコト、斯様ニ考ヘルコトト、又外地等ニ於テ、
非常ニ不便不利ヲ忍ンデ、公利公益ノ下ニ斯ウ云フヤウナ計畫ヲ立テテ
居ル人等モ、金ガ剩ツタ時ニ、臨時收入等ニ依ツテ一時剩ツタ其金ヲ、
他ノ會計ニ振向ケルト云フコトニナリマシタナラバ、將來永遠ノ見透シ
ヲ付ケタ歳計ガ立ツコトハ出來ナイノデアリマス、今大藏大臣ノ述ベラ
レタルヤウナ御意カラ、一般特別兩財政ヲ通ジテ再検討セラレルル
ト云フコトニ付テハ、何等異存ハナイ者デアリマス、ソコデ重ネテ伺ヒ
マスガ、其後日一般會計ヨリ繰入ト云フ、此後日ト云フ後日ハ、何時頃
ノ後日デアリマセウカ、此點ニ付テ一應伺ツテ置キタイ

○馬場國務大臣 此後日ト云フコトハ、今御話ノヤウニ、何時ト云フコ
トヲ申上ガ兼ネル後日デアリマスガ、其中デ此資金ノ立替ヲシテ居ル方
ハ、是ハ元來其剩餘ト云フ譯デアリマシテ、一時ノ立替拂ニ
使ツタ金デアリマスカラ、此方ハ成べく其方カラ早く返スト云フコトヲ
考ヘバナラヌダラウト思ヒマスガ、サウデナイ方モ、繰入ト云フコト
ハ、是ハ何時ヤリ得マスカ、今日ノ場合ハヤラネバナラヌト云フコトニ
シテ置カナケレバナラヌトハ思ヒマスガ、果シテ何時ト云フコトハ申上
ガ兼ネル譯デアリマス、殊ニ根本的ノ再検討ヲ致シ結果ハ、結局此繰入
ト云フコトヲ腹ノ中ニ入レテ立テマスガ、ソコラモ一ツ能ク研究致シテ

力シテ 其發展ヲ圖リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、拓務省ニ於テ
モ其具體案ニ付テハ、相當研究シテ居ラレルト思ヒマス、吾々モ其
協力ヲ惜シマナイ積リデアリマス

○末次委員 滿洲ノ仕事ガ非常ニ進ンデ、相當ナ勞動力ヲ要スル、今年
ハドウシテモ百萬人カラノ移民ヲ入レテ貰ハナケレバ、滿洲ノ仕事ハ出
來ナイト云フ時ニ、去年ハ四十五萬人ノ人間ヲ御送りニナツタノニ、今
年ハ三十五萬人ニ御減ラシナルト云フ風ニ、幾分仕事ヲ犠牲ニシテモ
人間ヲ減ラスト云フコトトハ、此儘ニシテ置クト、支那人ガ相當アリ付イ
テ、日本人ノ移民ヲスルコトガ出來ナクナルカラ、之ヲ御減ラシニナツ
タコトデアラウト思フ、若シサウ云フ風ニマデ御考ヘ下サツタト云フコ
トデアラナラバ、私ハ此移民ヲスルニ付テモ、ヤリ方ニ依ツテハサウ澤
山ノ金ガ要ルトハ思ハナイガ、少々ノ金ガ要ツテモ一年ニ二十五萬二十
萬ノ移民ヲ、送ツテ載クコトニシナケレバ、此生活安定ヲ急ニ根本カラ
直スト云フコトトハ、私ハ出來ナイト思フ、僅カノ費用ヲ信用組合デ補助
スルトカ、又中小工業者ノ爲ニモ小額ノ資金ヲ貸ストカ、サウ云フヤウ
ナコトト日本ノ生活ニ困ツテ居ルノハ、ドウシテモ急ニ直ラウトハ思ハ
ナイ、ドウシテモ人間ヲ減ラスノガ何ト云ツテモ根本デアリマスカラ、
此邊ハ十分御考下サツテ、至急ニ之ヲ御運ビ願ヒ、サウシテ今度ノ議會
ニハドウシテモ豫算ヲ出シテ載クコトニシテ、急ニ運ンデ貰フヤウ御願
致シマス

○寺内國務大臣 當局ト致シマシテモ出來ルダケノ努力ハ致シマスルガ
又國民トシテモ自ら進ンデ行ク氣分、氣魄ガナケレバナラヌト思フ、私
ハ嘗テ滿洲ニ勤務シタコトモアリマス、又朝鮮ニ居ツタコトモアリマス
其際ニ於テ東北ノ窮狀モ知ツテ居リマシタカラ、出來ルダケハ此人ニ職
ヲ與ヘテ留マラセタイト思ヒマシテ隨分努力シタノデアリマス、然ルニ
全ク私ノ豫期ニ反シテ、折角職ヲ可ナリノ人ニ拵ヘテモ、衛戍地ヘチツ

トモ歸ツテ來テ與レナイ、是等ハ國民ノ意氣、氣魄ニ於テ缺クル所ガアルノデハナイカ、一々オ上ノ御厄介ニナルト云フコトハ、政府モソレヲ出來ルダケハ仕向ケナケレバナリマセヌケレドモ、又國民ノ方モ能ク自ラ奮發シテナルト云フ奮發心モ大ニ發揮シテ貰ハヌト、圓滿ニハ行カヌト思ヒマス、兩々相俟ツテ是非其目的ヲ達スルヤウニシタイト考ヘマス

六 移民ニ關スル諸問題ニ就テ

末次委員、永田拓務大臣、寺内陸軍大臣

高山拓務局長トノ一問一答

○末次委員 モウ一寸……陸軍大臣ニ伺ヒマス、陸軍大臣モ國防上非常ニ移民ガ必要デアルト、斯ウ云フコトヲ先刻言ハレタノデアリマスガ、私モ滿洲ノ國防ヲ日本ガ受持ツテ居ル以上ハ、一々日本カラ兵隊ヲ送ルト云フコトモ非常ニ金ガ要ル、詰リ滿洲ニ澤山ノ移民ガ出來レバ、其處カラ募集モ出來マセウシ、又豫備兵モ出來ルト云フコトニナラナケレバ永久ニ互ル滿洲ノ權益ノ擁護、ソレカラ一切ノ事ヲヤルコトハ非常ニ難カシイト思ヒマス、其點ハ陸軍大臣ドウ云フ御意見ヲ御持チデアリマスカ

○寺内國務大臣 御ノ御意見ト存ジマス

○末次委員 サウ御考ニナツテ居ラレバ、私ガ一昨日大藏大臣ニモ其費用ノコトニ付テ大分御話シタノデアリマスガ、今御話ノヤウニ、其移民ニ金ガ澤山要ル、出サヌト云フコトハ、國策ニ是非必要ダト云フコトナラバ、出來ルダケ考慮シテ出スト言ツテ居ラレマスカラ、一層力強ク陸軍大臣カラ此移民ノコトヲ……直今カラテモ着手出來ルヤウニ、一ツ力強クソレヲ大藏大臣ニ請求シテ戴イテ、成ベク早く實現ノ出來ルヤウニシテ戴クコトヲ御願シテ、私ノ質問ヲ打切りマス……次ニ

拓務大臣ニ……今丁度其處ニ居ラレマシタカラ、御聽キニナツタコトト思ヒマスガ、移民ハ生活安定ニ非常ニ必要アリト云フノデ、滿洲ダケデナク「ブラジル」トカ方々ニ出サレテ居リマスガ、併シ今申上ダマシタヤウニ、唯生活安定ト云フダケデナク、軍事上ニモ非常ニ必要ガアル、ソコデ滿洲移民ニ對シテノ補助ノ方法、ソレカラ「ブラジル」アタリニ行ツテ居ル補助ノ方法ハ、ドウ云フ風ニナツテ居リマスガ、之ヲ一ツ伺ヒタイ

○永田國務大臣 滿洲國ノ方デノ移民ハ、是ハ今拓務省デ主トシテ取扱ツテ居ルコトハ、所謂團體移民ヲ是マデ四回ニ互ツテ千八百戸アチラニ移民シタノデアリマス、是ハ一戸當リ千圓ガ大體原則ニナツテ居ルノデアリマスガ、千百圓位ノ所モアルシ、モウ少シ要ル所モゴザイマス、ソレカラ「ブラジル」ノ方ニ行キマスル者ハ、大體一人三百圓位ニナツテ居ルノデアリマス

○末次委員 モウ少シ色々方面ニ多ク出テ居ルヤウニ私ハ聞イテ居リマシタガ、サウデハナイノデスカ、航路補助トカ、向フヘ行ツテカラノ色々費用トカ云フモノハ、モウ少シ多クナツテハ居リマセヌカ

○高山政府委員 私カラ御答致シマス、南米ニ行ツテ居リマスル移民ハ大體二種アル譯デアリマスガ、只今大臣カラ御答致シマシタノハ、單純ナ労働移民トシテ南米ニ行ツテ居リマスル分デゴザイマシテ、是ハ渡航費ガ約二百圓、ソレニ支度金トカ色々之ニ附隨シマス政府ノ施設モゴザイマシテ、約三百圓ト押ヘテ居リマスガ、家族ノ構成ヲ大體六人位トシマシテ、千二百圓位ニナル譯デアリマス、尙ホ是レ以外ニ南米ニ行ツテ居リマスモノハ、企業移民ガゴザイマシテ、是ハ主ニ移住組合聯合會ノ手デ行ツテ居リマス、之ニ對シマシテハ今ノ渡航費其他ノ補助以外ニ、向フニ於テ組合ノ行ヒマスル色々産業施設トカ、公益施設ニ對スル補助企業其他、移民ニ對スル色々、貸付金ナドノ問題モアリマスガ、

是ハ色々事業ガ完成シタ後ニ考ヘマスルノト、初ニ考ヘマスルノト、計算ノ仕方モ違ヒマシテ、ハツキリ幾ラト云フコトモ申トゲ兼ネマスルガ、種ク大體ノ見込トシマシテハ、一戸當リ千七百圓位ニ考ヘテ居リマス

○末次委員 大體其數字ヲ何カデ拜見シマシタガ、唯「ブラジル」アタリニ行キマスノハ、日本ノ人間ヲ減ラスコトガ主ニナツテ、兎ニ角日本人ノ生活安定ニ非常ニ貢獻スルノデゴザイマセウガ、滿洲移民ハソレ以外ニ非常ニ大切ナ、先刻カラ御話シタヤウナ意味ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、十分此邊ニ力ヲ盡シテ戴キタイ、ソレカラ先刻陸軍大臣ニモ申上ダマシタヤウニ、土地ノ代ヲ日本ノ移民ニ掛ケル、斯ウ云フ風ニナツテ居ルヤウニ承知シテ居リマスガ、是ハ拓務大臣ドウ御考ニナツテ居リマスカ

○永田國務大臣 是カラノ滿洲ノ移民ハ、滿洲拓殖株式會社ノ方デ土地ヲ得マシテ、ソレヲ團體移民ノ者ニ分讓スルノデアリマス、其土地ヲ得ルニ付テ、滿洲ノ方デハ相當費用ヲ出スノデアリマスカラ、其土地ヲ分讓サレテ、其處デ耕作ヲシテ行ケルヤウニナツテ、相當ノ利潤ヲ得ルヤウニナレバ、ソレヲ自分ノ物トスル爲ニ買取ルニ金ヲ出ス、斯ウ云フ仕向ケニナツテ居ルノデアリマス

○末次委員 ソレモ私ノ承知シテ居リマスノデハ、拓務省デ約千圓補助シテ居ツテ、會社ノ方デ約千圓、ソレカラ家ヲ造ルトカ、種ノ代トカ、道具ノ代トカ云フモノノ爲ニ千圓、後千六百圓ハ土地ノ代トシテ會社ガ立替ヘル、サウシテ之ヲ十年シテ、十五年間ニ拂フトカ云フコトニナツテ居ルサウデゴザイマスガ、先刻私ガ申シマシタヤウニ、拓務大臣ハ日本人ヲ滿洲ニ移民サセテ、サウ云フコトデ宜イト思ツテ居ラレルノカ、私ハドウシテモ滿洲ノ土地ハ、日本人ガ値段ヲ上ゲテヤツタヤウナモノダ、上ゲテヤツテ、其高イ土地ヲ日本人ニ負擔ヲ掛ケルト云フコトハ、ドウモ訝シイト思フ、ドウシテモ向フノ政治ヲ指導シテヤツテ居ル日本

人ガ澤山行ツテ居ラレルカラ、是ハドウシテモ——向フノモノヲ拓イテヤリ、向フノモノヲ盛ンシテヤルノダシ、ソレカラ收入モ亦滿洲國ハ殖エルコトデアルカラ、之ヲ滿洲國デ買ツテ貰ツテ、日本人ノ移民ニハ成功サヘスレバ只ヤル、斯ウ云フ立前デナケレバ私ハイカヌト思フノデス、之ニ付テノ御考ヲ伺ヒタイ

○高山政府委員 只今ノ點ニ付キマシテ、御參考ニ其事情ヲ一寸簡單ニ申上ダテ置キタイト思ヒマス、滿洲國ニ於キマスル土地ハ、大體今大臣ノ申ダマシタヤウニ、滿洲拓殖デ相當ナ土地ヲ現ニ持ツテ居リマシテ是ダケヲ開發スルノニ相當ナ移民ノ數ヲ實ハ必要トスルヤウナ次第ニナツテ居リマス、大體先程陸軍大臣カラモ御答ガアリマシタヤウニ、土地ハ皆相當ナ相場ニナツテ居ルカラ、之ヲ移民ニ全部無償デヤルコトハドウカト云フコトニ付キマシテハ、色々研究ヲ致シテ居リマスノデスカ、尙ホ中々ハムツカシイコトデハナイイカト云フヤウナ氣ガ實ハ致シテ居リマス、尙ホ其點ニ付テ、ハツキリト申上ダラレマセヌ、マダ十分ニ研究ノ餘地ガアル問題ト存ジテ居リマス、現在各方面ノ大體ノ考ヘ方トシマシテハ、土地ニ付キマシテ、相當ナ代價ヲ拂ヒマシテモ、尙ホ移民ガ向フデ十分ニ採算ガ出來ルヤウニ考ヘテ居リマス、其點ニ付キマシテハ從來ノ色々移民ノヤリ方ニ付テ、尙ホ検討シナケレバナラヌ點モアルト考ヘテ居リマス、色々點ニ付テ十分研究致シマシテ進ミタイト考ヘマス現在ニ於テハサウ云フヤウナ實情ニナツテ居リマス

○末次委員 一寸今伺ツタ所ガ、滿洲移民會社ガ之ヲ貸付ケテ、其持ツテ居ル土地ヲ分ケテヤル、斯ウ云フ御答辯デシタガ、サウシマス、アノ元、マダ滿洲國ノ成立シナイ前ニ、奉天ニ拓殖會社ガアリマシタガアノ會社ノ財産ヲ一緒ニシテ、今度ノ滿洲拓殖ヲ御持ヘニナツタノデアリマスカ

○高山政府委員 今末次サンノ御尋ノ會社ハ滿洲ノ東亞勸業ダラウト考

ヘマスガ、東亞勸業ハ實際ハ今ノ滿洲拓殖トハ別ニ考ヘテ居リマス。尙ホ滿洲拓殖ガ出來マス前ニ、取敢ズ日本人ノ農業移民ヲ入レル爲ニ、相當ナ土地ヲ用意スル必要ガアルト云フ見地カラシマシテ、今ノ滿洲拓殖ノ出來ル前ニ、今現ニ滿洲拓殖ガ持ツテ居リマスル土地ヲ、相當向フデ商租致シタノデアリマス。此時ニハマダ滿洲拓殖ガ出來テ居リマセズデシタカラ、誰ノ名義デ、ドノ名義デアルト云フコトニ付テ色々研究致シマシタ結果、取敢ズ東亞勸業ノ名義デ、現在滿洲拓殖ノ持ツテ居リマス土地ヲ全部商租シタ譯デアリマス。ソレダケノ土地ヲ今度滿洲拓殖ガ引繼ギマシテ、東亞勸業ガ昔カラ持ツテ居ル土地ハ別ニ考ヘテ居リマス。東亞勸業ガ滿洲拓殖ノ出來マスル前身トシテ商租シタ部分ダケヲヤツタコトニナツテ居リマス。

○末次委員、能ク分リマシタ、サウシマスト人間ガ餘リ好過ギルヤウニ私ハ思フノデゴザイマスガ、滿洲ノ土地ト云フモノハ、自分ガ行ツテ金ヲ出シテ買ツタヤウナ土地ハ殆ドアリハシナイデ、其近邊ノ權力ノアル人ガ自分ノ名前デ取ツタリ、自分デ先ヘ行ツテ其近邊ヲ俺ガ作ル土地ダト云ツテ取ツタ只ノ土地バカリデアル。其土地ヲ日本ガ地價ヲ附ケテヤツテ、良クシテ、値段ヲ高クシテヤツタ。其土地ヲ今度ハ高ク日本人ニ賣附ケルト云フコトハ、是ハ當ヲ得タモノデアラナイと思フ、此邊ハ餘程拓務大臣、其衝ニ當ル方ハ、考ヘテ裁カナケレバナラヌ、公平ニヤラナケレバナラヌ、他所ノモノヲ日本人ガドウスルコトモ出來ヌト云フノデナク、大體元ハサウ云フ土地ダカラ、日本人ガ斯ウ云フヤウニ拓イテヤツテ、日本人ガ全部立派ニシテヤツタ土地ナノデアラカラ、是ハドウシテモ滿洲國ニ交渉シテ、只取ツテ貰フヤウニドウシテモシナケレバ、理窟ガ合ハヌと思ヒマス、拓務大臣ハドウ御考ニナツテ居リマスカ、拓務大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイと思ヒマス。

テ居ル人ニ、私個人トシテ聞イテ居ルコトデアリマスガ、鄭孝胥氏ナシカモ、ドウモ三十年モ住ツテ居ル先住者ヲ押退ケテ、サウシテソレヲ日本人ノ拓殖移民ニ使フト云フコトハ、滿洲ノ統治上非常ニ迷惑ニスルカラ、ソレダケハ是非ヤラズニ居ツテ呉レト云フノデ、中々是ハ滿洲國政府ノ官吏ノ内輪デ、相當喧シイコトヲ承ツテ居リマス。兎ニモ角ニモ先住シテ居ル者ヲ追出シテ、其土地ヲ取上ゲルト云フコトハ穩カデナイと思ヒマス、要スルニ眼目ハ日本カラアチラニ移住シテ行ク者ガ、其處デ幕シ得ルカドウカト云フコトガ問題ナノデアリマス。幕シ得ルナラバ其土地ヲ相當ノ値段デ買ハセテ金ヲ出サセルコトハ、差支ナイと思ツテ居リマス。今第一移民第二移民アタリノ成績ヲ見マス。一家族ニ對シテ二十町歩與ヘテヤル。ソレハマダ全部開墾サレテ居ナイノデ、今ノ様子デハ十分幕シ得ル自信ガ立ツテ居ルノデアリマス。サウ云フ風ニ實際幕シ得ルノデアレバ、其土地ヲ自分ノモノトスル爲ニ費用ヲ拂ハシテモ宜イデヤナイカ、又幕シ得ナイヤウナ場合ニハ幾ラ移民ヲ獎勵シテモ、近イノデスカラ多勢ノ移民ヲヤツテモ直グ戻ツテ來マス、ソレデ戻ツテ來ナイデ、ヤツテ行ケルヤウニシナケレバナラヌノデアリマスカラ、要ハ幕シ得ルカドウカト云フコトト、幕シ得ルヤウニ仕向ケナケレバナラヌト云フコトガ、問題ニナルノデアラウト思ヒマス。

七 滿洲ニ於ケル移民ノ土地問題ニ

就テ

末次委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○末次委員、先程ノ御答辯ニ依リマシテ、滿洲ノ高官ニ自分ノ國ノ人間ノ住ツテ居ル所ノ土地ヲ取ツテ、日本ノ移民ニヤルト云フコトハ、非常

ニ苦情ガアルト云フヤウナ御話ガアルノデスガ、私ハソレヲ取ツテ呉レト云フテ居ルノデアラナイ、兎ニ角ソレハ滿洲國デ話ツツケ、サウシテ日本ニ之ヲ提供スルヤウニスルノガ至當デハナイカ、斯ウ云フコトト、ソレカラ拓務大臣ハ引合フカラ宜イデヤナイカ、引合フカラ土地ヲ買ツタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ御話ガアリマシタガ、ソレハ引合フカドウカト云フコトハ、私ハ非常ニ疑問ニ思ツテ居リマス。ト云フノハ、拓務省カラ一人ニ付テ千圓補助金ヲ出ス、引合ツテ人ガ喜コンデ行クノニ補助金ヲ出ス必要ハナイと思ヒマス、ケレドモ、ソレハ中々行キ手ガナイ、移民スルノニ非常ニ困難デアラカラ、ソレデ拓務省デハ千圓ノ補助金ヲ出シテ之ヲヤラウ、斯ウ言ハレノデアラウト思フ、強チ引合フノデアラナイ、引合ハナイケレドモ、詰リ日本カラ補助金ヲ出シテ引合フヤウニシテヤツテ居ル、斯ウ云フ御考デセウガ、考ヘテ見マス。トモウ五年ニナツテ殆ンド二千戸シカ行ツテ居ナイ、中々獎勵シテモ行カヌ、非常ニ引合フナラ幾ラデモ澤山ノ人間ガ押スナ、デ此生活ノ苦シイ時ニハ行ツテ居ルト思フ、其御考ハ少シ違ツテ居ルノデアラナイカ、兎ニ角其引合フ、サウ云フ風ニ行キ手ガ何時デモアルナラバ結構デゴザイマスガ、詰リ五年モ掛ツテ僅カニ二千戸シカ行カナイノハ、幾ラ獎勵シテモソレダケ出シテヤル金ガナイカラ、コンナニチツトシカ行カナイノダ、斯ウ思ツテ居リマス、ダカラ日本デハ非常ニ移民スルノニ澤山金ガ要ルカラ、ソレデ非常ニ必要ナコトダケレドモ、澤山人間ヲヤルコトガ出來ナイデ困ツテ居ル、拓務大臣ノ言ハレノハ斯ウ云フノダラウト思フガ、ドウモ私ハ考ヘルノニ理窟ガナイと思ヒマス、詰リ滿洲國ヲ開イテ貰フ、日本ハ非常ニ人間ガ多イカラ、向フニ行ツテ生活ノ安定ヲ圖ル、兩方一緒ニ得ラシナケレバナラヌ、日本ダケ得ラヌト云フ譯ニハ行カヌ、滿洲ハ日本人ヲ送ツテ貰ツテ、早く土地ヲ開イテ貰ツテ、色々ナ仕事ヲ始メテ貰フト云フコトガ、早く滿洲國ノ文化ノ度ヲ高メルト云フコトニナル

ノデス、又税金モ其中カラ澤山出テ來マセウシ、其上ニ日本ハ國防ノ費用ハ全部出シテヤル、鐵道ヲ援助シテ架ケテヤル、早く鐵道ノ架カツテ居ル所デモ人間ガ行カナケレバ、其鐵道ハ暫クスレバ潰レテシマフト云フコトニナルコトハ屹度決ツテ居ル。一人人間ガ住ムト鐵道ニ對シテノ收入ガ幾ラトカ云フ大體ノ數字モ出テ居リマシセウカラ、ドウシテモ、ニモ人間ガ要ル、デスカラ鐵道ヲ滿洲國ガドン、發達サセル爲ニモ、亦國防ヲシテ貰フ爲ニモ、皆日本ガ援助シテヤツテ居ルコトダカラ、土地位ハ滿洲國デ出シテヤラシタラドウカ、ソレガ至當デハナイカト考ヘルガ、拓務大臣ハソレハ無理ダト考ヘラレルノカドウカ、ソレヲ私ハ御尋スル。

○永田國務大臣、滿洲ノ移民ハ實ハ滿洲事變ノ起ツタ當初ハ、幾ラデモ彼處ニ收容スルコトガ出來ル、又大勢希望スルモノモアルト云フヤウナ感じヲ、吾々モ幾ラカ持ツテ居ツタ、所ガアチラニ個人移民ナンカ行ツテ居ツテモ、大抵舞戻ツテ來ル、一攫千金ノ考ヲ持ツテ行ツタ者ガヤリ損ツテ舞戻ツテ來ルノハ、已ムテ得ナイコトデアツタト思ヒマスガ、中々サウコチラデ考ヘタヤウニ、彼處ノ移民ハ易ク行カナイト云フ實情デアツテ、斯ウ云フ調子デアルト云フト、滿洲事變ヲ起シテ、是ダケノ大仕掛ノ色々ナ事件ノ後デ、チツトモ移民ノ出來ナイコトハ遺憾至極ノコトダカラ、何トカシテ移民ノ出來ルヤウニ能ク調査ラシテ行カナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデ今日マデ五百戸ガ三回ト、三百戸ガ一回デスカ、ソレデ合セテ千八百戸ダケアチラニ行キマシテ、漸ク其試驗ノ結果ドウニカ居レルヤウニナツテ來タノデ、今日デハ内地ニ於テサウ云フ風ノ狀態ナラバ、行タキイト云フ希望者ハ相當ニアルノデアリマス、ソレデ此狀態ナラバ今カラズツ殖ヤシテ行キタイ、斯ウ云フコトデ本年ノ豫算八千戸向フヘ行クコトニナツテ居リマスガ、併シ考ヘテ見マス。千戸ト云ツテモ五人ノ家族ニシテ僅ニ五千入デ、内地ノ人口ガ百萬モ殖エテ行ク

時ニ滿洲ニ千戸位、ソナコトゾヤドウナルカト云フ意見ガアリマス、是ハ御尤ナ意見デアリマスガ、併シ幾ラ澤山ヤツテモ向フガ住メルヤウナ状態ニナツテ居ラナケレバ居レハシナイノダカラ、サウ云フ點ニ於テ滿洲ノ方デモ土地ヲ只與ヘテヤレバ宜イデヤナイカト云フ御考デアリマスガ、此點ニ付テハ滿洲國ノ法人トシテ滿洲拓殖ト云フモノガ作ラレ、サウシテ滿洲政府ニ於テモソレニ相當ノ援助ヲ與ヘテ、日本ノ人間ヲ移住セシムルト云フコトニ付テハ、滿洲政府モ好意ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ソレデスカラシテ今後ハ出來得ルダケ澤山アチラニ出シタイト思ツテ居リマス、土地ノ問題ニ付テハ私モサウ云フヤウニ滿洲カラ只出シテ與レルト云フコトニナレバ、至極都合ガ好イト考ヘテ居リマスガ、尙ホ其點ハ今ノ御希望ノコトニ付テ篤ト對滿事務局ノ方トモ相談ヲ致シテ見マス

○末次委員 サウ云フコトデゴザイマス、又アナタニドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルカト云フコトヲ御聞キシナケレバナラヌ、詰リ何處ノ國デモ國ヲ開イテ貰フ時ニハ、ソレヲ開イテ税金ガ取レルヤウナ立派ナ土地ニナルト、大抵與レテ居ルと思フカラ、日本人ガ滿洲ニ行ツテ初ハドウシテモ人ノ居ラヌヤウナ所ヘ行カナケレバ開ケナイノダカラ、其苦シンダ人間ニソレ位ノ土地ヲ只出シテモ不當デヤナイノダカラ、其邊ハ十分御考下サツテ御交渉願ヒタイと思フ、私ハ是ハ出來ルト思フカラ、唯日本ノ爲政者ガ出來サウデヤナイカト云フコトニナレバ、何トカ出來ヌコトハナイと思フガ、ソレハ引合フヤウニナレバ人ハ澤山行キマス、ソレハ分ツテ居リマス、ソレデ今日日本デ百姓シテ居ツテモ、家族ガ四五人居レバ一年ニ百圓借金ヲ増シテ居ルカラ、向フヘ行ツテヤルト云フコトニナレバ、五年ナリ十年ナリスレバ、貰ツタダケノ土地ハ開キマス、子供ガ出來テモ孫ガ出來テモ、二十町歩モアレバ食ヘルダケノモノハ十分出來ルト思フ、是ガ日本ノ國民生活ノ安定デ、一番大事ナコトデアルト

ニナリマシタ滿鐵ニ使フ労働者ノ八割マデハ滿洲人、支那人デアルカラ之ニ日本人ヲ使ツタラ宜カラウト云フヤウナ御話ノ點、是ハ私モ滿鐵ノ方デモ相當考ヘテ居ルコトデアルト思ヒマスガ、滿鐵ニ關スルコトハ實ハ從來拓務省ノ所管デアリマシタケレドモ、此頃ノ官制デハ對滿事務局ノ所管ニナツテ居ルノデ、私カラ色々申上テ置クト又混雜スルトイケマセスカラ、其方ハ申上ゲナイコトニ致シマス、ソレカラ滿洲ノ北ヘ行カズ南ヘ行ツタ方ガ宜カラウ、大體南ノ方ガ氣候ガ暖カデアルガ、併シ土地トシテハ北ノ方ハ取調ベマシタ結果、必ズシモ惡クナイ、黑河方面ナドハ隨分北ノ方デアルガ大豆ガ非常ニ能ク出來ル、サウ云フヤウニ調ベタ結果ガ、北ノ方必ズシモ惡クナイデアリマス、ソレデ北ノ方ハ今ハ人ガ少クテ、詰リ先住者トノ摩摺軋轢ト云フヤウナ心配ガ少ク、土地モ安クテ簡單ニ手ニ入ルト云フヤウナコトデ、北ヘ行クヤウニナツタノデアリマス、モウ一ツハ朝鮮人ノ關係ガ滿洲ニハアルノデ、朝鮮デハ鮮滿拓殖會社ヲ今度拵ヘルコトニナツテ居リマスガ、ソレハ要スルニ南ノ方ノ朝鮮ノ人間ヲ北ノ朝鮮ニ移シ、北ノ朝鮮人ヲ出來得ル限リ滿洲ヘ移民セシムルト云フヤウナ状態ニ置クノデアリマシテ、是ハ吾々トシテ決シテ朝鮮人ガ内地ヘ入ツテ來ルコトヲ、特ニ色々ナ意味ヲ以テ阻止スルト云フ意味デハアリマセケレドモ、兎ニ角内地ハコナニ人ガ多イノデ澤山朝鮮カラ來マス、一層内地デ労働問題其他色々ノコトヲ起シマスカラ、出來得ル限リ朝鮮人モ滿洲ノ方ヘ行ツテ貰ヒタイ、斯ウ云フ場合ニ間島方面カラ南ノ方面ニ、大體朝鮮人ガ今大分行ツテ居ルノデアリマス、今後モサウ云フヤウナ朝鮮人モ、アチラニ入レテ行キタイと思ツテ居ルノデアリマス、北ノ方ハヨウ云フ各種ノ條件ガ惡クナイノデ、却テ手ニ入り易イト云フ點ヤ、面倒ノナイト云フ點カラ考慮シマシテ、アチラノ方ヲ選ンダヤウナ次第デアリマス、滿洲ノ移民問題ハ洵ニ難カシイ錯雜シタ關係ガアルシ、又氣候其他ノ關係カラ、餘程都合好ク世話ヲシナイ

思フ、是ガ又根本ニナルト思フ、ソレデ大分委員ノ方モ御迷惑ダツタト思ヒマスガ、之ヲ力強ク御願スルノデアリマス
○永田國務大臣 只今ノ移民事業ニ對シテノ御熱心ナ御希望、御質問ニ對シテハ非常ニ感佩ニ堪ヘナイ所デアリマス、試驗移民時代ヲ經過シタ今日、移民ヲ澤山送ルヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

八 南滿洲ニ於ケル滿洲人ニ補助ヲ與ヘテ北方ニ移住サセ日本移民ヲ南滿洲ニ入植サセテハ如何

一 大島委員 質疑

○大島委員 ドウモ北滿洲ノ方ハ寒クモアリ、又色々ノ關係上移民ヲシテモ容易デナカラウト考ヘマスガ、ソレニハ出來ルダケ滿洲モ奉天、或ハ奉天以南ト云フヤウナ、出來ルダケ南ノ方ニ第一ニ移民スルコトガ、私ハ宜カラウト思フノデアリマス、……現在居ル滿洲人ニ其補助金ヲ與ヘテ、彼等ヲ北ニ移シテ北ノ方ヲ開拓サセ、日本人ハ其南ノ方ニ移住サセルト云フヤウナコトガ、私ハ實際ニ於テ移民ヲ促進スル所ノ方法デハナイカ……五百戸ヤ千戸移シテモ、本當ニ僅カナモノデテル、百萬宛増加スル人口ニ對シテ千戸移シテモ何ニモナラヌ状態デアルカラ、少クトモ日本人ガ一年ニ五萬十萬彼ノ地ニ移住スルヤウニスルノニハ、移住出來ルヤウニ仕向ケナケレバナラヌ……

二 永田拓務大臣 答辯

○永田國務大臣 御意見ノ程ハ謹ンデ拜承致シマシタ、一番初ニ御述ベ

九 滿洲農業移民ノ課稅問題及教育ニ關シテ

二 關シテ

松本委員、高山拓務局長トノ一問一答

○松本委員 簡單ニ伺ヒマスガ、只今拓務大臣ノ御聽キノ通り、關東局ノ當局者カラ附屬地内ノ課稅ノ御話ガアリマシタガ、併シ多分附屬地外ノ日本人ガ滿洲ニ服スル結果トシテノ釣合上出來タコト思ヒマス、附屬地外ニ居住スル日本ノ移民等ハ、如何ナル課稅ニ何時カラ服スルコトニナルノデアリマスガ、ソレヲ簡單明瞭ニ御示シテ願ヒタイ

○高山政府委員 只今御尋ノ點ハ、實ハ條約關係デ、外務省ノ關係ニナツテ居リマスガ、唯現在私ノ方デ關係シテ居リマス移民ノ關係ニ付テダケ申上ゲマス、主ナ稅ハヤハリ田租ト申シマスガ、土地ノ課稅デゴザイマスケレドモ、是ハ開墾地ニ付キマシテハ、大體五年間無稅ト云フコトニナツテ居リマス、各地方ニ依ツテ規則ガ違フト思ツテ居リマスガ、大體ノ所五年間無稅ニナツテ居リマシテ、其關係デ、移民關係ニ付キマシテハ、格別影響ハナイト考ヘテ居リマス

○松本委員 田捐ハ分リマシタガ、アト房捐トカ或ハ戸別捐ト云フヤウナモノハ、ドウナツテ居リマスガ

○高山政府委員 地方ニ依ツテアルト思ヒマスガ、是ハ極ク輕微ナモノ

デゴザイマシテ、實ハ私共モ直接ノ關係デモアリマセヌシ、餘リ詳シクハ調ベテ居リマセヌガ、其點デ御承知ヲ願ヒマス

○松本委員 直接ノ關係デナイト仰シヤルコトガ、私共理解方出來ナイト思フ、移民ヲ御獎勵ナサルトスレバ、其移民ガ如何ナル課税ニ服スルカト云フコトモ先ヅ御考ヘニナツテ、北海道ノ移民ヘモ、何年間無税ニシテ居ル問題モアリマスカラ、其點ヲ一ツ御考慮ヲ願ヒマス、其次ハ移民ヲ困難トスル一ツノ理由ニハ、教育ノ問題ガアルト思ヒマス、移民ハ一方御獎勵ニナリマスカ、移民ノ子供ノ教育ハドウ爲サルノデスカ

○高山政府委員 移民ノ教育ハ、私共ノ方デヤツテ居リマス移民ニ付キマシテハ、實ハ今年マデハ移民ノ中ノ學校教育ノ經驗ノ有ル人達ガ先生ニナリマシテ、極ク小規模ナ「ブライベイト」ノヤウナ小學校ヲ作りマシテ、其處デヤツテ居リマスカ、本年アタリカラ段々人数モ殖エテ參リマシテ、是ハ外務省ノ學校トシテ正式ニ認可シテ戴キマシテ、外務省ノ在外子弟ノ學校トシテヤツテ戴クコトニ今年カラナツテ居リマス

○松本委員 私ハサウ云フ一年位ノ目先ノコトデナクテ、所謂行政權委讓ト云フコトニ關聯シテ、此問題ノ見透シヲ承ツテ居ルノデアリマスカ
○高山政府委員 只今ノ御尋ノ點ハ、教育ノ問題ニ付テハ、マダハツキリトシタコトハ決ツテ居ラナイヤウニ承知致シテ居リマスカ、將來ノ問題ト致シマシテハ、在外邦人ノ教育ノ問題ハ、條約ガハツキリシマシテモ、御尋ノ點ニ副フヤウニシテ行キタイト思ツテ居リマス、又サウナルダラウト想像モ致シテ居ル次第デアリマス

一〇 在滿鮮人ノ教育問題ニ就テ

一 松本委員質疑

○松本委員 ソレハドウナルカ分ラナイト云フコトハ屬僚ノ仰シヤルコト

尋シテ見タイノデアリマス、……朝鮮ニ籍ヲ構ヘテ居ツテ、果シテ此組合ニ入ツテ呉レ、バ宜イガ、入ラナクトモ文句ハ言ヘナイダラウト思フサウ云フ場合ニ當局ハドウナサルカ、之ニハ外地ニ製造ヲ營ンデ居ルモノモ入ルコトガ出來ルトナツテ居ル、幸ニ入ツテ呉レバ宜イガ、此方デ以テ此法律ヲ吾々ノ希望通りニ當局ガ運用セラレル時ニハ、恐ラク朝鮮警察ハ入ラヌダラウト思フ、入ラズニ勝手ナコトヲヤラレタラ一體ドウ云フコトニナリマスカ、又滿洲化學ノ如キモサウデアリマス、是等ノモノニ對シテハドウ云フ風ニ爲サルカ、又從來ノ例ニ依リマシテモ朝鮮ノ硫安ト内地ノ硫安トハ必シモ其動向ヲ一ニシテ居ラヌ、寧ロ今マデノ實績デ行キマスナラバ、例ヘバ去年デアルトカ、一昨年ノ實績ニ付テ調整テ見レバ、内地ヨリモ朝鮮ノ百姓ノ方ガ安イ肥料ヲ使ツテ居ル、是ハ内地ノ肥料屋ガ横暴デアツタカラサウ云フ風ニナツテ居リマスカ、レドモ、安イ肥料ヲ使ツテヤツテ居ル、當局ガ果シテ吾々ニ御説明ノヤウニ運用ノ妙ヲ得ラレマスナラバ、彼等ハサウ云フヤウナ面倒ナ所ニハ入ラナイデ、朝鮮ハ朝鮮デヤツテ行クト云フヤウナ氣持ニナリハセヌカト思フ、其場合ニ當局ハドウ爲サルカト云フコトニ付テ承ツテ置キタイ

一一 小川商工大臣答辯

○小川國務大臣 本法ハ内地ノミニ施行セラレルコトニナリマスノデ、隨テ外地ニハ直接施行シマセヌケレドモ、河野君ノ御話ノヤウニ肥料ノ販賣ニ關スル統制ハ、内地外地ヲ通シテ行ハナケレバ完璧ヲ期スルコトハ出來ナイ、ソコデ外地ニ於キマシテモ、本法ト同趣旨ノ法則ヲ實施シテ之レヲ運用スル、斯ウ云フコトニナラナケレバナリマセヌノデ、朝鮮モサウナルベキデアリマス、併シ其ノ重要事項ニ付キマシテハ双方打合せヲ行ヒマシテ、常ニ同一ノ方針ヲ執ルヤウニ外地ノ關係官廳ト協議シテ、協議済ニナツテ居リマスカラ、河野君ノ御心配ハナイヤウニ思ツテ

附帶決議 航路統制法案委員 航路統制法ノ外地施行ニ就テ

トデ、ドウスルカ、ドウシナイカト云フコトヲ御決メニナルノハ、大臣ガ御決メニナルノデアル、大臣ハ一體在滿邦人ノ教育ハドウナサル積リデアルカ、日本人ノ教育ノ權利ハ依然トシテ御持チニナルガ、先刻綾川君カラ御尋ニナツタ問題ニ付テ、朝鮮人ノ教育ハドウナサルカ、其點ニ付テノ大臣ノ御方針ヲ明瞭ニ承ツテ置キタイ

一一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 日本人ノアチラニ於ケル教育ノコトニ付テハ、日本ノ方デ其權利ヲ持ツテ居リタヤト思ツテ居リマス、朝鮮人ノ問題ニ付キマシテハ、ドウ云フ風ニスルカ確カト決定ラシテ居リマセヌ

一二 綾川委員希望

○綾川委員 大分時間モ經チマシタシ、今松本君カラノ質問ニ御答ニナツタコトデ、モウアレ以上ノ御答ハ出來ナイデアラウト思ヒマス、是非トモ此問題ハ東洋ノ盟主トシテノ我が日本ノ國威ヲ、東洋諸民族ノ上ニ益々感シサセルヤウナ政策ヲ、拓務省トシテ朝鮮民族ノ爲ニ御盡シニランコトヲ切望シテ止マヌ次第デアリマス

重要肥料業統制法案

一 外地ニ於ケル本法運用ノ結果如何

一 河野委員質疑

○河野委員 朝鮮ト申シマスカ、外地ニ於ケル本法運用ノ結果ニ付テ御

居ルノデアリマス

一二 附帶決議

○岡本委員 本案ニ對シマシテハ以下述べマスル附帶決議ヲ附ケマシテ政府ノ原案ニ賛成セントスルモノデアリマス、其附帶決議ヲ述べマス、即チ

- 一、重要肥料ノ供給ヲ豐富ナラシムル爲政府ハ速ニ適切ナル方策ヲ樹立スベシ
- 二、政府ハ肥料供給上ノ不圓滑ヲ防止スル爲相當量ヲ常時貯藏シ又ハ外安ノ輸入ニ關シ損失補償ノ制度ヲ設クル等需給ノ圓滑ヲ圖リ價格ノ昂騰ヲ抑制スルノ方策ヲ講ズベシ
- 三、重要肥料業統制委員會ノ構成ニ關シテハ消費者ノ意向ヲ同委員會ニ反映セシムルニ遺憾ナキヲ期スベシ
- 細カイ説明ハ省略致シテ置キマス、之ニ依ツテ原案ヲ賛成スルモノデアリマス

航路統制法案委員會

付託議案

航空法中改正法律案

一 航路統制法ノ外地施行ニ就テ

一 尾崎委員質疑

○尾崎委員 希望ヲ述べテ御參考ニ供シタイト思ヒマスルガ、私ハ大正

三年頃カラ大會社ニ對スル逓信省ノ補助方針ガトウモ宜クナイ、所謂傳
統的ニ宜クナイト云フ意見ヲ持ツテ居ル一人デゴザイマス、是ハ郵便汽
船時代以來カラノ傳統的ノ、所謂深イ長イ歴史ヲ持ツテ居ルノデアリマ
スカラ、中々一朝一夕ニ是ノ改正ハムツカシイト思ヒマスルケレドモ、
世ノ非難ハ總テ之ニ集中サレテ居リマス、先程社外船ニ對スル注目ヲ喚
起シタ質問ガゴザイマシタガ、私ハ其反對ニ此大會社、即チ商船、郵船、
其會社ニ對スル補助ニ付テハ特ニ將來社會ノ非難ヲ煽ラナイヤウニ御注
意ヲ願ヒタイ、之ヲ希望トシテ申上ゲマス、御提案ノ法案ニ付キマシ
テ一寸御尋致シタイノデアリマスルガ、此法案ハ所謂帝國ノ法律デゴ
ザイマスルカラ、帝國憲法ニ依ツテ關東州、朝鮮、臺灣ノ如キ方面ニハ
行ハレナイモノト解釋致シテ宜シイノデゴザイマセウカ、又サウ解釋致
シマスナラバ、御承知ノ通り大正三四年頃カラ七八年頃マデニ社外船ノ
殆ド大部ハ關東州ニ籍ヲ置イタヤウニ記憶致シテ居リマスルガ、斯ウ云
ツタヤウナ重大ナ關係ガ起ルガ、之ニ對シテ政府ハドウ御處置ニナルカ

二 小野政府委員答辯

○小野政府委員 此法案ハ此儘デハ外地ニ適用サレナイノデアリマス、
唯此處ニモ外地關係ノ方見エテ居リマスルガ、必要ニ應ジテ外地ニ施
行スル、恐ラク外地ノ關係屬ノ方ト致シマシテハ此法案ノ施行自體ニハ
異存ハナイト心得ルノデアリマス、唯ソレガ今時機ナリヤ否ヤト云フコ
トニ付テ考慮中ノヤウニ拜察致シテ居リマス、ソレカラ第二點ノ關東州
ニ外國カラ來テ、輸入スルモノガ相當多クナリマシタ、所謂關東州置籍
船ト云フヤウナ御存ジノ如キ弊害ヲ生ジハシナイカト云フコトデアルト
思ヒマスルガ、關東州ハ御承知ノヤウニ、大連ハ自由港デアリマスルノ
デアスコニ入りマス、輸入サレル船ハ輸入稅ガ課カラナイ、ソコデ關東

州ニ事實上非常ニ船ガ、船籍ガ集マルト云フコトニナツタノデアリマス
ルガ、是ハ大正十三年ト思ヒマスガ、逓信省ト關東廳ト協議ノ上勅令ヲ
出シマシテ、其以後ハ關東州ニハ關東州ヲ中心ニスル會社以外ノ船ハ籍
ヲ置ケナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其上ニ最近デハ輸入
制限令ヲ設ケテ居リマスカラ、御憂慮ノヤウナコトハ現在デハナイト思
ヒマス

二 法案第二條ニ就テ

一 紅露委員質疑

○紅露委員 今御説明ノヤウナコトニ相成リマスルト、法案ノ第二條ノ
「勅令ヲ以テ定ムル沿海區域ニ於テ云々」斯ウ云フヤウナモノハ適用ハ殆
ドナイト云フコトニ相成ルノデハゴザイマセスカ

二 小野政府委員答辯

○小野政府委員 是ハ現在デハナイノデアリマス、併シ此「勅令ヲ以テ
云々」ハ今朝程モ説明致シマシタガ、朝鮮内地間ノ航路ハ沿海航路デス

三 航路統制及補助金問題ニ就テ

一 中井委員質疑

○中井委員 此補助金ノ再檢討ト云フコトニ付テハ逓信省管内ノ補助金
ダケガ再檢討ノ必要ガアルト云フノデアリナイノデアリマシテ、逓信省、
地方廳、ソレカラ各種植民地、關東州、朝鮮、臺灣、南洋廳、是等ノ各關
係官廳ニ付テモソレソレ不統一千萬ナモノガアルノデアリマス、此最モ
ヒドイノガ先年大騒ギトナリマシタ北鮮航路ノ大競争ト云フモノデア
ルト思フノデアリマス、隨テ是等ノ點カラ見マスルナラバ、政府ガ此度航
路統制法ヲ出サレタノデアアルガ、航路ノ統制ヲセラレルヨリハ寧ロ先ニ
政府ノ役所同土間ノ統制ヲセラレコトガ、先決問題デハナイカト私ハ
思フノデアリマス、...隨ツテ斯ウ云フ問題ニ付キマシテモ、此庶政一
新ノ機會ニ是ハ本當ニ必ズヤル、統一ヲスルト云フコトヲ、御決心ヲ願
ヒタイノデアリマス、今マデ常ニヤカマシク言ウテ居ルニ拘ラズ、是ガ
事實上行ハレテ來テ居ナイノデアリマス、先以テ斯ウ云フ問題カラ御統
一ニナルト云フコトガ、此際本當ニ必要ナコトデアルト存ズルノデア
マス、逓信大臣ノ御答辯ヲ承リタイト思ヒマス

二 賴母木遞信大臣答辯

○賴母木國務大臣 此問題ニ付キマシテハ、本會議ニ於テモ御質問ガア
航路統制及補助金問題ニ就テ 附帶決議 日本内地ヲ中心トスル航空路ノ豫定ニ就テ

リマシテ、御答ヲ致シテ置キマシタ、中井君ノ仰シヤル通り、洵ニ此統
制ノ付イテ居ナイコトハ甚當業者モ不便デアリ、逓信省トシテモ洵ニ斯
ノ如キコトハ國家トシテ當然統一サルベキモノデアルト考ヘテ、是ハ多
年ノ懸案デ、恐ラク各大臣今マデ盡力セラレナカツタ人ハナカツタラウ
ト思ヒマスガ、未ダ其運ビニ至リマセスコトヲ甚ダ遺憾ニ考ヘルノデア
リマス、私トシテモヤハリ只今海運行政ヲ統一シタイト考ヘマシテ、盡
力ヲ致シテ居リマス、實ヲ言ヘバ、航路統制ト云フコトハ、本當ハ海運
統制ト云フコトデナクテナラヌト思ヒマス、ケレドモサウ云フコトハ中
々直ダニハムツカシイコトデアリマシテ、餘程目鼻ハ付イテ來テ居ルヤ
ウニ考ヘマスルガ、マダサウ直ダニナルト御答ノ出來ナイコトヲ甚ダ遺
憾ニ存ジマス、併シ十分ニ努力ハ致シマス

四 附帶決議

○中井委員 附帶決議ノ内容ヲ申上ゲマス、即チ
一、政府ハ本法施行ニ當リ貿易ノ伸張、海運ノ發展ヲ阻害セザル様留意
スベシ
二、政府ハ航路補助ノ實績ヲ再檢討シ且不定期遠洋航路ニ付助成ノ途ヲ
考慮スベシ
三、政府ハ海事行政ノ統一、海事金融ノ圓滑ヲ計ル爲適當ノ方策ヲ講ズ
ベシ

五 日本内地ヲ中心トスル航空路ノ

豫定ニ就テ

一 中村委員質疑

○中村委員 日本海カラ朝鮮・大陸ノ方ニ行クヤウナ航路ヲ作ル必要ガアルノデハナイカ 其爲ニハ青森ノ大畑アタリニ港ヲ作ツテ、世界各國ノ物資ヲ集メ、各國ノ物資ヲ東北方面ニ持ツテ來テ、産業ヲ起スト云フコトハ盛ニ言ツテ置イタノデアリマス、是ト連絡ヲ致シマシテ、ヤハリ青森ナリ北海道方面ヲ根據地ト致シマシテ、裏日本ト表日本ノ方ニ航空路ヲ作ル必要ガアリハシナイカ 表日本ノ方ハマア北海道カラ青森マデ來、ソレカラ東京ニ來、大阪ニ行キ、四國ニ渡ツテ九州ニ行ク、ソレカラ南洋方面ニ行キ或ハ南支方面ニ出ル、又裏日本ノ方ハ青森カラ日本海沿岸ノ主ナル都市ヲ通ツテ、朝鮮ナリ或ハ他ノ大陸ト連絡ヲスルヤウナモノヲ拵ヘヨウ、サウシテ滿洲蒙古ヲ通ツテ中央亞細亞、歐羅巴ニ行ク航路ヲ一ツ作ル必要ガアルノデハナイカ、道路ニ於テモ其通りダト思ヒマス、航空事業ニ於テモ其必要ガアルノデハナイカ、日本ガ今世界ノ三大國ト稱セラレ、又自分モ自認シテ居ル時代デアリマスカラ、關係各國ト連絡ヲナスツテ、最モ必要ナル大キナ航空路ノ對策ヲ御立テニナル必要ガアルノデハナイカト、斯ウ思フノデアリマスガ……

一一 片岡政府委員答辯

○片岡政府委員 航空路ノ計畫ニ付キマシテハ、第一振興計畫ニ依リマシテ、國內ノ幹線ヲ確立致ス……其大體ヲ申上ゲレバ御諒解出來ルト思フノデアリマス、大體申上ゲマス、現在アリマスノハ御承知ノ通り東京カラ名古屋、大阪ヲ通ツテ福岡ヲ通り、朝鮮・大連ニ行ク、一方最近ハ福岡カラ分岐シテ臺灣ニ行ク、此外ニ現在定期ニ一年間ヲ通ジテヤツテ居リマスノハ、大阪カラ四國ノ高松・松山ニ行ク航空路デアリマス、本年豫算ヲ協賛ヲ仰イデ居リマス計畫ガ實行サレマス、東京カラ長野ヲ經テ新潟ニ行ク、又長野カラ分岐シテ富山、大阪、是ハ金澤福井ニ飛行場ガ出來レバ勿論出來ルコトニナリマス、ソレカラ大阪カラ鳥取・松江、是

六 東京以北ノ航空路ニ就テ

淺川委員、片岡政府委員トノ一問一答

ハ將來下ノ關方面ニ松江カラ行ク、ソレカラ大阪カラ四國ノ徳島・高知ニ行ク、斯ウ云フ風ナコトガ實現スル、ソレカラ東京カラ幹線トシテ仙臺・青森・札幌ト云フモノガ、本年度ノ豫算ヲ出來ルコトニナツテ居リマス、其他ノ計畫ニ付キマシテハドウ云フ計畫ヲ致シテ居ルカト言ヒマス、新潟カラ日本海沿岸ノ酒田・秋田方面ニ出テ青森、ソレカラ九州デハ福岡・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分ヲ通ジ九州ヲ一巡スル循環線、ソレカラ日本海方面ニ於キマシテハ、大阪カラ米子ヲ經テ北朝鮮ノ南ニ行ク、ソレカラ太平洋ニ對シマシテハ東京カラ小笠原島ヲ經テ委任統治領ニ行ク、其外ニ東海道・山陽、ソレカラ東京青森間ト云フヤウナ「ローカル」線ヲ設ケマシテ、例ヘバ現在ヤツテ居リマセヌ静岡デアリマス、岡山・廣島、東北デ言ヒマス水戸・盛岡ト云フヤウナ所ニ「ローカル」線ヲ設ケルト云フ計畫ナノデス、國際線ニ付テハ對支航路、對南洋航路ト云フモノガ五ツバカリ、ソレカラ北ノ方ニ向ツテ千島ヲ經テ「ソ」聯邦ノ「ベトロバウロスク」、ソレカラ札幌カラ北ニ幹線ガ延ビマシテ、旭川カラ稚内、豊原ニ行キマシテ、豊原カラ更ニ「オハ」亞港ト云フ方面ニ……ソレカラ申シ通レマシタガ旭川カラ帶廣ヲ經テ根室、是ダケノモノガ計畫サレテ居リマス、大體是ダケ出來マス、狭小日本ノ國土ニハ大體行渡ルト思ヒマス、以上ノ外、外地ニ於キマシテハ、臺灣デハ臺灣島内ヲ一周スル計畫ガ出來テ居リ、朝鮮ニ於キマシテハ京城カラ羅南ニ行ク線ヲ豫定シテ居リマス

○淺川委員 只今中村君ノ御尋ニ對シテ當局ガ御答ニナツタコトニ附帶致シマシテ、御承知ノ通り建議案ニ、請願ニ澤山現レテ居リマス中ニ、

東京以北ノ交通機能ガ稍々遲レテ居ル體ガアリマス、只今局長ノ御答デ大體ノ線路ノ御豫定ハ伺ヒマシタガ、北海道・樺太・千島ノ方面ニ付テ、モウ少シ詳シイ御計畫ガアリマスナラバ、承ツテ置キタイト思フノデアリマス

○片岡政府委員 北海道・樺太・千島方面ニ付キマシテハ、先程一寸申上ゲタノデアリマスガ、東京・札幌線ト云フモノハ青森カラ札幌ニ參リ、其札幌ノ先ハ旭川ヲ經テ稚内カラ樺太ノ豊原、ソレカラ旭川カラ帶廣ヲ經テ根室ト云フモノガ計畫サレテ居リマス、千島列島ニ寄航スル線路ハ計畫サレテ居リマセスガ、千島列島ヲ經テ露領「カムチヤツカ」半島ヘノ國際線ハ計畫サレテ居リマス、現在ノ所デハ其程度デアリマス

○淺川委員 只今御答戴イタ方面ガ具體的ニ現レルノハ、凡ソ何年頃ノ御見込ヲ持ツテ居ラウシヤイマスカ

○片岡政府委員 ドウシテモ、三四年後ニナルト思ヒマス、唯札幌マデハ本年度ノ豫算ヲ實現スルコトニ決ツテ居リマス

臺灣拓殖株式會社法案外

一件委員會

一 稻田政務次官提案理由説明

○稻田政府委員 御審議ニ入り、御質疑ヲ受ケマス前ニ臺灣拓殖株式會社法案ニ付キマシテ、本會議デ大臣ガ御説明ヲ申上ゲマシタヨリハ稍々

臺灣拓殖株式會社法案外一件委員會 稻田政務次官提案理由説明

詳細ニ此機會ニ御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマス、大臣ハ決算委員會ノ方ニ行ツテ居ラレマスノデ、間モナク此處ヘ御出席ニナルコト、思ヒマス、其間説明ヲ御聽テ願ヒタイト思ヒマス、御承知ノ通り臺灣領有以來文化、産業等往時ト面目ヲ一新スルニ至ツタノデアリマスガ、其天恵ト資源トヲ考察致シマスレバ、今後企業經營スベキ餘地ガ尙ホ多ク存スルヤウニ考ヘルノデアリマス、殊ニ最近ニ於ケル帝國内外各般ノ情勢ヲ考量シマストキハ、一方ニ於テ臺灣ノ開發ヲ一層促進シマスト共ニ、他方ニ於テ之ニ接近スル南支南洋トノ經濟的提携ヲ益々緊密ニシ、相互慶福ノ増進ヲ圖ルノ要、極メテ緊切ナモノガアルコトヲ痛感スルノデアリマス、併ナガラズノ如キ事業ハ、單リ政府ノ力ノミヲ以テ遂行スルコトハ甚ダ困難デアリマシテ、宜シク官民協力一致ニ當ルノデナケレバ、到底其效果ヲ收メ難イモノト考ヘラレルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ昨年十月臺灣總督府内ニ開催致シマシタ、熱帯産業調査會ニ於キマシテモ、其趣旨ノ答申ガアツタノデアリマス、斯様ナ趣旨ニ基キ政府ニ於キマシテハ極力調査研究ノ結果、茲ニ本法案ヲ提出致シマシテ、御協賛ヲ求メルニ至ツタ次第デアリマス、以下本會社ノ大綱ニ付テ主ナル點ダケ御説明申上ゲマス

第一ガ資本金デス、本會社ノ資本金ハ三千萬圓ト致シマスガ、將來事業ノ進展ニ伴ツテハ不足ト存ジマスノデ、必要ニ應ジ之ヲ増加シ得ルモノト致シマシタ

第二ガ出資者、本會社ハ政府及ビ民間ノ共同出資ニ依ルモノト致シマシテ、資本金總額三千万圓ノ内約半額ハ民間ノ現金出資トシ、第一回拂込ハ四分ノ一トシテ居リマス、殘額ハ政府ヨリ官有地ヲ現物出資スルコト、シ以テ會社ノ設立ヲ容易ニシ、且ツ其基礎ヲ鞏固ナラシメルコト、致シマシタ

第三ガ評價委員會、政府ヨリ出資スベキ土地ノ評價ニ付キマシテハ、

特ニ評價委員會ヲ設ケテ、公正妥當ナル評價ヲ爲ス豫定デアリマス
 第四方役員、本會社ニハ役員トシテ社長、副社長各一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置クコト、致シマシタ、其職務及ビ權限、任命選任ノ方法、任期等ニ付キマシテハ、他ノ特殊銀行會社等ノ例ニ倣ヒマシテ勅令ヲ以テ然ルベク規定スル見込デアリマス
 第五方事業、本會社ノ事業ハ、臺灣及ビ南洋ニ於ケル拓殖事業ノ經營及ビ拓殖資金ノ供給デアリマスガ、之ヲ更ニ具體的ニ申ゲマス、次ノ數項ニナルデアリマス、第一ガ、臺灣島内ニ於テハ

- (イ)土地ノ取得、經營及ビ管理
- (ロ)山林、原野、海埔地等ノ開拓
- (ハ)棉花、黃麻、苧麻等ノ栽培
- (ニ)移民事業

(ホ)以上ノ事業ニ附帶スル事業
 デアリマス、又南支及ビ南洋ニ於キマシテハ、主トシテ拓殖資金供給ノ方法ニ依リマシテ、邦人拓殖事業ノ進展ニ協力シヨウト云フノデアリマス第六ニ會社ノ特典ト申スベキモノハ

- 一、本會社ハ他ノ特殊銀行會社ノ例ニ倣ヒ、其資本増加ニハ株金全額ノ拂込アルコトヲ必要トシナイコト、致シマシタ
- 二、本會社ノ事業資金ハ相當多額ヲ必要トスルコト、豫想セラレマスノデ、拂込資本金額ノ三倍ニ至ル迄、臺灣拓殖債券ヲ發行シ得ルコト、致シマシタ
- 三、政府ノ出資ニ係ル不動産ノ登記及ビ臺灣拓殖債券ノ發行登記ニ付キマシテハ、ソレノ登録稅ヲ減額スルコト、シタノデアリマス

第七ハ會社ノ利益配當、本會社ノ事業ノ採算ニ付キマシテハ、當初必ズシモ有利ナルヲ期シ得ナイト考ヘラレマスノデ、會社ノ設立及ビ經營ヲ容易ナラシメマス爲ニ、本會社ノ民間持株ニ對スル利益配當ガ年六分

ノ割合ニ建シナイトキニハ、政府持株ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スヲ要シナイコト、シ、第二ニハ本會社ノ利益金額ガ民間持株ニ對シ年六分ノ利益配當ヲ行ツテ尙ホ餘リアル場合ニ於キマシテハ、其超過額ハ民間持株ト政府持株トノ各拂込金額ニ對シ、一ト四トノ割合ヲ以テ配當スルコト、シタノデアリマス、即チ民間持株ニ對シ年七分ノ配當ヲスルトキニハ、政府持株ニ對シ年四分、民間持株ニ對シ年八分ノ配當ヲスルトキニハ、政府持株ニ對シ年八分ノ配當ヲスルコト、ナリ八分以上ハ常ニ同率ノ配當ヲスルコトニナルデアリマス

第八ハ會社ノ監督デアリマス本會社ハ前述ノ通り國策代行機關ノ性質ヲ有スルモノデアリマスカラ、國カラ種々ノ保護ト特典トヲ與ヘラレテ居リマスノデ、政府ノ特別ノ監督ヲ受ケルモノト致シマシタ、即チ定款利益金ノ處分、臺灣拓殖債券ノ發行、合併及ビ解散ノ決議等重要事項ハ、政府ノ認可ヲ受ケルニ非ザレバ其效力ヲ生ジナイモノト致シマシタ、其他監督ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ規定シ得ルコト、致シマシタノデアリマス、又本會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令定款等ニ違反シ又ハ、公益ヲ害スル虞ノアリマス時ニハ、其ノ決議ヲ取消シ、又ハ役員ヲ解任シ得ルコト、致シマシタ同時ニ、本會社ガ本法若クハ本法ニ基ク所ノ命令又ハ之ニ基ク處分ニ違反致シマシタ場合ニハ、關係役員ヲ科料ニ處スル規程ヲ設ケタノデアリマス、以上ヲ以テマシテ本會社設立ノ趣旨竝ニ大綱ヲ御説明申上ゲマシタ次第デアリマスガ、御參考ニ申上ゲタ次第デアリマス、以上此資本金、出資者、評價委員會、役員、事業、會社ノ特典、會社ノ利益配當、會社ノ監督ノ八項目ニ付テノ極ク大體ヲ御説明申上ゲタノデアリマス、御質疑ニ依リマシテハ更ニ詳シク御答ガ出來ヨウカト思ヒマス、一應御説明申上ゲテ置キマス
 同時ニ此委員會ニ付託ニナツテ居リマス臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ノ理由ヲ説明致シマス

一 臺拓、南拓ノ事業及種類

一 中村(不)委員質疑

○中村(不)委員 臺灣ノ拓殖株式會社ト、ソレカラ南洋拓殖株式會社、同時ニ二會社ノ設立ノ御趣意デアリマスガ、事業ニ於テ大體同一ノ種類ニナツテ居リマス、是ハドウシテ二ツノ同一種類ノ會社ヲ、地域モ同ジヤウナ所ニ同時ニ設立セラレルノデアリマスカ

一 永田拓務大臣答辯

臺灣ニ於テ補助中ノ私設鐵道ハ現在臺北鐵道株式會社ノ經營スル臺北市萬華、新店庄新店間ノ延長十軒四分、臺中鐵道株式會社ノ經營スル臺中州豐原、土牛貯木場間ノ延長十三軒一分ノ二鐵道デアリマスガ、是等ノ鐵道ハ何レモ建設後經濟界ノ變動ニ遭遇シマシテ其業績モ豫期ノ如ク擧ラズ、將來人口ノ増加、産業ノ發展等ニ依リマシテ漸次收益ノ増加ヲ來スコトト思ヒマスガ、尙ホ當分補助ヲ致サナケレバ經營ガ頗ル困難ナ状態デアリマス、然ルニ現行法ニ依リマス此等ノ鐵道ニ對シテハ營業開始ノ日カラ十五年ヲ限リ補助シ得ルコトトナツテ居ルノデアリマシテ、之ガ爲メ臺北鐵道ノ如キハ萬華、公館間ハ昭和十一年一月二十四日、公館、新店間ハ同年三月二十四日ヲ以テ補助期間滿了シ、臺中鐵道モ昭和十四年八月二十二日ニハ補助期間滿了スルコトトナツテ居リマス、然ルニ兩鐵道ハ臺灣ノ開發上必要デアリ、且ツ當分ノ内政府ヨリ相當ノ補助ヲシナケレバ其經營ガ困難デアリマスノデ、朝鮮ノ例ニ倣ヒ、現行ノ補助期間十五年ヲ必要ニ應ジ五年以内伸長シ得ルノ途ヲ拓クコトト致シタノデアリマス

○永田國務大臣 是ハ御尤ナ御尋デ 實ハ南洋拓殖ト臺灣拓殖、是ハヤハリ南洋ヲ目標ニシテ居ルノダカラ、一ツノモノデモ宜クハナイカト云フヤウナ御疑念ノ起ルコトハ御尤ニ考ヘマス、唯ソレハ自然會社ノ成立チガ違フノト、地域ガ自ラ違フ關係上一緒ニハシ惡イノデアリマシテ臺灣拓殖ノ方ハ御承知ノ臺灣ノ土地ヲ一千五百萬圓程ニ相當スルモノヲ提供シテ、サウシテ臺灣ヲ本位ニシテ南支、南洋ニ仕事ヲスルト云フノデアリマス、又南洋拓殖ノ方ハ、是ハ南洋ノ擴張ニ出資シテ、サウシテ會社ノ基礎ヲ固メテ、ソレニ依ツテ南洋ノ水産業ヲ主ニスルコトト、海運ノコトヲ主ニスルコト云フノデアリマシテ、拓殖ト云フヨリハ植民スルト云フヤウナコトニナツテ居リマス、其地域ハ交通ノ關係上自ラ地域ガ分レルノデ、南洋拓殖ノ方ハ委任統治ノ「マリヤナ」「マーシャル」「カロリン」ノ群島ト、南洋方面ニ掛ケテハ「セレベス」「カラ」「ニューギニヤ」ノ方面、ソレカラ濠太刺利「ニュージールランド」アタリ迄進ンデ行クト云フヤウナ、サウ云フ方面ニナツテ居リマス、臺灣拓殖ノ方ハ蘭領印度、主トシテ「ボルネオ」カラ「スマトラ」「ジャワ」先ヅアア云フ方面ガ自然ノ交通

南方經營ノ中心力ハ臺灣總督デアル現在ノ權限デハ不都合ヲ感ズルガ制度ヲ其儘ニシテ武官總督任用説ガアルガ拓相ノ御考ヲ一七六

上、一番臺灣ヲ中心トシテ考ヘルノニ都合ガ好イノデアリマシテ、交通ノ關係等カラ自ラ地域ガ分レテ居ル、南洋ト云ツテモ非常ニ廣イモノデアリ、マスカラ、海運ノ都合上自ラ分レテ居リマスカラ、出資ノ際、ソレカラ地域モ自ラ區別サレル、斯ウ云ツタヤウナ關係上、二ツニ分ツコトガ便利デアルカラ、之ヲ合一ニスルト云フコトハ一寸出來兼ネルノデ、ソナヤウナ都合ニナツテ居リマス

三 南方經營ノ中心力ハ臺灣總督府

デアアル現在ノ權限デハ不都合ヲ

感ズルガ制度ヲ其儘ニシテ武官

總督任用説ガアルガ之ニ對スル

拓相ノ御考ヲ

一 中村(不)委員質疑

○中村(不)委員 現在ノ總督府ノカト申シマスカ、ソレニ不足ヲ感ズル色々ナ點ニ於テ不都合ヲ感ズル、其爲ニ臺灣總督府ノ制度ハ其儘デアリマセウガ、實質上ニ於テ武官ノ總督ヲ任用スル、斯ウ云フコトガ盛ニ世間ニ傳ハツテ居ルノデアリマスカ、其點ニ付テ何カ御考ガアルノデアリマセウカ

三 中村(不)委員再質疑

○中村(不)委員 現在ノ臺灣總督府ノ幹部ノ組織ニ於テ、拓務大臣ノ要求セラルル威嚴ヲ保チ、重望ヲ負フコトヲ點ニ付テ、甚ダ缺陷ガアルノデヤナイカ

四 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 サウ云フ人事問題ニ付テ、殊ニ親任官ノ地位ヲ持ツテ居ル人ノ人事問題ニ付テハ、容易ニ兎角ノ言辭ヲ爲スベキモノデヤナイト心得マス、又々特ニ異民族統治ト云フヤウナ場合ニ、其地位ニ現在居ル人ニ對シテ、中央ノ者ノ信賴如何ト云ツタヤウナコトヲ云々セシムルヤウナコトハ、統治上非常ニ有害ナモノデアルト考ヘマス、ソレデ如何ナル場合デモ其職ニ居ル人ニ對シテハ、十分其職ニ居ル間、其職責ヲ盡シ得ルヤウニ、コチラカラ仕向ケテ行カナクチヤナラヌモノデアリマシテ、苟且ニモ現在其職ニ居ル人ヲシテ、仕事ヲシ惡クセシメルト云フヤウナコトガアリマシテハ、ソレハ日本民族トシテ異民族統治ニ對スル能力ナシト云フコトニナルト考ヘルノデ、斯ウ云フ點ニ付テハ特ニ慎重ニ考慮シテ行カナクテハナラヌト思ヒマスカラ、人事ノ事ニ關スル限リハ、斯ウ云フ席上デ色々御質問下サルコトハ、洵ニ迷或ニ存ズルノデアリマス、何等申上ダルコトハゴザイマセヌ、苟モ其職ニ居ル人ニ對シテハ、絕對ニ信賴ヲ致シマス、其點ハ成ダケ……

四 臺灣總督府内ノ吏道振肅ニ就テ

一 中村(不)委員質疑

臺灣總督府内ノ吏道振肅ニ就テ

一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 臺灣總督ノ地位ト云フモノハ異民族統治ノ關係上、十分威嚴ヲ保チ、一種ノ重望ヲ負フ所ノ人デナクテハナラヌコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、サウ云フヤウナ關係ガゴザイマセヌガ、併シサウ云フコトハ武官デナクテハイカヌ、文官デナクテハイカヌト區別スル必要ハドウモナイノデ、ヤハリ何トシテモ人間、人次第デゴザイマセヌカラ、將來ニ於テ臺灣總督ノ地位ヲ高メルト云フヤウナコトニ付テハ、ソレハドウ云フ風ニシテ高メルト云フコトハ、今具體的ニ考ヘテ居リマセヌケレドモ、重ク觀ルト云フコトニ付テハ、私ナドハ非常ニ必要ナコトデアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、ソレデ武官文官——武官ニナツタカラ重ク觀ルト云フコトハ決シテナイト思フノデ、文官デアツテモ武官デアツテモ重ク觀ルト云フコトハ觀ルノデアツテ、是ハ本會議ノ時ニモ文武兩方面ノ適材ヲ求メルヨリ外ナイト、斯ウ云フコトヲ申上ダタノデアツテ、此心持ハ朝鮮ニ對シテモ同ジ考ヲ私トシテハ持ツテ居リマス、朝鮮總督ト云フモノハ武官ニ限ルトカ、文官ニ限ルトカ云フヤウナコトハナイ筈デ、ヤハリ其時ノ情勢ヲ見テ、適材ヲ其處ニ置クト云フコトニ付テハ、文武兩方面カラ採ルノガ然ルベキコトデアルト思フ、但シ臺灣總督ニ付テハ現役ノ人ガナルト云フ場合ニハ、司令官ヲ兼ネルコトヲ得ト云フヤウナ、何カサウ云フ規定ハアルノデアリマスカ、現役ノ軍人ヲ使フト云フヤウナ意味ノコトハ考ヘテ見ナイノデアリマス、併シサウ云フコトモ唯大キイ將來ノコトニ付テ申シタコトデアリマシテ、現在何モ文武官ノコトヲドチラガ善イ惡イト云ツタヤウナコトヲ、故ラニ今考ヘテ居ルノデヤゴザイマセヌ、デスカラ唯御尋ニ依ツテ、ドチラカラ將來採ルノダト云ツタヤウナコトガゴザイマシタカラ、文武兩方面ノ中ノ適材ヲ得ルト、斯ウ申上ダタノニ過ギナイノデアリマス

○中村(不)委員 此非常ニ重大ナ際ニ於テ、總督府ノ風紀ト云フモノハ近來頗ル紊亂致シテ居ル、統治スベキ異民族ニ對シテ信賴ヲ保タナケレバナラヌ總督府ノ内部ニ於テ、自ラ信賴ヲ失墜スルガ如キ行爲ガアリ、言動ガ確ニアツタ……一言ニシテ申セバ總督府ノ上層幹部ノ中ニ於テ、頗ル風紀ガ頹廢シテ居ル……吏道ノ振肅ナドト言ツテ居ラレル際ニ、アナタガ仰セラレマセヌヤウニ……ソナ氣持デ居ラレテ本當ニアナタノ仰セラレルヤウナ臺灣ノ統治ガ出來ルカ

一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 臺灣總督府ノ内部ニ於テ、種々ノ面白カラヌ事柄ガアル、例ヘバ内閣更迭ノ際ニ於ケル何カ間違ツタ心得方、或ハ婦人ニ關スル問題トカ、色々ナ事柄ガ常ニアツテ、新附ノ民ヲシテ信賴ヲ失ハシメルト云フ御話ニ付テハ、斯ウ云フ事實ニ付テ的確ニ私トシテハ承知致シマセヌガ、又時々色々ノ風評ヲ聞カヌコトモゴザイマセヌ、斯ウ云フ際ニ於テ拓務省トシテ外地ヲ統治スル上ニ付テハ、常ニ偉大ナル常識ヲ以テ、之ヲ適當ニ判斷シテ行クコトガ、最モ大切ナコトデアル、遠方ニ離レテ居リマス爲ニ、ソレ等ニ對スル風評ト云フコトニ付テハ、時ニハ誤ツタコトモアリマスカ、時ニハ又中傷スルヤウナ場合ノコトモアリマス、ソレデスカラ是ハ餘程物ノ大小輕重ヲ考ヘテ、適切ナル判斷ヲ加ヘナクテハナラヌモノト思ツテ居リマス、又總督ノ更迭ト云フヤウナコトニ付テ、從來色々内閣更迭毎ニ更迭スルヤウナ慣例ガドウカスルト行ハレテ其間ニ一般國民ヲシテ納得セシムルコトノ十分ナラザル場合モアツタカノヤウニ考ヘラルルノデ、斯ウ云フヤウナコトニ付テハ、總督府ノ内部ノ幹部ノ處置、考ヘ方ノ惡イコトハ、是ハ少シモ容赦スベキコトデアゴザイマセヌガ、是ト同時ニ内地ノ政治ノ中心ニ於テモ、是ハ考ヘテ行カ

ナクチヤナラヌ事柄デアルト思ヒマス。中央ノ政治ニ與ツテ居ル者モ、外地ノ總督ト云フヤウナ者ノ地位ニ對シテハ、餘程是ハ重キヲ置イテ考慮シナケレバナラヌ。容易ニ、苟且ニ、十分ナル理由ナクシテ、輕キニ勅令ト云フヤウナコトヲ避ケナクテハナラヌモノダト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス。又只今中村君ノ言ハルル通りニ、サウダト云フテヒドク紊亂シテ居ルモノヲ、其儘ニ捨テ置イテハ、異民族ノ統治信賴ト云フコトニ付テ缺クル所ガアルデヤナイカ、ソレデハ駄目デハナイカト仰シヤルコトモ、是モ全ク御尤モデアリマス、其點ニ付テハドウシテモ偉大ナル常識デ、大小輕重ヲ判斷シテ確トシタ大見地ニ立ツタ確信ノ下ニ處斷ヲスルト云フ外ナイト心得マス、只今ノヤウナ御話ノコトニ付テハ篤ト私ニ於キマシテモ其事實ナリ、事情ナリヲ能ク善處スル考デ居リマス

五 日本ノ南方政策、法案第六條ノ

職務權限任命權等ヲ勅令ニ讓ル

ト云フ特殊事情、南拓社長ノ任命權及臺拓社長ノ任命權ニ就テ

川島委員、永田拓務大臣、北島殖産局長

トノ一問一答

○川島委員 此法案ト同時ニ政府ガ御計畫ニナツテ居リマスル南洋拓殖

イデ、勅令ヲ以テ定メルト云フコトニシテ行ク方ガ、運用上都合ガ宜カラウト、斯ウ云フ氣持デ勅令ヲ致シタヤウナ次第デアリマス

○川島委員 對外的ノ關係ガアルノデ勅令ニ讓ツタト云フ御話デアリマス。東洋拓殖株式會社ノ第一條ニハ「東洋拓殖株式會社ハ朝鮮及外國ニ於ケル拓殖資金ノ供給」云々ト書イテアル。先達テ來ノ御説明ニ依ツテモ、東拓ト此臺灣拓殖會社トノ仕事ノ範圍ト云フモノハ殆ド違ハナイ、然ルニ東洋拓殖株式會社法ノ中ニハ重役ノ選任其他ノコトヲハツキリ規定シテアルノデアリマス。何故之ヲ勅令ニ讓ルカト云フ理由ガ、只今ノ御説明デハマダハツキリシナイヤウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ、是ハ政府委員ノ御答辯デモ差支アリマセヌ

○北島政府委員 私カラ御答辯シテ置キマス。大體ノ趣旨ハ只今大臣カラ御答辯ニナリマシタ通りデアリマス。ヤハリ島内ノコトモヤリマスガ、島外ノコトモヤリマス。色々ナ關係上餘リ窮窮デアリマス。レバ何カト不便ナ點モアルカト思ヒマシテ、實ハ勅令ニ讓ツタノモノ一ツノ理由デアリマス、ソレカラ先例ト致シマシテハ、只今御話ノ東拓ノ方ハ、法規ノ中ニ政府任命ノ規定ガアリマス、併シ又外ノ例デ取ツテ見マスレバ滿鐵ノ如キハ、ヤハリ勅令デ此役員ノ任免、其他殆ド全部ノコトヲ勅令デ規定致シテ居リマス、デアルカラマア例ト致シマシテハ必ズシモノナイ譯デハゴザイマセヌ

○川島委員 私ハ能ク法律ノコトハ分リマセヌケレドモ、滿鐵ガ出來ル時ニハ一體滿鐵ノ規則ト云フモノハ法令デナイノデアリマス。憲法ノ施行サレナイ所デヤルノデアリマス。是ハ勅令ニ依ツテヤルノガ當リ前、東洋拓殖ノ方ハ之ニ當嵌マルノデアリマス。之ト同ジ方針ヲ取ルノガ一番適當デアルト思フ、殊ニ外國ノ關係ガアルカラ、成ベク融通性ヲ持タスト云フコトデアリマスガ、重役ノ任免ノ方法デアルトカ、任期トカ、職務權限ノ如キモノハ、特ニ融通性ヲ付ケナケ

株式會社ト相並行ラシテ、日本ノ南方政策ヲ遂行スル大キナ國策ノ見地ニ立ツテノ御計畫ナリト考ヘラレルノデアリマス。...

○永田國務大臣 全ク其考ヘ方デゴザイマシテ、臺灣ノ島内ヲ開拓スル島内ニ於ケル道利ヲ開拓スルト云フ目的ヲ持チマス。...

○川島委員 法案ノ第六條ヲ拜見シマス。社長、副社長、理事、監事ト云フ風ナ重役ノ人ノ其職務、權限、任命、選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトアリマスガ、會社ノ重役ノ選任方法、職務權限ト云フコトハ、會社ノ設立上根本問題デアツテ、極メテ重要ナル事項デアリマス、他ノ特殊會社ノ法律ニ見マシテモ、何レモ法律ノ中ヘハツキリト選任ノ方法其他ヲ明記シテアルノデアリマス、殊ニ今回同時ニ政府カラ御出シナリマシタ東北興業株式會社法案モ、同様ニナツテ居リマス。...

○永田國務大臣 御尤モナ御尋デアリマス、唯臺灣拓殖會社ト云フモノノ地位ハ、餘程對外的ノモノデアアル爲ニ、相當ニ其運用上ニ付テ伸縮スル餘地ヲ持ツテ居ルコトガ必要ダト云フコトデ、此法律ニ規定セシメテ置キタイ

○北島政府委員 滿鐵ハ元來最初拵ヘル際ニ、ヤハリ根據ハ法律ニ置イテゴザイマス、其法律ハ外國ニ於テ營業鐵道事業ヲ經營スル會社ニ關シテハ、勅令ヲ以テ別段ニ規定ヲ設クルコトヲ得ト云フ、其勅令ニ基イテ制定シ、其勅令ニ依リ更ニ組織、任免ニ關スル規定ヲ全部置イテ居ルノデアリマス、ヤハリ滿鐵ニ關スル規定ノ趣旨モ、外國ニ於テ鐵道ヲ經營シ、ソレヲ法律デ非常ニ窮窮ナ規定ヲ設ケルト云フコトハ、非常ニ不便デアルカラ、ヤハリ勅令ニ成ベク讓ツテ、融通性ヲ置イタ方宜イデハナイカト云フ趣旨カラ今デモ來テ居リマスガ、サウ云フ趣旨デ大體勅令ニ委ネタノデハナイカト考ヘテ居リマス

○川島委員 大臣ニ御伺致シタイノデアリマスガ、今日御配布受ケマシタ「南洋拓殖株式會社設立趣旨並要綱」ノ中ヲ見マス。役員トシテ社長ハ政府之ヲ命ズト書イテアリマスガ、此社長ノ任免ハ拓務大臣ノナサレ仕事ニナツテ居リマス。如何デアリマスカ

○永田國務大臣 此南洋拓殖株式會社ノ社長ノ任免ハ、拓務大臣ガ命ズル積リデ居リマス

○川島委員 先般本會議ニ於キマシテ鈴木君ノ御質問ニ對シテ、拓務大臣ハ臺灣拓殖株式會社ノ社長ハ政府モ相談ニハ與カルケレドモ、臺灣總督ニ任命權ヲ與ヘルノダ、斯ウ云フ風ナ御話ガアリマシタ、其理由ノ一ツトシテ臺灣總督ノ所管ニ屬スル土地ヲ出資スルカラダト、斯様ニ仰セラレタノデアリマス。南洋拓殖株式會社ノ資本構成ノ所ヲ見マシテモ、ヤハリ南洋廳ノ所屬ニ係ル燐礦區ヲ會社ニ出資シテ成立セシメルノデアアル、此關係ハ兩者同ジデアルト私共考ヘルノデアリマス、然ルニモ拘ラズ臺灣拓殖株式會社ノ社長ノ任免ハ、之ヲ臺灣總督ニ委ネ、一方南洋拓殖株式會社ノ方ハ拓務大臣ガ之ヲ持ツト云フコトハ、ドウ云フ

理由デサウ云フ差ヲ生ズルノデアリマス、之ヲ伺ヒタイノデアリマス
○永田國務大臣 以前ヨリ外地等ニ對スル監督ト云フモノハ、各地ニ依
ツテ其境遇ニ應ジテ違ヒマスノデ、朝鮮ニ對スル監督ガ又臺灣ニ對スル
監督トモ違ヒ、臺灣ニ對スル監督方法ト南洋ニ對スル監督方法ト又自然
違フノデ、南洋廳ノ方ハ拓務大臣トシテハ、南洋廳ヲ指揮監督スト云フ
ヤウナ風ニナツテ居ツテ、臺灣ノ方ハ臺灣ノ事務ヲ監督スル、斯ウ云フ
風ニナツテ居ル、ソレナ風デ南洋廳ニ對シテハ、重大ナル事ニ付テハ直
接ニ指揮監督スル態度、立前ニナツテ居リマスカラ、斯ウ云フ重大事項ニ
付テ直接ニ之ヲ指揮監督シマスカラ、自然ニ拓務大臣ガ直接任命スル
コトニナルノデアリマス、臺灣ノ方ハ監督スト云フコトニナツテ居ルノ
デ、此點ニ付テハ拓務大臣ガ直接任命シテモ、道理上差支ハナイト考
ヘルノデアリマス、唯此場合ニ臺灣ガ一千五百萬圓ノ土地ヲ出シテ居ル
關係ト、其土地ニ於テ拓殖事業ヲ島内ニ營ム場合モ、相當重大ナ性質ヲ
帶ビテ居ルト云フ點、並ニ臺灣總督ノ地位ト云フヤウナコトヲ種々考慮
致シマシテ、身分上ハ臺灣總督ニ任命權ヲ持タシメル、サウシテ實際的
ニハ其事柄ニ付テ、拓務大臣ノ指揮ヲ受ケサウナ方法ハ、内部ノ監
督關係トシテ如何様ニデモ執レルノデアリマスカラ、斯ウ云フ重大事項
ニ付テハ打委セテシマハズニ、間違ヒノテイヤウニ伺ハシメテ決メルト
云フヤウナ方法ヲ執リタイ、斯ウ思ツテ居ルノデアリマス

○川島委員 東洋拓殖株式會社ト、ソレカラ新ニ朝鮮拓殖株式會社、南
洋拓殖株式會社、此三社ノ性質ナリ、法文ノ立前ナリヲ御考願ツテモ、
ヤハリ是ハ同ジヤリ方デアル、言換ヘレバ政府ガ社長ノ任免權ヲ御持チ
ニナルト云フヤリ方デアルト云フ風ニ、御考ナサツテハ如何デアアルカト
云フコトヲ、モウ一應承ツテ置キタイノデアリマス
○永田國務大臣 其御意見ニ付キマシテモ御尤モナ根據ノアルコトト思

六 社長、副社長ノ任免權ヲ如何ニ スルカ、及第十一條及第十二條 ノ監督權ニ就テ

一 東條委員質疑

○東條委員 一寸簡單ニ御伺シテ置キタイト思ヒマス、一體此社長、副
社長ノ任免權ヲドウスルカト云フコト、ソレカラ第十一條、第十二條ノ
監督權等ニ關スル問題デアリマス、... 確ニ拓務省トシテハ、外地ニア
リマスル特殊會社ニ對シテノ監督權ト云フモノヲ、實際問題トシテシツ
カリト拓務省ニ握ツテ居ラナイヤウニ私ハ思フ、是ハ有ユル機會ニシ
ツカリト拓務省ノ下ヘ掌握サレルコトガ、國策遂行ノ上カラ私ハ必要ダ
ト思フ、此見地カラドウ云フ風ニ御考ニナリマス

一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 中々實際問題トシテムヅカシイ點ヲ御質問ニナリマシ
タガ、拓務行政ノ必要ナ點ト、サウシテヤリ難イ點、又ヤリ難ノ態度ト
云フヤウナコトニ付テハ、御想像ノ通りニ非常ニムヅカシイノデス、斯
ウ云フヤウナ會社ニ付テ、大藏省ノ監督ノ方ガ、拓務省ヨリモ説ガ利ク
ト云フヤウナ意味ノ御話ガアリマシタガ、ソレハ金融ノ問題ヤ何カニ付
テ、大藏省ニ關係ヲ持ツコトガアリマシヤウナ際ニハ、相當大藏省ノ眼
ノ利ク場合モアルト思ヒマス、併シ臺灣總督トカ云フモノヲ、劃一的ニ
拓務省デ監督ヲ徹底サスト云フヤウナコトハ、出來難イノデアリマス、
アノ外地ト云フモノハ本島ト離レテ居ルカラ、距離ヤ何カニ付テモ色々
又影響ヲ及ボシマス、又其場所ノ内容、例ヘバ朝鮮ノ内容ト云フコトニ付

社長、副社長ノ任免權ヲ如何ニスルカ、及第十一條及第十二條ノ監督權ニ就テ

ヒマス、是ハ絕對性ノモノデハゴザイマセヌガ 唯臺灣拓殖會社ノ成立
ト其狀況、臺灣總督ノ地位ト云フヤウナ種々ノコトヲ考慮シマシテ、
臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘル方ガ適當デアラウト云フ程度ノ意味デ、原案
トシテ臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘルト云フ風ニ決メテ居ル次第デアリマス
○川島委員 日本ノ國策上極メテ重要ナ仕事ヲスベキ會社ノ社長ノ任免
權ヲ、一總督ニ其實權ヲ委セルト云フコトハ、極メテ不適當デハナイカ
ト私共ハ考ヘル
○永田國務大臣 此法律案ソレ自體ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトナツテ居リ
マスカラ、此案自體ハ社長ヲ拓務大臣ガ任命スル勅令ニ於テ書イテモ、
或ハ總督ニ於テ之ヲ任命スル勅令ヲ書イテモ、其點ハ融通ノ利クヤウニナツ
テ居ルノデアリマス、而シテ只今ノ御意見ニ付テハ、ソレハ相當ノ理由
ノアルコトデアリマシテ、實ハ餘程考慮ヲ廻ラシタノデアリマス、ソシ
テヤハリ臺灣總督ノ地位並ニ此設立ノ事情ニ鑑ミテ、明文上臺灣總督ニ
任免權ヲ與ヘタ方ガ宜カラウカラ、サウ云フ意味デ勅令ニ書カウト云フ
下心ヲ持ツテ居ルト、斯ウ云フコトニ過ギナイノデアリマス、サウ致シ
マシテモ、ヤハリ只今御話ノ通り、總督ガ臺灣ニ居ツテ考ヘルダケデハ、
實ハ本當ニ適當ナ人ヲ銓衡スルノ不便デアラウカラ、ソレハ宜シク拓
務大臣ノ方デ、總督ト内部的ニ連絡ヲ十分ニ取ツテヤレバ、大キナ不都
合ナシニ出來ルノデハナイカ、此程度ニ考ヘテ居ルノデアリマス

テモ、臺灣ト同ジヤウニ考ヘルコトガ出來ナイト云フ事情ガアリマスル
シ、臺灣ト南洋廳トカ、或ハ樺太トカニ對シテハ、又マルデ考ヘ方ヲ違
ヘナクチャナラヌ、劃一的ニ物ヲ考ヘルト云フコトノ出來ナイ狀態ニア
ルノガ、所謂外地ノ實情デスカラシテ、同ジヤウニ説ヲ利カスト云フヤ
ウナ風ニハ、事實ヤルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレカラヤハリ外
地ノ事情ニ即シテ特殊ノ權限ヲ與ヘナクテハ、外地ノ總督ト致シ、支配
者トシテ異民族ニ臨ムト云フヤウナ場合ニハ、外國ノ例デモ能ク御承知
ノ通りニ、殆ド半獨立國ノヤウナ、或ハ總督ガ一種ノ主權者ノ如キ權威
ヲ以テ臨ンデ居ルヤウナ例モ隨分アル、アリマスケレドモソレ等ハ又土
地ノ民度如何ニ依ツテ、色々相違ガアリマシテ、要スルニ何處ノ眞似モ
出來ナイ、朝鮮ハ朝鮮トシテ何處ノ地方ノ眞似モ出來ナイ、臺灣ハ臺灣
デアツテ何處ノ眞似モ出來ナイト云フ特異性ガ、此外地ノ特異性デア
ルソレニ對シテ拓務省トシテハ、要スルニ朝鮮總督府デヤツタ仕事、臺灣
總督府デヤツタ仕事、サウシテ拓務省デヤツタ仕事、總テノモノヲ括メ
テ年末ノ計算デ其成績ガドウナルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘルベキモノデ
アリマシテ、拓務省トシテノ仕事ハ舉ツテ居ルガ、朝鮮、臺灣ノ仕事ハ
舉ツテ居ラナイデ、總テノ總計算ニ於テハ良クナイガ、拓務省自體ノ仕
事ハ舉ツテ居ルト、サウ云フコトデモイケナイノデ、ヤハリ包括シタ上
ノ成績ヲ舉ゲテ行クト云フコトニシテ、臺灣總督府、朝鮮總督府ノ功績
ハ即チ拓務省ノ功績ナリト云フ太腹デ、之ヲ統治監督シテ行クト云フ態
度ガ、私トシテハ必要デアルト思ヒマス、サレバト云ツテ何等實質的ノ
監督ガ出來ナイ、説ガ利カナイト云ツタヤウナコトデハ、離レテ居ル土
地デアルダケニ種々氣儘勝手ナ、色々紊亂ノ事實ガ拾テテ置ケバ起リ易
イ、其間ノ寬嚴ト云フコトガ中々ムヅカシイノガ此拓務行政デアリマス
サウ云フコトニ付テ色々只今御話ガアリマシテ、洵ニ御尤デアリマスガ
私ノ考ト致シマシテハ、拓務省ノ仕事ハ總テノ他ノ總督ナンカノ仕事ヲ

諭ニベカラザル大キナ範圍ヲ拵ヘテ、其範圍ニ於テ治メテ行ク、其範圍ヲ諭ニルヤウナコトハ嚴ニ之ヲ監督スルガ、其範圍テハ相當ノ自由ナ地位ヲ總督ニ與ヘルト云フノデナクチヤイケナイダラウ、私共トシテハ其間ニ非常ナ苦心ガ存スルノデアリマス、ソレデスカラヤリ様ガ惡ケレバ無用ニ見エルトモ出テ來ルノデアリマスケレドモ、其判斷ヲスル點ニ付テハ、餘程ニ各方面ヲ能ク常識的ニ見テ、判斷シテ行カナクチヤナラヌモノダト、マア大體ノ心持ハサウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

三 鈴木委員質疑

○鈴木委員 社長、副社長、理事三人、監事二人ト云フノハ、任命選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イテアリマスケレドモ、是ハ政府ノ在來ノ例カラ見マスルト、社長、副社長、理事、監事ト云フモノハ大抵ハ官吏上リノ人デアアル、...悉ク官僚バカリヲ採テ居ルヤウナ形ガアルノデアリマシテ、此點ニ付テ如何ナル御意見デアリマスカ

四 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 私モ二十年程役人ヲ止メテ居ツタノデ、民間カラ見タスウ云フ特殊會社ニ付テハ、多少限ニ濃ク映ツテ居ルコトガゴザイマス隨テ鈴木君ノ言ハレルコトニ、成程ト共鳴スル所ハ多クアルノデス、マア今度ノ會社ニ付キマシテハ、熱帯産業調查會ト云フヤウナモノヲ特ニ臺灣テ開イテ、内地カラモ民間ノ有力者ガ行ツテ、色々ソレ等ノ希望ガアリ、又陸海軍カラモ種々ノ希望ガ出テ居ル、サウ云フ各方面ノ種々ノ希望ガ集ツテ出來タノガ、此臺灣殖産會社デアリマス、決シテ臺灣總督一人ノ思付デ出來タト云ツタヤウナ簡單ナモノデヤナイノデアリマス、隨テソレノ社長ヲ選任スルニ當ツテモ、是等ノ成立ノ經過カラ考ヘテ見マシテ相當何人モ請得シ得ル人ヲ選バナクチヤナラヌト云フコトハ、十

分承知シテ居リマス、唯自分邊ガマアアレナラ宜カラウト云ツタヤウナ者ヲ心中ニ描イテ居リマスガ、果シテソレガ承諾スルカドウカト云フコトヲ、非常ニ懸念シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、只今鈴木君ノヤウナ御話ニ付テハ、今シカト胸ニ應ヘル所ガゴザイマスカラ、能ク記憶シテ居リマス

七 第一條第二項及第十四條ノ關係

ニ就テ

松尾委員、北島殖産局長トノ一問一答

○松尾委員 私ハ第一條ニ「命令ノ定ムル所ニ依リ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得」トアリマス、此預金ヲヤハリ條文中中ニ「ツノ掲ゲラレテ居ラレマスルガ、此預金ハ金融機關ノ關係カラ云ヒマス、我國デハ色々ナ銀行ノ系統ト信託ノ系統、信用組合系統等ニ區別サレテ居リマス、ソレカラモウツ監督シテ居ルノハ大藏省ト農林省デアリマスガ、是ハ本業デハナイ、斯ウ云フコトモ出來ルト云フノデアツテ、此目的ヲ別ニ示サレタ要綱ノ中ニハ、預金ト云フコトハ掲ゲテアリマセヌカラ、本業デアリマセヌケレドモ、此預金ノ制度ノ定メ方ニ依リマス、中々金持ハ利潤ニ敏イカラ、少シ歩ガ好ケレバ、コンナモノニ隨分金ガ集ル、ソレガ爲ニ金融ノ統制ノ素レル場合ガアツテ、監督ノ方デ非常ニ困ルヤウナコトガアルガ、一體ドウ云フヤウナ、所謂銀行ノ系統ニ關係スルヤウナ金融機關デアルカ

○北島殖産局長 第一條第二項ニ掲ゲマシタ定期預リ金ト申シマスノハ大體ハ例ト致シマシテハ、現在東洋殖産株式會社ニ實例ガゴザイマスガ、御承知ノヤウニ東洋殖産ハ所謂金融ヲヤウテ居ルト同時ニ、一方事業モ

ヤウテ居リマスガ、此定期預金ノミノ途ヲ開イテ、普通ノ當座其他ノ預金ハヤウテ居リマセヌ、大體其例ニ則ツテ此法律案ヲ拵ヘタ譯デアリマス、御話ノ定期預金ノ内容ニ付キマシテハ、是ハ現在臺灣ニハ勸業銀行ガ行ツテ居リマスシ、勿論臺灣銀行モゴザイマスガ、サウ云フ金融機關トノ關係モゴザイマスノデ、廣イ意味ノ預金業務ヲ此會社ニヤラセルト云フコトハ、是ハ金融ノ系統ノ上カラ申シマシテモ、餘リ面白クナイ、唯全然此會社ニ金融ノ途ガナイト云フコトニナリマス、此會社ト致シマシテハ、之ニモ書イテアリマスヤウニ、移民其他ノ業務モヤリマスシ、或ハ又色々ノ貸付モヤルノデアリマスシ、取引ノアル、或ハ株ヲ持ツテ居ル關係ノ會社モ將來出來ルカモ知レマセヌ、サウ云フモノトノ關係上、斯ウ云フ預金ノ途モ開イテ置イタ方ガ、サウ云フ業務ノ遂行上便宜デモアリマスシ、ト云ツテ餘リ廣クナツテモ工合ガ惡イト云フノデ、命令ノ定ムル所ニ依ツテ非常ニ狭イ意味ノ定期預金ヲ認メル、ソレカラ御話ノ信託預金ノ性質カドウカト云フ御質問ニ對シマシテハ、是ハ東拓ノ例ニモ大體則ツテ居リマシテ、普通ノ銀行ノ定期預金ト同ジヤウナ性質ノモノト了解願ヒマス

○松尾委員 是ハ東拓ノ關係モアリマスシ、合セテ御尋致シマスガ、サウ云フ東拓ノ業務ノ上ニアルト云フコトカラ考ヘマシテ、大藏省ハ之ヲ監督スルモノト見テ宜シウゴザイマセウカ

○北島殖産局長 此會社ハ大體拓務省並ニ臺灣總督府デ、監督スルコトニナルト思ヒマス、監理官ナシカモ恐ラク臺灣總督府内ニ置クコトニナリマシテ、直接大藏省トシマシテハ、此會社ニ監督スルト云フコトハ、目下ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ

○松尾委員 此株式ノ資本ノ出資方法ガ、政府ガ一千五百万圓、アト一千五百万圓ハ政府以外ノ出資ニ求メルト云フコトニナルガ、其株式ノ申込ノ仕方等ハ、ヤハリ商法ノ規定ニ依ツテ總テ御取扱ニナルノデスカ、

又ソレトモウツハ二般ニ公募スルヤウナ方式ヲ執ラレマスカ、或ハ他ニ特定シタル何カ出資ノ目標ガ、今日大體付イテ居ラレルノデアリマスカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイ

○北島殖産局長 會社ノ設立ニ付キマシテハ、本法ノ附則ニモ極ク簡單ナ條項ヲ入レテ、細目ハ勅令ニ規定スル積リデアリマシテ、其勅令モ御手許ニ送ラゲテアツタト思ヒマスガ、要スルニ此會社ノ設立ニ付キマシテハ、設立委員ヲ政府デ任命致シマシテ、設立委員ガ定款ヲ作ル、其外一切ノ事務ヲヤリマシテ、サウシテ大體十月時分ニナリマシタナラバ、新シイ會社ノ者ニ引渡スト云フ順序ニナルノデアリマス、其點ニ於キマシテハ商法ノ普通ノ設立方法デナクテ、特別立法ノ此特別法ニ基キタ設立ノ方法ニナル譯デゴザイマス、出資ノ點ニ於キマシテハ、此資本金三千五百万圓ノ中千五百万圓、半額ダケハ官租地ヲ現物出資スル譯デゴザイマス、現物出資ト云フコトハ、此法律ノ中ニモ金錢以外ノ財産ヲ出資スルト云フ條項ガ入ツテ居リマスガ出資ニ關スル規定ハ大體商法ノ規定ニ準據シテ、出資ノ手續ヲ致ス積リデゴザイマス、ソレカラ其他ノ民間ノ千五百万圓ノ株式ニ付キマシテハ、或ハ臺灣内ニ於ケル特殊ノ、例ハ製糖會社トカ、サウ云フ特殊ノモノニ對シテ、一部株式ヲ引受ケテ貰フト云フヤウナコトハ、是ハ將來會社ガ出來マシタ上ニ於キマシテモ、土地ノ經營其他ノ關係上、或ハ必要カト思ツテ居リマスガ、一般ノ民間ニ對シマシテモ或ル程度株式ヲ公募スル必要ガアルト思ツテ、其豫定デ以テ進ンデ居リマス

○北島殖産局長 評價委員ノ組織ハ大體勅令ヲ以テ規定スル豫定デゴザイマス、其額觸レハマダ決定致シテ居リマセヌガ、御話ノ通り關係ノ役人以外ニ、民間ノ人モ或ル程度入レル豫定デゴザイマス

○松尾委員 ソコデ政府ノ出資致シマス千五百万圓ノ代物ノ第一回ノ拂込ハ、ヤハリ一般ノ株主ノ拂込ガ四分ノ一デスカラ、是モ四分ノ一拂込

ト見テ宜シイノデゴザイマスカ

○北島政府委員 政府ノ現物出資ニ付キマシテハ、一般ノ商法ノ規定ニ基キマシテ、全額拂込ノ株式ヲ交付スル積リデアリマス。隨ヒマシテ大體千五百萬圓ニ相當スル官租地ヲ、全額同時ニ最初カラ出資スル豫定デアリマス

○松尾委員 サウ致シマスト私ハ代物出資ノ評價ノ點ニ付キマシテ、利潤ヲ本トシテ評價スル場合、不動産ノ評價ノ如キハ利潤ノ少イモノデモ、相當ノ價格ヲ持ツテ居ルモノガアルノデスガ、斯ウ云フ場合ニ於テハ利潤ヲ本トシテ還元シテ、ソレノ價ヲ評價サレト云フコトデナケレバナラヌト思ヒマスガ、其點ヲ念ノ爲ニ御致シテ置キマス

○北島政府委員 官租地ノ評價ニ付キマシテハ、評價委員ヲ設ケマシテ十分慎重ニ審議シテ豫定デゴザイマスガ、今ノ所目標ト致シテ居リマスモノハ、現在一萬八千甲バカリノ官租地ニ付キマシテ、小作料ノ收入ト致シマシテ、大體百十二萬圓見當ノ收入ガゴザイマス、之ニ對シマシテ之ヲ會社ニ出資シタ場合ニハ地租附加稅其他又徵收ノ費用モゴザイマスガ、サウ云フモノヲ差引キマス、大體約八十萬圓見當ニ利益ガナルダラウト思ツテ居リマス、サウシマスト八十萬圓ノ之ヲ何分デ還元スルカト云フコトハ餘程問題ダト思ヒマス、假ニ五分五厘——六分足ラズデゴザイマスガ、サウシマスト千五百萬圓程度ガ適當デハナカラウカ、尤モ内地ノ土地ノ利潤カラ見マスルト云フト、五分トカ六分トカ云フコトハ、ソレハ非常ニ高イデハナイカト云フ御考ガ、當然湧イテ來ルカト思ヒマスガ、其點一般ニ御承知ノヤウニ、内地ニ較ベマス朝鮮、臺灣ノ利子ハドウシテモ内地ヨリモ高クナツテ居リマス、其關係カラ多少考慮シナクテハナラヌカト思ヒマス、ソレカラモウ一ツハ現在國有財産ノ臺帳ニ登錄シテ居リマスガ、其登錄ノ價格ガ現在約千四百萬圓ト云フコトニナツテ居ル、其點ヲ配合ヒマシテ、大體千五百萬圓見當ト云フコトニ、

考ヘテ居リマス、唯現在臺灣總督府ノ財政ハ相當巨額ノ歳入モゴザイマスノト、又一方當然大キナ歳出モゴザイマスガ、此程度ノ歳入ノ減少ヲ來シマシテモ、臺灣總督府ノ特別會計ノ財政上ニハ、非常ナ影響ハナカラウト考ヘテ居リマス

○松尾委員 ソレカラ私ハモウ一ツ最後ニ御尋シタイノハ、此第十四條ニ掲ゲラレテ居リマス政府以外ノ株式ニ對スル配當ガ年六分ヲ超過シテ更ニ又總株式ニ年六分ノ配當ガ出來ルヤウニナツテカラ一ト四ノ割合ニナルノデスカ、是ハ一般ノ株式ニ對シテ六分ノ配當ガ出來ルヤウニナツテカラノ超過額ニ對シテハ、一ト四ノ割合ニ配當スル意味デスカ、其一ト四ノ割合ト云フノハ、何カ據ル所ガアツテ此割合ヲ決メテ居ラレルノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ

○北島政府委員 十四條ノ趣旨ハ後段デ申サレマシタヤウナ趣旨デゴザイマスガ、大體政府ノ持株ニ對シテハ、民間配當ニ六分ノ配當ヲシ得ル迄ハ政府ノ持株ニ對シテハ配當シナクテモ宜シイ、ソレカラ六分ヲ越ユテ、例ヘバ民間ニ對シテ七分配當ヲシ得ルヤウナ場合ニ於テハ、政府ニ對シテ四分ヲ配當スル、ダカラ民間配當七分ノ場合ニハ政府ニ對シテハ四分、八分ノ場合ニ於テハ政府ニ對シテ八分、ソレ以上ハ勿論九分デシタラ九分、一割デシタラ兩方一割、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、ソレカラ斯ウ云フ例ト致シマシテハ、現在臺灣電力株式會社ノ實例ノ中ニ、大體是レト同ジヤウナ規程ガゴザイマスガ、是ハ所謂政府ノ持株ニ對スル率ガ是ト變ツテ居ル、臺灣電力ニ關スルモノハ此六分ト云フノガ八分ニナツテ居ル、ソレカラアトノ均一ノ割合ニ達スル迄ハ一ト四ト云フノガ、臺灣電力ハ一ト二トナツテ居ル、然ルニ臺灣電力ハサウ云フ風ニ非常ニ良クナツテ居リマスガ、此法案デハ多少下ゲマシタノハ、大體現在ノ色々ナ金利其他ノ關係カラ申シマシテモ八分トカ或ハ政府ニ對シテ一ト二ト云フノハ、現在カラ見マス、ソレデハ少シ良過ギハセヌカ

興中公司ト臺拓トノ關係、南方進出ニ依リ國家ニ損害ナキヤ、臺灣東部ノ移民問題、臺灣ノ教育制度等ニ就テ

一應ノ決定ハ致シタノデアリマス、併シ勿論最後ノ決定ハ、評價委員會デ嚴正ナ評價ヲシテ貰フ積リデアリマス

○松尾委員 サウナリマス、斯ウ云フコトガ起ルヤウニ考ヘラレルノデスガ、是ハ既ニ總督府ノ毎年財産カラ上ル收入ハ、歳入ニ計上サレテ居ルト思フ、財産トシテハ今度ハ不動産ガ株式ニ變ルカラ、財産ニハ變動ハナイト思ヒマスガ、此案ヲ見マス、數年間ハ少クトモ配當ガ出來ヌヤウニナツテ居ル、一般ノ株ニ六分ノ配當ガ出來ル迄ハ、此政府ノ方ノ配當ハセナイト云フコトガ明ニ示サレテ居リマスカラ、會社ノ創業當時カラ直チニ大キナ利益ガ出ナイコトハ、普通ノ狀態デアリマスノデ、何年間ト云フモノハ臺灣總督府ノ歳入ガ是ク減ルノデハナイカト思ヒマス、ソレハモウ減ルト云フコトハ明カダラウト思ヒマス、減ツタ場合ハソレラドウスルカ、勿論大藏省デモ其點ハ承認ラシテ居ラレルダラウト思ヒマスガ、其減ツタモノハ結局ヤハリ國民ガ負擔スル、不足ダケハ之ヲ一般ノ財政ノ方カラ繰レナケレバナラヌト云フコトニナリハシナイカ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○北島政府委員 大體御話ノ通りデゴザイマシテ、現在百十二萬圓見當ノ收入ガアツテ、多少ノ經費ハ掛リマシテモ相當ノ財源ハ現在總督府トシテ入ツテ居ル譯デアリマス、然ルニ會社ニ現物出資シマシテ、株式ヲ取得致シマシタ場合ニ於テハ、其會社ノ收支ハ只今御話ノ通りニ、初メノ間ハ恐ラク配當ヲ期待スルコトハ困難デアラウト、吾々モ豫想致シテ居リマス、唯配當ハゴザイマセヌデモ、當然地租或ハ所得稅ト云フモノガ多少ハ入ツテ參リマス、併シソレハ二十萬カソコノ金額デアリマシテ、到底現在ノ收入全額ヲ之ニ依ツテ補フコトハ、無論不可能デアルト吾々モ考ヘテ居リマス、唯將來、或ハ十年ナリ、モツト先ニナリマスレバ、多少ノ配當ヲ豫想シ得ルト思ヒマスガ、財源關係ニ於キマシテハ、或ル程度現在ニ較ベマシテ、臺灣總督府ノ歳入ガ、減ルモノト

一ト四、此程度ノ方ガ宜クハナイカト云フ譯デ、此程度ニ直シタ譯デアリマス

○松尾委員 甚ダ聽取リニクカツタノデスガ、超價額ヲ一ト四ノ割合ニ配當スル、其方法ハ超過シタ金額ヲ一ト四ノ割合ニ割ルノデスカ、超過シタラ七分ニナレバ一方四分、政府ノ方ニ四分配當スル、五分ノモノヲ四ト一ニ配當スル、超過シタモノヲ一ト四ニ配當スルノデスネ、一寸解釋ガシタイ、今アナタノ御話デハ六分ノモノガ七分ニナツタ場合ニハ其七分ニナツタ場合ノ一分ヲ四ト一ニ割ル、斯ウ云フ譯デスネ

○北島政府委員 是ハ御説明ノ仕方ガ拙カツタカモ知レマセヌガ、要スルニ六分ヲ越エタル利益金額ハ、一ト四ノ割合デ民間ト政府ニ分ケルト云フ趣旨デゴザイマシテ、結局民間ニ對シテ七分ノ場合ニハ、政府ニ對シテ四分、民間ガ八分ノ場合ニハ政府モ八分、斯ウ云フコトニナルノデアリマス

八 興中公司ト臺拓トノ關係、南方

進出ニ依リ國家ニ損害ナキヤ、

臺灣東部ノ移民問題、臺灣ノ教

育制度等ニ就テ

片山委員、永田拓務大臣、平塚臺灣總務

長官トノ一問一答

○片山委員 興中公司ト云フ民國ニ事業ヲスル會社ガ出來タ管デアリマス……此會社ト今度造ラレマス臺灣拓殖株式會社トノ關係……南支、南

洋進出ト云フ聲ガ甚ダ高クナリマシテ……此當時ニ於テ相當之ヲ援助スルニ力ヲ盡シタノデアリマスガ、其經過ハ思ハシクナカッタ……我々國家ニ多大ノ損失ヲ與ヘタト云フコトハ注目ニ値スルコトデアリマス、是等ノ原因ヲ能ク御究メニナツテ居ルコトハ信ジマスガ、其邊ノコトヲドウカ出來ルダケ詳シク御説明ガ伺レバ幸ヒデアルト存ジマス

○永田國務大臣 サウ云フ事柄ハ實ハ片山君ノ方ガ私ヨリ能ク知ツテ居ラレト考ヘルノデアリマスガ、第一ノ興中公司ノコトハ、是ハ滿鐵ガ控ヘテ居ツテ出來タ會社デアリマスガ、是モ南ノ方ニ於テモヤハリ其仕事ヲスルコトニナツテ居リマスカラ、自然地域ニ於テハ重複スルヤウナ場合モアリ得ルノデアリマス、唯事業性質其他ニ於テ、サウ云フ場合ニハ興中公司デヤルヤウニスルシ、又此方ノ方デヤル方ガ便利デアルト云フ時分ニハ、此方デヤル、其間ニ於テハ十分ノ協調ヲ保ツヤウニハ考ヘテ居リマス、既ニ興中公司ノ方デモ、此會社ノ要綱等ニ付テ色々内容ヲ調ベタリ、色々シテ居リマスヤウナ次第デ、能ク打合セテ行ケバ決シテ五分統制ガ出來ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ今「マレー」半島デ護謨ノ栽培ニ失敗スルト云フヤウナコト、或ハ其ノ他ノ南洋デ色々ノ事業ヲ企テタリ、或ハ移民ナンカモヤツタリシテ、其間ニ製材事業ヲヤツタリシテ居ルヤウナ事柄ニ付テモ、失敗ノ歴史ガ實ニ多クアリマス、是ハドウシテモ冒險ガ伴フモノデアルカラ、ウマク行ク場合ト失敗スル場合トガアルシ、又ウマク行クベキ性質ヲ持ツテ居リナガラ、金融ノ都合ガ付カナイガ爲ニ、ミスノ有利ナ事業ヲ棄テテ歸ラナケレバナラヌト云ツタヤウナ境遇ニ立ツタ、極メテ殘念ナ場合モ多クアルノデアリマシテ、是等ノ實情ハ、隨分是マデ日本ノ實業家トシテハ、皆苦シイ經驗ヲ嘗メテ居ルノデアリマス、隨テ此會社設立ニ付キマシテ、社長其人ニ對シテ非常ニ重キヲ置カナクテナラヌト云フ皆サンノ御意見ニ、全ク御同感ナリ

由ハ 此會社ハ一面ニ於テ大イニ勇氣ヲ出シ、サウシテ冒險モ、多少ノ危險性モ見ナケレバナラヌノデアリマスガ、同時ニ又餘リニ無謀ノ行キ方ニ依ツテ調査ノ不十分ナ所、サウ云フヤウナ場合デ失敗ヲ來シタリ、或ハ氣ヲ付ケル所ノ行キ方、注意スベキ點ニ杜撰ナ所ガアル爲ニ失敗ヲ來ス場合ガアル、ソコデサウ云フ失敗ヲナクスル爲ニハ、是ハドウシテモ社長其人ニ、相當斯ウ云フ方面ニ付テ經驗モアルシ、又サウ云フコトニ拔リノナイ人ヲ得ナケレバナラヌノデアリマシテ、斯ウ云フ所ヲ非常ニ苦心シテ居リマスガ、サウ云フ失敗ヲシタ事柄ニ付テノ實情ハ、少シ知リ過ギル程知ツテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ十分氣ヲ付ケテヤル積リデアリマスガ、サウ云フコトガアツタカラト云ツテ、今默ツテ居ル譯ニ行カナイノデ、已ムニ止マレヌ此世界ノ、日本民族ニ對スル周圍ノ重壓ニ對シテ活動ヲ努メナケレバナラヌ、斯ウ云フコトデヤルノデアリマスカラ、十分注意スル積リデアリマス

○片山委員 臺灣ノ教育制度ガ段々大キクナツテ來マシタニ付キマシテ其基本財産ヲ作ルコトガ宜カラウト云フ意味デ、總督府ニ於キマシテハ是ガ計畫ヲ立テタコトガアツタヤウニ心得テ居リマス、其當時ニ於キマシテ官有林野、就中山林ノ有望ナモノヲ之ニ充ツルト云フノデ、是ハ當時ノ中央政府ニ對シマシテモ、相當進シテ居ツタノデアリマスカ、此參考資料ニ依リマスルト、臺灣拓殖株式會社ハ林業ノ經營ヲモ爲ストナツテ居リマスガ、其邊ノ關係ハ御考慮ニ入レテアリアマサルノデアリマセウカ、其邊ヲ御伺シマス

○平塚政府委員 教育ノ振興ニ付キマシテ、其基本財産等ニ付キマシテハ、只今ノ所總督府直營ノ學校等ニ關シマシテハ考慮ヲ致シテハ居リマセウカ、唯片山君ノ御質問ハ大學田等ノコトデナカラウト考ヘマスルガ、是ハ大學田ハ大學田トシテ、從來ノ通りニ存續致シテ居リマス、尙ホ教育制度ノ發達ニ付キマシテ公學校其他ニ於テハ非常ナ經費ヲ要シマスルノデ、街庄詰リ地方團體ニ對スル基本財産ヲ提供シテ行キタイト云フ意味ヲ以チマシテ、總督府ノ方ニ於キマシテハ、街庄ニ基本財産トシテ與ヘタト云フモノガ澤山ゴザイマス、ソレハ取除イテゴザイマス

マシタ結果、又總督府ノ方ニ於キマシテモ、出來得ルダケノ援助ヲ致シマシタ結果、東部臺灣ニ於キマスル移民村ハ、益々良好ナル成績ヲ迪ルヤウニ相成ツタ次第デアリマス、尙ホ煙草移民或ハ西部ニ於テノ移民村ノ其後ノ經營ニ付キマシテハ、從來ノサウ云フ點ヲ考慮致シマシテ遺憾ノナイヤウニ注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、殊ニ煙草移民等ニ於キマシテハ、内地ノ人々ガ最も特色トスル點デアリマスカラ、内地ノ移民ヲ招致スル上ニ於テ極メテ適切ナ移民事業デアルト信ズルノデアリマス、斯ク致シマシテ從來失敗ヲ致シタト考ヘテ居リマスル唯甘願ノ耕作ニノミ偏シマシタモノヲ、西部方面ノ移民村ニ於キマシテハ、其他ノ特殊ノ作物等モ獎勵致シマシテ、所謂多角形ノ農業經營ヲヤツテ、效果ヲ擧ゲルヤウニ注意ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○永田國務大臣 片山君ヨリ先刻「ボルネオ」ノコトニ付テ一寸御尋ガゴザイマシタガ、南洋各地ノ事情ニ付テ、他ノ政府委員カラ此際申上ダラバ宜シカラウト私ハ考ヘテ居リマス、若シ御差支ナケレバ速記ヲ止メテ、他ノ政府委員ヨリ申上ダタイト思ヒマス

九 臺拓ノ活動範圍、此會社ガ果シ

テ成功スルカ、社長ノ任免權、

臺拓ノ活動範圍此會社ガ果シテ成功スルカ社長ノ任免權、業務ノ監督權、臺灣總督ノ武官制及文官制ノ可否ニ就テ

此點ハ洵ニ私聞イテ居リマシテ、双方無理ノナイ根據ニ依ツテ之ヲ主張
サレルモノト思ヒマス、ソコニ外地行政ト、内地行政トノ特異性ガアル
ノデアリシテマ是ハ只今木下君ノ言ハレルコトハ、會テ臺灣總督府ニ御
在職ニナツタ時ノ御經驗カラ、サウ云フ御考ヲ持ツト云フコトニ付テハ、
是モ無理カラヌコトデ、サウ云フ感シノ浮ブコトモ無理カラヌ點ガア
ルト思ヒマスガ、同時ニ外地ノ監督ト云フコトニ付テハ、餘リニ打棄テ
テ置イテモイケナイガ、又小サイコトニハ餘リ干涉シ過ギテモイケナイ
ト云フコトガ本當ノコトナリデアリマス、ソレデ私トシテハ大體ニ於テ
、大所高所カラ見テ大體ノ所ハ、是ハ臺灣總督ノ威嚴ヲ保チ、權能ヲ
尊重スルト云フ風ニシテ行キタイ、斯ウ云フ風ナ心持ハ私常ニ持ツテ居
ルノデ、此會社ノ問題ニ付キマシテモ、實ハ社長任免ト云フコトハ明文
上臺灣總督ニシタイト云フコトニ致シテ居リマスノモ、亦其心持カラ出
テ來タモノデゴザイマス、先刻ハサウ云フコトハ宜クナイト云フコトノ
強イ御意見ヲ承ツタノデアリマスガ、當局トシテハ總督ノ地位ヲ考慮シ
マシテ、此社長ノ任免ヲ明文上總督ニ委ネテ行ク、斯ウ云フ積リテ居リ
マス、然ラバ總督ノコトヲ總督ニ委シテ置ケバ宜イデハナイカト云フコ
トニ付テハ、是ハ此法文デナク、勅令ニ讓ラレテ是カラ決メルコトデア
リマスケレドモ、ヤハリ臺灣島内ニ於ケル事務ト、ソレカラ南支南洋、
外國ニ於ケル事務トニ付テハ、拓務省トシテハ其仕事ノ内容ニ付テ自ラ
監督ノ方法ヲ異ニスル方ガ實際ニ適スルノデハナイカ、サウ云フ場合デ
モ、私ク心持トシテハ臺灣總督ノ意向ヲ聞キ、意見ヲ聞イテ參考ニシナ
ケレバ、容易ニ外國トノ關係ノコトモ決メヨウトハ思ツテ居リマセケ
レドモ、併シ外國ノコトニナリマス云フト、外務省トモ交渉ガ常ニア
ルノデアリシ、又先刻カラ色々御尋ニナル所ノ他ノモノ——東拓トノ關
係ガ出來タリ、興中公司トノ關係ガ出來タリ、色々ト時ニハ又他ノ方面
トノ交渉モ起キマス、サウ云フ風ナ場合ニ、臺灣總督府ガ直接ニ總督ノ

コトヲ監督シテヤルト云フコトヨリモ、拓務省ガ直接ニヤルト云フ方ガ
便利ナ場合モアリ得ルト思フノデ、ソレハ其仕事ノ内容ニ依ツテ或ル程
度中央ノ方デ直接ニヤルトコトガ寧ロ實際ニ適シテ居ル、サウ云フ風ニ考
ヘルノデアリマスガ、勅令ニ於テハ先ヅ外國ニ關係シタ事務ハ、主ト
シテ拓務省ガ直接ニヤルト云フヤウナ立前デ進ミタイト云フ積リテ居リ
マス、御意見ノ程、御精神ニ付テハ十分能ク此上トモ研究ヲ致シマス
○木下委員 拓務大臣ノ肚ノ中ニ武官總督デモ宜シイ、シテ見ヨウト云
フ積極的ノ考デモ有ツテ居ルカノヤウニ疑ハレル虞ノアルコトデア
リマスカラ、私ハ此際ニ、文官ガドウ云フ點ニ於テ御都合ノ點ガデ
ルカト云フヤウナコトヲ、具體的ノ御話ヲ承リ、又文官デ更ニ不都合デ
ナイト云フ考ヲ私ハ有ツテ居リマスガ、斯ウ云フコトニ付テハ何カ特ニ
御意見ヲ承ルコトガ出來マスレバ、大變仕合ニ存ジマス
○永田國務大臣 文官ト武官トノ得失ニ付テ色々御尋デゴザイマシタガ
是ハ要スルニ人ニ依ルノデ、唯武官ト云フモノハ斯ウ云フモノ、文官ハ
斯ウ云フ傾向ガアルト云フコトヲ極ク抽象的ニ決メテ見ルト、兩方ニ得
失ガアルト云フコトヲ申上ゲタノデ、要スルニ是ハ人ニ依ルコトデア
リマス、併シガラ朝鮮ナラ朝鮮デ武官ノ人ガ或ル時期ズツト積リテヤツテ
居ル、初ハ伊藤統監トカ、曾根統監トカ云フ文官ノ方ガヤツテ居ツタコ
トモアルガ、後ハ續イテ武官ノ人ガヤツテ居ル、然ラバ武官ニドワ云フ
點ガアルノダト、斯ウ云フ風ニ聞カレルト、ソレモヤハリ斯ウ云フ
コトガ惡イト言ヒ惡イノデス、ソレカラ臺灣ニ於テモ文官ガドウ云フ所
ガ惡イノダト云フコトハ、ソレハ一寸申上ゲ惡イ、ソレハ要スルニ其人
ニ在ルノデアリマシテ、決シテ今マデノ經歷ガ「サール」下ゲテ居ツ
タカラドウ、下ゲテ居ラナイカラドウト云フコトハナイノデス、抽象的
ニ言ヒマスト異民族ノ統治デアリマスカラ、或ル時期ニハモウ少シ恩威
ヲ十分ニ兼備ヘシメル爲ニハ、或ル時期トシテハ恩ヲ多クスルコトヲ望

ム場合ガアルシ、或ル時分ニハ威ヲ強クスルコトガ必要ダト感ズル場合
ガアル、其時々ニ依ツテ文官ノ出身ノ人ノ方ガ都合ガ好イトカ、武官ノ
人ノ方ガ都合ガ好ク感ズルト云フコトガ有り得ルノデ、是ハ極メテ抽象
的ノモノデアリマス、總テハ其人ニアルノデ、今マデノ經驗ノミニ依ル
ベキモノデハナイノデアリマス、隨テ故ラニ文官ガドウ云フ缺點ガアル
ノダ、武官ニハドウ云フ缺點ガアルノダト云フヤウナコトヲ申シマスル
ト、恰モ今ノ朝鮮總督ハ武官デアラドウ云フ缺點ガアル、今ノ臺灣
總督ハ文官デアラドウ云フ缺點ガアルト云フヤウナ指摘ヲシタルガ
如ク、誤解ヲサレマス洵ニ困ル、ソレデ其話ハ唯人ニ在ルト云フコト
ニシテ、從來ノ經歷ダケニ依ツテドウ云フ經歷ノモノデナクチヤナラヌ
ト決メルコトハ、任用ノ範圍ヲ狭クスルモノデ面白クナイ考ヘ方ダト、
此程度ニ御了解ヲ願ヒタイト思ヒマス

○永田國務大臣 委員長ノ御心配ハ御尤ト思ヒマス、其職ニ在ル人ニ對
シテハ、拓務大臣トシテハ絕對ニ信頼シテ居リマス、隨テ今日何等更迭
ノコトニ付テ私一人トシテハ考ヘテ居ル所ハゴザイマセヌ
一一 法文中ノ政府トアル意味ニ
就テ
木下委員、永田拓務大臣、北島殖産局長
トノ一問一答

一〇 臺灣總督ノ文武官制ニ就テ
櫻井委員長拓相ノ答辯ニ對スル希望
○櫻井委員長 一寸拓務大臣ニ希望ヲ申上ゲマスガ、ドウモ質問ニ對ス
ル御答辯ガ少シ外レテ居ルヤウニ思フノデアリマス、質問セラルルノハ
現在並ニ近キ將來ニ於テ臺灣總督ヲ武官ニ更迭サレルヤウナ模様ガアル
ガ、ソレニ對シテドウ考ヘテ居ラレカト云フコトヲ質問サレテ居ルノ
ニ對シテ、文官ト武官ノ優劣論ヲ以テ御答ニナツテ居ルヤウデ、其點ハ
今マデノ御答辯ハ質問ニ對シテ外レテ居ルヤウニ思ヒマス、尙ホ更ニ質
問者ノ意思ハ、或ハ進ンデ現在 陛下ノ御信任マシマス所ノ總督ガ現存
シテ居ルノニ、監督ノ地位ニアル拓務大臣ガ其優劣論ヲヤルト云フコト
ハ、ソレ自體ガ既ニ更迭ノ意思アリトモ考ヘラレラドウカ、斯ウ云フ
意味モ含ンデ居ルノデチヤナイカト思ヒマスカラ、ソレヲ點テ御含ミノ
上ニ一ツ御答辯ヲ願ヒマス

○木下委員 此條文中ニ、政府ト云フ字ヲ盛ニ使ツテアルノデアリマ
スルガ、大體此政府ト云フ意味ハドウ云フ風ナ考ヘデアリマスルカ、各
條ニ依テ勿論違フノデアリマセウ、第二條又ハ第十條、第十二條、何レ
モ違フコトデアルト思ヒマスルガ、凡ソハ是ハ臺灣總督ト云フ風ニ解シ
テ宜シイノデアリマスルカ
○永田國務大臣 政府ガ之ヲ監督スルト云フコトハ臺灣總督カ、或ハ拓
務省カト云フコトニ付テハ、大體ノ方針ハ前ニ申述ベマシタヤウニ、島
内ニ關係ノコトハ臺灣總督ガ直接ニ監督ヲスル、島外ノコトハ拓務省ガ
直接ニ監督ヲスルト云フ立前デ行キタイト思ツテ居リマス、又雙方ニ跨
ルヤウナコトニ付テハ自然拓務省ガ直接ニ監督スルヤウニナルト思ツテ
居リマス
○木下委員 今ノ御答ガ甚ダ不明確ナコトデアリマスカラ伺ヒマス……
○永田國務大臣 皆様ノ御希望ノアル所ハ、勅令ヲ制定スル場合ニ當ツ
テ十分ニ研究ヲ加ヘテ決定シタイト思ツテ居リマス

○木下委員 大體ノ御考ハ分ツタヤウデアリマスガ、勅令ヲ決メルト云フコトハ、結局官廳限リノコトヲ議會ノ協賛ト云フモノノ要ラナイコトデアリマスカラ、吾々ハ此法案ノ説明ノ際ニ政府ト云フモノハドウ云フ意味デアリカト云フコトヲ、念頭ニ置イテ此法律ト云フモノノ協賛ヲスルノデアリマスカラ、大體ソレニ依ツテイツ迄モ吾々ノ意思ガ相當ニ傳ツテ行クト云フコトガ又必要デアラウト思フ

○北島政府委員 只今監督權ノ問題ニ關シマシテハ大臣カラ御答辯ノアリマシタ通り、何レ斯ウ云フ事項ニ付テハ何處デヤルカト云フ勅令審議ノ際ニ決定スベキモノト存ジマシテ、今此處デ以テ一寸ドノ點ハドウスルト云フコトハ私カラ申上テ兼ネルノデアリマス、唯普通立法ノ際ニハ斯ウ云フ會社ノ監督ナンカニ付キマシテハ、斯ウ云フ風ニ政府ト云フ文句ヲ使ヒマス、現ニ東洋拓殖株式會社モサウナツテ居リマスシ、他ニ意政府トカ何トカ云フ文句ヲ使ツタ例ハ澤山アルト思ヒマス、其場合ニ、場合ニ依ツテハ主務大臣ガ監督ヲスルト云フコトヲ勅令ヲ以テ規定シ、或ハ其以下ノ下級官廳デ之ヲヤルト云フコトヲ規定シタリ、或ハ全部主務大臣デヤルト云フコトヲ規定シタリ、要スルニ政府ノ權限ノ内容ニ付キマシテハ、所謂官制ノ規定デアリマシテ、自ラ別箇ノ方法ヲ決メテモ、先例カラ申シマシテ別段差支ナイノデアリナイカト考ヘテ居ルノデアリマス

一一 拓務省存置ノ理由

一 宮古委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○宮古委員 拓務省ヲ廢止スルト云フコトハ無論出來ナイ、拓務省ハ存在セシメテ置カナケレバナラナイト云フ其理由、其理由ニ付テノ拓務大臣ノ御意見ヲ先ツ承ツテ見タイト思ヒマス

ニ種々ノ經緯ガ生ズルコトハ免レナイノデアリマス、唯現在ノ日本ノ立場トシテイマ年々殖エテ來ル人口ヲドウスルカト云フコトニ對シテ、種々ノ施設ヲ行ツテ居リマスガ、今ノ私ナンカノ考ハ、マア有ユル所ニ出ラレル所ハ如何ナル所デモ出テ行クト云フ方針ノ下ニ進ンデ行クノデアリマシテ、北進、南進、ト云フヤウナコトハ考ヘテ居ラヌノデ、東進、西進、南進、北進何デアラウト、何處デモ出テ行ク所ニ出テ行クト云フ積リデアリマシテ、既ニ滿洲ノ方ニハ今マデ試驗移民ノ時代ヲ經テ、是カラ出來得ルダケ多數ニ滿洲ノ方ニ移民シタイト云フコトニ付テハ、他ノ或ル機會ニ度々申上テタノデアリマスガ、此委員會デハマダ申上テナイ所デゴザイマス、是ハ豫算ニモ現ハレテ居リマスガ、要スルニ今マデ四回ニ亙ツテ團體移民ガ千八百戸ダケ出テ居ルノデアリマシテ、ソレヲ本年カラハ一千戸送ルト云フコトデアリマス、或ル委員會ニ於テモ一千戸デアツタ所デ先ツ家族ヲ入レテ五千、ソレ位ノコトデ何ニナルト云フヤウナ御話ガゴザイマシテ、全ク其通りデゴザイマス、一千戸ダケデハ進モ我慢ノ出來ルモノデハナイノデ、本年直チニソレヲ澤山ニ殖ヤスト云フコトハ、今ノ豫算面カラハ申上テ兼ネマスケレドモ、明年、明後年ニ掛ケテ、ズツト是カラ約十年ノ間ニハ十萬戸位入レルヤウナ方針ヲ立ツテ行キタイ、斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス、唯御承知ノ通りニ大勢ノ人ヲ向フヘ送り込ダケデハ駄目ナノデ、本當ニ植民ヲシテ、サウシテ自活スルコトノ出來ル境遇ニ置カナクテハ、幾ラ人ヲ連レテ行ツテモ直グ舞ヒ戻ツテ來ル、サウ云フ風ナコトヲシテハ駄目デアリマスカラ、行ツタ限リ戻ツテ來ナクテモ十分幸福ニヤツテ行ケルト云フ風ニシテヤラナクチャナラヌノデ、ソコニ非常ナ苦心ガアルノデアリマスガ滿洲ニ對シテハ積極的ニ澤山送ル意氣込テ以テ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ南洋ノ方面ニ對シマシテモ御承知ノ通りニ「ニューギニヤ」ニシテモ、「ボルネオ」方面ニシテモ、濠太刺利「ニュージラランド」、ソレ等ハ

一一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 私人拓務省廢止ニ反對トカ賛成トカ云フコトヲ明言シテハ居ラヌノデアリマス、行政機構ノコトニ付キマシテ、自分ガ獨立シテ意見ヲ吐クコトヲ差控ヘテ居ルノデアリマシテ、唯私ノ明言シタコトハ、日本ノ現狀ニ鑑ミマシテ拓務行政ハ益々擴大強化シナケレバナラヌモノデアルト云フコトヲ明言シタノデアリマス、又外地ノ利益ヲ代表スル者ガ必ズ閣議ニ於テ、其利益ヲ代表スルモノヲ持タナクテハ噓デア、斯ウ云フコトヲ明言シタノデアリマス、拓務省ヲ廢止スルトカセヌトカ云フコトヲ私ハ一回モ明言ハ致シテ居リマセヌ、其私ノ言ツタコトニ付テ其次ノ御推測ハマア御自由デゴザイマスガ、サウ云フ點ニ付テ私ノ責任上ハツキリ申上テ置キマス

一三 人口問題ニ就テ

宮古委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○宮古委員 拓務大臣ハ將來此人口問題ニ付テドウ云フ風ニ致ス積リデアルカ

○永田國務大臣 人口ノ増加ニ關スル御質問デアリマスガ、中々大問題デゴザイマシテ、容易ニ御満足ヲ與ヘルヤウナ御答ハ出來兼ネルト思ヒマスガ、私ノ考ヘ方トシテハ人口ガ愈々日本ノ内地、又臺灣、朝鮮ヲ通ジテ居レナイト云フタヤウナ張切レルヤウナ狀態ニナツテ來マスレバ、現在ニ於テモ是ハ餘程苦シイ密度ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、此點ガ所謂世界ノ平和ノ上ニ——日本ダケノ問題デハゴザイマセヌ、サウ云フ人口ノ稠密デアツテ、總ジテ領土ノ狭イ所ノ國民ト云フモノハ、ドウシテモ満足スルコトノ出來ナイト云フ境遇ニ居ルノデアリマスカラ、其間

皆人口ノ密度ガ極メテ稀薄デアルノデス、デスケレドモ日本ノ移民ヲ喜ンデ入レルト云フ所ハ稀デアツテ、中々此間ニ付テハ苦心ヲ要スルノデアリマス、是等ニ付テノ努力ハ色々外交方面ト相俟ツテヤラナクチャナラヌノデアリマシテ、ソコニ非常ナ苦心ガ存スルノデアリマス、自主的積極外交ト云フヤウナコトニ付テモ、斯ウ云フヤウナ方面ニ付テ相當ノ努力ヲシテ貰ハナクテハナラヌト私ノ方面デハ考ヘテ居リマス、南米ノ方面ハ今マデハ我が民族ニ對シテ世界中唯一ノ殘サレタル移民地デゴザイマシタガ、最近ニ於キマシテハヤハリ相當ノ制限ヲ加ヘラレテ居リマス、「ブラジル」ナンカモ千九百三十四年ノ憲法改正デ非常ナ制限ヲ受ケテ居リマシテ、僅カニ二千幾ラト云フ程シカ入レナイノガ、ソレガ彼ノ國ノ事情ニ依ツテ日本ニ對シテ相當ノ好意ヲ以テ、憲法改正ノ内容ニ付テ解釋ヲ加ヘテ、サウシテ三千餘リノ者ガ入ルヤウニナリ、更ニ二十四歳以下ノ者ハ之ニ計算シナイト云フヤウナコトニナツテ居リマスノデ、本年凡ソ五千八百人位ハ「ブラジル」ヘハ行ケルヤウニナルカト思ツテ居リマス、「パラガイ」ノ方モ何時カドノ席カデ申上テマシタガ、百戸ダケ試驗移民ヲ送ルコトニナツテ居リマス、是ガ又相當芽ヲ吹イテ來ルカト思ヒマスガ、マダ將來ノコトハ分リマセヌ、本年漸ク百戸ダケ「パラガイ」ニ送ルコトニナツテ居リマス、「ウルガイ」ノ方ハ二百戸入レテモ宜イト云フヤウナコトヲ最近「ニューズ」ニ於テ確實ニ吾々ハ聞イテ居ルノデアリマス、是等ハ將來ドレダケノ發展性ガアリマスガ、要スルニ斯ウ云フ移民ヲシテ行クト云フコトニ付テハ、向フノ國トノ感情問題ガ色々アリマスシ、又吾々ノ方トシテハ餘程移民スル者ノ考ヘ方モアルト思フノデ、私ハ何時モ移民スル者ノ送別ヲヤリマス時ニハ、彼方ニ行ケバ其國ノ忠良ナル臣民ニナレ、サウシテ日本民族トシテノ高級ナル道德ヲ失フコト勿レ、斯ウ云フ風ニ言ツテ居ルノデアリマシテ、ドノ國ニ行キマシテモ其國ニ對シテ好感ヲ以テ迎ヘラレ、サウシテ高級ナル道德ヲ有スル

民族トシテ尊敬セラレルヤウニナラナクテハ移民ハ發展シナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ申シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、其間ノ移民ニ對スル非常ナ苦心考慮ヲ要スルコトガ多クアルノデアリマシテ、吾々ハ此四方カ打開ノ途ヲ講ジナクテハナラヌト云フコトニ關シ、他ノ満足國ニ付テ十分ノ理解ヲ得ルヤウニ努力シナクテハナラヌト心得テ居ルヤウナ次第デアリマス

○宮古委員 ソコデ先ヅ伺ヒマスノハ朝鮮、臺灣、樺太、拓務省デ今監督シテ居ラレル是等ノ所ニハドレ位マデ入レル御考デアリマスカ

○永田國務大臣 ドレダケ入レルカト云フコトヲ此處デ御答スルト云フノハ實ニ困難ナノデ、朝鮮ニ付テモ今二千万人居ル所ニ——朝鮮人ガ今内地ニ六十万人居ルテ、色々社會問題ガ起キタリシテ、實ハ此點モ相當苦心ヲシテ居ルノデアリマスガ、朝鮮人ハ成ベク人口稠密ナ内地ニ來ナイデ、廣イ滿洲ノ方ヘ行ツテ實ヒタイ、ソレデ南鮮ノ方ノ人ハ北鮮ノ方ヘ行キ、北鮮ノ方ノ人ハ滿洲ノ方ヘ行クト云フヤウナ意味ヲ以テ鮮滿拓殖會社ト云フモノガ朝鮮ニ出來ルト云フヤウナ次第デアリマス、隨テ之カラ朝鮮ガ何人包容シ得ルカ、又臺灣ガ何人包容シ得ルカト云フヤウナ數字ヲ的確ニ言フコトハ出來ナイコトデアリマス、確カ上田貞次郎博士ナドガ日本ノ人口ハ先ヅ内地デ九千万位ニナツタナラバ、行止リデアラウト云フヤウナコト何カニ書イテ居ルノヲ見タコトガアリマス、サウ云フ風ナ觀察ヲスル學者モアリマスガ、私ノ常識デハ何モサウ遠慮セヌデモ、マダモツト居レルト思ツテ居リマス、併シソレハホンノ常識デアリマシテ、多數ニナツテ來レバナツテ來ル程吾々民族ガ窒息狀態ニナルノデアリマシテ、之ヲ今カラ何人カハ大丈夫ダト云フコトヲ當局者トシテ責任ヲ以テハ言ヒ得ナイ性質ノモノデ、段々多クナツテ來レバ多クナツテ來ル程苦シイ狀態デアル、然ルニ其時マデ、入レルマデハ吾氣

一四 同種會社ノ統制ニ就テ

鈴木委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○鈴木委員 四ツモ五ツモノ會社ガ茲ニ出來マシテ、同ジ事業ヲヤルヤウナ風ナコトニナルト思フ、廣田内閣ハ統制經濟トカ何トカ申シマシテ統制ト云フコトヲ言ウテ居ラレルヤウデアリマスガ、殆ド茲ニ統制ノ實ガ舉ツテ居ナイノデヤナイカ知ラン、斯ウ云フ風ニ思ハレルノデアリマス、此點ニ付テ拓務大臣ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス

○永田國務大臣 東拓トノ關係ハ前ニモ申上ゲマシタガ、東拓トシテハ朝鮮、滿洲ヲ主ニシテ活動シテ居リマスガ、ソレ以外ニ支那ノ方ニモ南洋ノ方ニモ仕事ヲシテ居ルノデアリマス、併シ主トシテ朝鮮、滿洲ノ方ニ仕事ヲスルノデアリマス、自然此社會ハ臺灣ヲ根據トシテ、臺灣ニ根據ヲ構ヘテ南支南洋ノ仕事ヲヤルト云フノデアリマスカラ、或ル場合ニ南支、南洋ニ付テハ東拓ノ仕事ト重複スルヤウナ風ニ考ヘマスガ、是ハ將來ニ於テハ、自ラ東拓ガ南支南洋ニ於テ仕事ヲスル場合モ少クナル、又特殊ナ場合デナケレバ南支、南洋デ仕事ヲシナイト云フコトニナツテ行カウト思ヒマス、今御話ノ通りニ、外ニモ興中公司ト云フモノガアツテ、是モヤハリ南支ノ方ニハ手ヲ伸バシテ仕事ヲスルト云フヤウナコトニナツテ居リマス、南支ト云フ點ニ付テハ、是モ或ル場合ニ於テハ重リ得ルノデアル、南洋興發ノ方ハ東拓カラ資金ヲ得テヤウテ居リマスガ、是ハ自然今カラ後ニ行フノハ、ヤハリ砂糖ノ仕事ヲシテ南洋廳内ノ開發ヲ主ニシテヤウテ居ルノデアリマシテ、自ラ其仕事ガ遠ツテ居リマス、但シ南洋興發ノ方デハ近頃「ニューギニヤ」ニ對シテ、其砂糖ニ依ツテ會社ノ基礎ガ確實ニナツテ居リマスカラ、更ニ進ンデ「ニューギニヤ」方面ニ於テモ棉ノ試作ヲヤルトカ、色々ノ計畫ヲ今立テテ居リマス、ソレデ

ニヤツテ居ルト云フ譯ニハ中々行カヌノデアリマス、御尋ニ對シテ十分ニ御答ノ出來ナイコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマス

○宮古委員 此土地ハドノ位マデ入ツテモ差支ナイモノデアラウト云フコトナラバ一向差支ナイデアラウト思ヒマス

○永田國務大臣 ドウモチヨツト私トシテハ明答ヲ致シ兼ねマス

○宮古委員 ドノ位マデハ其處ニ收容シ得ルカト云フ問ナラバ、御答ハ差支ナイデアリマセヌカ

○永田國務大臣 篤ト考慮ヲシテ御答申上ゲルコトニ致シマス、此場合ニハ私トシテ明瞭ニ御答スルコトノ出來ナイノヲ遺憾ニ存ジマス

○宮古委員 ソコデ現在ノ世界ノ中デ日本カラ一番多クノ移民ヲ送り得ルト云フヤウナ所ハ今ドウ云フ風ニ御考ニナツテ居リマセウカ

○永田國務大臣 滿洲ト南米ト南洋トヲ考ヘテ居リマス

○宮古委員 臺灣拓殖株式會社ガ是カラ仕事ヲスル中ノ主ナ一ツデアラウト思フノハ南支、南洋ニ於ケル邦人ノ拓殖事業ノ進展ニ協力スルト云フ點ニアルト思フノデアリマスガ、南支、南洋ト言ツテモ可ナリ廣イノデアルガ、是ハドウ云フ風ニナサル御見込デアルカ、南支、南洋ノ方面ニ日本人ヲドシシテ送ツテ、ソレニ資金ノ融通ヲサシテ、ソチラノ方ノ發展ヲ圖リ、日本ノ國益ニナルヤウニサセヨウト云フ方針デアルヤウニ思フガ、其南支、南洋ト云フノハ具體的ニ言ヘバドウチラノ方面デノルカ、ソコヲ申スコトガ出來ラナラバ承リタイ

○永田國務大臣 先ニ申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、人口問題ニ關聯シタコトトシテハ南支南洋ニ於テハ主トシテ經濟的、貿易的ノ方ニ重キヲ置イテ、貿易ト云フノハ語弊ガアリマスガ、經濟的發展ニ付テ重キヲ置クノデアリマシテ、人ヲ送り出スト云フコトヨリモ經濟的發展ト云フコトニ重キヲ置イテ動ク積リデアルノデアリマス、其如何ナル所ニドウ云フ氣持ヲ以テ進ムカト云フコトニ付テハ先ニ申上ゲマシタ

斯ウ云フヤウナ會社ハ、南洋拓殖ノ方トノ關係ニ於テハ、例ヘバ水産ノ方ニ付テハ南洋興發ノ子會社デアアル所ノ會社ハ廢メテ、サウシテ南洋拓殖ノ方ニ併合サレマスガ、其他個人々々ノ水産事業ヲヤル者ハ、南洋拓殖ノ方デ水産ヲ個人的ニヤツテ居ル者ハ援助モシテヤル、多クノ色々ノ會社ガゴザイマスガ、其他民間ニ於テモ尙ホ官廳ニ關係ノナイ會社ト云フモノハ、色々製材會社、或ハ日産ニ關係ノアル會社モ色々活動シテ居リマス、是等ノ色々モノガアルノヲ、總テ一ツニスルト云フノデアリマシテ、ソレ等ノ間ニ連絡ヲ取り、統制ヲ保ツテ行クヤウニシテ行キタイト思ツテ居ルノデアリマシテ、決シテソレガ爲ニヤリ辛ク、混亂シテ競争狀態ニナルト云フヤウナコトハ惹起サナイ積リデアリマシテ、其間ニ却テ相助ケテ、能ク周到ニ仕事ヲ見付ケ出シテ行クト云フ風ニシテ行キタイ、其統制ニ付テハ拓務省ノ關係スルモノノ間ニ於テハ、勿論直接ニ統制ヲ致シマスシ、又興中公司ノヤウナ滿鐵關係ノ方面ニ付テハ、コチラニ於テ能ク連絡ヲ取ツテ仕事ヲシテ行キタイト思ツテ居リマスカラ、統制ト云フ意味ニ付テハ混亂ヲ起サヤウナコトナク、却テ相授ケ合ツテ仕事ハ進ンデ行クヤウニ仕向ケタイト思ツテ居リマス

○鈴木委員 拓務大臣ハ自ラ其間ニ區別ガ出來テ互ニ助合フコトガアツテモ、競争スルヤウナコトハナカラウト云フヤウナ御話デアリマスガ、若シ之ヲ事業別ニ分ケルトカ、或ハ地域的ニ分ケルトカ云フ風ニ致シマスレバ格別、事實上地域モ一緒デアル、事業モ亦法案文面カラ見マスレバ、同ジヤウナ關係ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、ソコニドウモ統制ノ上ニ困難ヲ來シハシナイカト思フノデアリマス

○永田國務大臣 只今申シマシタヤウニ、東拓ノ出來マシタ頃ハ斯ウ云フ會社モアリマセヌデシタカラ、東拓トシテハ手ノ擴ゲ得ルダケ廣ク仕事ヲシテ居ツタノデアリマス、デアリマスガ、東拓ハ其成立ノ歴史ニ鑑ミマシテモ、朝鮮、滿洲ト云フ處ガ其發祥地トデモ言ヒマスカ、サウ云

フ仕事スル根本地ニナツテ居リマスカラ、サウシテ外ノモノガナカウ
タ頃ニ南支、南洋ノ方ニ手ヲ伸バシテ居ルノデアリマス、今日マデヤウ
テ居ル事柄ニ付キマシテハ、先般申上ゲマシタ通りニ南洋、臺灣拓殖ニ
肩替ラスルト云フヤウナコトハセナイ積リデ、今マデヤウテ居ルモノハ
其儘デアリマス、又今後東拓ガヤル方ガ便利ダト云フヤウナ場合モアル
カモ知レマセズガ、今後ニ於テハ南支、南洋ニ關スル限リハ主トシテ臺
灣拓殖ガソレニ當ルト云フ風ニ自然ニナツテ行カウト思ヒマスノデ、私
ノ居ル居ラヌニ拘ラズ、拓務省ノ方針ヲ決メテ置キマスレバ、ソレニ間
違ガナク行ケル積リデアリマス

一五 臺拓ノ規模ハ大キクナラナクテハ不可

一 東郷委員質疑

○東郷委員 殊ニ南支、南洋ニ對スル國策ノ遂行ヲスルト云ウタヤウナ
重大ノ使命ヲ持ツテ居ル會社ト致シテハ、モット大キナ規模デヤラナク
レバイケナイ、...此會社ガ總督府ニ代ツテ小作料所謂官租ヲ取立テテ
行クト云フコト以外ニ、何等變化ガナイヤウニ思フノデス、ソレダケノ
コトヲドウシテモ會社ヲ作ツテシナケレバナラヌ理由ガ何處ニ在ルカ、
...色々ノ意味ニ於テ是ガ改善サレルト云フヤウナ御目論見ガアルノデ
アリマスカドウカ

二 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 只今ノ御質問ニ付テモット大キイ規模デヤルノデナク
テハナラヌト云フコトニ付テハ、今マデノ答辯デハ物足ラナイト云フコ

ウ云フ拓殖ニ關スル、臺灣島内ノ拓殖ニ關スルコトハ、ドウシテモ臺灣
總督ガ監督スルト云フコトガ事實ニ於テ宜カラウト思フノデアリマス、
唯對外的ノ海外ニ於ケル事柄ニ付キマシテハ、此方ニ於テモ種々外務省
ヤ其他ノ方面カラモ色々註文ガアリマシテ、其間ノ種々ノ折衝ヲ要ス
ルコトガ多イト考ヘラレルノデ、ソレデ萬事臺灣總督ニ委セテヤラス
ト云フヨリモ、ヤハリ臺灣總督ノ意見ヲ聽ク場合ガ多イノダラウト思ヒマ
スガ、コチラノ方デ直接ニヤル方ガ便宜デアラウ、斯ウ云フ積リテ海外
ニ於ケルモノハ直接ニ監督スルト云フ目安デ勅令ヲ作ル考テ居ルノデア
リマス

一七 南洋ノ石油ニ就テ

一 東條委員質疑

○東條委員 本會議デ拓務大臣カラ、ヤハリ此會社モ石油ニ手ヲ著ケラ
レルヤウナ意味ノ御答ガアツタヤウニ 承知致シテ居リマスガ、其關係
ハドウナリマスカ、ソレヲ伺ヒタイ

二 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 石油ノコトハ本會議ノ時ニ此會社デモヤルト云フコト
ヲ申上ゲマシタガ、是ハ他ノ會社ガヤルヤウナ場合ニ、援助ヲ與ヘルト
云フヤウナ廣イ意味デゴザイマス、今海軍大臣ノ言ツテ居ラレタ石油開
發ノコトデ別ノ會社ヲ拵ヘルト云フコトハ、是ハ南洋ニ限ラズ南米デモ
何處デモサウ云フ場所ガアレバト云フ、廣イ意味ノ石油ノミニ限ツタ會
社ヲ拵ヘル話ガ、最近ニ進ンデ居ルノデアリマス、ソレデ其會社ガヤル
コトニナツテ、南洋ノ方デ其會社ガ活動スルコトニナレバ、臺灣拓殖ト
シテハ或ハソレニ援助スルヤウナ場合モアラウシ、或ハソレガ活動スレ

トデアリマシタガ、是ハ先刻申上ゲマシタ通りト御承知ヲ願ヒタイノ
デアリマスガ、現在ノ官租地ヲ民間ノ此會社ニ移シテモ何ニモナラヌデ
ヤナイカト云フ御話ガアリマスガ、是ハ民間ニ移シテ會社ヲシテ實際ノ
經營ニ當ラシメテ小作ニヤラシメルト云フ點ニ付テハ、ソレ程取立テテ
申上ゲルヤウナ變化ハナイト思ヒマスガ、會社トシテハ土地ノ改善、開
墾ノ事業、サウ云ツタヤウナ官業トシテヤルコトヲ欲セナイ事ヲ、此
民間ノ會社ニ移シテヤラシメルノデアリマスカラ、干拓ノ方ニ於キマシ
テモ、色々此會社トシテ新ニ爲シテ行クコトガ出來ルノデアリマス、ソレ
カラ此會社ノ設立ノ爲ニ、官租地ヲ提供スル爲ニ主タル財源ヲ得テ、サ
ウシテ南方ニ發展スル一ツノ會社、其會社ヲ安定セシメ、鞏固ナラシメ
テ、南方ニ對スル施設ノ財源ヲ得ル確實性ヲ與ヘルト云フコトヲ主タル
目的トシテ出來タ會社デアリマシテ、ドウシテモ是ノ出資ヲ必要トシテ
居ルノデアリマス、ソレデスカラ其目的以外ノ臺灣島内ノ事ニ關係シマ
シテモ、此會社トシテハ、種々ノ開墾ナリ干拓ナリ積ケテヤリ、又土
地ノ改良モ會社トシテヤルト云フコトハ、官業ノ儘デ放ツテ置クヨリハ、
自然ニ改善ヲ加ヘラレテ行クコトト信ジテ居リマス

一六 會社ノ監督權ニ就テ

一 東郷委員質疑

○東郷委員 此會社ノ監督ニ關スル問題デスガ、...第一次ノ監督機關
トシテハ臺灣總督、而シテ第二次監督機關トシテハ拓務大臣、斯ウ云フ
コトニシテ行カレテ何處ニ不便ガアルノダラウカ

二 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 此申上ゲタカト存ジマスガ、監督ノコトハ...斯

バ、石油ノコトハ臺灣拓殖會社ガ直接ニヤラナイト云フヤウナコトニナ
ツテ行カウト思フノデアリマス、サウ云フ積リテ居リマス、ソレカラ海外
デヤル仕事ノ内容ヲ具體的ニ、ト云フコトデアリマシタガ、是ハ先般モ
相當ノ程度ニ御話申上ゲタカト思ヒマスシ、何シロ外國關係ノコトデア
リマスノデ、アレ以上色々詳シイコトヲ申上ゲルコトハ、今日ノ所差控ヘ
タイト思ツテ居リマス、ソレカラ任免權ノコトニ付テハ、先程申上ゲマ
シタヤウニ、臺灣總督ニ於テハ千五百萬圓モ出資スルコトデアリマスシ
本店ヲ臺灣ニ置イタルト云フコトデアリマスカラ、臺灣總督ノ地位
ニ鑑ミテ、明文上ハ任免權ヲ臺灣總督ニ持タシテ置クト云フコトガ、穩當
デハナイカト考ヘテ居リマス、併ナガラ無論斯ウ云フ重大ナコトデアリ
マスカラ、殊ニ此會社ノ死活ノ岐ルル所ハ、其局ニ當ル人ノ技術如何ニ
存スルノデアリマシテ、此事ハ總督ニ於テモ十分了解シテ居ルコトデア
リマスカラ、其任免ニ付テハ名義ガ臺灣總督ノ任免ト云フコトニナツテ
居リマシテモ、監督ノ作用トシテハ豫メコチラニ相談スル、或ハコチラ
カラ斯ウ云フ人ガ宜カラウト思フガ、才前ノ方ニ適當ナ候補者ガアルカ
ト言ツテ、能ク相談シテ見レバ、ソレハ明文上臺灣總督ニ任免權ヲ與ヘ
テ置イテモ、事實ニ於テハ大シテ差支ナク適當ナ人ヲ得ラレルデアラウ
ト思ツテ居リマス、是ハ拓務省ノ方デウント力ヲ入レナケレバ、中々立
派ナ人ヲ得ラレナイデアラウト思ツテ居リマス、ソレカラ今ノ監督ノ問
題ニ觸レテハ、臺灣島内ノコトヲ總督ニ委セテ、島外ノコトハ拓務大臣
ガ直接ヤルト云フ心持デ此申上ゲテアル、此言葉ニ付テハ少シ其意
味ヲ明ニシテ置ク必要ガアルカト思ヒマス、ソレハ臺灣島内ノコトハ全
部總督ニ委セテ、一切拓務大臣ガ知ラヌト云フ状態デモ困ル、ヤハリ拓
務大臣トシテハ臺灣島内ノコトモ、ドウ云フ風ニヤツテ行クトカ、又重
要ナ事柄ニ付テハ知ツテ居ル必要ガアリマス、是ト同時ニ島外ニ於ケル
仕事ニ付テモ、島外ニ於ケル仕事ハ臺灣總督ハ少シモ知ラヌノダ、知ラ

又間ニ斯ウ云フコトヲヤツテ居ルノダト云フコトデハ、總督トシテ其會社ヲ臺灣ニアリ、社長ノ任命權ヲ持ツテ居ル會社デアリ、サウシテ海外ニ於テヤル仕事ニ付テ、何等知ラヌト云フ狀態デアツテハ總督トシテ洵ニ都合方宜シクアリマセヌ、其點ニ付テハ總督ニモ能ク意見ヲ聽クヤウナ内部的ノ作用ハ、十分ニ連絡ヲ密ニスル考デ居リマス

一八 會社ノ監督權ニ就テ

一 東條委員質疑

○東條委員 事柄ノ輕微ナコトハ總督ニ委セテ置イテ、重要ナコトハ大臣ヲ握ツテ居ラレト云フヤウニサレルコトガ、必要デハナイカト云フコトヲ御聞キシタノデアリマス、ソレカラ今ノ任命權ノ問題デアリマス

二 永田拓務大臣質疑

○永田國務大臣 任命權ノコトニ付キマシテ、重大ナ責任ノアル者ヲ任命スルノデアルカラ、内地デ直接ヤツタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ御意見デゴザイマスガ、此任命權ヲ文書ニ表ハシテドウ云フ風ニ書クカト云フコトニ付テハ、相當考慮シタノデアリマスガ、臺灣總督ノ地位ニ鑑ミテ明文上臺灣總督ガ之ヲ任命スト斯ウ云フ風ニ定メテ置ク方ガ、マア適當デアラウト斯ウ云フ意味デアリマシテ、事實ニ於テハソレハ島内ニ適材ガナイトハ言ヘマセヌ、探シテハ見マス、ケレドモ恐ラク多クノ場合ニ於テ、中心ニ此局ニ當ル人ヲ島外デ物色スルト云フコトニ多分ナラウカト思ヒマス、サウ云フ場合ニハヤハリ明文上臺灣總督トシテ置キマスケレドモ、事實ハコチラデウソト骨ヲ折ラナケレバ、サウ適當ナ人ヲ得ラレナイカト思ツテ居ルノデ、實際ハ大シテ違ヒハナイカト思ツテ居リマス、ソレカラ株ヲ増資シタリ或ハ債券ヲ發行シタリスルヤウナ場合ニ、

○櫻井委員長 其資産ノ千五百萬圓ヲ臺灣總督府ガ出資スルト云フ意味ハ吾々ニハ政府ノ出資ト云フ風ニ考ヘラレルノデスガ、如何デスカ

四 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 臺灣總督ノ面目ニ關スルト云フヤウニ、開キ直ツタ程ニハ考ヘテ居ラヌノデアリマスガ、何シロ本店ヲ臺灣ニ置イテ、サウシテ今迄臺灣總督府ノ所管ニシテ居ツタ所ノモノデ、資本ヲ半分出スト云フヤウナ關係ニ鑑ミテ、臺灣總督ニ名義上ノ任命權ヲ持タシテヤルコトガ適當デアラウ、斯ウ云フ考方デアリマスノデ、事實ニ於テハ吾々ノ方デ總督ノ任命ノ時ニハ世話ヲスル、斯ウ云フ積リデアリマスカラ、ソコハ實際ニ於テサウエライ違ヒハナイト考ヘテ居ルノデ、其點ハ色々臺灣總督ノ任命ト云フコトニスレバ、良イ人ガ得ラレマイト云フコトデスガ、ソレハ話ノ模様ニ依ツテハ必シモサウデハナイダラウト思ツテ居リマス……總督ガ出資ト云フヤウナ言葉ハ、甚ダ言廻シ方ガ悪イノデアリマシテ、臺灣ニ在ル官租地ヲ今臺灣總督ガ管轄シテ居ル、其官租地ヲ以テ出資スルノデアリマシテ、無論是ハ政府ノ出資デアリマス、其點ハ總督ガ「ボケツト」カラ出サウナ感ジテ與ヘタトスレバ、取消シテ置キマス

五 川島委員質疑

○川島委員 大臣ニ御伺致シタイノデスガ、任命權ノ問題ヲ私ハ先達テ大臣ニ御伺シテ、實ハ疑念ノ儘ニ殘ツテ居リマス、先達モ御伺シタノデスガ、千五百萬圓ヲ、臺灣總督ガ管理シテ居ル資産ヲ出スノダカラ、其任命權ハ臺灣總督ニ與ヘルノガ宜イト思ツタト云フコトデスガ、然ラバ先達テ御伺シタ南洋殖産株式會社ノ方ハ一體ドウナンデスカ

社長ノ任命其他ニ就テ 會社ノ監督權及役員ノ人選ニ就テ

總督府ニヤラスカ拓務省ニヤラスカト云フコトデスガ、是ハ實際ハ斯ウナラウト思ヒマス、本店ハ無論臺灣ニアルノデスガ、自然重大問題ニ付テハ最後ノ決定ハ、ヤハリ拓務省デ持ツヤウニシテ置キタイト思フノデアリマス、社長ハ必ズ臺灣總督ニ相談シテ、コチラニ出テ來ルト思フノデス、臺灣總督ヲ出シ抜イテコチラニ出テ來テ相談スル、コチラデ決メテ臺灣總督ハ何モ知ラヌ、サウ云ツタヤウナコトハ、事實ナイコトト思ツテ居リマス、其方ノ行キ方ハ運用上諒解ノ付ケルヤウニ、ソレハ内部的ノ監督トシテ、不都合ナク出來ルト考ヘテ居リマス

一九 社長ノ任命其他ニ就テ

一 東條委員質疑

○東條委員 若シ議會ノ考ヘ方ガ、社長ノ任命ハ政府ガヤラレル方ガ宜イト云フ意見ガ多イヤウナ場合ニハ、モウ少シ御考ニナル餘地ハアリマセヌカ

二 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 大分是ハ考慮シタ上ニ、臺灣總督ガ任命スルト云フコトニ明文上決メテ置ク方ガ適當デアラウ、斯ウ云フコト決メタノデアリマシテ、吾々當局者トシテハ、サウ云フ風ニシタイノデアリマス、今ノヤウナ御話ノコトニ付テハ、何トモ申上テ兼ネマス、コチラノ方デドウシテモ直接任命スルヤウニシテ與レト云フヤウナ、サウ云フコトガ若シゴザイマスレバ、篤ト研究ハ致シマス、研究ハ致シマスケレドモ御引受ハ一寸今致シ兼ネマス

三 櫻井委員長質疑

六 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 是ハ申上テタカト存ジマスガ、南洋廳ノ長官ニ對シテハ、總テ指揮監督スト云フ風ニナツテ居リマシテ、或ル特定ノ權限ガ餘程狭イヤウニナツテ居リマス、臺灣ノ方ハ拓務大臣之ヲ監督スト云フ文字ヲ使ツテアツテ、其間ニハ監督ノ程度、委任ノ程度ト云フモノハ心持ニ於テ餘程違ヒマス、ソレデ南洋殖産ノ方ハ政府デ之ヲ任命スト云フコトニナツテ居リマスノデ、是モ無論南洋長官ニハ御話シテ任命スルヤウニナラウカト思ヒマスガ、身分上ハ拓務大臣ノ方デ直接任命スル積リデアリマス、又臺灣ノ方ハ指揮監督ストナツテ居ラスデ、監督スト云フ言葉ノ使ヒ方カラシテ、相當ノ權限ノコトハ臺灣總督ノ自由裁量ニ委ス範圍ヲ、少シ廣ク見テ居ルト云フ取扱方ニナツテ居リマス爲ニ、サウ云フ區別ガ出テ來テ居ル、今回ノ此法案ヲ、勅令ニ讓ルカラ狡イト云フ御話ダケレドモ、或ハサウ見エルカ存ジマセヌガ、滿鐵ノ規定ナンカモ勅令ニ讓ルト云フ風ニナツテ居ツテ、總テノモノガ勅令ニ明瞭ニ皆其任命權ヲ持ツテ居ルモノヲ、明示シテアルト云フ譯チヤナイノデアリマス、今ノヤウナ御趣意ノコトニ付テハ篤ト是カラ研究致シテ見マス

二〇 會社ノ監督權及役員ノ人選ニ

就テ

眞鍋委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○眞鍋委員 此監督權ノ所在ニ付テハ、第一次ニ拓務省デアル、即チ大臣デアル、第二次ニ臺灣總督デアル、而シテ是ハ現地ノ事柄ナンカニ付テハ拓務大臣ガヤルト云フ譯ニハ行カヌカラ、現地ノ監督ハ臺灣總督ガ

ナル、而シテ其大體ノ大綱ト云フモノニ至ツテハ、拓務大臣ガ之ヲ擬ツテ居ルト私ハ聞イタノデアリマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○永田國務大臣 監督ノ事ニ付テ第一次ニ拓務大臣ガ之ヲ監督シテ、第二次ハ臺灣總督ガ監督スル、ソレハサウ云フ積リデハナイノデアリマスノデ、若シ臺灣總督ニスツカリ權利ヲ委セラレバ、臺灣總督ガ第一次ノ監督ヲシテ、第二次ヲ拓務大臣ガ監督スルト云フコトニナルノデスガ、併シ會社ノ性質上全部サウ云フ風ニスルコトガ適當デナイト考ヘルノデ、政府之ヲ監督スト云フ中ノ政府ト云フ文字ニハ、臺灣總督モ入ツテ居ルシ、拓務大臣モ入ツテ、サウシテ其内容ニ依ツテ或ル部分ヲ臺灣總督ニ第一次ノ監督ヲセシメルト云フ積リデアリマス

○眞鍋委員 南支南洋方面ニ關スル事ハ拓務大臣ノ方ニ於テ之ヲ監督スルト云フコトニナレバ、是等ノ方ノ利益ハ、拓務省ノ方ニ於テ監督シ、臺灣ニ關スル限リニ於テハ總督ガヤルト云フコトニモナルト云フコトニナルト、又茲ニ其統一ヲ缺クト云フヤウコトモアル、一體他ノ方ハドウナツテ居リマスカ……、サウスルト此臺灣拓殖株式會社ト云フノハ、今ノ滿洲ノ電信電話會社ノヤウニ心得テ宜シイノデスカ、其點ヲ一ツ伺ヒタイ

○永田國務大臣 少シ違フト思ツテ居リマス、ヤハリ滿洲電信電話株式會社ノ方ハ第一次監督ヲ關東軍司令官ノ方デヤツテ、第二次ノ監督ハ總理大臣ノ方デ對滿事務局ヲ通ジテヤル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスガ、此會社ハ今ノ立前ト致シマシテハ、此原案ノ立前ト致シマシテハ、島内ノ監督ハ主トシテ第一次監督ヲ——島内ノ問題ニ限ツテハ臺灣總督ニヤラス考デアル、島外ノ事ニ關シテハ主トシテ拓務大臣ガ監督ヲスル斯ウ云フノデ少シ違ツテ居ルカト思ツテ居リマス

○眞鍋委員 重大ナル事ハ拓務大臣ガ之ヲ監督スル、細カイ事ハ臺灣總督ニ委スト云フナラバ、餘程ハツキリシテ來ルト思フノデアリマスガ……

一一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 徵兵制度ノコトニ關スル私ノ私見ト雖モ、是ハサウ簡單ニハ申上ゲ兼ネルノデアリマス、是ハ御承知ノ通りニ臺灣本島人ガ徵兵制度ニ服スル場合ニ、内地ノ人々ト同ジヤウナ心持テ軍隊トシテ優良ナル軍隊ヲ作ルコトガ出來ルカ、主トシテ精神的ニ於テドウ云フ状態ニ行クカト云フコトニ付テハ深甚ノ考慮ヲ拂フベキモノデアルト思フノデアリマシテ、此點ニ付テ自分ノ私見モゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ席上ニ於テ淡白ニ御話申上ゲルコトヲ暫ラク控ヘタイト思ヒマス

一二 臺灣拓南拓トノ命令監督ノ系統ニ就テ

一 中村(又)委員質疑

○中村委員 命令監督ノ系統ト云フモノガ明確ニナラナイト云フト、國費ノ濫費ヲ豫想サル場合ガ多カラウト思フノデアリマス、此場合ニ於キマシテ臺灣拓殖株式會社ハ同志ノ申上ゲル通りニ、第一次監督トシテハ當然臺灣總督ノスベキモノデアル、第二次ノ監督トシテ拓務大臣ガ爲スト云フコトガ常態デナケレバナラヌト考ヘマスガ、大臣ノ御説明デハ、其監督ノ地位ガハツキリ致サナイト云フヤウナコトハ、ドウモ南洋拓殖會社ヲ、勅令ヲ以テ制定シタト云フ事實ニ鑑ミマシテ、或ル時代ガ來ルト滿洲國ノ全權ト云フモノヲ拵ヘ上ゲテ、所謂全權ノ手ニ依ツテ有ユル方策ガ爲シ得ルカノ如キ、今日ノ機構ノヤウニ認メラレマスガ、南方政策トシマシテモ、或ハ將來臺灣總督ト云フモノニ、今日ノ滿洲全權ニ類似ノヤウナモノガ就任スルヤウナコトガ將來アリマシテ、南洋及臺灣ニ對シマ

臺灣拓南拓トノ命令監督ノ系統ニ就テ 臺灣總督ノ文武官制ノ可否

○永田國務大臣 重大ナル事ハ直接監督ヲシテヤル、サウシテ輕微ナル事ヲ臺灣總督ニ委ス、サラ云フ風ニシマシテモ、今ノ場合ト大シテ大キナ開キハナイト考ヘマスガ、サウ云フ勅令ヲ作リマス上ニ付テ、今ノ考トシテハ島内ト島外ト考ヘテ、サウシテ概シテ島外ノ事ハ外國關係ノ事モアルシ、外務省其他トノ交渉ノ案件モ多イカラ、大體重大ナル事ト實ハ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、島内ノ事デモ重大ナル事ハ自然指揮ヲ受ケサス積リデアリマスカラ、重大ナル事ハ拓務大臣ガ之ヲヤリ、サウシテ輕微ナル事ハ臺灣總督ガヤル、サウ云フ風ニ決メルノト實質的ニハ大キナ違ヒハナイデヤナイカト思ツテ居リマス

○眞鍋委員 一國ノ隆替、或ハ政黨ナラ一黨ノ盛衰、或ハ一家ノ榮枯ハ是レ皆人ニ依リマス、況ヤ會社ニ於テハ是ハ多大ノ望ヲ囑シテ居リマスカラ、ドウシテモ人選如何ニ依ツテハ會社ノ興廢ガ較レルノデアリマスカラ、此點ヲ一ツ私ハ特ニ御願ヲシテ置キタイノデアリマスガ、之ニ對シテ一ツ御考ヲ……

○永田國務大臣 只今ノ役員ノ人選ニ付テ十分考慮シロト云フコトハ全然同感デアリマス、是ハ全ク此會社ノ死活ハ、其社長其他役員ノ人選如何ニ保ツテ居ルト存ジテ居リマスカラ、今ノ色々ノ御注意ノ點ハ篤ト諒承致シマシタ、其心持デ十分人選ニ努メマス

一二 臺灣ニ徵兵制度施行ニ就テ

佐藤(洋)委員質疑

○佐藤(洋)委員 本島人ノ青年ノ言ヒマスニハ、何故臺灣ニ徵兵制度ヲ布イテ與レナイダラウ、何故臺灣本島人ヲ兵隊ニ採ツテ與レナイノダト云フ不平ヲ先ツ第一ニ私共ニ漏シタノデアリマス、……拓務大臣ノ之ニ對スル感想デモ述ベテ載キタイ、又徵兵制度ヲ布イタ方宜イカ……

シテ、其職務ヲ行フニ當リマシテ、此南洋拓殖株式會社ヲ併セテ臺灣拓殖株式會社ノ如ク運用ヲ自由ニ爲シ得ルト云フヤウナ、將來ヲ考ヘテ此監督權ナドヲ、ハツキリト御明答ガナイノデヤナイカト云フヤウナ氣持モ致スノデアリマスガ、其點ハドウ云フ風ニ關係ニナツテ居リマスカ、ハツキリト監督ノ地位ヲ明言セラルル御心持ハ今日ハナイノデアリマスカ

一一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 南洋ノ方ハ憲法施行ノ範圍外ト云フコトデ、法律ト云フモノハ一切アチラニ施行サレテ居ラヌノデアリマシテ、ソレデ南洋拓殖ノ方ハ勅令デ之ヲ定メ、豫算ニ關係ヲ有ツノデアリマスカラ、豫算ニ關スルコトガアリマスレバ議會ノ協賛ヲ經ル、是ハサウ云フ風ニナルノガ當然デアルト思ヒマス、臺灣拓殖ト南洋拓殖ト一緒ニスルト云フヤウナ、御懸念ト申シマスガ、サウ云フコトヲ想像シテ居ルカト云フヤウナ御話ノヤウデアリマシタガ、ソレハ全然想像シテ居ラヌノデ、成立其他ガ違ツテ居リマス爲ニ、ソレヲ併合スルト云フガハ少シモゴザイマセヌ又臺灣總督ガ南洋ノコトヲ統轄スルト云フヤウナコトモ、ソレハイツカモ申上ゲタ通りニ、到底、地理上カラ云ヒマシテモ、又國際關係カラ云ヒマシテモ、サウ云フコトハ想像シ得ナイ状態ニアルト思ヒマス、臺灣拓殖ノ監督ノコトニ付テハ、政府之ヲ監督スト云フコトニナツテ居ツテ、其南洋ノ或ル事柄ヲ主トシテ臺灣總督ニヤラセ、或ル事柄ヲ拓務大臣ガ主トシテヤルト云フヤウナコトニ付テ、何モ面倒ナコトガアルトハ考ヘテ居リマセヌ

一二 臺灣總督ノ文武官制ノ可否

一 鈴木委員質疑

○鈴木委員 臺灣總督ノ地位デアリマス、即チ臺灣總督ノ地位ヲ文官制ニ依ルカ武官制ニ依ルカ、或ハ現在問題トナツテ居ル所ノ文官ヲ採ルノデアリカ、武官ヲ採ルノデアリカト云フコトニ付テノ御尋ヲ致シマシタノデアリマス

一一 廣田内閣總理大臣答辯

○廣田國務大臣 只今鈴木君ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、臺灣ハ色々ノ意味ニ於キマシテ非常ナ重要ナ外地デアリマスカラ、其總督タル人ハ最モ適任ナ人ヲ任命シナケレバナラヌノデアリマス、隨ヒマシテ文官出身ノ人デモ、或ハ武官出身ノ人デモ、最モ適當ト認メ得ル人ヲ、總督ニ任命スルコトガ必要デアルト云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマス、制度其モノハ現在ノ所、文官制ニ出來テ居ツテ親任官トナツテ居ルノデアリマス、唯之ニ當ルベキ人ハ如何ナル方面ノ人デモ、最モ適當ナ人ヲ任命スルコトガ、臺灣ノ今日ノ實情ニ照シマシテ必要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

一二 臺灣總督ノ更迭問題

一 鈴木委員質疑

○鈴木委員 ソレデハ只今ノ所此總督ヲ改メルト云フ意思ハナイノデアリカ、總督ガ更迭ヲスルト云フヤウナコトガナイノデアリカト云フコトヲ、御尋致シタイノデアリマス

二 廣田内閣總理大臣答辯

○廣田國務大臣 外地ノ最高ノ長官ノ地位ニ付テ、色々ノ新聞ナドニ噂ガ出マスコトハ、私ハ甚ダ遺憾ナコトダト考ヘテ居リマス、外地ニハ隨

分色々ノ住民ガ居ルコトデアリマシテ、是等ニ對スル威信ノ點カラ見マシテモ、徒ニ噂ノ出ルコトハ甚ダ好マシクナイコトダト考ヘテ居ルノデアリマス、現在政府ト致シマシテハ、臺灣ノ總督ヲ迭ヘルトカ、迭ヘナイトカ云フ點ニハ、何モ考ヘテ居ナイノデアリマス、是ハモウハツキリ申上ゲテ宜イコトダト思ツテ居ルノデアリマス

一五 拓務省ノ廢止問題

一 宮古委員質疑

○宮古委員 一寸私モ總理大臣ニ一言伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレハ拓務省廢止ノ問題デスガ、大分廢止スルガ宜イト云フ議論ガアリ、又行政機構ノ改正ヲスルト云フヤウナ時ニデモ、或ハ問題ニナルノチヤナイカト思ヒマスガ、現在ニ於テ、總理大臣ノ意思ハドウデアリカ、此點ヲ承ツテ置キマス、拓務省ヲ廢止スルノ意思ハ有ルノカ無イノカ

二 廣田内閣總理大臣答辯

○廣田國務大臣 現在ノ内閣ノ組織ニ付キマシテハ、ドノ省ヲ廢スルトカセストカ云フ考ハ、現在ハ全ク持ツテ居ナイノデアリマス、唯日本ノ國運ノ進展ニ最モ都合ノ好イ行政機構ヲ作ルコトガ、今日日本ノ國策ヲ實行ヲ致シテ參リマス上ニ於テモ、必要ナコトデアラウト思ヒマスノデアリカ、其點カラ色々機構ノ改革ノコトヲ考究シタイト云フ考ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、特ニ何處ヲドウスルト云フヤウナコトヲ、現在考ヘテ居ルコトハナイノデアリマス

二六 討論

一 眞鍋委員

○眞鍋委員 本法案ニ關シマシテハ、嘗テ臺灣統治ニ直接當ラレタ多數ノ方モ居ラレマスノデ、色々御説モアリマスシ、又其他ノ委員諸君モソレノ意見ヲ御陳述ニナツタノデアリマスガ、要スルニ問題ハ先刻小委員ノ報告ヲ致シマシタ如ク、社員ノ任命ト監督權ノ所在デアツテ、其運用ハ人ニアリ、此會社ノウマク行クモ行カザルモ、此社ノ長タル人並ニ職員諸君ノ奮闘努力ニ俟ツコトト存ジマス、此會社ノ發達如何ハ將來我が國策遂行ニ對シテ、多大ノ影響ガアルノデアリマシテ、我國ノ發展スルト否トモ亦之ニ依ツテ、非常ナル結果ヲ齎スコトト存ズルノデアリマス、與レノモ此人選ノ點ニ對シテハ、委員總テノ者ノミナラズ、代議士全部ノ要望ト言ツテモ宜イノデアリマスカラシテ、十分ノ御考慮ヲ拂ハレテ、立派ナ人ヲ得ラレンコトヲ望ミマス、茲ニ私ハ臺灣拓殖株式會社法案ニ對シ、小委員會デ得マシタ修正案ヲ提出致シマス、即チ

修正案

第六條ヲ左ノ如ク改ム
臺灣拓殖株式會社ニ社長副社長各一人理事三人以上及監事二人以上ヲ置キ其ノ職務權限及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ
監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス
第十條ヲ左ノ如ク改ム
臺灣拓殖株式會社ノ業務ハ第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ第二次ニ於テ主務大臣之ヲ監督ス
以上ノ修正案ヲ提出致シマス

二 川島委員

○川島委員 私ハ眞鍋君ノ御提議ニ贊成ナノデアリマスガ、此際一言申上ゲテ置キタイコトハ、先般來此委員會デ、質疑應答ガアリマシタ如ク他ノ特殊會社ノ法律ノ中ニ於テハ、社員ノ任免並ニ監督權ノ所在ノコトヲ、ハツキリ法文中ニ規定ヲ致シテ居リマス、然ルニ今回提案ノ臺灣拓殖株式會社法案ニ限ツテ、此會社ノ存立上極メテ重要ナル二ツノ事項ヲ、勅令ニ讓ツタト云フコトハ、是ハ將來同様に意味ノ法律ヲ、政府ガ御計畫ニナル時ノ先例ニ相成リマスノデ、私共ハ此ヤリ方ニ對シテハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居リマス、只今眞鍋君ガ御述ベニナリマシタ修正ハ、大體拓務大臣先達テ來ノ御質問ヲ法文化シタニ過ギナイノデアリマスケレドモ、特ニ私共ガ此修正ニ贊成致シマスル理由ハ、社員任命權並ニ會社ノ監督權ノ所在ニ關スル事柄ヲ、ハツキリ法律ノ上ニ規定スル所ニ意義ガアルノデアリマスカラシテ、ドウカ委員長ガ本會議ニ於テ御報告ニナリマス場合ニハ、此事柄ヲ本會議デ御報告ヲ願ツテ、將來政府ニ對シテ相當ノ注意ヲ促シテ置キタイト云フコトヲ御希望申上ゲテ、眞鍋君ノ修正案ニ贊成ヲ致シマス

三 宮古委員

○宮古委員 一寸私意見ヲ述ベタイ、今眞鍋君カラ申サレタ社長、副社長等ノ任免ニ付テハ、十分ノ考慮ヲシテ置キタイト云フコトデアリマス、即チ會社ノ經營ハ全ク其人ニアルニ違ヒナイノデアリマス、其人ガ宜シクナカツタナラバ、到底成績ヲ舉ゲルト云フコトハムツカシイノデアリマス、偉イ人ガ其任ニ當レバ偉イ仕事ガ出來ルト云フコトニナル、ソコデ十分ナル御考慮ヲ願ヒタイ、外ノ所謂斯ウ云フ種類ノ會社ノ方デ色々註文ガ出テ居リマス、或ハ希望、或ハ附帶決議、ソレハ要スルニ役人ノ

古手ヲ持ツテ來ルト云フヤウナコトハ困ルカラ、十分力ノアル人ヲ選任シテ欲シト云フ希望デアルノデアリマスガ、ソレハヤハリ此會社ニ付テモ同様ニ希望シテ置キタイノデアリマス、官吏ノ古手ト云フテモ、必シモ絕對ニ惡イトハ申シマセヌケレドモ、情實ニ因ハレテ役人ノ古手ノ仕事ヲ作ツテヤラウト云フヤウナコトガ、往々ニシテアルノデアアルカラ、サウ云フ點ハ十分ニ御注意下サツテ、成タケ役人ノ古手ト云フヤウナモノデナク、本當ニ力ノアル人ヲ御選任ニナルヤウニ、御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、今一ツ監督ノ點ニ付テハ、先程ノ拓務大臣ノ御答デハ島内ノ方ハ臺灣總督ニ監督ヲサセ、島外ノ方ハ主務大臣ガ監督ヲスルヤウニスル積リダト云フ御話デアリマシタガ、私共ノ考ト致シマシテ、島内、島外ヲ區別スルト云フコトハ、是ハ到底難カシイコトデアラウ、サウ云フコトデアルト眞ノ監督ハ出來ナイデアラウ、思ヒ切ツテ此仕事ヲヤツテ貰ハナケレバナラヌノデアアルカラ、ソレニハ臺灣總督ニ島内、島外ヲ問ハズニ、監督ヲサセルコトガ宜シイヤウニ考ヘルノデアリマス、此改正モ其趣意デ出來タモノト思ヒマスカラ、私共ハ其趣意デ賛成致ス譯デアリマス

四 採 決

○櫻井委員長 ソレデハ採決致シマス、眞鍋君提出ノ修正ノ動議ニ付テ、賛成ノ諸君ノ御起立ヲ求メマス (賛成者起立)
○櫻井委員長 起立全員デアリマス、眞鍋君提出ノ修正ノ通り決定ヲ致シマシタ、尙ホ此場合念ノ爲ニ、眞鍋君提出ノ修正部分ヲ除キタル他ノ原案ニ付テ、採決ヲ致シマス
○片山委員 修正部分ヲ除イタ外ノ條文中ニ、政府ト云フ字ガ大分アルノデアリマスガ、ヤハリ政府ノ解釋ハ、第十條ノ改正ニ伴ウテ、第一次ハ臺灣總督デアアル、第二次ハ主務大臣デアアルト云フ風ニスベキモノデア

アルト私ハ考ヘマスカラ、茲ニ一言申上ゲテ置キマス
○櫻井委員長 修正部分ヲ除キタル原案ニ付テ採決ヲ致シマス、賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス (賛成者起立)

○櫻井委員長 起立全員デアリマス、原案ハ可決サレマシタ、次ニ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ヲ議題ト致シマスガ、是ハ質問ハ全部終了致シテ居リマス、仍テ此法案ニ付テ採決ヲ致シマス、原案ニ賛成ノ諸君ノ御起立ヲ願ヒマス (賛成者起立)

○櫻井委員長 起立全員デアリマス、本案ハ原通案リ可決サレマシタ、是ニテ本委員會ニ付託セラレマシタ所ノ議案ハ、全部議了ヲ致シマシタ、委員各位ノ御精勵ヲ深ク感謝申上ゲマス (拍手)、是ニテ散會致シマス

二七 臺灣拓殖株式會社兩院協議會

速記錄

○議長(永井柳太郎君) ソレデハ私が議長ニ當選致シマシタノデ、本席ヲ汚シマス、是ヨリ臺灣拓殖株式會社法案ノ、兩院協議會ヲ開キマス、先ヅ貴族院側ノ議決ノ御趣旨ヲ御說明願ヒタイト存ジマス

○堀切善次郎君 貴族院ノ議決ノ趣旨ヲ私カラ申上ゲマス、貴族院ニ於キマシテハ、臺灣拓殖株式會社法案ニ對シマスル衆議院ノ修正ヲ、更ニ修正致シマシテ、政府原案トシタ次デアリマス、其趣旨ハ臺灣總督ハ臺灣統治ノ重責ニ當ツテ居リマシテ、異民族ヲ統治シマス關係上、其地位ヲ重ズルコトニ付キマシテハ、常ニ特別ノ考慮ヲ要スルコトハ當然ノコトト思フノデアリマス、是ガ爲ニ臺灣島内ニ於キマスル總督ノ權限モ亦中央ニ對スル關係ニ於キマシテモ、此點ニ常ニ慎重ナル注意ヲ廻ラサレテ、總督ノ威信ヲ高カラシメ、新附ノ民ヲシテ帝國ノ統治ニ對シ、絕對ノ信賴ト尊敬トヲ拂ハシムル必要アルコトハ言フテ俟タナイコトデア

タ次デアリマス、以上ノヤウナ理由ニ依リマシテ、貴族院ノ決議ガ出來タ次デアリマス

○議長(永井柳太郎君) 只今貴族院側ノ議決ノ御趣旨ニ付テ御説明ガアリマシタガ、御説明ニ付テ御質疑モアリマセウガ、其前ニ衆議院ノ貴族院ニ回付セラレタ案ノ趣旨ニ付テ、衆議院側カラ御説明ヲ願ツテ置ク方ガ順序上宜シカラウト存ジマス

○櫻井兵五郎君 私カラ衆議院ニ於キマシテ、政府案ガ修正ニ至リマシタ迄ノ間ニ行ハレマシタル所ノ、論議竝ニ其結果ニ至リマシタ趣旨ヲ茲ニ申上ゲタイト思ヒマス、先ヅ第六條ニ於キマシテ、第一點トシテ修正ヲシナケレバナラヌト云フ説ノ出マシタノハ、第六條ノ終リニ至リマシテ、其ノ職務權限、任命選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルノ如ク、政府案ガ規定セラレテ居ツタノデアリマス、是ハ要スルニ職務モ、人事ノ任命モ悉ク之ヲ勅令ニ讓ツタノデアアル、從來ノ特殊會社ノ社長副社長等人事ノ任命ハ、之ヲ法文ニ明ニシテ居ルノガ其例デアアル、特殊會社ハ殊ニ人ニ依リマシテ、其結果ニ付テ非常ニ差異ヲ起ス次デアリマス、人事ハ最モ重大デアアル、デアアルカラ隨テ從來ノ例ハ、或ハ勅令ヲ仰イデ政府之ヲ命ズトカ、或ハ主務大臣之ヲ任命ストカ云フコトガ例デアアル、唯單ニ朝鮮殖産銀行ニ對スル所ノ朝鮮總督ガ之ヲ任命スル、臺灣電力會社ニ對スル所ノ臺灣總督ガ之ヲ任命スルト云フコトガ、例外ニナツテ居リマスケレドモ、是ハ即チ朝鮮内、臺灣内ト限ラレタ爲デアアル、凡ソ一般ニ之ヲ涉ルモノニ於テハ、特殊會社ハ總テ勅令ヲ仰イデ政府ガ任命スルカ、主務大臣ガ任命スルカト云フコトガ例ニナツテ居ル、最モ茲ニ重キヲ置イテ法文ヲ明ニシテアルニ拘ラズ、之ヲ勅令ニ讓ツタト云フコトハ色々懸念セラレル點モアリ、又或ハ弊害ガ起ルカモ知レナイ、故ニ是ハ他ノ例ニ見ルガ如ク、法文ニ明ニスルノガ至當デアアル、是ガ修正ヲシマシタ第一ノ理由デアリマス

ルト思フノデアリマス、是ガ爲ニ朝鮮總督ニ對シマシテハ官制ニ依リマシテ特殊ノ規定ガ設ケラレ、臺灣總督ニ付キマシテモ臺灣總督府官制ニ於キマシテ、此趣旨ガ現ハサレテ居ルト思フノデアリマス、隨ヒマシテ主務大臣ト臺灣總督トノ關係ニ付キマシテハ、内務大臣ト地方長官トノ關係トハ違ツテ規定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ衆議院ノ修正ハ此法案ノ第六條ニ於キマシテ「社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任スルト修正サレタノデアリマスガ、拓務大臣ノ認可ヲ受ケテト云フコトヲ法律ニ明文ヲ設ケラレマシタ、此認可ヲ經テト云フ言葉ハ、通常ノ上級、下級ノ官廳ノ間ニ用ヒラルル例デアリマシテ、之ヲ直チニ臺灣總督ノ場合ニ法律ノ明文ニ現ハスト云フコトハ、臺灣總督ノ特殊ノ地位ノ關係上、總督ヲ輕カラシムルヤウナ嫌ヒガアリマシテ、好マシカラナイコトデアルト考ヘタノデアリマス、拓務大臣ト臺灣總督トノ官制ノ關係上、事實上ノ取扱ト致シマシテハ、此明文ト同ジヤウナ取扱ヲ爲サレルコトハ差支ナイト致シマシテモ、之ヲ法律ノ明文ノ中ニ書キ現ハスト云フコトハ、從來ノ例モナイト考ヘマスシ、統治上好マシクナイコトト考ヘタ次デアリマス

次ニ第十條ニ付キマシテ、衆議院ノ修正ハ「第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ第二次ニ於テ主務大臣之ヲ監督ス」ト修正セラレタノデアリマスガ、此點ニ付キマシテモ、第一次監督、第二次監督ト云フ言ヒ現ハシ方ハ、地方制度ニ於キマシテ知事ニ對スル内務大臣ノ關係ヲ直チニ連想セシムル書キ方デアルト思ヒマス、之ヲ明文ニ現ハスト云フコトハ、是亦前ニ申上ゲマシタヤウナ理由ニ依リマシテ、臺灣統治上好マシクナイコトデアルト考ヘタ次デアリマス、要スルニ臺灣總督ノ特殊ノ重任ニ鑑ミマシテ、其地位ヲシテ威嚴アラシメ、信賴アラシムルノ必要上、衆議院修正案ヲ好マシカラズト考ヘマシテ、政府原案ヲ可ナリト決議致シ

第二ノ理由ト致シマシテハ、此會社ハ臺灣拓殖株式會社ト云フ、殊更ニ臺灣ノ二字ガ名稱ニ選ツテ出テ居リマスルガ、其目的内容トスル所ハ、臺灣ニ於テ殘サレタル所ノ産業經濟ノ開發竝ニ南支南洋ニ對シマスル所ノ經濟的發展、此二ツヲ目標ニシテ居ル、而シテ一方ニ於テハ南洋拓殖株式會社ト云フモノガ、是ハ勅令ニ依ツテ出來テ居ル譯テリマスガ、此南洋拓殖株式會社ハ群島竝ニ南洋ノ群島ノ方ヘ近イ、約半バノモノ、發展ノ使命ヲ帶ビシメ、ソレカラ今一ツ臺灣ニ近イ方面、即チ南支、南洋「ポルネオ」ジヤワ」ノ邊マデニ掛ケテハ、臺灣拓殖會社ノ範圍ト致シテ居ル、サウシテ茲ニ兩翼ヲ連ネテ、以テ我國ノ南方經綸ヲ行ハウト云フコトガ目的ニナツテ居ル、最初ノ内ハ或ハ臺灣ノ方ノ仕事ガ多クナルカモ知レナイケレドモ、併ナガラ眞ノ目的ハ南支南洋ニ向ツテノ經濟發展、此事ニ重點ヲ置イテ居ナケレバナラス、又其使命ノ爲ニ計畫セラレタモノト思ハレル、若シ是ガ臺灣ノミニ限ラレルモノデアレバ、必ズシモ茲ニ特殊會社ヲ創立シテ、臺灣ノミニ殘サレタルモノ、開發ヲ、殊更ニ企テルニモ及バナイ、是ハ臺灣總督ノ助成ノ方法ニ依ツテ、其目的ガ達成セラレル譯デアアル、斯ウ云フヤウナ考ガ主トナツテ居ツタノデアリマス、尤モ其參考ト致シマシテハ、此案ガ出來マスル迄ニ、臺灣ニ於テ熱帶産業調査會ト云フモノヲ開カレテ、ソレニ政府ガ此案ヲ諮問ニナツタ、其時ニ現レマシタ論議ノ經過ヲ見マシテモ、積極ニ臺灣ノミニ仕事ニ重キヲ置キタイ、斯ウ云フ一方ノ議論ガ出タノニ對シテ、ソレハドウモ甚ダ宜シクナイ、寧ロ南支南洋ニ發展スルコトガ其重點デナケレバナラス、其論ガ内地カラ參リマシタ委員竝ニ臺灣ニ於ケル所ノ相當有力者ノ意見デアリ、殊ニ軍ノ方カラ出ラレマシタ方ハ非常ニ南支南洋ニ付テ力説高調セラレタノデアリマス、結局熱帶産業調査會ノ答申ノ中心ト云フモノハ、南支南洋ノ經濟發展ト云フコトガ重點トシテ答申サレタヤウニナツテ居ルノデアリマス、衆議院ノ方デモヤハリ熱帶産業調査會ノ答申ノ趣

旨ガ至當デアラウ、國際關係モアリマスルカラ、餘リニ之ヲ力説高調スルコトハ考ヘナケレバナラナイガ、臺灣ト云フ名稱ヲ著セテ、サウシテ眞ノ目的ハ經濟的ノ發展ヲスルト云フコトニ重キヲ置カナケレバナラナイ、サウ致シマスルト、是ハ重大ナル國策ヲ藏シタル所ノ即チ國策會社デアアル、其關係スル所ハ外務省トモ關係ヲシナケレバナラナイ、或ハ又國防上ノ見地カラ陸海軍共ニ重大ナル關係ヲ有セラルル、ソレデ中央ニ於テ始終方針ヤ、或ハ外國トノ關係ニ付テ手續スルコトガ洵ニ多イ、隨テ是ハ主務大臣ガ其大綱ハ之ヲ握ル、而シテ現地ノ實際ニ於ケル事情ニ付テハ、臺灣總督ヲシテ之ニ當ラシメルト云フコトガ最モ適當デアリナイカ、サウ致シマスルニハ、拓務大臣ノ說明ニ依リマスルト云フト何レ内議ハセシメルガ、勅令ニ讓ツタ、此案ニ於キマシテハ社長ノ任免權ハヤハリ臺灣總督ニ之ヲ與ヘルノデアアル、此事柄ハ相當考慮ヲシナケレバナラナイ、隨テ是ハ現地ノ實際ノ方面カラ考ヘ、國策上ノ重大點カラ考ヘテ、ヤハリ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督ヲ命ズルト云フコトガ適當デアラウ尤モ此場合ニ於テ、今貴族院側ノ御說明ニモアリマシタ點ハ考慮ヲ致サヌ譯デアリナイ、十分考慮ヲ致シテ居リマスルガ、併ナガラ總督ノ官制ニ於キマシテ、第三條デアツタカト思ヒマスルガ、臺灣總督ハ拓務大臣ノ監督スル、斯ウ云フコトガ明ニモウ官制ニナツテ居リマスル以上、必シモ此法文ガアルコトガ臺灣總督ノ地位ヲ之ニ依ツテ故ラニ下ゲル所ノ懸念ハアルマイ、又サウ云フ下ゲル意味デハ修正セラレタモノデアリ、極メテ普通ノ考デアライ矛盾ノアルモノトハ考ヘナイノデアツタノデアリマス、大體今申上ゲマシタ第一點第二點ガ主ナル理由トナリマシテ、茲ニ修正ノ結果ヲ見ルニ至ツタヤウナ經過デアリマス、ソレカラ第十條ノ政府ノ原案ハ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」トアリマスガ、之ニ對シマスル拓務大臣ノ說明ハ、臺灣島内ニ於ケル所ノ監督ニ關シテハ、主トシテ臺灣總督ヲシテ之ニ當ラシムル、臺

灣島外ノコトハ外國トノ關係モアリ、中央ニ於ケル所ノ各省トノ關係事項モアリ、隨テ是ハ拓務大臣ガ主トシテ之ヲ監督スル、双方共主トシテト云フ言葉ヲ使ツテ居ラレタノデ、全然御互相互關係シナイト云フ譯デハナカワツタノデアリマスケレドモ、併ナガラ是ハ實際ヲ考ヘテ見マスルト云フト、事業ガ臺灣ニ於テ本店ヲ有シ、或ハ外國ニ於テ支店ヲ有スル場合モアリマセウ、色々ナ實際上ノ問題ト致シマシテ、相互ニ關係ヲシテ居ルモノデアアル、ソレ故ニ極メテ大キイ主ナル問題ニ付テハ、拓務大臣之ニ監督ノ任ニ當ルノガ宜シイトハ考ヘマスケレドモ、日常實際ノ仕事ニ付テハ、地理的ニソレニ近イ方面ニ在ル所ノ臺灣總督ガ之ニ當ラレルノガ當然デアアル、拓務大臣ノ說明ノ如ク、是ハ双方ニ振分ケテ考フルヨリハ、實際ノ關係アル仕事デアアルカラ、寧ロ之ヲ第一第二二次、其一次ト二次ト云フ意味ハ、今堀切君ノ御說明ハ、地方長官ト内務大臣トノ如キ段階ヲ付ケタヤウナ御解釋デアリマシタケレドモ、是ハサウ云フ段階ノコトハ餘リ論議ニ出ナカワツタト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、仕事ノ實際カラ考ヘテ、現地ニ於ケル實際ノ仕事ハ臺灣總督ヲシテ當ラシメル、ソレカラ極メテ大キイ問題ニ付キマシテハ、拓務大臣モ十分ニ監督ノ權限ヲ持ツテ居ル、斯ウ云フ意味デアリマス、尤モ是ノ修正ノ字句ニ付テハ隨分苦シンダノデアリマス、經過ヲ有リノ儘ニ申上ゲマス、他ニ何カ適當ナ言葉ガナイカト云フコトデ、隨分苦シンダノデアリマス、苦シンダ結果、ドウモ餘リ良イ案モ出マセヌノデ、現ニ町村制ノ百三十七條デアリマシタカニ斯ウ云フ例ガアルコトヲ偶々發見致シマシテ、之ヲ用ヒタ次第デアリマスガ、趣旨ハ決シテ段階ヲ付ケル趣旨デハナイト云フコトハ此處ニ申上ゲルコトガ出來ルト思フノデアリマス、是ガ大體衆議院ニ於ケル修正ヲ行ツタ經過ト結果デアリマス、御參考マデニ申上ゲテ置キマス

貴族院側ノ御趣旨ノ御說明ヲ承ツテ、ソレニ引續イテ衆議院側ノ御趣旨ヲ說明シテ置キマシテ、其後ニ貴族院側ノ御說明ニ對スル衆議院側ノ御質問ヲ願ヒマシテ、ソレヲ終ヘマシテ、衆議院側ノ御質問ヲ願ツテ、ソレカラ協議ニ進ンデ行キタイト思ヒマス、衆議院側ノ御趣旨ニ付テ只今櫻井君カラ御說明ガアリマシタガ、川島君カラ尙ホ補足シタイ點ガアルト云フコトデアリマスカラ、川島君ノ發言ヲ求メマス

○川島正次郎君 衆議院ガ政府ノ原案ヲ修正致シマシタル理由ノ大要ハ只今櫻井君ヨリ御說明申上ゲタ通りデアリマスルガ、尙ホ他ニ私共ガ修正ヲ必要ナリト考ヘマシタ理由ヲ、補足シテ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ從來特殊會社ノ例ニ依リマスルト、會社ノ役員ノ任免ニ關スル事項デアリマス、或ハ監督ノ所在ニ關スル事項デアアルト云フヤウナ、會社存立上極メテ重大ナル事情ハ之ヲ明ニ法律ノ上ニ現ハス慣例ニナツテ居リマス、例ヘバ東洋拓殖株式會社ヲ見マシテモ、或ハ日本無線電氣株式會社ヲ見マシテモ、又ハ日本製鐵株式會社ヲ見マシテモ、其他特殊銀行ニアリマス幾多ノ例ヲ見テモ、之ヲ悉ク法律ノ上ニ記載ヲシテ居ルノデアリマス、此議會ニ當ツテ政府ガ出シマシタ特殊會社ニ關スル法案ハ、三案アリマス、一ツハ只今問題ニナツテ居リマス臺灣拓殖株式會社法案デアリマス、他ノ二案ハ別ニ政府ガ御提出ニナツテ居ル東北興業株式會社法案竝ニ東北振興電力株式會社法案デアツテ、此東北興業株式會社法案ヲ見マシテモ、第二章ニ役員ノ規定ガ詳細規定シテアリマス、又第六章ニ政府ノ監督及補助トシテ詳細ナル監督權ノ所在、方法ニ關スル規定ガアル、東北振興電力株式會社法案亦同様デアリマス、然ルニ此臺灣拓殖株式會社法案ニ限リマシテ、其第六條ニ於テ政府ノ原案ハ役員ノ職務、權限、任命選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムトシテアツテ、法案ノ中ニハ何等明記シテナイノデアリマス、又監督ノ方法、監督權ノ所在ニ付テモ、第十條ニ「政府ハ臺灣拓殖株式會

社ノ業務ヲ監督スルト云フ僅カニ一箇條ガアルニ過ギマセヌ、尙ホ第十六條ニ其他監督ニ關スル事柄ニ付テハ、勅令ヲ以テ定ムト云フコトノ規定ニナツテ居リマス、私共考ヘマスノニ、政府ガ何故臺灣拓殖株式會社法案ニ限ツテ、斯様ナ先例ニ違ツタ異例ヲ立案シタカト云フコトニ付テハ、解釋ニ苦シムノデアリマスケレドモ、是ハ前段申上ゲタ如ク會社ノ存立上極メテ重要ナ事項デアルカラシテ、明ニ法律ニ明記スベキモノデアツテ、之ヲ勅令ニ讓ルベキモノデアナイト云フヤウナ見解ノ下ニ、其内容ハ第二段ト致シマシテ、兎ニ角役員選任ノ方法、監督權ノ所在、監督ノ方法ノ如キハ、明文ニ記載スルガ宜イト云フ結論ニ到達シタノガ、第六條並ニ第十條ヲ修正スルニ至ツタ根本原因デアリマス、此第六條並ニ第十條ノ修正ダケデハ、實ハ私共甚ダ不滿ニ堪ヘマセヌ、尙ホ詳細ニ役員ノ職務權限、其他ニ付テ記載ヲ致シタイノデアリマスケレドモ、此會期切迫ノ際ニ何トカシテ法案ノ成立ヲ希望致シマシタガ爲ニ、極メテ重要ナリト考ヘマシタ所ノ、社長並ニ副社長ノ選任ノ點、並ニ監督ノ點ノミヲ修正致シテ、之ヲ吾々ハ不滿ニナガラ通シタノデアリマス、假ニ政府原案ノ如キモノガ今回議會ヲ通過シテ、是ガ公布サレルト致シマシタナラバ、恐ラク今後政府ガ提案致シマスル特殊會社若クハ特殊銀行ニ對スル法案ト云フモノハ、是ガ先例トナツテ、將來ハ役員ノ選任、監督ノ方法、或ハ役員ノ職務權限ト云フガ如キコトハ悉ク勅令ニ讓ルト云フ端ヲ發スルニ相違ナイ、斯ノ如キコトハ決シテ適當ナル方法デアナイト考ヘマシテ、此際政府ニ向ツテモ斯様ナル方法ハ將來慎ムベキモノダト云フ警告ノ意味ヲ含メテ、此兩條ヲ修正致シタノデアリマスカラ此點ヲ補足致シテ置キマス

○議長(永井柳太郎君) 是カラ貴族院側ノ御趣旨ノ御説明ニ對スル衆議院側カラノ御質疑ニ移リタイト思ヒマス
○若宮貞夫君 堀切サンニ伺ヒマス、第六條ノ點デスガ、只今川島君カ

ニソレガ外國ニ及ブト、斯ウ云フ特別ノ業務ノ素質ト云フコトヲモ考慮ニ入レテ、先程櫻井、川島兩君カラ說明申上ゲタ通り、衆議院ノ修正トナツタノデアリマス、其申述ベマシタ趣意ヲ御諒承願ヘマスレバ、ソレ以上ハ御考ヘナカツタト云フコトデアリマスカラ、アトハ意見ノ相違トナリマスカラ、此質問ノ機會ニ於キマシテハ私ハ此點ハ止メテ置キマシテ、即チ此會社ノ業務ノ特殊性、臺灣島内ニ限ラズ、是ガ島外、殊ニソレガ外國ニ及ブモノナリト、斯ウ云フ業務ノ特殊性ニ鑑ミルト云フコトガ基本ニナツテ、櫻井君並ニ川島君カラ說明申上ゲタ通りノ衆議院ノ修正ニ相成ツテ居ルノデアリマス、是モ討論ノ場合ニ更ニ意見ヲ申上ゲマスカラ其趣意ノアリマス所ダケヲ質問ノ名前デ變デアリマシタケレドモ、申上ゲテ置キマス
○堤廣次郎君 一寸堀切サンニ伺ヒマスガ、先程貴族院ノ修正ノ趣旨ハ能ク了承致シマシタ、其點ニ付キマシテハ衆議院ノ精神ト全然同様ナノデアリマス、臺灣總督ハ申迄モナク天子様ノ御名代トシテ新附ノ民ヲ統治シナケレバナラスノデアリマスカラ、十分其地位ヲ重カラシムルヤウ皆ガ考ヘナケレバナラス、其精神ニ於テハ貴族兩院共少シモ變リハナイノデアリマス、併シ大體此臺灣拓殖會社ト云フモノハ、名ハ臺灣拓殖トシテ「カムフラージュ」ヲシテ居ルケレドモ、南支南洋ニ大イニ國策ヲ伸ベヨウト云フノガ根本ノ趣旨デアル、ソコデ其趣旨デアルトシテ見タナラバ、寧ロ是ハ中央ニ其任免ノ權力ヲ持ツテ置イタ方宜クハナイカト思ハレルガ、併シナガラ之ヲ東洋拓殖ノヤウナモノニシテシマツテ全然中央デ監督シテ、臺灣總督ニソレニ少シモ與ラシメナイト云フコトニナルト、是ハ現地ニ於テ色々ノ障害モアリ、又新附ノ民ノ總督ニ對シテノ威嚴ニ對シテノ思惑モ如何カト考ヘテ、衆議院ニ於テハ「主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」斯ウ云フコトニナツタノデアリマス、此會

ラモ申述ベラレマシタ通り、吾々ハ特殊會社ニ關スル立法ヲスル場合ニ於テハ、其重役ノ任免ニ關シマスコトハ法定スベキデアル、法律ノ明文ヲ以テ定ムベキデアルト思ツテ居ルノデアリマス、只今川島君ガ前例ヲ舉ゲテ何レモ左様ニ相成ツテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタガ、之ニハ特殊ノ意義ガアツテサウナツテ居ルコトト思フノデアリマス、特殊會社ノ立法ノ内容トスル所ハ、大體個條ガ大同小異決ツテ居リマスガ、其重要ナル事項ノ一ツデアルト思ヒマス、此案ニ限ツテ之ヲ勅令ニ委任セラレテ居ルコトハ、唯前例ニ照ラシテ例外デアルト云フバカリデナシニ、是ハ此種ノ立法例ニ付テハ重大ナル缺點デアル、斯様ニ私共ハ信ジテ、此考ガ基礎ニナリマシテ衆議院側ハ修正ニ及ンデ居ルノデアリマスガ、此點ニ付テ貴族院側ノ方デ更ニ再修正ヲナサツテ、政府原案ノ通り勅令ニ委任スルト云フコトニ復活シテオイデニナリマスガ、其邊ニ付テノ御趣旨ヲモウ少シ突込ンデ承ツテ見タイト思ヒマス

○堀切善次郎君 只今ノ御質問ニ於キマシテハ其點ニ於テ特別ノ懸念ヲ持ツタ譯デハナカツタト思ヒマス、此度提案サレマシタ政府ノ案ニ於キマシテモ、先刻モ御話ノアリマシタヤウニ、東北振興電力株式會社、東北興業株式會社、此外ノ案ニ於キマシテハ法律デ極メラレテアリマス、之ヲ一ツ通スト、今後悉ク皆是ガ前例ニナツテ行キハシナイカト云フ御懸念ノ點ニ付キマシテハ、貴族院ノ方デハ特ニ懸念ハ致サナカツタノデアリマス

○若宮貞夫君 申上ゲヤウガ甚ダ拙劣デアツタカモ知レマセヌガ、凡ソ私ヨリ御尋致シマシタ趣旨ノ在ル所ハ御諒承願ヘタト思ヒマス、繰返シマスガ、吾々ノ信ズル所ニ依リマスト云フト、前例ノ示ス通り、斯ル立法ヲ爲ス場合ニ於テハ、斯ル重要ナル事項ハ明ニ法律ノ明文ノ中ニ定メテ置クベキモノナリト、斯様ニ吾々ガ信ジタコトガ基本トナリマシテソレニ加フルニ此會社ノ特殊ノ使命、臺灣ノ島内ノミニ限ラズ、島外殊

社ノ性質ハ臺灣島内ダケノ事業、例ヘバ臺灣電力會社、又朝鮮島内ダケノ事業例ヘバ朝鮮殖産銀行等ト云フノトハ、大變趣ガ違フ、朝鮮ノ殖産銀行ハ是ハ重役ノ任免ハ全部朝鮮總督ニナツテ居ルガ、併シ同朝鮮ガ主タル仕事デアツテモ、東洋拓殖會社ハ違ツテ居ル、監督ハ中央ニナツテ居ル、ソレハ東洋拓殖ト云フモノハ朝鮮ノ開發ヲ主タル仕事トスルケレドモ、ヤハリアノ東洋拓殖會社設立當時ノ精神ハ、滿洲ニ於テ國策ヲ伸ベヨウト云フ考ガアツタノデアリマス、ソコデ東洋拓殖會社ノ總裁ノ任免ノ權力ハ中央ニ持ツテ居ルト、斯ウ云フ様ナ譯デアリマス、ソコデ大體主タル眼點ヲ何處ニ置カカ、臺灣拓殖ト云フ名前ニ於テ南支南洋ニ國策ヲ伸ベルト云フコトニナルト、先程櫻井君モ述ベラレタ如ク、外務大臣トノ關係モアリ、又國防大臣トノ協議モ要ルノデアルカラ、ヤハリ中央ニモ監督權ヲ持タシテ「主務大臣ノ認可ヲ經テ」ト云フ風ニシタ方ガ穩當デアラウ、併シ現地ノ思惑ヲ考ヘテ「臺灣總督之ヲ命ズ」ト、斯ウ云フ風ニスルトトテラニモ宜カラウト、斯ウ云フコトニナルノデアリマスソコデ貴族院ノ方デハ此會社ハ主トシテ臺灣ノ拓殖ダケニ止メテ置イテ南支南洋ノ方ニ國策ヲ伸ベヤウト云フコトハ、又別ニ機關ヲ拵ヘタ方ガ宜カラウト、斯ウ云フ御趣旨デアリマセウカ、其點ヲ一ツ伺ツテ見タイト思ヒマス
○堀切善次郎君 此會社ニ付キマシテノ只今堤サンノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、貴族院ト致シマシテモ、此會社ノ仕事ヲ臺灣ノミニ止メテ、南支南洋ニ付テハ別ニ考ヘルガ宜イト云フ考ヲ有ツテ居ル譯デアリマセヌ、御考ニ付テハ全然考ヘ方ハ違ヒガナイカト思フノデアリマス、サウシテ此任命ノ方法ニ付キマシテモ、大臣ノ認可ヲ經テト云フ言現シ方ガ面白クナイト云フコトヲ申上ゲマシタノデアリマシテ、主務大臣ガ之ニ關係シチヤナラナイ、臺灣總督ノ專權デ、臺灣總督ノミガ之ヲ命ズルヤウニスルガ宜イト云フ意味デアリマセヌ、此主務大臣ノ認可ヲ經テ

ト云フ言現ハシ方ヲ避ケタイト云フ意味デアリマス
 ○堤康次郎君 サウスルト貴族院ノ御趣旨ト衆議院ノ趣旨トハチツトモ
 是ハ双方ニ違ヒガナイ、臺灣總督ト云フモノヲ大總督——大總督トカ小
 總督トカ言フト、少シ誤弊ガアルカモ知レマセヌガ、要スルニマア南支
 南洋方面ニ於ケル總督ノ職權ヲ一任シヨウ、丁度英國ノ印度總督ト云フ
 ヤウナコトニシテ行クト云フナラバ、是ハ又別デアリマスケレドモ、併
 シ英國ノ印度ニ對スルノ我國ノ臺灣ニ於ケルノトデハ、其距離ノ點ニ
 於テモ亦其他ノ總督ノ點ニ於テ大分違フノデアルカラ、現在ノ日本ノ狀
 態トシマシテハ、ヤハリ斯ウ云フコトガ宜クハナイカ、ソコデ兩方ノ精
 神ガ變リガナイト云フコトデアリマスナラバ、字句ノ訂正ト云フコト
 ハ是ハ協議ヲスレバ難マルコトダト思フノデアリマスガ、何分衆議院ノ
 方デモ會期モ切迫ラシテ居リマスシ、國策ヲ伸ベル必要ナ會社デアリマ
 スカラ、成ベク之ヲ通シタイト云フ誠意ハ皆アルノデアリマス、其根本
 ノ精神ガ同ジデアルトスルナラバ、其字句ノ修正ト云フヤウナコトハマ
 ア方法ガアルノデヤナイカトモ考ヘマスガ、サウ云フヤウナコトデ難
 テ行カウト云フ御考デアリマセウカドウカ、其點ヲモウ一度伺ツテ見タ
 イノデアリマス

○堀切善次郎君 趣旨ハ前ニ申上ゲマシタヤウナ次第デアリマシテ、之
 フ貴族院ノ決議ト致シマシテハ、原案ノ方ガ宜イトシテソコヘ戻シタ
 ナノデアリマシテ、ソレヲドウ云フ風ニ纏メテ行クカト云フヤウナコト
 ニ付キマシテハ、十分御懇談デモスル外ナイト思ヒマス

○川島正次郎君 只今ノ御兩所ノ質問應答ニ多少關聯シテ居リマスコト
 デアリマスガ、第六條第十條ヲ衆議院ガ修正シマシタ事情ノ一點ヲ御參
 考ニ申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、實ハ第六條ノ衆議院ノ修正、
 第十條ノ衆議院ノ修正、大體政府ガ考ヘテ居リマス所ト非常ニ飛離レタ
 意味ノ相違ハナイノデアリマスケレドモ、衆議院ノ委員會ニ於キマスル

舉ニ依ラズ之ヲ任命シト云フコトヲ示シテ來タ、株主總會ノ選舉ニ依
 ラズシテ之ヲ任命ス、然ラバ一體誰ガ任命權ヲ持ツテ居ルカト云フト、
 ソレハ臺灣總督ダト云フ、臺灣總督ナラ臺灣總督トハツキリシテ居レバ
 是モ一ツノ理論デアアル、然ルニ臺灣總督ニ任命權ハアルケレドモ、實際
 ニ於テハ拓務大臣ニ相談スルンダ、斯ウ云フ御説明デスカラ、ソコデ又
 是ガ分ラナクナツテ來タ、ドウチニ一體主タル中心ガアルカ、大體論ト
 シテハ臺灣拓殖株式會社ノ社長、其他ノ役員ノ任免並ニ監督權ノ所在ノ
 中心ヲ臺灣總督ニ置クノカ、拓務大臣ニ置クノカ、ドウチガ一體中心ニ
 ナツテ此會社ヲ運用シテ、サウシテ國策ノ遂行ヲ圓滿ニスルノカト云フ、
 根本ノ意見ニ於キマシテ政府ニ確乎タル考ガナイ、時ニハ中心ヲ拓務大
 臣ニ置キ、時ニハ中心ヲ臺灣總督ニ置クト云フノデアツテ、政府ノ腹ガ
 分ラナイ、腹ノ分ラヌ政府ニ極メテ融通ノ利ク條文ヲ預ケルト云フコト
 ハ、非常ニ危險デアアルト云フ考カラシテ、ハツキリ第六條、第十條ニ吾
 吾ノ意思ヲ現ハシタノガ、修正スル又一ツノ理由デアリマスカラシテ此
 場合此點ヲ附加ヘテ置キマス

○子爵渡邊千冬君 段々御話ヲ承ツテ居リマスト云フト、衆議院側ノ委
 員各位モ、貴族院側ニ於キマシテモ、此案ノ成立ヲ希望スルト云フ其一
 點ニ於テハ、全ク同一デアルヤウニ承知致シマシタノデアリマス、又ソ
 レト同時ニ、當初ニコチラカラ述ベマシタ貴族院側ノ再修正ノ意見ト云
 フモノニ對シテモ、大體ソレハ御認ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマ
 ス、私共ハ又衆議院側ノ修正ノ御考ヲ承リマシテモ、是ハ私一個ノ意見
 デアリマスケレドモ、洵ニ御尤ノ點モ多クアルト思ヒマス、サウシマス
 ト云フト、茲ニ殘ル問題ハ、只今川島君ガ申サレタヤウナ、政府ノ眞意
 ノアル所ガハツキリシナイ、是ハ私共モ左様思フノデアリマス、昨日モ
 本會議ニ於テ拓務大臣ノ説明ヲ聽イテ居リマスト云フト、ドウモハツキ
 リシナイ所ガアルノデアリマス、併シ之ヲハツキリサセル方法モ考ヘレ

拓務大臣並ニ政府委員ノ私共ニ對スル御答辯ガ、極メテ曖昧模糊トシテ
 居ル、例ヘバ第十條ハ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」トナツ
 テ居ル、一體政府トハ何處ヲ指スノカ、斯ウ云フ質問ニ對シマシテ、結局
 ノ御答トシテハ、其監督ハ先程櫻井君カラ申上ゲタ如ク、臺灣島内ニ關
 スルコトハ臺灣總督ガアルノダ、併シ是モ無論拓務大臣ニ相談ガアルニ
 違ヒナイト思フ、臺灣島外ノコトハ拓務大臣ガ主トシテ監督ヲスルンダ
 ケレドモ、臺灣總督ニ默ツテヤル譯ニモ行カナイ、斯ウ云フ御答辯ナ
 デス、實ニ捉ヘ所ガナイ、一體此臺灣拓殖株式會社ノ仕事デ、臺灣島外
 ト島内トハツキリ區別スル分量ガドノ位アルカ、恐ラク總督ノモノハ島
 内外ニ關係シテ居ルニ相違ナイ、其場合ドウチガ主タル監督ヲ持ツテ居
 ルノカ、命令一途ニ出ナケレバナラヌニ拘ラズ、錯綜シテ、事實行政上
 ノ監督ヲスル場合ニ、政府ガ御困リニナルニ違ヒナイ、之ヲハツキリ此
 點ハ條文ニシテ置イタ方ガ宜イ、私共ハ政府ノ答辯サヘハツキリシテ居
 レバ、實ハ修正ハ第六條ダケニシテ置イテ、第十條ノ方ハ「政府ハ臺灣
 拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」ト云フ政府原案ヲ認メヨウト思ヒマシタ、
 或ハ條文ノ體裁トシテハ是ガ宜イノカモ知レヌ、宜イノカモ知レヌガ、
 如何ニモ拓務省當局者ノ御説明ガ、朦朧トシテ居ツテ捉ヘ所ガナイ、斯
 ウ云フ當局者ニ任シテ置イテハ、ドウ云フ解釋ニナルカ分ラヌカラ、衆
 議院ガ、或ハ議會ガハツキリ意思ヲ條文ノ上ニ現ハシタガ宜カラウト云
 フノデ、ソコデ「第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ、第二次ニ於テ主務
 大臣之ヲ監督ス」ト之ヲ明確ニ規定シタ譯デアリマス、第六條ニ付テ
 モマア同様ノ意味ガアル、一體誰ニ監督權ガアルノカ、政府原案ニ依ル
 ト、勅令ヲ以テ之ヲ定ムト書イテアリマスルカラ、然ラバ一體勅令ニド
 ウ云フ規定ヲスル積リダカ、勅令案ノ内容ヲ條文デナクテ宜イ、簡條書
 デ宜イカラ出シテ貴ヒタイト言ツタ所ガ、政府ガ私共ニ示シタ勅令案ノ
 内容トシテ「役員ノ任免及任期」ト致シテ「社長、副社長ハ株主總會ノ選

バ考ヘラレルコトデアラウト思ヒマス、就キマシテハ目的ガ此案ヲドウ
 シテ成立サセテ、南支南洋ニ於ケル重大ナル國策ヲ實行スル爲ニモ有益
 ナル會社デアルト云フコトハ、兩方共意見ガ一致シテ居リマス以上ハ、
 如何デセウ、此際小委員デモ茲ニ設ケマシテ、其小委員ノ諸君ガ十分御
 協議ニナリマシテ、只今櫻井君モ字句ノ問題位ナラバ同意シテモ宜イト云
 フヤウナ、大變協調的ノヤウナ御話ガアリマシタガ、字句ノ點バカリデ
 ナク、内容ニ付テモ、ドウセ斯ウ難レタ意見ガ出ニ出來マシタ以上ハ、
 多少ハ内容的ニモ歩ミ寄ラナケレバナラヌカモ知レマセヌカラ、ソレ等
 モ小委員デ懇談シテ見ナケレバドウ云フ案ガアルカナイカ分ラヌノデ、
 此際兩方カラ三名位ノ一人数ハ固執ハ致シマセヌガ、三名位ガ宜イ
 カト思ヒマスガ、小委員ヲ御出シナリマシテ、十分御協議ノ上、政府
 ノ拓務大臣ナリ誰ナリ、御協議ノ結果御呼ビニナツテ、サウシテ政府ノ
 意見モ改メテ確メテ見テ、サウシテ其小委員ノ御成案ヲ協議會ニ御諮リ
 ニナルヤウニナツタラ如何カト思ヒマスガ、如何デセウ、左様ナコトヲ
 提議致シテ見タイト思ヒマス

○議長(永井柳太郎君) 貴族院側カラ御質問ハアリマセヌカ——サウス
 レバ雙方ノ御説明ニ對スル質疑ハ是デ一巡終ツタモノト致シマス、只今
 渡邊子爵カラノ御發議ガアリマシタガ、其御發議ニ對シテ衆議院側ノ意
 見ヲ述ベル前ニ、一旦休憩シタイト思ツテ居リマス、暫時休憩致シマス
 ○議長(永井柳太郎君) ソレデハ休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、休憩
 前ニ渡邊子爵カラ懇談ニ移ツテ、隔意ナキ意見ヲ交換シテハドウカト云
 フ御話ガアリマシタガ、御異議ガナケレバサウ云フ風ニ懇談ニ移ルコト
 ト致シタイト存ジマス、〔異議ナシト呼フ者アリ〕
 ○議長(永井柳太郎君) ソレデハ只今カラ速記ヲ止メマシテ懇談ニ移リ
 マス、〔速記中止〕
 ○議長(永井柳太郎君) ソレデハ懇談會ニ於ケル渡邊子爵ノ御發議ニ從

ツテ、小委員ヲ設ケルコトニ致シタイト思ヒマス、小委員ハ貴族院側、衆議院側共ニ三名宛トシテ御異議アリマセヌカ(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(永井柳太郎君) 御異議アリマセヌカ、左様決定致シマス

○子爵渡邊千冬君 只今兩院カラ三名宛ノ小委員ヲ選定シテ御相談スルコトニナツタノデアリマスガ、其小委員ノ指名ハ、議長ニ御一任致シタイト思ヒマス、御賛成ヲ願ヒマス(賛成)異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(永井柳太郎君) 渡邊子爵ノ御發議ニ御異議ナイモノト認メマスソレデハ三名宛ノ小委員ヲ是カラ指定致シマス、貴族院側ハ

- 堀切 善次 郎君
- 黒崎 定三 君
- 倉知 鐵吉 君

- 櫻井 兵五 郎君
- 川島 正次 郎君
- 井阪 豊光 君

ノ御三名ニ願ヒマス、衆議院側ハ

ノ御三名ニ御願致シマス、尙ホ此小委員會ニハ、貴族院側モ、衆議院側モ、議長、副議長ハ参加スルコトニ致シタイト思ヒマス、ソレデハ只今カラ小委員會ニ移リマス、暫時休憩致シマス

○議長(永井柳太郎君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、小委員ニ移シタ協議方尙ホ繼續シテ居リマスノデ、本日ノ協議會ハ是デ散會致シマス、明日ハ午前十一時カラ御參集ヲ願ヒマス

○議長(子爵渡邊千冬君) 是ヨリ兩院協議會ヲ開會致シマス、議院法ニ依ツテ本日ハ私ガ此席ヲ汚シマス、マダ最後ノ決定ヲ致シマス爲ニハ、各員ノ所屬シテ居ラレマス團體ニ於テ未決定ノ所モアリマスノデ、本日午後二時ヨリ改メテ兩院協議會ヲ開クコトト致シマス、只今ハ此程ニ於テ休憩ヲ致シタイト思ヒマス、尙ホ付加ヘテ申上ゲテ置キマスガ、

午後一時半ヨリ昨日ニ引續キマシテ、小委員會ヲ開キタイト思ヒマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス、是ニテ休憩致シマス

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ休憩前ニ引續キマシテ兩院協議會ヲ開會致シマス小委員會ノ審議ノ經過及結果ノ御報告ヲ願ヒマス、堀切君

○堀切善次郎君 小委員會ニ於キマス審議ノ經過並ニ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマス、小委員會ニ於キマシテハ、昨日ヨリ本日ニ互リマシテ、隔意ナク意見ノ交換ヲ致シ、其結果第六條ニ付キマシテハ、衆議院議決案ノ通り、第十條ニ付キマシテハ解釋上不明ノ點モアリマシタノデ、拓務大臣ノ御言明ヲ得マシテ、貴族院議決案ノ通りト云フコトニ小委員會ノ結果ヲ得マシタ、何卒御賛成ヲ御願申上ゲタイト思ヒマス

○議長(子爵渡邊千冬君) 只今小委員會ノ成案ニ付テ御報告ガアリマシタガ、其成案ヲ議題ト致シマシテ、御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、御質問ガアリマシタナラバ、御質問ヲ願ヒマス、御質問ガナケレバ直チニ討論ニ入りタイト思ヒマス、御議論ガナケレバ直チニ採決致シタイト思ヒマスガ……

○柴田善三郎君 只今ノ小委員會ノ決定ヲ拜聽致シマスルト、此場合政府ガドンナ御考デアルカラ聽ク必要ガアルト思ヒマスルガ、議長ハソレハドウ云フコトニ御取計ニナリマスカ

○議長(子爵渡邊千冬君) 只今堀切君カラ、政府ノ説明ヲ聽イタド小委員會ニ於テハ、其成案ヲ決定シタト云フ御報告ガアリマシタガ、私ノ考ト致シマシテハ、問題トナツテ居リマス六條、十條ヲ此協議會ニ於テ決定シマシタ後ニ、念ノ爲ニ改メテ拓務大臣ノ御出席ヲ請ヒマシテ、再

○柴田善三郎君 只今小委員會ガ御決定下キイマシタ所ニ賛成デアリマス、而シテ此ノ法案ガ兩院ニ於テ其ノ氣持ニ於キマシテハ餘リ大キイ隔リモナイノニ、結果ニ於テハ何ダカ非常ナ隔リノアルヤウニナリマシ

カコトハ、海ニ遺憾デアリマシタケレドモ、幸ヒ委員會ニ於テ深く胸襟ヲ披イテ御相談下サイマシテ、兩院互ニ其意ノ在所ガ能ク疏通徹底致シ五讓ノ精神、妥協ノ精神ニ依リマシテ、一人ノ御異議モナク御決定ニナリマシタコトハ、一ニ委員諸氏ノ御盡力ノ結果デアリマシテ、贊成致シマスルニ際シテ深く敬意ヲ表シ、感謝ヲ申上ゲタイト存ジマス、唯此贊成ノ氣持ヲ申上ゲル機會ニ於テ、一言私ニ申述べサシテ戴キタイト思フノデアリマスガ、是ハ必ずヤ衆議院ノ諸君モ氣持ニ於テハ決シテ最初カラ違ヒナカウタラウト存ジマスルガ、私ハ既往ニ於キマシテ外地ニ勤務致シタ關係モゴザイマスルシ、而シテサウ云フ場合ニ於キマシテ、外地ト内地トノ關係、モツト露骨ナ言葉ヲ以テ言ヘバ、イザゴザト云フヤウナコトニ付キマシテ、深い經驗ヲ持ツテ居リマスノデアリマス、而シテ外地長官ノ極メテ重要ナル地位ニ在ルト云フコトヲ自分ノ勤務致シタコトカラ特ニ痛感致シテ居リマス、サウ云フ所デ、獨リ臺灣總督ト申シマセズ、朝鮮總督ト申シマセズ、斯様ナ重要ナル地位ニ在ルト所謂外地長官ハ、今後トモ愈々益々其地位ヲ確立シ、サウシテ太ラセテモ細ラセタクナイト云フヤウナ氣持ヲ私ハ持ツテ居リマス一人デアリマス、サウ云フ所カラ實ハ餘リ氣持ハ違ハヌノカモ存ジマセヌガ最初ニ於テ認可ト云フ言葉ハ、所謂上級、下級ノ間ニ通常用ヒラル、言葉デアアル、固ヨリ臺灣ニ付キマシテハ監督權ト云フモノガアルノデアリマスルケレドモ、一々ノ法令ニ斯ウ云フコトヲ現ハスト云フコトハ、新規ノ例デアリマスルカラ若シ斯ウ云フ所カラ今日ノ兩院ノ氣持ヲ、後ノ政府當局者ト云フヤウナ者ガ諒解致シマセズ、故ニ一ツノ先例ガアルト云フヤウナ所カラ、第二、第三ト、幾多ノ斯ウ云フ立法ヲ生ズルト云フコトガアツテハナラヌカト私ハ考ヘテ居ル次第デアリマス、殊ニサウ云フコトニナレバ私カラ見レバ、今後ニ於キマシテ、若シサウ云フ立法例ガ出來タ場合ニ於テ、當局者ノ心持次第ニ依リマシテハ、今回ノ例ガ一ツノ惡例ニナツタト云フヤ

ウナコトニナツテハナラヌト思ヒマス、ソレカラモウ一ツニハ今日所謂政府ノ庶政一新ト云フコトガ頻リニ力説サレテ居リマス、其爲ニカ制度ノ上ノ改革ナドモ是非致サレタイヤウニ申シテ居ラレマス、是ハ相當骨ノ折ラレルトコトデアリマスルケレドモ、是非トモ諸般ノ方面ニ互ツテ、其適切ナルモノハ之ヲ實行セシメタイト云フ氣持ヲ私ハ個人トシテ持ツテ居リマス、思フニサウ云フ場合ニ於キマシテハ、今日ノ拓務大臣ノ臺灣總督ニ對スル監督權ノ如キハ、寧ロ之ヲ將來ハ廢止シテ、丁度臺灣總督ヲシテ今日ノ朝鮮總督ノ如キ地位ニ戻スト云フヤウナノガ、或ハ適當デヤナイカト云フ位ニマデ、私個人トシテハ考ヘテ居リマスルヤウナ次第デアリマス、ソナヤウナ關係モアリマシタ所カラ、文字ハ洵ニ輕イ僅ニ二字ニ過ギナイノデアリマスガ、私個人ノ意見トシテハ、今日モ何ダカ餘リ惡例ニナツテ與レネバ宜イガト云フコトヲ心配致シツ、居ツタノデアリマシテ、昨日來御氣持ヲ承リマスルト、貴族院ヲ代表シテ堀切君ノ御話ニナリマシタ如ク、此現ハシ方ノ違ヒト云フ位ニ過ギナイ御氣持デアルト云フヤウナ風ニ私拜察致シマシテ、此點安心致シタヤウナ次第デアリマス、デアリマスルカラ、人ニ依リマスルト云フト、何ダカ衆議院ガ慎重審議遊バサレタ其モノヲ、私共ガ何カ御氣持ニ適ハヌ修正ヲ行ツタト云フヤウナ風ニ御覽ニナルカモ知レマセヌガ、ソナヤウナ氣持カラ致シタ次第デアリマスカラ、其點惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス、要スルニ私ハ只今ノヤウナ意味合ヲ以テ——決シテ是ハ條件デアリマセヌ、贊成致シマス、贊成ノ機會ニ於テ私ノ氣持ダケラ一寸申上ゲタノデアリマス

○議長(子爵渡邊千冬君) 他ニ御意見ハアリマセヌカ

○永井柳太郎君 只今堀切君カラ小委員會デ御決定ニナツタ其結果ノ御報告ガゴザイマシタガ、私共ハ兩院ノ小委員ノ間ニ於ケル御協議ト、又其前ニ本協議會ニ於ケル意見ノ交換トニ依ツテ、貴衆兩院ノ協議委員ノ

間ニ相互ノ諒解ガ深メラレ、御互ノ氣持ガ能ク通ジマシテ、各々讓歩スベキコトハ讓歩シ、而モ互ニ守ルベキモノハ能ク守ツテ、圓滿ニ一致點ニ到達シ得マシタコトヲ洵ニ喜バシク存ジマス、私共ハ只今ノ堀切君ノ小委員會ノ結果ノ御報告ニ對シテ贊成ノ意思ヲ表示致シマス

○櫻井兵五郎君 御尋ヲ致シマスガ、拓務大臣ガ茲ニ改メテ何カ發言スルノハ採決ノ後ニナリマスカ
○議長(子爵渡邊千冬君) 私ノ考デハ拓務大臣ノ聲明サレタト云フコトハ、小委員カラ御報告ガアリマシタノデ、ソレニ依ツテ諸君ノ御諒解ヲ得タコトト思ヒマスノデ、此際成案ヲ決定致シマシテ、念ノ爲ニ其後ニ改メテ拓務大臣ノ出席ヲ求メテ聲明ヲ乞ヒタイト思ヒマスガ、ソレデハ如何デアリマスカ

○櫻井兵五郎君 懇請デアリマス

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ採決致シマス、第六條ハ衆議院議決案ノ通りト決定スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ第六條ハ衆議院議決案ノ通りニ可決致シマシタ——第十條ハ貴族院議決案ノ通りニ決定スルコトニ御異議ゴザイマセヌカ (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ第十條ハ貴族院議決案ノ通りニ可決致シマシタ——此際御諮リテ致シマスガ、委員諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、念ノ爲ニ改メテ拓務大臣ノ出席ヲ求メマシテ、第十條ニ對スル政府ノ監督ノ點ニ付テ、政府ノ聲明ヲ求メタイト思ヒマスガ、左様致スコトニ御異議ゴザイマセヌカ (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ左様致スコトニ致シマス——先刻小委員會ノ審議ノ結果ヲ堀切君ヨリ御報告ニナツタノデアリマスガ、其御報告ノ中ニ、拓務大臣ノ第十條ニ關スル御説明ヲ聽イタ上ニ於テ、決定

シタト云フ御報告ガアツタノデアリマスガ、此際兩院協議會ハ、念ノ爲ニ改メテ拓務大臣ヨリ御説明ヲ直接ニ承リタイト存ジマシテ、御出席ヲ煩シタ次第デアリマス、ドウゾ拓務大臣ヨリ第十條ノ會社ニ對スル監督ニ付テ、政府ノ所見ヲ承リタイト思ヒマス
○國務大臣(永田秀次郎君) 只今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、會社ニ對スル政府ノ監督ハ其業務ガ島内ニアルト、島外ニ涉ルトラ問ハズ臺灣總督之ニ當リ、其大綱ニ付テハ主務大臣モ之ヲ監督スルト云フ意味デアリマシテ、此趣旨ヲ附屬勅令ニ規定スル積リデアリマス
○議長(子爵渡邊千冬君) 是ヲ以テ兩院協議會ノ爲スベキ任務ハ終了シタコトト存ジマスガ、散會致スコトニ御異議ハアリマセヌカ (「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(子爵渡邊千冬君) ソレデハ是ヲ以テ閉會致シマス(拍手)

朝鮮事業公債法中改正法 律案委員會

一 治外法權撤廢後ノ在滿鮮人教育

問題ニ就テ

一 綾川委員質疑

○綾川委員 此治外法權撤廢ノ條約ノ第一歩トシテ行ハレルヤウナ御模樣デアリマスガ、其中ニ於キマシテ教育權ダケハ飽迄モ日本人ニ留保スル、我が日本ノ教育官憲ニ於テ之ヲ行フコトニスルノダサウデアリマスガ、……朝鮮人ハ除外スルト云フ方針ガアルト云フコトヲ漏レ聞キマシテ、……若シ治外法權撤廢後ニ於テ斯様ナコトニナリマシタラバ、如何ナル態度、如何ナル御處置ヲナサル御積リデアリマスカ

二 今井田朝鮮政務總監答辯

○今井田政府委員 治外法權撤廢後ニ於ケル在滿朝鮮人ノ教育問題ニ付キマシテ、只今御話ノヤウナ、内地人ト朝鮮人ヲ區別シテ取扱フト云フヤウナ説ガ一部ニ行ハレタコトハ事實デアリマス、是ガ外間ニ漏レマシタ爲ニ、在滿朝鮮人ガ著シク不安ヲ感ジタト云フコトモ事實デアリマス、併ナガラ總督府ト致シマシテハ、在滿内地人、朝鮮人ヲ總テ日本人トシテ、之ニ對スル教育施設ヲ差別シテ考ヘルト云フコトハ適當デナイト考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ根本ノ方針トシマシテハ、同様ノ原則ノ上ニ取扱フト云フコトニ、是非致シタイト云フコトデ、關係當局ト議ヲ

進メテ居ルノデアリマス、左様ナ結果ニナルコト今日デハ確信致シテ居リマス、隨ツテ曩ニ在滿朝鮮人ノ懐イテ居リマシタ不安ハ、今日ニ於テハ漸次解消シツツアル、斯様ナ狀況ニナツテ居リマス

二 要求サレタ參考資料名

參考書類

- 一、過去十年ノ朝鮮ニ於テ產出シタル鑛種別調
- 一、過去十箇年ノ朝鮮ニ於テ產出シタル鑛種別價格調
- 一、朝鮮ニ於ケル過去十箇年間ノ營農別農家戸數調
- 一、朝鮮殖産銀行所有株式調
- 一、朝鮮鐵道ノ投資額ト利廻
- 一、北鮮鐵道滿鐵委託ニ關スル契約書寫
- 一、朝鮮ニ於ケル過去十箇年間ノ重要農産物生産額調
- 一、嶺山稼行鑛區過去五箇年調
- 一、朝鮮ニ於ケル産業ノ狀況
- 一、省線、朝鮮鐵道、滿鐵、滿洲國線運賃協定ニ關スル説明
- 一、鮮滿拓殖株式會社設立要綱

三 朝鮮ニ於ケル繩呷ノ統制及滿洲

輸出獎勵方法ニ就テ

綾川委員、石塚朝鮮總督府技師トノ一

問一答

○綾川委員 朝鮮ニ於キマシテ繩呷ト云フモノガ副業トシテ重要ナルモノト考ヘルノデアリマスガ、是ハ從來二ツノ協會ガ立ツテ非常ニ争ツテ

居ルノデアリマス、朝鮮總督府、朝鮮製用協會、此二ツノモノガ互ニ争ツテ居ツタヤウデアリマスガ、今年一月合同致シタヤウデアリマス、此總督府ニ付テハ、總督府ノ方ニ於キマシテハ協會ダケデ統制ガ十分ニ取レテ居ルト御考デアリマセウカ、如何デアリマセウカ

○石塚朝鮮總督府技師 從來朝鮮ニハ肥料ハ扱ヒマスル朝鮮總督府協會ト云フ協會、ソレカラモウ一ツハ穀用扱ヒマス朝鮮製用協會、此二ツガゴザイマシテ、其業者ガ動モスルト多少意見ヲ異ニシテ居ツタノデアリマスガ、御話ノヤウニ本年ノ一月デアリマシタカ、兩協會ガ合併スルコトニ話ガ進ンデ居ルヤウデアリマス、此協會ハ總督府カラ直接ノ監督ハナイノデアリマスルガ、重要ナル副業ノ扱ヒマシテ居ル關係上、總督府トノ連絡ハ取ツテ居ルノデアリマス、御質問ノ其協會ノコトダケデ朝鮮ノ扱ヒマシテ居ル出來ルコト云フヤウナ質問デアリマスガ無論其協會ダケデモ或ル程度ノ統制ハ出來ヤウト思ヒマス、併シ總督府トシテノ從來考ヘテ居ルコトハ、重要ナル副業品ノコトデアリマスカラ先ツ各道毎ニ總督府統制會社ヲ第一設テ作リマシテ、然ル後朝鮮ヲ一貫シタ所ノ其各道會社ノ親會社ナル統制會社ヲ作ルト云フコトガ宜イデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトガ數年前ノ内務部長會議ノ時ニ專ラ論議サレマシテ、出來得ルナラバサウ云フ趣旨ノ下ニ進メタイ、斯ウ云フ考デアルノデアリマス

○綾川委員 滿洲ニ對シテ此總督府成ルベク多ク使ハセルヤウニ致シタラト私年來考ヘテ居ツタノデアリマスガ、斯様ナコトニ付テ朝鮮總督府デハ如何ナル方法ヲ執ツテ御居デ、ゴザイマセウカ

○石塚朝鮮總督府技師 其點モ御話ノヤウニ總督府トシテモ是非必要ナコトデアルト考ヘマシテ、滿洲化學工業株式會社ト云フノガゴザイマス是ハ硫安ノ製造ヲヤツテ居リマス、其會社ニ硫安トシテ年々相當ノ數ヲ出シテ居リマス、尙ホ又豐年製油株式會社ガ大連ニ於テ例ノバラ柏ヲ

製造シテ居リマスガ、其バラ柏ヲ入レルハ朝鮮ノ方カラ年々輸出致シテ居リマス、其外滿洲生産ノ米ヲ入レマス穀用扱ヒ、是モ朝鮮カラ年々輸出ヲ致シテ居リマス、斯様ニ致シマシテ、成タケ朝鮮カラ滿洲ニ向ツテ輸出スルコトヲ考ヘテ居リマス

○綾川委員 獎勵ノ方法ハドウ云フ風ナ方法ヲ御執リデゴザイマスカ、ソレヲ御聽キシタイノデゴザイマス、滿洲輸出ニ對スル獎勵方法ハ、朝鮮總督府トシテ如何ナル方法ヲ御執リニナツテ居リマスカ

○石塚朝鮮總督府技師 此輸出ノ特別ノ獎勵ト云フコトハ致シテ居リマセヌ、詰リ補助金ヲ出シテマデノ獎勵ハ致シテ居リマセヌガ、先刻御話ニモアリマシタ、例ノ肥料ハ扱ヒマシテ居ル關係ノ朝鮮總督府ト常ニ總督府ハ連絡ヲ保ツテ、賣込ニ努力シテ居リマス、例ハ豐年製油會社ニ對シテ總督府ノ方カラ、是非今年ハ三十萬ノ買ツテ賣ヒタイ、或ハ滿洲化學工業ニ對シテ總督府ノ技師ヲ派遣シテ、二十萬買ツテ賣ヒタイト云フヤウナ交渉ヲ、協會ト協力シテヤツテ居リマス、ソレ位デアリマス

四 内外ヲ通ジテ鐵道一元化ニ對スル政府ノ方針ニ就テ

川俣委員、前田鐵道大臣トノ一問一答

○川俣委員 今日國有鐵道政策ト致シマシテ滿鐵ヲ含メタ鐵道ノ一元化ト云フコトガ非常ニ問題ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、之ニ對スル現内閣ノ鐵道政策ニ對スル方針ヲ……又朝鮮鐵道ガ内地ノ鐵道省ノ下ニ監督サル方ガ今日ノ日本ノ產業政策ノ上ニ益スル所ガ多イト云フヤウナ説ヲ立テル者モアルヤウニ見受けラレマスルノデ、此際將來ノ方針ヲ明示シテ欲シト思ヒマス

○川俣委員 將來ノ日、滿、鮮ノ一ツノ經濟「ブロック」ガ結バレルデアラウト云フヤウナコトヲ豫想サレルダラウシ、ソレニ對シテ將來鐵道省トシテ如何ニ取扱フベキカト云フヤウナ考ヲ現在持ツテ居ラレルカドウカ考慮サレテ居ルカドウカ

○前田國務大臣 只今ノ御質問ニ能ク御質問ノ趣旨ガ分リマシタガ、現在ノ制度デナク將來ニ於テサウ云フ風ナコトヲ考ヘテ居ルト云フ點ニ付キマツテハ、御承知ノヤウニ朝鮮ニ致シマシテモ固ヨリ一視同仁ノ御詔勅ノ如クデアリマスガ、尙ホ民族ノコトヲ考慮シナケレバナリマセヌシ、多年ノ歴史、多年ノ沿革モゴザイマスノデ、今之ヲ一元化シテ行クコトニ付キマシテ、果シテドレダケノ好イ結果ヲ擧ゲマスカト云フ點ニ付キマシテハ、私此處デ的確ニ御答スルダケノマダ用意ガナイノデゴザイマス、唯運輸機關トシテ其系統ヲ滑カニシテ、所謂日、滿、鮮ノ「ブロック」内ニ於ケル交通機關トシテノ働キヲ十分ニスルト云フ意味カラ致シマシタナラバ、是ハ日滿鮮車間ニ十分ナル連絡ヲ取り、打合セテ爲シマシテ遺憾ナキヲ期シ得ル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、現在ノ滿洲或ハ朝鮮鐵道其モノヲ全然内地ト一ツノモノニシテシマフト云フコトニ付キマシテ、今私ハ將來ノ見透シテ此處デ申上ダルト云フコトハ、私トシテ中々致シニクイト云フ風ニ御答スル外ナイノデアリマス

五 朝鮮統治ノ根本方針、朝鮮ノ自治、朝鮮人ヲ衆議院ニ送ル意思

○前田國務大臣 只今ノ御質問ニ御答致シマス、私ガ只今御質問ノ趣旨ニ對シマシテ御答致シマスコトガ、若シ的外レノコトヲ答ヘテ居リマシテ御趣旨ニ或ハ適ハスト云フヤウナコトガアリマシタラ、御指摘願ヒタイト思ヒマス、只今御尋ノ趣旨ハ、朝鮮鐵道ノ内地ノ鐵道省ト一緒ニ一元化スルト云フヤウナ方針ヲ執ラヌカト云フヤウナ御尋ト、斯ウ云フ風ニ解釋致シマシタ、朝鮮鐵道ヲ今ドウスルト云フ風ニハ只今ノ所デハ政府トシテハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、何故カト申シマス、御承知ノヤウニ、朝鮮總督府ト云フモノノ官制ヲ御覽ニナルト、朝鮮總督府ハ朝鮮ニ於テ隨分大キナ權限ヲ御持チニナツテ居ルノデアリマス、其朝鮮總督府ノ持ツテ居ル權限ノ中、特ニ產業、其他色々ト大キナ權限ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、鐵道ハ交通機關トシテ特ニ產業ノ動脈ト言ヘルノデアリマスガ、之ヲ一元化シテ、鐵道省ノ中ニ入レテ、鐵道省ガ之ヲヤツテ行クト云フコトニナツテ、朝鮮總督府ノ權限ヲ離レテ行クト云フコトニナリマスト云フト、果シテ良イ結果ガ得ラレルカドウカト云フコトヲ、私率直ニ申シテ見マス、例ハ或ハ新ナル建設ヲドウ云フ方面ニヤルカ、改良ヲドウ云フ風ニヤツテ行クカト云フヤウナコトモ、コチラノ方デヤツテ居リマスト必シモ朝鮮總督府ノ意向通リニハ行キニクイトデハナイカ、サウ云フ所ニ於テモヤハリ一元化ト云フヤウナコトガ中々困難ナコトデヤナイカト云フヤウニ、私今此席デハ考ヘテ居ルノデアリマス、將來行政機構ト云フモノガ大改革セラレ、國政ガ一新セラレテ、朝鮮總督府ノ行政ナドモ變ツテ來ルト云フヤウナ時代ガアリマシレバ、ソレハ又格別ノ見方ヲ致サナケレバナリマセヌガ、現行制度ノ上ニ於テ朝鮮鐵道ト云フモノヲ内地ト一元化スルコトニ付キマシテハ、朝鮮總督ノ權限内ニ於ケル最大キナ產業ノ部門ニ於テ、其動脈タル鐵道ヲ内地ニ持ツテ來テ、向フノ總督ノ權限カラ離スト云フヤウナコトハ、果シテ旨ク行クカドウカ、私ハ俄ニ賛成シ兼ネル、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイ

アリヤ否ヤ、米穀自治管理案ノ
委員會及本會議ニ於テ永田拓務
大臣ノ答辯ニ付朝鮮ニ於ケル人
心ノ動搖アルニ鑑ミ此際訂正ノ
意ナキヤ及朝鮮ノ人事問題ニ就
テ

山森委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○山森委員 廣田内閣ノ朝鮮統治ニ對スル根本方針ニ付キマシテ、國務大臣トシテ御尋シタイノデアリマス

○永田國務大臣 朝鮮ノ統治方針ト云フコトハ、併合當時ノ御詔勅ニ依リ一視同仁ノ大御心ヲ體シテ統治シテ居ルノデアリマシテ、其方針ニ付テハ從來別ニ内閣ヲ送ツタカラ變ルベキ性質ノモノデヤナイト思フテ居リマス、内地延長主義トカ云フヤウナ事柄ニハ、文字ソレ自體ニ色々ノ意味ヲ持タセル人が多イノデ、延長主義デアルトカ何トカ云フヤウ云フ文字ヲ用ヒルコトハ成ベク避ケタイト思フテ居リマスガ、朝鮮ノ自治ノ問題ニ付テハ、是ハドウシテモ文化ノ程度ノ發達ニ伴ヒ、又内鮮融和ノ情勢ヲ能ク考察致シマシテ、漸次自治ヲ擴充シテ行クト云フコトハ、當然進ムベキ途デアラウト考ヘテ居リマス

○山森委員 朝鮮ニ朝鮮ノ自治ト云フモノヲソコニ建設シテ、將來朝鮮ニ朝鮮ダケノ議會ト云フモノヲ作ルト云フ御方針デアルト見テ宜シイノ

カサウデナク朝鮮カラ日本ノ議會ニ代表者ヲ送ルト云フコトガ自治助長ノ終局ノ目標デアルカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○永田國務大臣 只今私ノ申上ゲタ自治ト云フノハ、地方自治ノコトヲ申シタノデゴザイマスカラ、誤解ノナイヤウニ御願ヒ致シマス、ソレカラ朝鮮ニ特別ノ何カ朝鮮議會ト言ツタヤウナモノヲ作ルカ、或ハ朝鮮カラ代議士ヲ内地ニ出スヤウニスルガ宜イカ、斯ウ云フ問題ハ中々難シイ問題デアリマシテ、自然民度ガ進ムデ來ルニ從ツテ、種々考慮シナケレバナラヌ問題デアルト思ヒマス、又内地ト朝鮮トノ關係、朝鮮人ノ一國民トシテノ精神ノ狀態等ニ顧ミマシテ、加フルニ此内地ト朝鮮トノ距離ノ程度ト云フコト、種々ノコトヲ考ヘテ見ナイト云フト、中々外地ト内地トノ關係ニ於テ、朝鮮ニ代議士ヲ選バヌヤウナ方法ヲ執ルノガ宜イカ悪イカ、又ハ朝鮮ニ朝鮮議會ヲ設ケルト云フヤウナ方針ヲ執ルノガ宜イカト云フヤウナコトニ付テハ、中々容易ニ考ヘラレナイ、極メテ重大ナ問題デアリマス、異民族トノ關係ニ於テ特ニ斯ウ云フコトガ大切ナノデアリマシテ、マダ今日ニ於テハトウ云フ方針ヲ行ツテ居ルカト云フコトヲ敢ニ申上ゲル譯ニハ參ラヌト思フテ居リマス

○山森委員 朝鮮人ヲ衆議院ニ送ル意思アリヤ否ヤ、其方法ニ付テハ固ヨリ研究センケレバナラヌノデアリマスガ……

○永田國務大臣 貴族院ニハ朝鮮ノ人モ勅選サレテ居リマスルシ、又臺灣ノ人モ勅選ナレテ居リマス、併シ臺灣ノ人ヲ貴族院ニ勅選サレテ居ルカラト云ツテ、直ニ臺灣カラ代議士ヲ選ンデ内地ニ出スト云フコトヲ認メタ、トサウ云フ風ニハ考ヘテ居リマセヌ、又朝鮮ノ方モ朝鮮ノ人が貴族院議員トシテ勅選サレテ居ルカラト云ツテ、ソレナラバ朝鮮ヲ選舉法ヲ布イテ、朝鮮ノ代議士ヲ日本ノ内地ノ議會ニ送ルト云フコトト權衡ヲ取ラニヤナラス、サウ云フ風ニモ考ヘテ居リマセヌノデス、サウ云フ事柄ニ付テ何カ考ヘナクチヤナラヌト仰シヤイマスガ、此點ハ外地ノ統治上

ニ付テ非常ニ重大ナ考ヲ要スルコトデアリマシテ、私ナドモ斯ウ云フ問題ニ付テハ常ニ多少ノ意見ハアルシ、又研究モ致シテ居リマス、又外國ニ於ケル實例等ヲ參照シテ見マシテモ、外地ト内地トノ關係ト云フモノハ、他ノ國ノ實例ト云フモノハ殆ド參考ニナラヌモノデアリマシテ、ホシノ一ツノ研究材料ニハナリマスケレドモ、何處デ斯ウ云フ風ニヤツテ居ルカラ日本モヤツタ宜カラウト云フ參考材料ニハナラヌモノデアリマス、今朝鮮ニ獨立シタ朝鮮議會ヲ開カスノガ宜イカ、アチニ選舉法ヲ布イテ代表者ヲ選バセテ、サウシテ日本ノ此帝國議會ニ出席サスノガ宜イカ、斯ウ云ツタヤウナコト、又ソレハ何時ガ宜イカト云フヤウナコトニ付テハ、私自身ニハ多少ノ意見ハアリマス、アリマスケレドモ事ハ如何ニモ重大デアリマシテ、サウ云フ事柄ニ付テ責任ノアル者ガ何カ言明テ致シマスルト、徒ニ動搖ヲ起スコトヲ惧レマス、サウ云フ問題ニ付テハ慎重ニオヒテ考慮ヲ廻ラスコトヲ致シマシテ、斯ル席上デ其問題ヲ明言セヨト云フコトハドウカ御容赦テ御願致シタイト思ヒマス

○山森委員 先般米穀自治管理法ノ委員會ノ席上ニ於キマシテ、拓務大臣ノ御答辯ノ中ニ、或ハ又本會議ノ際ニ於キマシテ、朝鮮人ト云フモノハ非常ニ生活ノ程度ガ低イノデアルカラ、粟トカ稗ト云フ物ヲ食ツテ居ル、ソレハ決シテ彼等ニ取ツテハ不幸トハ考ヘテ居ルマイ、斯様ナコトヲ申サレタ結果、是ガ朝鮮ニ反映シマシテ、……心アル朝鮮人ノ中ニハ吾々ノ内地人ヨリモ一段下級ノモノト考ヘテ居ル者ガアル、新聞ノコトデスカラ、甚ダ動物扱ニシテ居ルト云フヤウナ風ニ書イテアリマス、固ヨリ私ハサウ云フ意味デ、拓務大臣ガ申サレタノデハナイト斯様ニ考ヘテ居リマスガ、私ハ唯其當時ノ言葉ノ綾ヤ或ハ又言ハレタ其事柄ニ付テ私ハ茲ニ實メルノデモ何デモナイガ、此機會ニ於キマシテ、若シサウ云フ誤解ガアリマスレバ、拓務大臣ハ私ノ質問ノ際ニ之ヲ是正セラルルコトガ、朝鮮統治ノ上ニ好キ結果ヲ齎ス所以デアルト信ジマスカラ……

○永田國務大臣 米穀自治管理法ノ際ニ朝鮮ノ米ノ消費量ハ必ズシモ其年ノ豐凶ニ依ツテ定マラナイ、凶作デアツテモヤハリ却ツテ内地ニ移入シテ來ル額ガ多イト云フヤウナ統計ニナツテ居ルガ、ソレハドウ云フ譯ダト斯ウ云フコトヲ御尋ニナツタ際ニ、私ハソレノ原因ハ正確ニハ分ラヌケレドモ、朝鮮ニハ粟ヲ食フ習慣ガアルカラシテ、米ノ値段ノ高イ時ニハ粟ヲ餘計ニ食ツテ、高イ米ヲ内地ニ賣ルト云フヤウナコトガアリ得ルノデヤナイカ、ソレハ恰度吾々内地ニ住ヒシテ居ツテモ、自分ノ處デ良イ米ガ出來レバ、ソレヲ他ニ賣ツテ、サウシテ更ニ餘リ良クナイ中等或ハ下等ノ米ヲ他カラ買ツテ來テ居ルト云フコトハ内地デモアルコトダカラ、サウ云フ意味デ朝鮮ノ人達ガ粟ヲ食フト云フヤウナ結果、相當凶作デアツテモ内地ニ米ヲ出スヤウナコトガ多イ場合ガアリ得ルト、斯ウ云フヤウナコトヲ申シタト記憶シテ居リマスガ、ソレガ朝鮮ノ方ニ何カ侮辱ヲ加ヘタヤウニ感ジタト云フコトデアレバ、洵ニ遺憾ニ存ジマス、サウトハ考ヘナイノデ、臺灣ノ人が諸テ食フ習慣ガアル、朝鮮ノ人ハ粟ヲ食フ習慣ガアルト云フノハ是ハ事實ナノデ、決シテソレガ劣等ノ生活ヲシテ居ルト云フヤウナ意味ノコトヲ少シモ言ウタノデハアリマセヌ、嗜好ニ付テ申シタ迄デアリマシテ、自分達トシテハ米ノ方ヲ食フコトニ習慣付ケラレテ居ルノデアリマス、朝鮮ノ人モ生活ガ向上スルニ伴レテ多ク米ヲ用ヒルヤウニナルデアラウト心得テ居リマスケレドモ、斯ウ云フコトハヤハリ民族性ニ依ルコトデスカラ、サウ内地ノ人ノ考ヘテ居ル通りニハ行カヌカモ知レナイノデ、何等其間ニ朝鮮ノ人達ニ對シテ侮辱、――侮リ、輕ク見ルヤウナ氣持デ申シタノデハゴザリマセヌ、是ハ只今御注意ノ次第モアリマスルシ、私モ朝鮮ノ人達ガ僅ナ言葉ノ使方ニ對シテ非常ニ神經質デアルト云フコトヲ相當ニ心得テ居ル積リデアリマシタガ、言葉ノ上カラサウ云フヤウナ意味ニ聞エタコトハ洵ニ遺憾デアリマス、決シテサウ意味ハ少シモ含ンデ居ルモノデナイト云フコトヲ丁度御

親切ナル御注意ノ此機會ニ訂正ヲ致シテ置キマス
○山森委員 朝鮮ニ於ケル宇垣總督ノ政治ノ狀況ヲ見マスルト云フト、是ハ内地トアベコベデアリマシテ、多年ノ間人事ノ異動ガナク、一面カラ見ルト洵ニ羨マシキ狀況デアリヤウデアリマスガ、吾々ノ耳ニスル所ニ依リマスト、却テ一ツノ宇垣閣ト云フモノニ依ツテ結合サレテ、ソレガ政治ノ安全ト云フヨリモ異分子ヲ入レナイ、現狀維持ヲ主トシテ居ル結果デアルト云フコトヲ耳ニシマスガ、若シ是ダト云フト私ハ朝鮮統治ノ爲ニ洵ニ悲シムベキコトデアラウト思フデアリマス

○永田國務大臣 今日マデドウカト言ヒマス、外地ニ於ケル總督ナドガ内閣ノ更迭毎ニ頻リニ更迭スルト云フコトガゴザイマシテ、吾々トシテハ左様ニ内地ノ府縣知事ト同ジヤウニ外地ノ總督ナドガ更迭スルト云フ習慣ノアルコトハ面白クナイ、サウ云フ風ニ考ヘテ居ツタノデアリマシテ、外地ニ於ケル總督ナドハ相當ノ長イ期間其職ニ居ツテ仕事ヲサレルト云フコトハ、大體原則的ニ申シマシテ、ドウシテモ必要ナコトデアルト存ジテ居リマス、隨テ今日朝鮮ニ於テ宇垣總督ガ約五年間續イテ總督ヲサレテ居ルト云フ事柄ニ付テ、自分ハ寧ろ之ヲ喜ンデ居リマス又過去五年間ニ於テ朝鮮ノ治績ヲ考ヘテ見マスルト非常ニ發達ヲ致シ來ツテ、有ユル方面ニ於テ相當ノ功績ヲ擧ゲテ居ルト云フコトハ、極メテ公平ナ考カラ見テ認ムベキモノデアルト思ヒマス、唯併シサウ云フ事ガアルカラト云ツテ、サウ長ク居レバ或ハ他ノ者カラ見マスレバ宇垣閣トカ云フヤウナ風ニ見エルトゴザイマセウ、斯ウ云フヤウナ點ニ付テハ宇垣總督ナドハ餘程注意ヲシテ民心ヲシテ倦マザラシメヌヤウニ適當ノ機會ニ相當人ヲ入替ヘテ居ルト思ヒマス、隨テ今ノ朝鮮ノ人事ニ付テハ私ハ不滿ヲ感ジテ居リマセヌ、ソレダケ一寸申上ゲテ置キマス

一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 朝鮮ノ統治上ニハ僅ナコトカラ色々ナ誤解ナドヲ來タスト云フヤウナコトハ、私モ相當其事情ハ是マデ色々々經驗ヲシテ知ツテ居ル積リデゴザイマシタケレドモ、其僅ナコトデ何カ誤解ヲ來スト云フ狀況ニ見エルト云フノハ洵ニ遺憾ニ存ジマスガ、朝鮮ニ貧農ガ殖エルヤウナ傾ガアルカラ、之ニ對シテドウ云フ風ニスルカト云フコトニ付キマシテハ、總督ニ於テモサウ云フ點ニ付テハ、農村經濟ノ更生運動ト云フコトニ非常ニ力ヲ盡シテ居リマスヤウナ次第デ、又更ニ農地令トカ小作令等ヲ最近改正致シテ居リマシテ、是等ニ依リマシテ貧農ノ生ズルコトヲ防イデ行キタイト云フコトニ餘程力ヲ用ヒテ、總督モ隨分各地方ヲ廻ラレテ、餘程努力シテ居ラレト考ヘマス、斯ウ云フヤウナ狀況ニ依ツテ貧農ヲ除去スルト云フヤウナコトニ付テ、總督ガ相當努力シテ居ルト云フ風ニ見テ居ルノデアリマスガ、尙ホ今後ニ於キマシテモ斯ウ云フ法律規則ノ改正並ニ經濟更生運動ト云ツタヤウナコトニ依ツテ、朝鮮ノ一般人民ノ福利ヲ増進スルヤウニ努メテ行キタイト考ヘテ居リマス

二 今井田朝鮮政務總監答辯

○今井田政府委員 粟ノ關稅ノ點ニ付キマシテ私ヨリ御答致シマス、朝鮮ノ民衆ノ相當ノ部分ガ粟ヲ常食ト致シテ居リマス、是等ニ對シマシテ關稅ヲ引上ゲルコトハ如何ニモ忍ビナイコトデアリマスガ、實ハ他ノ理由カラデハ全然ナイノデアリマシテ、内地外地ヲ通ジテ所謂米穀政策ノ見地カラ致シマシテ關稅ヲ引上ゲテ居ルノデアリマス、サウ云フコトハ粟ノミナラズ、或ハ小麦等ニ付テモ、即チ米ノ代用食トナルモノニ付テハ内地外地ヲ通ジテ相當ノ關稅ヲ課シテ米穀問題ノ解決ニ資シタイト云フコトデ斯様ナ結果ニナツテ居ルノデアリマス、朝鮮ノ貧民階級ト申シ

東北救濟ノ一助トシテ東北人ヲ北鮮ニ移民セシメテハ如何 朝鮮人ノ滿洲移民ニ就テ

六 永田拓務大臣ノ本會議及委員會ニ於ケル朝鮮人ノ米ノ消費量等ニ關聯スル答辯ニ關スル朝鮮人ノ誤解及粟ノ關稅ニ就テ

一 牧山委員長質疑

○牧山委員長 拓務大臣ガ或ル委員會ニ於テ朝鮮人ノ米ノ消費量等ニ關聯シテ色々御話ニナツタコトニ對シテ、朝鮮ノ新聞ヤ朝鮮側ガ大分誤解ヲシテ居ルヤウデス、其意味ハ内地人ノ米ノ消費ハ一年平均一石八升位デ、朝鮮人ハ其半分ニ足ラナイ四斗八升位、御承知ノ通り高イ米ヲ賣ツテ安イ粟ヲ食ツテ居ルノダガ、粟ガ餘計移入サレ、パソレダケ米ヲ餘計心太式ニ突出ス、ソレデ朝鮮人ハ好キ好シデ粟ヲ食ツテ居ル譯デハナイ食ハザルヲ得ナイ生活狀態ニアル、所ガ所謂細民ノ食糧デアル粟ガ海外カラ入ツテ來ルノニ對シテ日本ハ重稅ヲ課シテ居ル、是ハ全ク貧民稅デアツテ、社會政策的ニモ非常ニ朝鮮人ヲ苦シメルモノデハナイカト云フ議論ガ朝鮮内ニハ非常ニアル、又朝鮮ニ於ケル朝鮮新聞モ常ニ之ヲ煽動的ニ書イテ、貧農ニ對スル政策ヲ執レト云フヤウナ、社會政策的ノコトヲ高調力説スルケレドモ、事實ニ於テハ貧民ノ食糧デアル滿洲粟ノ輸入ニ對シテ重稅ヲ課セルト云フノハ怪シカラヌコトダト云フノテ、種々ナサツテ居ルノデセウガ、是モ一ツ政府ノ方針ヲ明ニサレルコトガ施政上重大ナ點ダト思ヒマスカラ……

テハ語弊ガアリマスガ、粟ヲ常食トシテ居ル者ニ對シテハ如何ニモ忍ビナイコトデアリマスガ、國家ノ大キナ政策カラ致シマシテ洵ニ已ムヲ得ナイモノトシテ忍ンデ居ルヤウナ狀況デアリマス、是ガ實情デアリマスカラ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

七 東北救濟ノ一助トシテ東北人ヲ北鮮移民セシメテハ如何

一 山森委員質疑

○山森委員 東北ニ於ケル救濟ノ一端トツテ東北ノ人々ヲ北鮮ニ移シテ以テ北鮮ノ開拓事業ニ從事サセルコトハ出來ヌデアラウカ、サウ云フ政策ヲ採リマスレバ朝鮮統治ニ付テドウ云フ影響ガアルデアラウカ、斯ウ云フコトニ付テ當局ノ私ハ御意見ヲ伺ヒタイトデアリマス

一 永田拓務大臣答辯

○永田國務大臣 東北ノ人々ヲ朝鮮ニ移民セシメルト云フコトハ、今サウ云フ風ニハ考ヘテ居ラナイデ、東北ノ人ヲ直ニ今滿洲ノ方ニ移民セシメテ居ルノデ、滿洲ニハ澤山行ツテ居ルノデアリマス、又朝鮮ノ内部デハ大體鮮滿殖産會社ナシカガ出來マシテ、成ベク南鮮ノ朝鮮人ヲ北鮮ニ移シ、北鮮ノ人ヲ間島カラ滿洲ノ方ニ移スト云フヤウナ方向ヲ取ツテ居ルノデ、サウ云フ積リデ、現在デハ東北ノ人ヲ北鮮邊リニ移スヤウナ方針ヲ取ツテ居リマセヌト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

八 朝鮮人ノ滿洲移民ニ就テ

一 山森委員質疑

國民ノ總心ヲ滿洲ニ奪ヒ去ツテ朝鮮統治ヲ閉却セザルヤ 朝鮮ニ於ケル言論ノ抑壓……………

○山森委員 鮮滿殖産會社ノ御話モアリマシタガ……言フ迄モナク是ハ逐年激増シテ居ル所ノ所謂朝鮮ノ人口問題ヲ解決スルト共ニ、滿洲開發ノ第一線ニ朝鮮同胞ヲ活躍セシメルト云フヤウナ御趣旨ノヤウニ承ツテ居ルノデアリマスガ、承ル所ニ依ルト云フト、是ハ單ニ北鮮ニ於ケル一部カラ十五箇年ニ十六萬戸、人口ニシテ八十萬人ヲ移植スルヤニ私ハ承ツテ居リマスガ、果シテ其内容ニ付テ左様デアリマスカドウカ

一 今井田朝鮮政務總監答辯

○今井田政府委員 只今ノ御質問ノ鮮滿殖産會社ノ移民ノ計畫ノ數字ニ付テハ御話ノ通りデアリマスガ、實行ノ内容ニ付キマシテハ、私共ハ北鮮ニ現ニ居住シテ居ル人口ヲ滿洲ニ移住セシメルト云フコトト寧ロ反對ニ考ヘテ居ルノデアリマス、實ハ先程ノ御話ニアリマシタ通り、北鮮ニハ尙ホ未墾地ガ相當存シテ居ルノデアリマス、現ニ實行中ノ北鮮開拓計畫ノ區域内ニ於テモ約三十萬町歩ノ未墾地ガアルノデアリマシテ、是等ニ對シマシテ南鮮地方ハ非常ニ人口ガ稠密デアリマス、而モ一戸當リノ耕地面積ガ一町六段歩ト云フ御話ガアリマシタガ、平均ハ左様ニナツテ居リマス、中南鮮地方ハ一町歩デアリマシテ、非常ニ人口ガ稠密デ、斯様ニ耕地ガ不足シテ居ルノデアリマスカラ、是等南鮮地方ノ非常ニ稠密シテ居ル人口ヲ北鮮ニ移ス、併シ北鮮ノ土地ニハ限りガアルカラ、更ニ滿洲ニ移動セシメル、斯様ニシテ朝鮮ノ人口ヲ緩和シテ行キタイト考ヘテ居リマス、北鮮或ハ滿洲ニ主トシテ南鮮ノ人口ヲ移住セシメルト云フコトヲ目標ト致シテ居ルノデアリマス

九 國民ノ總心ヲ滿洲ニ奪ヒ去ツテ

朝鮮統治ヲ閉却セザルヤ

森下委員、今井田朝鮮政務總監トノ一問

一答

○森下委員 朝鮮ニ於ケル最近ノ言論ノ取締ノ問題デアリマス、……宇垣總督時代ニ入りマシテカラ朝鮮ノ統治ニ關スル新聞雜誌ノ言論ヲ非常ニ抑壓致シテ居ルト云フコトガ私共ニ傳ツテ参リマス
○今井田政府委員 御答致シマスガ、言論ノ自由ヲ今日ノ社會ニ於テ最モ尊バナケレバナラヌト云フコトハ、私共モ十分ニ承知致シテ居ルノデアリマス、然ルニ内地ニ於ケルヨリ朝鮮ニ於テ言論ノ自由ガ多ク東轉サレルト云フヤウナ結果ガ、動モスレバアリ得ルノデアリマス、是ハ率直ニ申シマスガアル、アリ得ルノデアリマス、ソレハ内地、外地ヲ通ジテ或ハ新聞雜誌ニ掲載ヲ禁止スル事項ノ外ニ、朝鮮ニ於テハ朝鮮ノ統治上ノ必要カラ制限セザルヲ得ナイ場合ガ往々ニシテアルノデアリマス、御承知ノ通り今日併合後二十五年人心ハ非常ニ靜穩ノ狀態ヲ呈シテ居ルノデアリマス、何分ニモ歴史、慣習、其他ヲ異ニシタ異民族ノ統治デアリマス、其人心ニ及ボス所ハ甚ダ微妙ナルモノガアルノデアリマス、斯様ナ見地カラ已ムヲ得ズ内地ニ於テハ自由ニナツテ居リマスガ、朝鮮ニ於テハ禁止シナケレバナラヌト云フゴトガ偶ニハアル、偶チヤナク中々アルノデアリマス、今日ノ狀態ニ於キマシテ遺憾デハアリマスガ、事情洵ニ已ムヲ得ナイ、已ムヲ得ナイ最小限度ニ於キマシテ禁止シテ居ルヤウナ狀況デアリマス、事實アリノ儘ヲ率直ニ申上ゲマシテ、苦衷ノ存スル所ヲ御諒察ヲ願ヒタイトデアリマス、尙ホ統計等ニ付キマシテハ、只今手許ニアリマセヌノデ、取調ベマシテ差上ゲタイト存ジマス

○森下委員 朝鮮ノ棉花ニ付テ一寸御伺シタイトデアリマス……朝鮮

朝鮮ニ於ケル言論ノ抑壓、朝鮮ニ於ケル棉花栽培ノ情況、在滿鮮人ノ米作問題ニ就テ

一 山森委員質疑

○山森委員 吾々ノ經濟的擴充、又内地ト朝鮮トノ關係ノ緊密ト云フコトヲ考ヘマスト、寧ロ滿洲ヨリモソレ以上ニ眞劍ニ朝鮮ノコトヲ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、私ハ斯様ナ意味カラシマシテ、今日ノ政府當局ガ動トモスレバ國民ノ總心ヲ滿洲ニ奪ヒ去ツテ、朝鮮統治ニ對シテ閉却スルノ傾向ガアリマスコトハ甚ダ遺憾ノコトト思ヒマスガ……

一 永田國務大臣答辯

○永田國務大臣 近頃日本ノ人ガ滿洲ニ氣ヲ取ラレテ朝鮮ノコトヲ忘レルト云フヤウニ御認メニナツテ居ラレルノデアリマスガ、滿洲事變ガ起リマシカラ後ニ、實ハ朝鮮ノ治安ガ何トナク著シク保タレテ、非常ニ平靜ヲ増シテ來タヤウニ考ヘテ居リマス、朝鮮ガ段々發達シ來ツテ居ルコトハ洵ニ慶ブベキコトデアリマシテ、斯ウ様フ時ニ、滿洲ノコトニ人ガ目ヲ取ラレテ、朝鮮ノコトヲ動モスレバ忘レヨウトスル傾ガアルト云フコトハ多少サウ云フ氣味合ガアルカト私モ存ジマス、此點ハ只今御質問ニナリマシタ山森君ト感テ同ジクスルノデアリマシテ、朝鮮ニ十分ノ力ヲ入レ、朝鮮ヲ忘ルルコトナクシテ滿洲ノコトヲ考ヘナクチヤナラヌコトト眞ニ御同感ニ考ヘマス

一〇 朝鮮ニ於ケル言論ノ抑壓、朝

鮮ニ於ケル棉花ノ栽培情況、在

滿鮮人ノ米作問題ニ就テ

ニ於ケル今迄ノ產米獎勵ノ計畫ガ甚ニ變化ヲ來シテ、朝鮮ニ於ケル農業ガ甚ニ農業ノ革命期ニ際會シテ居ツテ、一方ニ於テ棉花ノ栽培ガ非常ニ最近進メラレテ來タ、殊ニ米國棉ノ紡績棉ガ最近非常ニ朝鮮ニ於テ能ク栽培セラレツ、アルト云フコトヲ承リマシタガ、其最近ノ大體ヲ……
○今井田政府委員 日本ノ國策ノ上カラ見マシテ、又米穀問題解決ノ一助トシマシテ、朝鮮ニ棉ヲ獎勵スルコトガ適當デアルト云フコトハ夙ニ唱ヘラレテ居ルノデアリマス、又朝鮮ニ於キマシテモ、既ニ數十年來棉作ノ獎勵ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、更ニ今日ニ於キマシテハ約二十萬町歩ノ作付面積ガアリマス、ソレカラ約二億斤ノ棉ガ穫レルノデアリマルガ、將來ニ於キマシテハ五十萬町歩マデ此耕地面積ヲ擴張スル而モ反當リノ收量ヲ増加スル方法ヲ講ジマシテ、約六億斤ノ棉ガ朝鮮ニ於テ穫レルヤウニ致シタイト云フ計畫ヲ以テ今日進行致シテ居リマス、而シテ其獎勵ノ方法トシテハ、今日ニ於キマシテハ主トシテ技術的ノ指導ヲ致シテ居リマス、何分ニモ耕作方法ガ幼稚デアリマス爲ニ、反當リノ收量ガ少イ、少イ爲ニ他ノ作物ヲ作ルト云フ狀況デアリマスノデ、農業技術ノ方面カラ是ガ改善ヲ圖リマシテ、生産量ヲ多クシ、農家ノ收益ヲ多ク致シマシテ獎勵シタイト、斯様ナ點カラ技術員ヲ各地方ニ配置致シマシテ、或ハ試驗場ニ於テ試驗ヲスル、或ハ指導團ヲ設ケマシテ指導團ニ於テ適當ナル耕作方法ヲ講ジテ、之ヲ其地方々々ニ普及セシムル、斯様ナ方法ヲ執ツテ居リマス、尙ホ進ミマシテハ、斯様ナ國策上重要ナ問題デアリマス、價格ノ保障ニ付キマシテモ何等カノ方法ヲ講ジタイト、今日ニ於テハ幸ヒ棉花ガ相當ノ價格ヲ保ツテ居リマスカラ、農家モ利益ヲ致シテ居リマスガ、先年非常ニ下落致シタ際ガアルノデアリマス、其爲ニ農家ノ收量ガ非常ニ減ツテ、又其爲ニ耕作面積ガ著シク翌年ニ於テ減ツタト云フ狀況ヲ呈シタコトモアリマスノデ、出來ルナラバ將來ニ於テ最小限度ニ於テ、生産費ヲ償フベキ價格ヲ保障スルト云

フヤウナ制度ヲ國家ガ執リマシタナラバ、之ヲ獎勵普及スル上ニ於テ非常ニ效果ガアルノデハナイカト云フコトデ、研究ヲ進メテ居ルヤウナ次第デアリマス

○森下委員 朝鮮ノ人々ガ滿洲ニ移ツテ參リマシテ、今後十年間ノ後ニハ此ノ人々ノ手ニ依ツテ、主トシテ朝鮮人ノ移住スル人々ニ依ツテ、三千萬石近クノ米ガ滿洲デ種レルト云フコトヲ私共ハ聞イテ居リマスガ、是ハ大變ナ問題デハナイカト實ハ思フノデスガ……

○今井田政府委員 將來十年間ニ滿洲ニ於テ三千萬石ノ米ヲ産スルト云フコトハ、非常ニ困難ナ問題デ、寧ロ不可能ノ問題ト思ヒマス、又朝鮮ノ滿洲ニ於ケル移民ガ主トシテ米作ニ從事致シマシテ、私共ハ萬々ナイトハ存ジマスケレドモ、今日ノ困難ナル我ガ米穀事情ノ上ニ更ニ困難ヲ加ヘルヤウナコトガアツテハ相成ラヌト云フコトヲ痛切ニ感ジテ居ルノデアリマス、ソレデ移民ニ付キマシテモ、一戸當リノ反別ノ中ノ平均シマシテ一部ハ米作ニモ充テマスガ、他ノ部分ハ畑作ヲセシムルト云フコトデ、米作本位ニ致シテ居ラヌノデアリマス、實情ヲ申上ゲマスレバ、朝鮮人ハ多クノハ水田ニ於テ米作ヲスルコトヲ好ムノデアリマス、又米作ガ出來ル限リニ於キマシテハ、其方ガ農家ノ懐ロ勘定モ良イノデアリマスガ、滿洲ノ吾々ガ今日調査ヲ致シテ居リマスル地方ニ於キマシテハ、必ズシモ水田ニ適スル面積ガ廣クナイノデアリマス、斯様ナ實情ト米穀問題トヲ考慮ニ入レマシテ、滿洲ニ送ルベキ今後ノ移民ニ對シマシテハ一部ハ米作、一部ハ畑作ト云フコトデ、米作ニハ餘リ重キヲ置カナイ、而シテ米穀問題ニ重壓ヲ加ヘナイヤウニ注意ヲ加ヘテ居ルノデアリマス

一 産業行政ヲ主眼トシタ自治體組織、朝鮮ニ於ケル人事刷新

能ク行ツテ居ルモノト私ハ思フテ居リマス

○川俣委員 今日ノ朝鮮ノ状態ハ、私ハ農業本位カラ脱却致シマスコトガ將來ノ朝鮮ノ發展スル一ツノ途ダト思フノデアリマスガ、……將來ノ朝鮮ノ政策ト云フモノハヤハリ工業ニ向ケナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス

○永田國務大臣 生活ノ向上ト云フコトニ付キマシテハ私モ非常ニ希望スル所デアリマス、漸次其生活ノ程度ヲ向上シテ、朝鮮ニ於キマシテハ同ジク一視同仁ノ惠澤ニ浴スルト云フ風ニナル爲ニ益々生活ノ向上サルルコトハ私モ非常ニ希望スル所デゾイマス、今御尋ノ工業——農業カラ工業ニ移ツテ行ク、此事ハ漸次臺灣モデ朝鮮デモ双方トモ段々其傾キヲ有ツテ來テ居ルト思ヒマス、電力ナドガ朝鮮ニモ段々起ツテ參ツテ居リマスシ、臺灣ナカテ特ニサウデアリマスガ、自然サウ云フ關係カラ工業ガ勃興セントシテ居ルノデ、是カラ後朝鮮ハ工業朝鮮ト云フ方面ニ付テ特ニ力ヲ向ケテ行キタイト云フ時期ニ遭遇シテ居ルト思ヒマスルノデ此點ハ只今御尋ノコトニ付テ全然御同感ニ思ツテ居リマス

○川俣委員 内地ニ於ケル六大都市ニ於ケル今日ノ労働者ノ失業問題ハ段々内地人ノ失業問題ト云フコトヨリモ、鮮人ノ失業問題ニ變リツツアルヤウニ考ヘラレマス、又六大都市ニ於ケル所ノ救護法ヲ適用サルル者ハ内地人ガ、段々ト減少シテ、殆ド鮮人ノ爲ノ救護法ト云フ風ニ變リツツアルヤウニ見受ケラレルノデアリマス、是ハ變ルト云フノハ別ニ人ヲ指シテ變ルノデハナク、事情已ムナク失業救濟、或ハ救護法ト云フモノガ、鮮人ヲ中心ニ考ヘラレナケレバナラヌヤウナ状態ニナツテ來タト思フノデスガ、之ニ對シテ將來ドワ云フ方法ニ依ツテ解決サレヨウトスルカ

○永田國務大臣 朝鮮ノ人達ガ内地ニ六十萬位モ居リマセウカ、段々殖エテ來マスヤウナ傾向ニアリマス、又大阪ナリ東京ナリニ於テ失業者ノ

滿洲ニ於ケル朝鮮銀行券ニ就テ

將來ノ各外地ノ工業政策、内地在任朝鮮人ニ就テ

川俣委員、永田拓務大臣トノ一問一答

○川俣委員 私人民衆ノ生活發展ノ爲ニ新シキ産業行政ヲ主眼トシタ自治體ヲ組織サレルヤウナ工合ニ行政ノ方向ヲ變ヘテ行カナケレバナラヌノデハナイカト斯ウ思フノデアリマスガ、……植民地或ハ新興ノ朝鮮ニ對シテモ同様ナ考ヲ以テ行政ノ任ニ當ツテ居ラレルノデハナイカ、……新シイ行政ノ組織ヲ有タナケレバナラヌト云フコトヲ十分ナ認識ノ下ニ官吏ノ異動選任ト云フヤウナコトヲ字垣總督ガ爲シテ居ラル、カドウカ又サウ云フ場合ニ字垣總督ガサウ云フ方針ヲ執ツテ居ラレナイトスルナラバ拓務大臣ハ之ニ對シテドウ御考ニナツテ居ラレルカ

○永田國務大臣 朝鮮ナドニ於キマシテハ特ニ産業行政ニ重キヲ置イテ、生活ノ安定ヲ得セシメタイト云フコトハ、尤モノコトデアリマシテ、字垣總督ハ隨分此産業ノ獎勵ト云フコトニ全力ヲ注イデ居ルト思ツテ居リマス、南ノ方ニ棉ヲ獎勵シ、北ノ方ニ羊ヲ獎勵スルト云フヤウナコトカラ色々各種ノ産業方面ニ付テハ隨分産業第一主義デ統制シテ來テ居ルト思ヒマス、ソレカラ又行政官ニ付テハ餘リ古イ人間ガ長ク居ツテ停滯ノデアリマスガ、是ハ經驗ト云フコトモ一面ニ必要デアアルシ、一面又進取的ニ種々ノコトヲ計畫スルト云フコトモ必要ナノデアリマシテ、自然人ヲ使フ上ニ付テハ其宜シキヲ制セナクチャナラヌノデアリマスガ、私ノ見テ居ル所デハ朝鮮總督ガ字垣總督ニナツテカラ、道ノ知事等ニ付テモ相當適當ナ時ニ更迭ガ行ハレテ、今ノ所非常ニ沈滞シテ居ルトカ、出來ナイ人間ガ其職ニ長ク居ルト云フヤウナ傾向ハ先ツナイ、餘程其點ハ

救濟ト云フコトニ付テ登錄ヲシテ調べテ見マス、朝鮮人ガ非常ニ多イ自分モ東京市長ヲシテ居リマシテ、深ク其事ニハ當惑ヲシタヤウナコトガアルノデアリマシテ、内地ニ於ケル朝鮮人ノ失業問題ト云フモノハ、洵ニ是ハ注意スベキ問題デアリマス、ドウシテモ朝鮮ノ人ガ内地人ノ多勢居ル處ヘ餘リ澤山來ルト云フコトハ、共々ニ苦シムモノデアリマシテサウ云フ點ニ付テハ出來得ル限リ内地ニハ向イテ來ズニ、南鮮ノ方ノ者ヲ北鮮ニ移シ、又北鮮其他滿洲ノ方ノ、アチラノ廣イ方ニ移ツテ行クヤウニ、朝鮮ニ於テモ獎勵シテ、其心積リテ施設ヲシテ居ルト云フコトハ已ムテ得ナイコトデアルト思ヒマス、將來トモサウ云フ心持デ進んで行キタイモノデ、是ハ已ムテ得ナイノデハナイカト思ツテ居リマス

○川俣委員 朝鮮統治ノ、鮮民ノ鮮内ニ於ケル生活上ヲ圖ラナケレバ内地ヘ向ツテノ移動ハ防ギ得ラレナイモノダト考ヘラレマス、單ニ朝鮮人ガ氣ノ毒デアルカラ鮮内ニ於テ生活上ヲ圖ラナク云フヤウナ立前デナク國策ノ立前ニ立ツテ鮮人ノ鮮内ニ於ケル所ノ生活上ヲ圖ラナケレバナラナイモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居ルノデスガ……

○永田國務大臣 洵ニ是ハ難カシイ問題デアリマスガ、御話ノヤウニ朝鮮人ノ鮮内ノ生活程度ヲ向上セシメテ、内地ニ來テ見タイト云フ氣持ヲ少クサスト云フコトガ大切ナコトノ一ツデアラウト考ヘマス

一 綾川委員質疑

○綾川委員 滿洲ニ於テ滿洲中央銀行ノ紙幣ガ漸次朝鮮銀行ノ紙幣ト交替シテ、間モナクアノ紙幣ハ滿洲ニ於テハ其影ヲ潛メルヤウナ状態ニナルト云フコトヲ聞イテ居アリスノデマルガ……

一一 林朝鮮財務局長答辯

○林政府委員 現在朝鮮銀行券ノ滿洲ニ於ケル流通高ノ調ニ付キマシテハ、朝鮮ト滿洲ト一緒ニ致シテ居リマシテ、從前ノヤウニ區分シテ調ベテ居ラヌサウデアリマス。古イ調ハ分ツテ居リマスガ、最近ノ數字ハナイサウデアリマス。ソレカラ又滿洲ニ於ケル朝鮮銀行券ノ整理ト云ヒマスルカ、中央銀行ニ引繼ギマス問題ニ付キマシテハ、只今御言葉ノアリマシタヤウナ心配モアリマスノデ、此點ニ付キマシテハ朝鮮銀行當局ガ滿洲國及ビ大藏省ニ對シマシテ、十分ニ其點ノ心配ノナイヤウニ措置ヲ致マシテ居コトニオ願ヲ致シマシテ、大體將來ノ營業ノ上ニ特段ノ損害ヲ被ルコトノナイヤウナ方法ヲ實施スルコトニ、相互ノ間ニ話合ガ出來テ居ルト承知致シテ居リマス。

一二 朝鮮ニ於ケル内地煙草ノ検査

ニ就テ

一 松尾委員質疑

○松尾委員 朝鮮ニ入ル時ニ税關ヲ調ベラレル時ニ感ズルノデスガ、日本カラ持ツテ來ル煙草ヲ検査スル、大體日本ノ方ガ税金ガ高イノニ、ソレヲ朝鮮ニ持ツテ行ク時ニヤカマシク調ベルノデスガ、アレハ一體ドウ云フコトデスカ……

一一 林朝鮮財務局長答辯

○林政府委員 煙草ニ付キマシテハ内地ト朝鮮ト全ク別ナ會計デ以テ收支ヲ明ニ致シテ居リマス。内地ノ專賣局ハ内地ダケ、朝鮮ハ朝鮮デ又別ノ專賣制度ヲ布イテヤウテ居リマス關係デ、從來他ノ專賣地域カラ他ノ

片方ノ專賣地域ニ入りマスモノニ付テハ、旅客ノ需要品トシマシテ或ル一定ノ數量ダケハ認メマスガ、其他ノ數量ハ承認シナイト云フ取扱ニ致シテ居リマス、其結果朝鮮ト内地トノ間ノ旅行者ニ對シマシテハ、相互ニ移入ノ検査ヲ致シマシテ、一定數量ノ承認ヲスル、ソレ以上ノ携帶ヲ認メヌ、斯ウ云フヤリ方ヲ致シテ居リマス、此制度ガアリマス爲ニ内鮮間ノ旅行者ニ非常ナ御不便ト御迷惑ヲ御掛ケシテ居ルト云フ事實ハ私共モ能ク認識致シテ居リマスノデ、出來得マスコトナラバ、此検査方法ヲ廢止スルコトガ一番宜シイコトダト考ヘマシテ、從來カラモ屢々内地ノ當局トモ御相談致シテ居ルノデアリマスガ、色々ノ支障ノ爲ニ實現ノ運ビニ至ツテ居リマセヌケレドモ、現在ニ於キマシテモ更ニ其交渉ヲ續ケテ居リマシテ、出來ルダケ速ニ斯ノ如キ旅行者ニ御迷惑ヲ御掛ケスルヤウナ煩瑣ナ手續ハ廢メタイト云フ積リデ研究ヲ續ケテ居リマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス。

一四 鮮滿拓殖會社ノ社長理事ノ選任ニ就テ

一 牧山委員長質疑

○牧山委員長 鮮滿拓殖會社ノ此ノ……社長、理事等ノ選任ニ付テハ十分御注意ニナルコトト思ヒマスガ、何カ陸軍方面デモ希望ガアツテ、軍人出身ノ人デモ御入レニナルト云フコトニ進行シテ居ル譯デスカ、此組織ヲドウ云フ方面カラ人材ヲ集メテオヤリニナルカ、此會社ノ運用如何ト云フコトハ重大ナ使命ヲ持ツテ居ルト思ヒマスカラ……

一一 今井田朝鮮政務總監答辯

○今井田政府委員 東拓ノ使命カラ鑑ミマシテ、移民事業ヲ東拓ニヤラ

際ニ適當ナル人材ヲ得タイ、又其人材ヲ得ルコトニ付キマシテ、今日マデ何等彼此申出ハナイノデアリマシテ、全ク自由ナ見地ニ於キマシテ適任者ヲ選擇シタイ、斯様ナ方法、方針ヲ進ンデ來テ居リマス。

一五 事業公債發行ノ計畫ハ特殊事情アリヤ

一 牧山委員長質疑

○牧山委員長 第六十七議會マデノ政府委員ノ説明、就中朝鮮總督府カラオイデニナツテ居ル政府委員ノ御説明ニ、大體二千萬圓内外ノ事業公債ヲ發行シテ此公債財源ニ依ツテ、鐵道港灣ヲ進メテ行カウト云フ計畫ノヤウニ承ツタ。然ルニ突如トシテ八千何百万圓ト云フ尠大ナ計畫ヲ御立アニナツタノデアリマスガ、是ハドウモ宇垣總督ノ經綸抱負ノ一端トモ一寸考ヘラレナイノデアアルガ、何カ特殊ノ事情ガアルノデアアリマセヌカ。

一一 今井田朝鮮政務總監答辯

○今井田政府委員 其點ニ付テハ只今御話ノ點トモ違ハナイヤウニ私ハ諒解スルノデアリマス、ソレハ、此新線ノ經濟的價值、地方開發トカ産業上ノ影響ト云フヤウナコトニ付テハ、御諒承ヲ願ツテ居ルト思ヒマス。左様ナ見地カラ將來此新線ヲ建設シタイト云フ考ハ總督トシテモ前カラ持ツテ居ツタノデアリマス、併シ既定計畫モアリマスシ、又公債其他ノ關係カラ考ヘマシテ、今日直チニ實行スルト云フ計畫ハ、全然皆様ニ申上ゲル通り持ツテ居ナカツタノデアリマス、偶々軍事上ノ必要モ迫ツテ參リマシタ關係上、ソレト經濟的價值ト併モ考ヘマシテ、急ニ御協賛ヲ願フヤウニ提出シタ譯デアリマス、其點ニ付キマシテハ、拓務大臣ハ今日之ヲ提案スル理由ガ軍事上ノ必要ト云フコトモ十分加味サレテアルト斯様ニ話サレタコトト諒解シテ居ルノデアリマス。

シタラト云フ御疑念ガ生ジマスノハ、御尤ウラウト思フノデアリマス、吾々モ移民計畫ニ付キマシテハ、東拓ヲシテヤラシメルコトガ、適當デナイカト云フ點ニ付キマシテハ、相當考慮致シタノデアリマスガ、過去ノ沿革カラ申シマス、東拓ガ斯様ナ事業ヲ主トシテヤウタ時代モアツタノデアリマスガ、滿洲ニ於ケル移民ニ付キマシテハ、東拓ガ其後滿洲ニ東亞勸業株式會社ト云フモノヲ設ケマシテ、移民事業ヲ其方ニ主トシテヤラシメルヤウニシタト云フ沿革モアルノデアリマス、隨テ然ラバ東亞勸業株式會社ヲシテ滿洲ニ於ケル移民事業ヲ經營セシメタラドウカト云フコトモ、考ヘラレルノデアリマスケレドモ、何分ニモ此會社ノ資本金モ僅少デアリマスシ、又會社ノ今日マデノ經過、經營ノ狀態等カラ考ヘマシテ、此會社ニ多額ノ増資ヲスルト云フコトモ、困難ナヤウナ事情ガアルノデアリマス、斯様ナ見地カラシマシテ、茲ニ新ナル會社ヲ設ケマシテ、東亞勸業株式會社ノヤウテ居リマス事業モ、新シイ會社ニ併合スル、又東拓ガヤウテ居リマス滿洲ニ於ケル移民事業ノ或ル部分モ、今後ハ此會社ヲシテヤラシメルト云フコトガ適當デハナイカ、特ニ東拓ハ業日各方面ニ非常ニ手廣ク事業ヲ經營致シテ居リマシテ、而モ移民事業ニ付キマシテハ是非非常ニ困難ナル事業デアリマスルカラ、専門ニ事業ニ掛ルト云フ必要ヲ痛切ニ感ジマスノデ、旁々東拓ヲシテ事業ヲ經營セシムルヨリモ、新シイ會社ヲ設ケテ經營スルコトガ、總テノ方面カラ見テ適當デアラウ、斯様ナ見地カラ新シク會社ヲ設ケタ次第デアリマス、會社ノ主ナル幹部ノ組織ニ付キマシテハ、目下ソレノ研究モシ、又關係方面トノ下打合セハ致シタノデアリマスガ、軍部ノ方面カラ軍出身者等ヲ重要ナ地位ニ充テルト云フヤウナ、何等申出モアリマセヌ、色々聯絡ハ取ツテ居リマスガ、左様ナ考モノイヤウデアリマシテ、幹部ノ組織ニ付キマシテハ多額ノ出資ヲスル方面トモ、或ハ又滿洲方面ノ關係各方面トモ、協議ヲシナケレバナリマセヌカラ、此方面ト協議致シマシテ、實

拓務省、對滿事務局を中心として外地植民地
を結ぶ唯一の聯絡機關

東京市麴町區内幸町一ノ六
發行所 中央情報社

社長 菱沼右一
振替東京六七八〇〇

鮮滿總支社
京城府旭町二ノ五七

刊日

中央情報

朝鮮、臺灣、樺太、南洋、滿洲に關係ある内外の官廳は元
より滿鐵、王子、東拓、南洋興發其の他外地殖民地に關
係を有する官吏實業家に愛讀さるゝ特徴ある速報機
關として使命の上に活動しつゝ、あり(定價一ヶ月金壹圓郵稅共)

貴族院本會議

一 比島「ダバオ」ニ於ケル邦人ノ

土地問題ニ就テ

一 大塚惟精君質疑

○大塚惟精君 「フィリッピン」ガ米國政府ノ同情アル考慮ト相俟ツテ、
多年熱望シテ居リマシタ獨立國トシテノ基礎ヲ固メ、將來我方國ノ南隣
ノ獨立友邦トシテ益々日比親善ノ實ヲ舉ゲムトシテ居ルコトハ、東亞ノ
平和ト文化ノ増進ノ爲ニ深ク喜ブ所デアリマス、然ルニ此ノ親愛ナル友
邦「フィリッピン」ノ南部「ミンダナホ」州、「ダバオ」地方ニ於キマシテ、
三十年來拮据經營ノ結果漸ク築キ上ゲラレマシタル所ノ邦人ノ權益ガ、
「フィリッピン」政府ノ新ナル措置ニ依リマシテ脅カサレ、同地在住ノ一
万五千有餘ノ邦人ヲシテ、其ノ死活ニ瀕スルガ如キ境遇ニ陥ラシメ、
「フィリッピン」政府ガ恰モ排日ノ目的ヲ以テ邦人壓迫ノ政策ヲ執ツテ居
ルト考ヘラレテモ己ムヲ得ナイヤウナ觀ヲ呈シテ居リマスコトハ、日比
親善ノ友誼ヨリ考ヘマシテ深ク遺憾トスルモノデゴザイマス、……要ス
ルニ三十餘年ノ久シキニ亙リ、血ト涙トヲ以テ幾多ノ犧牲ヲ拂ヒ、築キ上
ゲラレタル邦人ノ地歩ガ、單ナル法律ノ新解釋ニ依リテ、根柢ヨリ覆サ
レルガ如キコトガアツテハ由々シキ大事デアリマス、……我々ノ希望ハ
極メテ簡明デアリマス、即チ三十餘年ノ久シキニ亙リ、平穩無事ニ續ケ
テ來タ我方同胞ノ平和ナル生活、此ノ既成ノ事實ヲ確保シテ、今後モ尚
平穩ニ之ヲ繼續サシテ賈ヒタイト云フ一事デアリマス、……此ノ點ニ關
シテ外務大臣ハ如何ナル御考デアリマセウカ

比島「ダバオ」ニ於ケル邦人ノ土地問題ニ就テ

二 有田外務大臣答辯

○國務大臣(有田八郎君) 只今大塚君ノ御質問ニナリマシタ「ダバオ」ニ
於ケル日本人ノ土地ノ問題ニ付テ、政府ガ最近執リマシタ手段ニ付テ御
報告ヲ申上ゲテ、尙是カラ執ラムトスル態度ニ付テ御答辯申上ゲタイト
思フノデアリマス、政府ハ去ル九月ニ在「マニラ」ノ日本ノ總領事ニ對シ
マシテ訓電ヲ發シタノデアリマス、此ノ土地取消命令ガ「ダバオ」地方多
年ノ慣行ヲ無視ノマシテ、邦人ノ利益ヲ侵害シ、其ノ不當デアルコトハ
勿論デアルケレドモ、差當リ至急ノ問題ト致シマシテハ、地主及土地局
員ガ、不正ニ日本人ノ立退キ、地上物件ノ沒收ト云フ風ナ強制手段ニ出
テハ大變デアルカラ、先ヅ之ヲ阻止スルコトガ緊要デアルノデ、至急農
商務長官ニ面會シテ、事態ノ重大性ヲ説イテ、日本人ノ權益ニ對シテ深
甚ナル考慮ヲ拂ハムコトヲ要請スルト共ニ、取敢ヘズ前記不當ノ強制手
段ノ即時差止め方ヲ「ダバオ」ノ地方官憲ニ電報セシムルコトト致シマシ
タ、又現在ノ大統領、當時ノ上院議長デアリマシタ「ケソン」氏ニ對シテ
モ、同様ニ本件ノ斡旋方ヲ懇談セシムルコトト致シタノデアリマス、其
ノ結果、農商務長官ハ邦人ノ立退キ強要ヲ差止めルト云フコトヲ、現地
官憲ニ電報致シタサウデアリマス、其ノ後「ケソン」上院議長ハ大統領ニ
ナツタノデアリマスルガ、四月ノ九日ニ「ダバオ」ニ赴キマシタノデ、政府
ハ「マニラ」ノ日本總領事ヲ同地ニ出張セシメマシテ、「ダバオ」ノ領事ト
協力ヲシテ「ケソン」大統領ニ對シテ、本問題ガ日比關係ニ及ボス重要性、
竝ニ日本政府及國民ガ「ケソン」氏一行ノ觀察ニ對シテ、深甚ナル注意ヲ
拂ツテ居ルト云フコトヲ説明サセマシタ、同時ニ本問題ニ對スル日本側
ノ主張、立場ヲ十分諒解セシメルヤウニ手配ヲ致シタノデアリマス、「マ
ニラ」ノ總領事等ハ大統領ニ對シマシテ、日本人ノ公有地入耕ニ關スル
現在ノ制度ハ、「フィリッピン」政府カラ從來何等故障ヲ受ケテ居ラナカ

ワタ三十年來ノ慣行デアツテ、日本人側ハ毫モ土地ヲ保有スルト云フ風ナ考ハナク、全ク善意ノ行爲デアルト云フコト、又「ダバオ」開發ニ關スル日本人ノ辛苦、貢獻、犧牲ノ多大デアツタト云フコトハ、何人モ否定シ得ナイ所デアル、是等過去ノ功績ニ何等ノ考慮モ拂ハレナイ、急激ナ現狀ノ變化ヲ蒙ルヤウナコトハナイト云フコトヲ確信スルト云フコトヲ述ベテ、本問題ガ單純ナ法理論デナイ、既成事實デアルト云フコトヲ強調致シマシテ、本問題ノ成行キニ對シマシテハ我が國朝野ガ深甚ノ關心ヲ有シテ居ルノデアルカラ、兩國親善ノ基礎ニ於テ本問題ヲ圓滿解決スルコトニ努力シタイ、大統領ニ於テ慎重ニ此ノ點ニ考慮ヲ拂ハレタイト云フコトヲ懇懇ト申出サシタノデアリマス、デ我方方ニ於キマシテハ右様ノ趣旨ニ依ツテ、在「マニラ」ノ日本ノ總領事並ニ「ダバオ」ノ日本ノ領事ヲシテ、在留民トモ十分打合せヲ遂ゲ、是ト連絡ヲ保テツ、日比親善ノ基礎ノ上ニ、本問題ノ解決ニ付テ萬遺憾ナキヲ期シテ居ルモノデアリマスルガ、幸ヒ「ケソン」大統領モ本問題ニ付テハ相當認識ヲ有セラレ、又日比ノ親善關係ト云フコトニ重キヲ置イテ居ラル、ノデアリマスカラ圓滿ナル解決ガ持チ來サル、コトヲ信ジテ居ル次第デアリマス、此ノ上トモ此ノ問題、日本人ノ權益ノ擁護ニ付キマシテハ、出來ルダケノ努力ヲ致ス積リテ居ルノデアリマス

一 外地米統制ニ就テ

一 子爵大河内輝耕君質疑

○子爵大河内輝耕君 外地米統制ニ付キマシテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此ノ外米ノ統制ハ四十一條ニ第一ノ統制ヲ認メ、ソレカラ五十五條ニ第二ノ統制ヲ認メテ居リマスガ、四十九條ノ二項ニハ是ハ生産費デアルコトニ規定ガ出來テ居リマス、併シ五十五條ノ方ノハ是ハ生産費ス、左様ナ場合ニ於キマシテハ米價モ非常ニ下ツテ來ル譯デアリマス、最低價格ヲ割ラムトスルヤウナ事情ニアル場合デアルト考ヘマスルガ故ニ、只今御話ノヤウナ變ハナカラウカト考ヘテ居リマスノデアリマスガ、尙此ノ點ニ付キマシテハ、左様ナ御質疑ノアリマシヤウナ點ニ付テ十分考究ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、一應此ノ立案ノ趣意カラ申シマス、只今御質疑ノ現レヤウナ變ハ無イカノヤウニ考ヘテ居リマス……

○政府委員(中島彌次君) 只今大河内子爵ヨリ御質問及御希望ガアリマシタ點ニ付キマシテ御答ヘ申上ゲマス、現行ノ米穀統制法ニヨリマシテ政府ガ米ヲ買上ゲル場合ニ於キマシテハ、最高價格ニ達スルニアラザレバ賣拂フコトガ出來マセヌノデアリマスケレドモ、此ノ米穀自治管理法案ガ施行サレマシタ時ニ於キマシテハ、最低價格ノ上値一割標準ニテ其ノ貯蔵米ノ義務ヲ解除スルコトガ出來マスルヤウナコトニナリマス、此ノ點ニ於キマシテ國費ノ負擔ガ餘程輕減サレルコトトナリマス、又此ノ米穀自治管理法案ニ依リマスルコト云フト、政府ノ買上米ハ外地ノ米穀統制組合ヨリ買上ゲラレルモノガ大部分ヲ占メテ居リマシテ、サウシテ其ノ買上價格ハ外地米ノ中庸生産費ニ付キマシテハ目下研究中デアリマスルガ、大體之ヲ基準ト致シマシテ其ノ他ノ點ヲ考慮シマシテ決定シマスルノデ、是ハ第四十九條ニ規定シテアリマス、外地米ノ中庸生産費ハ大體ニ於キマシテ内地米ノ中庸生産費ヲ基準トスルモノ、即チ統制法ノ最低價格ヨリ低價ニアルモノト考ヘラレマスルノデ、此ノ點ニ於キマシテ米穀特別會計ノ負擔ガ餘程輕減サレルコトニナルト考ヘマス、尙大河内子爵ノ御希望ガアリマシタノデ、私共ニ於キマシテモ此ノ點ニ付キマシテハ十分ニ研究致シマシテ、米穀特別會計ノ負擔ヲ輕カラシメ、又其ノ他一般會計ノ支出ニ於キマシテモ輕減スルヤウニ、極力研究致シマシテ御希望ニ副フベク決心シテ居ル次第デアリマス

デナイノデ、米穀統制法第二條ノ最低價格トカ、或ハ又朝鮮米、臺灣米ニ於テハ勅令ノ定ムル一定價格以內ニ時價ニ準據シテ之ヲ定メタル價格トス、即チ内地ノ時價ヲ主トシテ取りマシテ、サウシテ格差ト運賃ダケマア見タヤウナ關係ニナツテ居ルコトト存ジマス、是ガマア五十七條ニ規定ニナツテ居リマスルガ、其ノ結果トシテ、其ノ外米ガ澤山出來マシタ場合ニ日本ヘ持ツテ來ルト云フト……内地ヘ持ツテ來マスルコト云フト幾ラデモ持ツテ來ラレル、第一ノ統制トシテヤレマスルケレドモ、是ハマア過剩米ガ五百萬石ト見マシテ、高々十五萬石位ノコトデ大シタコトデゴザイマセヌ、是ダケヤツテシマツテ、後ノモノハ第二ノ統制ニ依ラナケレバナラヌ、第二ノ統制ニ依ルトナルト、是ハ生産費ニ依ルモノデナクシテ時價ニ依リマス、ソレデ詰リ内地ノ時價デ買上ゲルト云フコトニナルカラ、非常ナ高イモノニナリマス、從ツテ生産費ノ低イ外米ハ、作りサヘスレバ利益ニナリマス、作ツテドン／＼持ツテ來サヘスレバ、少クトモ最低價格デ内地デ買ツテ賣ヘルコトニナリマス、非常ナ是ハ詰リ外米増作獎勵案ニナリマシテ、此ノ儘抛ツテ置イテハ、米穀政策ノ上カラ見テハ非常ニ厄介ナコトニナラウト存ジマス、ドウカ此ノ點ハ今御研究ニナルト云フコトデゴザイマスカラ、重ねテ申上ゲルコトモ如何トハ存ジマスケレドモ、重ねテ此ノ問題ヲ明カニシマシテ、政府當局ノ御研究ヲ煩ハシタイト存ジマス

一 島田農林大臣答辯

○國務大臣(島田俊雄君) 大河内子爵ノ只今第二次統制ノ場合ニ付テ、御質問ト申シマスカ御意見ト申シマスカ、第五十五條ノ第二次統制ノ場合ニ於キマシテハ、先刻申上ゲマシタ如ク、生産者ニ自治管理ヲ第一次のニヤラセマシテ、尙其ノ場合ニ於テ、製作其ノ他ノ事情ニ依リマシテ尙過剩米ノアルト云フ場合ニ於キマシテ初メテ之ヲ實行スルノデアリマ

三 伯爵林博太郎君重要輸出品取締

法案外四件特別委員會ノ經過及

結果報告

○伯爵林博太郎君 重要輸出品取締法案、輸出絹織物取締法中改正法律案、輸出組合法中改正法律案、此ノ三案ハ何レモ今日海外ニ對シテ貿易隆盛ノ情況ト相成リマシタノデゴザイマスノデ、極メテ重要ナ法律案デゴザイマス、デ從來ハ組合ニ委セマシテ輸出ヲ獎勵致シテ居リマシタガ斯クノ如ク隆盛トナリ且競争ガ激シクナリマス云フト、兎角粗製濫造ニ流レ易クアルシ、又屢々其ノ憂ガアツタノデアアル、是故ニ輸出品ノ監價ヲ落サナイヤウニ、其ノ必要上カラ此ノ法律案ガ出來タノデゴザイマス、即チ不合格品ノ監督ヲスルト云フコトガ不十分デアツタノデ、此ノ際補フ必要ガ起ツタノデアアル、デ不合格製品ノ輸出ヲ阻止スル爲ニハ出來ルダケ其ノ改善ヲ加ヘナケレバナラナクナツテ來タノデアリマス、又輸出商ノ暴利ヲ取締リ、製産者ノ成ルベク有利ニナルヤウニ、其ノ調節ヲ圖ツタコト、中小輸出業者ガ大輸出業者カラ壓迫ヲ受ケテ居ツタノデ、之ヲ緩和スルト云フコトノ必要上カラモ、法規ニ依ツテ取締ルコトガ起ツシ來タノデアリマス、是ハ提案ノ理由デアリマスルガ、委員會ニ於キマシテハ非常ニ綿密ナ質問應答ガゴザイマシタ、其ノ一二ヲ舉ゲテ申シマスレバ、外地即チ例ヘバ朝鮮デ加工シタ粗製品ヲ輸入スル場合ニハ、如何ニ内地カラ監督ヲスルカ、之ニ付キマシテハ、朝鮮ニ於テモ内地ト同一標準ノ下ニ、此ノ法規ヲ適用シ得ル所ハ適用シテ行クノデア

ル、又検査モスルノデアル、重要輸出品十八以外ノ輸出品ハ、ドウ云フ風ニナル考デアカト云フ質問ニ對シマシテハ、茲ニ強力ヲ持シテシテ行ク考デアアル、……昭和六年法律第四十號中改正法律案ハ産業ノ統制ニ關スルモノデゴザイマス、本法ハ昭和六年ノ頃、日本ノ産業ガ頗ル不況デアツタ、其ノ際ニ於キマシテハ、其ノ企業ノ濫立、無益ナル競争等ガ激シクアツテ、財界ガ頗ル不安デアツタノデアリマス、之ニ對シテ安定ヲ與ヘ、健全ナル産業ノ發達ヲ圖ルガ爲メ本法ガ出來タノデアリマス、然ルニ本法ハ本年八月十日ヲ以テ滿了ト相成リマス、茲ニ於テ現時ニ即應シタモノト變ヘナケレバナラナクナツテ來タ、茲ニ於テ今日ヨリ五年間本法ヲ改善シテ延長スルコト云フコトニナツタ所ニ法ノ精神ガゴザイマス、一、現行法第二條ノ統制服從命令ヲ發シマシタ場合、其ノ效果ヲ十分ナラシメル爲メ、許可制ヲ今度ハ設ケタノデアアル、大臣ノ許可ニ依ツテ生産ノ擴張ヲ圖ルコトガ出來ルコトニ致シタノデアリマス、二、本法ノ適用ヲ選レタ共同販賣會社及「トラス」迄モ、今度ハ取締ルコトニナリマシタ、今迄之ヲ取締ルコトガ出來ナクツタノデアリマスガ「カルテル」以外ノ「トラス」迄ニ共同販賣會社ヲ取締ルコトニ致シマシタ、三、一般消費者及公益ノ擁護、以上述べマシタ「トラス」ヤ「カルテル」モ安定ノ效果ハアルケレドモ、屢々公益ヲ害スル處ガゴザイマス、今迄ノ規定ハ頗ル抽象的デアリマシタカラ、今度ハ具體的ニ不當賤賣及ニ低價ヲ阻止スルヤウニ努メタノデアアル、四、本法ヲ外地ニ及ボスコト、第一條其ノ他ニ於キマシテ、之ニ關シマシテ「主務大臣」ノ何テ「政府又ハ行政官廳」ニ改メマシタ、質問ノ要項ヲ申上ゲテ見マスレバ、日本ハ元來自由主義ヲ以テ産業ヲ獎勵シテ來タノデアアル、今此ノ統制ヲヤルコトニナルト云フト、全ク此ノ自由主義ガ束縛サレテ、産業ハ却テ發達ヲ阻止セラル、虞ガアルガ、此ノ點ハドウデアアルカ云フトコトニ付

テノ質問應答ガアリマシタ、之ニ付テハ各般ノ利害ノ衝突ヲ緩和スル上ニ統制ガ寧ロ必要デアリマス、即チ産業統制ヲ今日ハ寧ロ強化スル必要ガ起ツテ來タノデアアル、重點ハ國民生活ノ安定ニアルノデアアル、需給ノ調節、即チ自由主義ノ上ニ必要ニ應ジテ統制スルモノデアラカシテ、壓制デハナイノデアアル、自由主義ト云フモノハ、何處迄モ第一義トシテ尊重スル、併シ自由ニ放任シテ結果トシテ、無益ナル競争ガ頻發スルト云フコトノ虞ガアル、又色々ソレニ付テノ弊害ガアルカラ自由主義ハ主デアアルガ、茲ニ從テシテドウシテモ統制ト云フコトノ必要ガアル、ソレカラ又加入シテ居ラナイ、加盟シテ居ラナイ所ノ「アウトサイダー」ノ色々ノ弊害ヲ取締ルコト云フコトヲ努メテ居ツタノデアリマス、五箇年ノ延長ト云フコトニ付テノ質問モゴザイマシタ、是ハ今年滿了トナリマスル所ノ本法ヲ改善シテ更ニ之ヲ法律ニ致シマシテ、本法ヲ改善シテ大イニ統制ヲ行ハナケレバナラヌヤウニナツテ來テ居ルノデアアルカラ、此ノ際今日ニ適合シタモノデ五箇年延ビル、ソレナラバ五年先キハ止スノデアアルカドウデアアルカ、此ノ本法ノ不必要ヲ認ムルヤウナ時代ガ來レバ兎ニ角、漸次貿易ガ殷盛トナリマスニ從ツテ、益々其ノ統制ノ必要モ起ルダラウト思フカラ、五年先キノコトハ何トモ申セナイガ、又其ノ時ニ應ジテ是ハ適宜ノ處置ヲ執ルノデアアル、此ノ産業ノ統制委員會ノ顧問レ、即チ委員ノ種類ヲモウ少シ専門的ノモノヲ入レテハドウデアアルカト云フコトノ質問應答ガゴザイマシタ、是ハ臨時委員ヲ設ケテ、其ノ「エキスパート」之ニ御頼ミナスルト云フコトニシテ行キタイト云フコトデアリマス

四 子爵片桐貞央君米穀自治管理法 案外二件特別委員會ノ經過及結果報告

果報告

○子爵片桐貞央君 只今上程ニナリマシタ米穀自治管理法案、其ノ外二件ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、委員會ハ去ル二十日、二十一日、二十二日、三回ニ亘リマシテ午前午後ト通ジマシテ連日開會ヲ致シテ、全員一致可決セラレタノデゴザイマス、尙希望決議モゴザイマスガ、ソレモ全会一致可決セラレテ居リマス、是カラ米穀自治管理法案其他ノ提案ノ理由ニ付テ御説明申上ゲタイト思ヒマスガ、大體本議場ニ於テ、通日農林大臣ヨリ詳細ノ御説明ガゴザイマシタノデゴザイマスカラ、簡單ニ其ノ内容ヲ申上ゲタイト思ヒマス、米穀自治管理法案ノ趣旨ハ、過剩米ノアル場合ニ内地外地ヲ一貫致シマシテ、其ノ方針ノ下ニ之ヲ民間ニ於テ自治的ニ統制セシメマシテ、米穀統制法ノ運用ト相俟ツテ、米穀調節ヲ回滑ニシ、併セテ國庫負擔ヲ軽減シヨウトスルモノデゴザイマス、即チ我が國ニ於キマスル米穀ノ需給状態ト云フモノハ大體供給過剩ノ趨勢ニゴザイマスノデ、豐作ノ場合ハ相當ノ過剩米ヲ生ジマス、而シテ米價ヲ低落セシムル虞ガアリマスカラ、斯様ノ時ニハ米穀生産者等ノ團體ニ、一定ノ數量ノ米穀ヲ割當テマシテ貯藏セシメマシテ、米價ガ一定ノ程度ニ値上リテ致シマシタ時ニハ、其ノ貯藏ヲ解除セシメマシテ、米價ノ變動ヲ調節シ、國民經濟ノ安定ニ資セムトスルノデゴザイマス、是ガ米穀自治管理法案ノ改正案ノ内容デゴザイマス、次ニ米穀統制法中改正法律案ハ、三ツノ條項ニ分レテ居リマシテ、第一ハ出廻期間中ハ最低價格ニ金利、保管料ニ相當スル金額ヲ加算シマシテ、出廻期間中ノ米價低落ヲ防ギマシテ、政府ニ對スル最低價格ニ依ル米價ノ賣渡ノ激増スルコトヲ防ガウトスルノデゴザイマス、第二ハ災害、事變、其ノ他避クベカラザル場合ニハ、政府ハ政府米ヲ賣渡ス途ヲ開カウトスルノデアリマス、第三ハ米ノ代用食料タル小麦及小麦粉ニ對シマシ

テ、期間ヲ定メマシテ輸入ヲ禁止シ、又其ノ輸入關稅ノ増減免除ヲ爲シ得ル途ヲ開イタノデアリマス、最後ニ粗共同貯藏助成法案ノ趣旨ヲ申上ゲマス、米穀ノ出廻調節ト云フモノハ、備荒貯蓄ノ目的ノ爲ニ粗共同貯藏サセルノデゴザイマシテ、之ヲ助成スル爲メハ其ノ金利及保管料ニ相當スル政府ノ所有米ト云フモノヲ交付シ得ル途ヲ開カムトスルノデゴザイマス、右ガ三法律案ノ大體ノ内容ノ御説明デゴザイマス、是ヨリ委員會ニ於キマスル大體ノ經過ヲ御報告申上ゲタイト思ヒマス、委員會ニ於ケル質問應答モ多クゴザイマシタノデゴザイマスカレドモ、其ノ中ノ主ナルモノヲ數件申上ゲタイト思ヒマス、第一ハ此ノ法案ハ生産者ニ對シテ、ドンナ影響ガアルカト云フ御質問ニ對シマシテ、政府ハ本案ハ、豐作ニ依ツテ米價ガ米穀統制法ノ最低價格ヲ下フムトスルヤウナ場合ニハ、過剩米ヲ統制シマシテ、米價ヲ維持スルノデアリマスカラ、生産者ニ對シテハ現在ヨリモ有利ナルコトデアアル、斯ウ云フコトデアリマス、第二ハ消費者ニ對スル影響ハドウデアアルカト云フ御質問デアリマス、之ニ對シマシテハ、此ノ法案ニ依リマシテハ、統制セラレタル貯藏米穀ト云フモノハ、米價ガ最低價格カラ一割程度値上リシタ時ニハ解除スルコトトナルノデアリマスカラ、最高價格ニ達シナイ中ニ米穀ノ供給ヲ増加致シマシテ、米價ノ騰貴ヲ抑制スルコトナルノデゴザイマスカラ、現在ヨリハ消費者ニ取ツテモ有利デアアル、斯ウ云フ御答デゴザイマシタ、次ニハ米穀商ニ對スル影響ハドンナ影響ガアルカト云フヤウナ御質問ニ對シテハ色々ゴザイマシタガ概括シテ之ヲ申上ゲマスレバ、政府ハ本法案自體カラハ、米穀商ニ惡影響ヲ及ボスコトガナイト考ヘテ居ル、寧ロ米價ノ安定ニ依ツテ米穀商ガ不測ノ損害ヲ受ケルヤウナ危險ヲ免レルコトガ出來ルト云フ作用ヲ爲スノデアアル、唯米穀取引所ニ對シマシテハ其ノ影響ヲ及ボスコトガアルト考ヘテ居ル、故ニ之ニ對スル方策ニ付テハ十分考慮シタイト思ツテ居ル、尙本法實施ニ當リマシテハ、産業組合ノ指導監

督ノ機關ヲ充實致シマシテ、世上ノ不安ノ原因ヲ一掃スルト共ニ、一方米穀商ニ對シマシテハ、其ノ組織スル商業組合ニ對シマシテ、政府ニ於キマシテ米穀ノ買上ヲ行フ際ニ保險金ヲ免除スルノ途ヲ開キ、又政府米ノ隨時賣却ヲ行ヒマシテ其ノ途ヲ開キ、且商業組合倉庫ヲ政府ノ指定倉庫トシテ、政府米ヲ保管セシメ得ルコトトスル等、大體商業組合ト同様ノ商業組合ニ對シテモ取扱ヲ爲スヤウニシタイ、斯ウ考ヘテ居ル、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、尙之ニ付キマシテハ商工大臣ヨリモ、農林大臣ト同様ノ御答辯ガゴザイマシタ、次ニハ本案ヲ執行スルナラバ國庫ノ負擔ガ輕減スルト云フガ、是ハドウ云フ譯カ、斯ウ云フ御問ニ對シマシテハ、政府ハ是ハ場合々々ニ依ツテ異ルコトデ、ハツキリト數字のニハ今申上ルコトガ出來ナイガ、大體ノ見込トシテハ現行制度ヨリハ國庫ノ負擔ヲ輕減スルト思ハレル、斯ウ云フコトデゴザイマシタ、又本法實施ニ對シテ、生産者ニ對シテハ如何ナル施設ヲ講ズルカ、斯ウ云フ御問ニ對シマシテ、政府ハ本法ニ依リマシテ統制セラレタ米穀ニ對シマシテハ、資金ノ融通、利子ノ補助及保管料ノ補助、或ハ貯藏ニ必要ナル倉庫ノ建設等ニ對スル補助ヲ行ヒマシテ、貯藏ヲ命ゼラレタルモノニ對シマシテハ、成ルベク負擔ヲ掛ケナイヤウニ致シタイ、斯ウ云フ考デアル、斯ウ云フ答辯ガゴザイマシタ、ソレカラ産業組合ヲ統制組合ノ代行機關ト認メルコトハドウカト云フ御質問モゴザイマシタ、是ハ政府ヨリノ御答ニハ、現下農村ノ實情已ムテ得ザルモノガアルノデサウ云フ風ニシタノデアル、斯ウ云フ御答デゴザイマシタ、尙政府ハ本案ノ實施ニ當ツテ産業組合ヲ重壓スルヤウナ意思ヲ持ツテ居ルノデハナイカ、斯ウ云フ御尋モゴザイマシテ、政府ト致シマシテハ之ニ對シテ、産業組合トシテハ他ク迄モ産業組合自體ノ健全ナル發達ヲ遂ゲサセルノガ希望デアル、斯ウ云フ御答デゴザイマシタ、又附則ニ當分ノ内ト云フコトガゴザイマシタ、ソレハ何時頃迄ヲ指スノカト云フ御質問ニ對シマシテモ、現在ノ米穀事

情ガ今日ノヤウナ事情デアル以上ハ、此ノ附則ノ規定ガ適用サレルノデアル、斯ウ云フ御答デゴザイマシタ、又朝鮮及臺灣總督ニ於ケル將來ノ米作ニ對スル方針ハドウ云フ風ニスルノカ、斯ウ云フ御質問モゴザイマシタ、之ニ對シテハ政府ハ、内地、朝鮮及臺灣ヲ通ジマスレバ、米穀ト云フモノハ大體供給過剩ノ趨勢ニアリマスカラ、朝鮮ニ於キマシテハ產米計畫ヲ中止シテ代作獎勵ヲ致シマスシ、又臺灣ニ於キマシテハ產米計畫ヲ代作獎勵ヲ致シマスシ、生産ノ統制ヲ圖リタイ、斯ウ云フ方針ト思フガ、將來何カ之ヲ是正スルノ方策ヲ講ズルカドウカ、斯ウ云フ御質問モゴザイマシタ、現在高調査、移動調査及收穫豫想高調査等ヲ一層精密ニシマシテ、之ニ基キマシテ推算ヲ行ヒタイト思フ、斯ウ云フ答辯ガゴザイマシタ、其ノ他多クゴザイマシタガ、本法ノ實施ニ伴フ倉庫ノ計畫ハドウデアルカ、臺灣米ノ貯藏ハ困難ダト思フガドウデアルカ、内地ニ於テ生産制限ヲスルヤウナ意思ガアルカ、又本法ニ依リマシテ、外地ニ於テ貯藏ヲ命ジテモ、貯藏米以外ノ米穀ハ移出シテ來ルカラ、外地ヨリノ内地移入數量ガ減少シナイカト云フヤウナ御尋モ多クゴザイマシタガ、マダ〱餘程色々ゴザイマシタデアリマスレドモ、長クナリマスカラ是ハ省略致シマシテ、大體今ノヤウナコトダケヲ申上ルガ次第デアリマス、是等ノ種々應答ガゴザイマシテ審議ヲ致シマシタガ、詳シイコトハドウカ速記録ヲ御覽願ヒタイト思フテ居リマス、以上質問應答ヲ大體終了致シマシテ、討論ニ移リマス前ニ御意見モゴザイマシタノデ懇談會ヲ開キマシタ、懇談會ノ席上ニ於キマシテモ希望ノ決議ト云フヤウナ話モゴザイマシタ爲ニ、小委員會ヲ作りマシテ此ノ案ヲ練リマシテ出來上リマシテ再度開會ヲ致シマシテ、討論ニ移リマシタ、討論ニ入りマシテカラ、一委員ヨリ本法ヲ實施スルコトハ必要ノモノト思フガ、其ノ内容ニ付テハ稍々遺憾ノ點ガアルト思フガ、併シ此ノ法案ノ運用ノ

如何ニ依ルコトデアツテ、是ハ政府ノ運用ニ當ツテ遺憾ナキヲ期シタイ斯ウ云フ希望ヲ述べラレマシテ三案ニ對シテ贊成ノ意見ガゴザイマシタソレニ付キマシテ採決致シマシタ結果、三案ニ付テ何等異議ナク全會一致テ可決セラレタヤウナ次第デアリマス、右申上ルマシタ次第ニ依リマシテ、決議案ガ茲ニ出來マシタノデアリマス、其ノ決議案ヲ茲ニ朗讀ヲ致シマス

希望決議

- 一、政府ハ米穀ノ生産配給消費ニ互リ内地外地ヲ通シ基礎調査ヲ整ヘ米穀事情ノ變化ニ適應スル米穀政策樹立並運用ニ遺憾ナキヲ期スヘシ
 - 二、政府ハ米穀統制ニ關シ各種法制ノ適正ナル運用ニツキ指導監督ヲ周到ニシ内地朝鮮臺灣ノ官廳ノ職務及協力ニ關シテ遺漏ナキヲ期スヘシ
 - 三、政府ハ米穀統制施設ニ依リ米穀ノ取引及配給ノ機關ニ及ホス影響ニ關シ適當ナル對策ヲ講スヘシ
- 是ガ希望決議デアリマス、之ヲ委員會ニ諮リマシタ所ガ、全會一致御贊成デゴザイマシタ、以上ノヤウナ次第デゴザイマシテ、委員會ニ於キマシテハ米穀自治管理法案、米穀統制法中改正法律案、親共同貯藏助成法案ノ三案ヲ全會一致ヲ以テ可決ニナツタヤウナ次第デゴザイマシタ、極ク簡略デゴザイマシタガ、速記モゴザイマシタ爲ニ致シマスノデ、自分ノ覺エヲ以テ御報告申上ルヤウナ次第デアリマス、ドウカ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

五 子爵清岡長言君重要肥料統制法案 特別委員會ノ經過及結果報告

○子爵清岡長言君 只今議題ト相成リマシタ重要肥料統制法案ノ委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ其ノ結果ヲ、應司委員長ニ代リマシテ私カラ御報告申上ルガ、本委員會ハ二十一日ヨリ三日間ニ亘リ開會致シマシタ、先ヅ政府ノ懇切詳細ナル説明ヲバ聽取ラ致シマシテ、議事ニ入りマシタ、本法律案ノ骨子ヲ申上ルガ、肥料ハ農家ノ必需品デアリ、農業經營上至大ノ關係ヲ有スルモノデアリマシテ、就中化學肥料ハ肥料トシテ最重要ナル地位ヲ占メテ居ルモノデアリマス、而シテ是等ノ肥料供給ノ源ヲ爲ス化學肥料工業ハ、化學工業ノ基礎工業トシテ、將又軍需工業トシテ重大ナル意義ヲ有スル工業デアリマスカラ、之ガ合理的ナル改善發達ヲ期スルト同時ニ、農業經營ノ改善發達ニ資スル爲ニ、國家的見地ヨリ必要ナル統制ヲ行ヒ、是等肥料ノ供給ノ圓滑ト、價格ノ公正ヲ圖ラムトスルノ趣旨ヲ以チマシテ、化學肥料中重要ナル種類ノ肥料製造業者ヲシテ、各一個ノ肥料製造業組合ヲ組織セシメ、業者ハ法律上當然其ノ組合ノ組合員タラシムルコトトナシ、此ノ組合ヲシテ先ヅ自治的ニ生産及販賣ニ關スル統制事業ヲ行ハシメ、政府ハ之ニ對シ十分ナル監督ヲ行フ仕組ト致シ、更ニ供給調節上ノ必要ニ應ジテ政府ハ輸出入ノ制限ヲ行ヒ得ルノ途ヲ開イテ居ルノデアリマス、委員諸君ヨリハ種々御熱心ナル質疑ガアリ、政府ニ於カレマシテモ、懇切丁寧ナル答辯ガアツタノデアリマス、其ノ中主要ナルモノニ付キマシテ、簡單ニ申上ルガマシレバ次ノ通りデゴザイマシタ、第一ニ此ノ法案ハ第六十七議會ニ提案セラレタ肥料統制法案ニ比シ、費消者ノ利益ヲ擁護スル點ニ於テ不十分ナリトノ世間ノ批評ガアルガ、本案ハ糞ニ提案セラレタ法案ニ比較シ、其ノ趣旨ニ於テ異ル點ナキヤ、又本案ニ於テハ許可制其ノ他ノ條項ヲ削除シタガ、費消者ノ保護上遺憾ノ點ハナイカトノ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シ政府カラ、本案ノ立法趣旨ハ糞ニ提案セラレタ法案ト大體同趣旨デアツテ、當業者ノ自治的統制ヲ主體トシ、之ニ對シ政府ガ公益的見地ヨ

り、適當ナル統制ヲ加フル仕組ニ依リ、肥料ノ豐富且低廉ナル供給ヲ確保セムトスルモノデアリマシテ、本案ノ立法ニ當リマシテハ、曩ノ議會ニ於ケル各種ノ論議ノ外、更ニ當業者及費消者ノ團體ノ意見ヲモ參酌シ現下ノ情勢ニ照シ、最モ適切妥當ナル方策ヲ考究シタル結果、本案ヲ得タルモノデアツテ、許可制其ノ他ノ條項ハ之ヲ削除シタガ、本案ノ適正ナル運用ニ依リ、費消者ノ利益ハ十分擁護セラレルモノト信ズル旨ノ答辯ガアリマシタ、第二ニ現在生産不足ノ肥料ニ付キ、政府ハ如何ニシテ其ノ供給ヲ豐富ナラシムトスルモノデアルカ、此ノ質問ニ對シマシテ政府ヨリ、本案ニ依ル適當ナル統制ヲ行ヒ、事業ノ基礎ヲ安定セシメ得ルヲ以テ、業者ハ安ンジテ生産能力ヲ發揮シ、増産ヲナシ、又事業ノ新設擴張等ヲナスニ至リ、肥料ノ供給ヲ豐富ナラシムルコトヲ得ル旨ノ答辯ガアリマシタ、第三ニ、本案ハ肥料ノ價格ノ公正ヲ圖ルコトヲ目的トシテ居ルガ、公正ナル價格トハ如何ナルモノヲ言フノデアルカ、此ノ質問ニ對シマシテハ政府ハ、公正ナル價格トハ生産者ニモ過セズ、費消者ニモ偏セザル中庸ヲ得タル價格ノコトデアツテ、之ヲ認定ニ付テ肥料ノ生産費ノ外、農村事情、肥料工業ノ收支ノ情況、一般會社ノ收支ノ狀況物價指數ト各般ノ經濟事情ヲ參酌シテ、之ヲ決スルモノデアル旨ノ答辯ガアリマシタ、第四ニ重要肥料業委員會ハ、本法運用上最重要ナル使命ヲ有スルモノデアルガ、其ノ公正ヲ如何ニスルカ、此ノ質問ニ對シマシテ政府ハ、大體ノ腹案トシマシテハ、關係各廳ノ高等官凡ソ八名位、學識經驗アル者凡ソ十二名位ヲ考ヘテ居ルガ、學識經驗アル者ノ中ニハ、貴衆兩院議員、生産者及費消者ヲ代表スベキ者等ヲ考慮中ニ入レテ居ル云々ノ答辯ガアリマシタ、尙又之ニ對シマシテ、委員ニハ業界ノ實情ニ精通シタル人ヲ任命シ、本法運用上遺憾ナキコトヲ期セムトスルノ希望ガアリマシタ、第五ニ政府ハ本法施行ニ當リ朝鮮、臺灣及滿洲ニ對スル關係ヲ如何ニ取扱フ意向ナリヤ、此ノ質問ニ對シマシテ政府ハ、本

法ハ之レヲ外地ニ直接ニ施行シナイケレドモ、肥料ノ生産又ハ販賣ニ關スル統制ハ、内地地ヲ通ジテ行ハヌケレバ、其ノ完整ヲ期スルコトガ出來ナイカラ、外地ニ於テモ本法ト同趣旨ノ法制ヲ實施シ、之ヲ運用ニ關シテハ、重要事項ニ付テ双方打合せヲ行ヒ、常ニ同一ノ方針ヲ執ルコトニ、外地關係官廳ト協議濟デアリ、尙滿洲ニ付テモ、内地ノ統制方針ト協調ヲ保タシムル方針アル旨ノ答辯ガアリマシタ、第六ニ、本案ニ對スル衆議院ノ附帶決議ニ付テハ、政府ハ如何ニ之ヲ考ヘテ居ルカ、此ノ質問ニ對シテ政府ハ附帶決議ニ付テハ、政府ニ於テモ其ノ趣旨ニ副フヤウ努メタイト考ヘテ居ルガ個々ノ具體的ナ方法ニ付テハ、財政上ノ關係モアリ、且肥料ノ生産供給等ノ事情モ考慮シテ、善處シタイト考ヘテ居ル旨ノ答辯ガアリマシタ、尙此ノ外ニ種々ノ質問應答ガアリマシタガ、詳細ノコトハ速記録ニ讓リタイト思フノデアリマス、斯ク致シマシテ慎重審議ノ結果、委員會ニ於テハ全會一致、本法案ヲ原案通り可決スベキモノト議決致シマシタ次第デゴザリマス、右御報告申上ゲマス

六 永田拓務大臣臺灣拓殖株式會社法案外一件提案理由說明

臺灣拓殖株式會社法案 (小字及一ハ衆議院ノ修正)

臺灣拓殖株式會社法

- 第一條 臺灣拓殖株式會社ハ拓殖事業ノ經營及拓殖資金ノ供給ヲ目的トスル株式會社トシ其ノ本店ヲ臺北ニ置ク
- 臺灣拓殖株式會社ハ命令ノ定ムル所ニ依リ定期預リ金ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 臺灣拓殖株式會社ノ資本ハ三千萬圓トス但シ政府ノ認可ヲ受ケテ之ヲ增加スルコトヲ得
- 第三條 臺灣拓殖株式會社ノ株式ハ記名式トシ政府、公共團體、帝國

臣民又ハ帝國法人ニシテ、社員株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上、資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ外國人若ハ外國法人ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得

第四條 政府ハ臺灣總督ノ管理ニ屬スル金錢以外ノ財産ヲ以テ出資ノ目的ト爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ臺灣拓殖株式會社ガ政府ノ出資スル不動産ノ取得ニ付登記ヲ受クルトキハ其ノ登録稅ノ額ハ不動産ノ價格ノ千分ノ三トス

第五條 臺灣拓殖株式會社ハ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ增加スルコトヲ得

第六條 臺灣拓殖株式會社ニ社長副社長各一人、理事三人以上及監事二人以上ヲ置キ其ノ職務、權限ト任命選任ノ方法及任期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ス

監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス

第七條 臺灣拓殖株式會社ハ拂込ミタル株金額ノ三倍ヲ限り臺灣拓殖債券ヲ發行スルコトヲ得

臺灣拓殖債券ヲ發行スル場合ニ於テハ商法第二百九條ニ定ムル決議ニ依ルコトヲ要セズ

第八條 臺灣拓殖債券ノ所有者ハ臺灣拓殖株式會社ノ財産ニ付他ノ債權者ニ先チテ自己ノ債權ノ辨濟ヲ受クル權利ヲ有ス

第九條 臺灣拓殖株式會社ハ每營業年度ニ準備金トシテ資本ノ缺損ヲ補フ爲利益金額ノ百分ノ八以上ヲ積立テ且利益配當ノ平均ヲ得シムル爲利益金額ノ百分ノ二以上ヲ積立ツベシ

第十條 政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ハ第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ第二次ヲ監督ス

永田拓務大臣臺灣拓殖株式會社法案外一件提案理由說明

ニ於テ主務大臣之ヲ監督ス

第十一條 利益金ノ處分、臺灣拓殖債券ノ發行並ニ合併及解散ノ決議ハ政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ定款ノ變更其ノ他政府ノ認可ヲ受ケタル事項ノ變更ニ付亦同ジ

第十二條 政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ決議ハ役員ノ行爲ガ法令、法令ニ基キテ爲ス處分若ハ定款ニ違反シ又ハ公益ヲ害スト認ムルトキハ其ノ決議ヲ反消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第十三條 臺灣拓殖株式會社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年六分ノ割合ニ達スル迄政府ノ所有スル株式ニ對シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セズ

第十四條 臺灣拓殖株式會社ノ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年六分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テハ其ノ超過額ハ總株式ニ對シ利益配當ガ拂込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額及政府ノ所有スル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ一ト四トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スベシ

第十五條 臺灣拓殖株式會社ガ本法若ハ本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ社長又ハ社長ノ職務ヲ行ヒ若ハ代理スル者ヲ百圓以上二千圓以下ノ過料ニ處ス副社長又ハ理事ノ分掌業務ニ係ルトキハ副社長又ハ理事ヲ過料ニ處スコト亦同ジ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項ノ過料ニ之ヲ準用ス

第十六條 本法ニ定ムルモノノ外臺灣拓殖株式會社ノ業務ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

永田拓務大臣臺灣拓殖株式會社法案外一件提案理由説明

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
政府ハ設立委員ヲ命ジ臺灣拓殖株式會社ノ設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處理セシム
設立委員ハ定款ヲ作成シ政府ノ認可ヲ受クベシ
前二項ニ定ムルモノノ外臺灣拓殖株式會社ノ設立ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
登錄稅法第六條第一項第十一號中「勸業債券」ノ下ニ「臺灣拓殖債券」ヲ加フ

臺灣私設鐵道補助法中改正法律案
臺灣私設鐵道補助法中ノ通改正ス

第一條第二項ヲ左ノ如ク改ム
臺灣總督ハ必要アリト認ムルトキハ更ニ五年ヲ限リ前項ノ期間ヲ伸長スルコトヲ得

第一條ノ二 前條ノ補助金ハ左ノ各號ニ依ル金額ヲ限度トス
一 前條第一項ノ期間中ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年六分ノ割合ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於ケル益金ガ建設費ニ對シ年一分ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

二 前條第二項ノ期間中ハ每營業年度ニ於ケル建設費ニ對シ年五分ノ割合ニ相當スル金額但シ每營業年度ニ於ケル益金ガ建設費ニ對シ年一分五厘ノ割合ニ相當スル金額ヲ超ユルトキハ其ノ超過額ハ之ヲ補助金額ヨリ控除ス

第三條中「第一條」ノ下ニ「及第一條ノ二」ヲ加フ
第四條中「第一條」ヲ「第一條ノ二」ニ改ム
附 則

七 伯爵柳原義光君臺灣拓殖株式會社法案外一件特別委員會ノ經過及結果報告

○伯爵柳原義光君 只今日程ニ追加セラレマシテ上程ニ相成リマシタ臺灣拓殖株式會社法案、並ニ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ノ兩案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ極メテ簡單ニ御報告申上ゲタイト存ジマス、兩案ノ委員會ハ本日午前及午後ノ兩回ニ亘リマシテ開イタノデゴザイマス、最初正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、ソレカラ後ニ政府當局ノ兩案ニ對スル懇切ナル説明ヲ得タノデアリマス、而シテ第一ニ臺灣拓殖株式會社法案ヲ議題ニ供シテ論議ヲ致シタノデアリマス、此ノ案ニ付キマシテハ委員カラ政府ニ幾多ノ質疑ガアリマシテ、質疑應答ガ澤山アツタノデアリマス、勿論此ノ案ハ諸君モ御存ジノ如ク政府提出ノ案ニ衆議院ガ修正ヲ加ヘテ富院ニ、ソレガ原案トナツテ修正案ガ原案トナツテ送付致サレタノデアリマス、即チ其ノ第六條ト十條ニ衆議院ガ修正ヲ加ヘテ、而シテ衆議院ニ於テ之ヲ可決シテ、當院ニ送付シテ參ツタノデ、之ヲ原案トシテ、審議ヲ進メタノデアリマス、委員ハ全體ニ於キマシテ此ノ本案ノ提出ノ主眼タル、即チ臺灣開發促進ヲ致シ、而シテ南支南洋トノ經濟的提携ヲ最モ緊密ニシ、而シテ相互ノ慶福ヲ増進シ云々ト云フ此ノ政府提案ノ趣旨ノアル所ニハ總テ是ハ贊成致シタノデアリマス唯衆議院ノ此ノ修正ノ箇所即チ此ノ六條ト十條ニ亘リマシテ、幾多ノ質疑ヲ致シタノデアリマス、結局誠ニ此ノ説明ガ……説明ニ對シテ此ノ修正ノ文意ガ明瞭ヲ缺ク點ガアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテ幾多ノ質疑ヲ生ジタノデアリマス、例ヘバ此ノ監督權ヲ行フ者ノ點ニ付テモ疑義ガアツタノデアリマシテ、或ハ臺灣總督デアルトカ、或ハ拓務大臣

伯爵柳原義光君臺灣拓殖株式會社法案外一件特別委員會ノ經過及結果報告

デアルトカ、或ハ兩者ニ在ルトカ云フヤウナコトデ此ノ法文ノ記載スルコトガ稍々明瞭ヲ缺イタノデゴザイマス、勿論私ハ素人デアリマス、カラ、此ノ立法技術ハ極メテ分ラヌコトデアリマス、併シ此ノ立法技術ニ堪能ナル御方ノ説ヲ承リマス、誠ニ不完全デアルヤウニ承ツタノデアリマス、併シナガラ前申上ゲマス、此ノ提案ノ趣旨ハ誠ニ必要緊切ナルモノデアリマス、寧ろ是ハ政府ノ原案ニ戻シタ方ガ宜イデハナイカト云フ意見ヲ一員ガ吐カレマシテ、而シテ滿場一致之ヲ可決シタノデアリマス、即チ修正ニ更ニ修正ヲ加ヘテ、元ノ如ク政府ノ原案ニ戻スト云フコトニ相成リマシテ、滿場一致ヲ以テ可決致シタ次第デアリマス、簡單ニ此ノ段ヲ御報告致シテ置キマス、次ニ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ヲ議題ニ供シテ審議ヲ進メタノデゴザイマス、此ノ案ハ極メテ簡單デアリマシテ、臺北鐵道ト臺中輕鐵ト兩方ノ二ツノ鐵道ハ臺灣ノ開發上最モ必要ナルモノデアリマス、併シ尙當分政府ヨリ補助金ヲ支給スル必要ガアリマス、是ハ恰モ朝鮮鐵道ノ例ニ倣フテ、更ニ五年以内補助金ヲ與ヘル期間ヲ延長シタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマス、即チ此ノ原案提出ノ理由ノ如ク、委員會ニ於テハ之ヲ是ナリトシテ、滿場一致ヲ以テ臺灣私設鐵道補助法中改正法律案ハ可決相成ツタ次第デアリマス、簡單ニ此ノ段ヲ御報告申上ゲマス

八 臺灣拓殖株式會社ノ役員任命及本法ノ成立ヲ望マルルヤ否ヤニ就テ

一 子爵大河内輝耕君質疑

臺灣拓殖株式會社ノ役員任命及本法ノ成立……三三八

○子爵大河内輝耕君 是ハ無論當局ノ退職官吏ノ隱居所デモナケレバ、又其ノ緣故者ヲ察リ込ム所デモナイ、何モサウ云フコトハ少シモ御ヤリニナルマイト思ヒマス、又現當局者ハ勿論ノコト、將來後ヲ繼ガレル當局者ニ於テモ、斯カルコトヲ爲サルコトハ無カラウト存ジマスルガ、政府ノ御意見トシテハ一日モ早ク此ノ成立ヲ望マルルヤ否ヤ、是非共此議會ニ於テ成立ヲ望マルルヤ否ヤ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

一一 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 大河内子爵ノ御尋ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス此會社ノ役員ノ選定ニ當リマシテ、或ハ退職官吏ノ隱居所ニナルトカ或ハ緣故者ヲ救済スル場所ニナルトカ云フヤウナ處ガナイカト云フ御話デゴザイマシタガ、此ノ臺灣拓殖株式會社ガ其ノ成立ノ趣旨ヲ十分ニ發揮スルコトノ出來ルカ出來ナイカト云フコトハ、一ニ懸ツテ其ノ役員トナルベキ人ノ技術如何ニ存スルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、從ツテ役員ノ選定ニ付テハ特ニ慎重ナル考慮ヲ加ヘテ十分ニ適材ヲ求メタイ斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス、決シテ或有能デナイ者ヲ緣故ノ關係デ救済スルヤウナ意味デ其ノ役ニ任ズルト云フヤウナコトハ、決シテゴザイマセヌ、此ノ點ニ付テハ特ニ十分ノ上ニ十分ノ注意ヲ加ヘタイト考ヘテ居リマス、第二ニ御尋ニナリマシタ一日モ早ク此ノ會社ノ成立ヲ希望スルカ、ト云フ御尋デゴザイマシタガ、日本ノ現狀ニ鑑ミ、ドウシテモ國策上此ノ會社ノ成立ガ一日モ早ク成ラムコトヲ熱望シテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 明快ナル御答ヲ得マシテ感謝致シマス、次ニ此ノ原案六條並ニ十條ノ意味ニ付テ政府ノ御所見ヲ質シタイト存ジマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 只今御尋ノ第一點ハ、即チ第六條ニ於テ「勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアルコトノ内容ニ付テ御尋ニナリマシタガ、此

存ハナイノデアリマス是ダケヲ御答辯致シテ置キマス

九 原案第六條並第十條ノ意味ニ就

テ

一 子爵大河内輝耕君質疑

○子爵大河内輝耕君 第二點ハ如何デゴザイマセウカ、是ハ私伺ヒ違ヒダトイケマセヌカラ、念ヲ押シテ置キマス、政府ハ、十條ノ解釋ハ原案ニ依リマスルト云フト、島内ノ事ハ臺灣總督ガヤル、島外ノ事ハ拓務大臣ガ監督スルト云フ原案ナンド、ソレヲ衆議院ガ直シタ爲ニ、島内ナルト島外ナルトヲ問ハズ、苟モ臺灣拓殖株式會社ノ業務デアレバ、ソレガ廣東デアラウガ、ジャウデアラウガ、「スマトラ」デアラウガ、第一ハ臺灣總督之ヲ監督シ、第二次ハ主務大臣ガ之ヲ監督スト、サウシマス此ノ第十條ノ方ニ付キマシテハ、修正案ノ爲ニ臺灣總督ノ權限ガ廣クナツチャツタ、是ガ原案デハ狭クナツチャツタ、斯ウ云フ御解釋デゴザイマスカ、サウ致シマス法律上ノ解釋ト致シマシテハ、原案ニ依リマシテハ島内ノコトハ臺灣總督ガ監督スル、サウシテ臺灣總督ヲ監督ト云フカ何ト云フカ知りマセヌガ、其ノ意味ニ於テ拓務大臣ガ又之ニ參與スル、島外ノコトハ法律上ニ於テハ臺灣總督ハ關係スルコトガ出來ナイノデアアル、斯ウ云フヤウニ解サレル、併シ事實上ノ取扱トシテハドウカ、假令島内ノコトガ、臺灣總督ノ權限内デアラウトモ、相談ヲシテ一々ヤラウ、島外ノコトハ臺灣總督ノ權限外デアアルケレドモ、臺灣ト密接ノ關係ガアルカラ、能ク相談ヲシテ、拓務大臣ガヤツテ行カウ、斯ウ云フコトニナリマスデスカ、餘程是ハ臺灣總督ノ權限上重大ナコトデゴザイマスカラ、法律ノ解釋ハ法律ノ解釋、事實ノ取扱ハ事實ノ取扱、

原案第六條並第十條ノ意味ニ就テ

ノ點ハ政府ト致シマシテハ、勅令ヲ以テ定ムル場合ニハ、其ノ内容ニ於キマシテハ、臺灣總督ノ地位ニ鑑ミ、又此ノ會社設立ノ經過ニ鑑ミマシテ、「臺灣總督之ヲ任命ス」ト勅令ノ中ニ規定スル積リデゴザイマス、サウシテ内容ニ於キマシテハ、事柄ガ社長以下副社長等ノ役員任命ハ非常ニ重大關係ガアリマスカラ、内部ノ監督ノ手段トシテ、豫メ拓務大臣ニ指揮ヲ仰グヤウニシタイ、ソレハ内部ノ監督ノ作用デサウシタイ、モウ少シ進ンデ申シマスレバ、拓務省ニ於テハ、十分是等ノ適任者ヲ得ル爲ニハ、總督ト共ニ十分ニ骨折ルト云フヤウニ行キタイと思ツテ居リマスソレデ、「勅令ヲ以テ定ム」ト書イテアリマスル内容ハ、明文ニ「法文トシテハ、臺灣總督之ヲ任命スト、之ヲ命ズト云フ風ニ書ク積リデゴザイマシタ、從ツテ此ノ通りニ、衆議院ノ修正ノ通りニ修正サレマシテモ、實質ニ於テハ別ニ政府ニ於テハ不都合トハ考ヘテ居リマセヌ、先ツ同ジモノト心得テ居ルノデアリマス、第二點ニ付キマシテ、監督ノ方法ハ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」トアリマス、此ノ政府ノ提出ノ原案ノ内容ハ、大體主トシテ臺灣島内ノ事ハ、臺灣總督ガ主トシテ其ノ監督ノ任ニ當ツタラ宜イ、併シナガラ其ノ大キナ事柄ニ付テハ拓務大臣ニ伺フト云フヤウナ内部ノ監督方法ヲ採リタイと思ツテ居リマス又島外ニ於テ臺灣島外ノ事ハ外國關係ノコトデモアリマスカラシテ、是ハ臺灣總督ニ於テ第一次ノ相談ニ「會社ガ相談ヲ致ス」デアリマスカレドモ、外國ノ關係モアリマスカラシテ、主トシテ拓務大臣ガ之ヲ監督スル「斯ウ云フ心持デ勅令ノ内容ヲ定メタイ、斯ウ云フ積リテ居ツタノデアリマス、從ツテ衆議院ノ修正ハ「臺灣拓殖株式會社ノ業務ハ第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ第二次ニ於テ主務大臣之ヲ監督ス」ト、斯ウ云フ風ニ明カニ規定致シマシテモ、其ノ實質ニ於テハ殆ド變ル所ガナイ、監督ノ運用上此ノ規定ト同ジヤウナ方法ニ依ツテヤルト云フ積リデゴザイマス、從ツテ此ノ衆議院ノ修正ニ付テハ、政府ト致シマシテハ格別異

ハツキリ分ケテ御答へ願ヒタイ

一一 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 只今ノ御質問ニ御答へ申上ゲマス島内ノ事ハ主トシテ臺灣總督ガ之ヲ監督シ、島外ノ事ハ臺灣總督ヲ通ジテ主トシテ拓務大臣ガ之ヲ監督スト云フ風ニ申上ゲテ置キマシタノデアリマスガ是ハ法文ノ文字カラ申シマスレバ、只今大河内子爵ノ仰セラレタ通りニ臺灣總督ハ、政府ノ言フ通りデアレバ、島外ノコトニ付テハ監督權ガナイノダ、然ルニ此ノ通りニ第一次監督ト云フコトヲスレバ、初メテソレニ依ツテ監督權ガ出來ルノダ、斯ウ云フ風ニ仰セラレタノデアリマスガ此ノ明文ノ上ニハサウ云フ區別ガ付クカト思ヒマスルガ、政府ノ考ト致シマシテハ、島内ノコトト雖モ、矢張り重要ナコトハ政府ニ相談スルヤウニ、内部ノ監督ノ手段ニ依ツテヤル積リデゴザイマス、又島外ノコトト主トシテ拓務大臣ガ監督スルト申シマシテモ、矢張り臺灣總督ヲ通ジテ致ス考デゴザイマスカラシテ、實質上ノ監督ノ方法ニ於テハ大シク差ガナイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、只今ノ御質問ニ對シテ御答へ申上ゲマス、矢張り島内ノコトモ、島外ノコトモ、島内ノコトハ主トシテ臺灣總督之ヲ監督シ、島外ノコトハ主トシテ拓務大臣之ヲ監督スト云フ風ニ申上ゲタコトニ付テ、ソレデハ法律上ノナツテ居ラヌ斯ウ云フ御話デゴザイマシタガ、法文ノ、勅令ノ内容ヲ規定致シマス際ニハ、矢張り臺灣總督ニ監督權ヲ持タス積リデゴザイマス

三 子爵大河内輝耕君再質疑

○子爵大河内輝耕君 只今ノハ政府ノ原案ニ於キマシテモ、島外ノコトト雖モ臺灣總督ニ監督ノ權限アリ、斯ウ云フ法律上ノ解釋ナリト認メテ宜シウゴザイマスカ

四 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 御答へ申シマス、其ノ通りデゴザイマス

五 子爵大河内輝耕君委員ニ質疑

○子爵大河内輝耕君 即チ只今拓務大臣ノ解釋ハ委員ニ於テ之ヲ認メラレバ、何處方違ヒマスカ、御指摘ヲ願ヒマス、ソレカラ若シ假ニ拓務大臣ノ解釋デアルトスレバ、原案ニ依ラウガ、修正案ニ依ラウガ、同ジコトデアリマス、ソレナノニ修正ヲ又元ニ戻サレタ其ノ理由如何、是ハ短期議會ニ於キマシテ、貴族院ガ衆議院ノ修正ヲ又元ニ戻スト云フヤウナ、重大ナルコトヲ致シマス以上、社會ニ對シテモツト明瞭ニ致シテ置カナケレバナラヌ點ト存ジマスルカラ……

六 柴田善三郎君答辯

○柴田善三郎君 委員長カラ御答辯申上ダベキデアリマスガ、一應私カラ御答へ申上ダマス、成程見方ニ依リマスレバ、働キ方ハ同ジヤウニナルカモ知レマセヌ、併シ幾ラカ、私違ヒガアルト思ヒマス、即チ衆議院ノ修正案ニ依リマスレバ、何ト申シマスカ、第一次監督ガ臺灣總督デアツテ、第二次監督ガ主務大臣デアルト云フコトニナリマスルカラ、詰リ法制ノ上ニ明カニ監督關係ヲ現スノデアリマス、所デ大體委員會ト致シマシテハ、第六條ノ場合モサウデアリマスルケレドモ、是ノ働キ方ハ餘リ違ヒハナイカモ知レマセヌ、働キ方ノ上ニ於テハ餘リ違ヒハナイカモ知レマセヌガ、大體臺灣總督ト云フモノハ臺灣統治ノ重責ヲ負フ所ノ重臣デアアル、斯ウ云フ關係カラ致シマシテ、一般ノ監督權ヲ拓務大臣ハ持ツテ居ルケレドモ、個々ノ場合ニ付テ、法令ノ上デ、明カニ臺灣總督

ガ主務大臣ノ認可ヲ受ケテ、サウシテ重役ヲ選任スルト云フコトノ如キハ、臺灣ニ關スル法制ニ於テ初メテ開カレル新例デアアル、無論大臣ト致シマシテハ非常ナ兩者ノ關係ヲ圓滿ニヤツテ行カウト云フコトニ付テハ、豊カナ氣持ヲ持ツテ居ラレマス、併シナガラ法制ノ上ニ現レル所デハ、此ノ豊カナ氣持ノ大臣ガ、初メテ實際ニ於テハ臺灣總督ト云フ權限ヲ小サナモノニ法制ノ上デハシテシマフト云フコトニナルノデアリマスルカラ、ソレデ法制ノ上ニハ唯臺灣總督、結局勅令ニ讓リマスル結果ハ、臺灣總督ト云フコトニ、形式ノ上デハナリマセウ、サウシテ監督權ノ發動トシテ主務大臣ハ關聯セラレルト云フコトニ、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、是ハ即チ初メテ斯ウ云フ制度ノ上ニ於テ、斯様ナ臺灣總督ノ如キ重責ニアラレマスルモノ、即チ臺灣ノ統治百般ノコトヲ管掌セラレマスルヤウナモノガ、今迄ヨリ表向キ法制ノ上デ權限ヲ縮小サレルト云フヤウナコトハ、統治既ニ四十年ニ相成リマシタトハ申シナガラ、所謂新附ノ民デアリマスルカラ、臺灣ノ總督ノ威信上ニモ如何アラウカト、斯ウ云フ考ヲ以テマシテ、是ト同ジヤウナ意味デアリマス、矢張り第一次、第二次ト云フ如キ言葉ヲ法制ノ上ニ於テ現スト云フコトノ如キハ如何デアラウカ、斯ウ云フ氣持カラ致シタ譯デアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

七 子爵大河内輝耕君再質疑

○子爵大河内輝耕君 御氣持ハ能ク分リマシタガ、結果ハ同ジコトニナリマス、此ノ衆議院ノ修正案通リヲ勅令デ出セバ矢張り同ジコトニナル今サウ云フヤウナ勅令ヲ出スノダト云フ、又少クモ之ヲ出シ得ル、サウ云フ勅令ヲ出スコトヲ得ズト御書キニナレバ別デスガ、出セル修正デ、ソレデ拓務大臣ノ氣持モサウ云フ勅令ヲ出サウト云フ、同ジ譯ニナル、テ殊ニ在外ノ臺灣總督ガ第一次ニ監督シ、第二次ニ主務大臣ガ監督スル

何モ臺灣總督ヲ下ニ見タノデモ何デモナイ、デ斯ウヤツテ書イテヤレバ臺灣總督ハ島ノ外マデ力ガ及ブ、力ガ及バナイノデナイ、管轄以外ニモ仕事ヲ監督スルト云フコトガ明カニナリ、又臺灣總督ガ出先官憲デアアル以上、主務大臣ノ認可ヲ受ケテ見タ所デ當リ前ノ話デ、餘リ別ニ體面ニモ關シナイト思ヒマス、マアソレハサウ云フコトハ別ト致シマシテ、ソレハソレ別ト致シマシテ、斯ウ云フ勅令ハ御修正ニナツタツテ拓務大臣ガ出シ得ルノデスカラ、其ノ點何モ立法トシテハドウツチニナツタツテ同ジ譯デ、變ニ思フノデスガ、コンナニ時間ヲ潰シテ、サウシテ修正スル必要ガドコニアルカト思フ、今一應ドウゾ……

八 柴田善三郎君答辯

○柴田善三郎君 成程同ジヤウニモ見ラレマスケレドモ、委員會ハ斯ウ見テ居リマス、第一次監督、第二次監督ト云フコトニナレバ、上下ノ關係ヲ持ツ段階ノモノデアアル、ソレデ今拓務大臣ガ仰シヤルヤウニ御定ムニナルト云フコトニナレバ、監督權ハ横ノ關係ニナル、ソレデアアルカラ上下ノ關係ヲ此ノ際初メテ斯ウ云フ法令ノ中ニ現スト云フコトハ宜クナイ、特殊ノ法令ノ中ニ現スト云フコトハ適當デアアルマイ、成ルベク臺灣總督ノ權限ヲ重シナケレバナラナイ、是ガ前例ニナツテ將來幾多ノ法令ニ、何デモカンデモ拓務大臣ガ、上ノ監督關係ニアルト云フコトヲソレゾレノ法令ニ明記スルヤウナ前例ヲ作リタクナイト、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、此ノ意味ニ於テハ違フト思ヒマス、併シナガラ委員會トシテ只今ノ御尋デハアリマセヌケレドモ、一應申上ダテ置カナケレバナラナイコトハ、實ハ拓務大臣ガ臺灣内ノコト、ソレカラ島外ノコト、之ニ依ツテ分界ヲ立テテ行キタイト云フコトハ仰シヤツテ居リマスケレドモ、サウシテ此ノ事情ニ於テ只今御發言ニナツタコトヲ、ソレハモウ間違ヒナイト取レバ格別デアリマスケレドモ、併シ是マデノ經過カラ申

シマスルト、色々ノ機會ニ於テ極メテ理義アル御答辯ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ或時ニ於キマシテハ、主トシテ臺灣ノ中ノコトハ臺灣總督ニヤラセタイ、主トシテ島外ノコトハ主務大臣ガヤリタイ、斯ウ云フ言葉ヲ以テ御現ハシニナツタコトモアリマスルシ、又或時ニハ大體サウ云フ法制的ノハツキリシタ分界ト云フモノヲ立テルヨリモ、大體ノ氣持ノ上カラ言フナラバ、總督ノ功績ハ即チ自分ノ功績デアアル、自分ノ功績ハ即チ總督ノ功績デアアル、故ニ法制ノ上デハドウ云フヤウニナツテモ互ニ相談相手トナツテ相扶ケ合ツテ進ミタイ、斯ウ云フヤウナ意味デ御答辯ニナツタコトモアルノデアリマス、之ニ對シ委員會經過トシテ申上ダマスルガ、委員會ハ拓務大臣ノ御氣持ト云フモノハ、ソレハヨク了解ハ出來ル、併シナガラ只今ノ大臣ヲ目標ニシテ法制ヲ作ルト云フコトハ是ハ出來ナイコトデアリマス、故ニ法制ノ上ニ於テハ人ト云フモノヲ見ズ、大臣其ノ人ヲ見ズニ、ドノ人ガ來テモ通用スルト云フ法制ヲ作ラナケレバナラヌ、此ノ意味ニ於テ、實ハ委員會カラハ、第十條ノ政府ト云フ文字ハ、臺灣總督ト云フ意味デアルト云フコトヲ仰シヤツテ戴クナイカ、即チ一般ノ監督規定ガアルノデアリマスルカラ、而シテ拓務大臣ノ職責タルヤ、實ニ外地行政ニ對シマスル所ノ輔弼ノ責任ヲ負フ重要ナル地位ニ居ラレルノデアルカラ、法制ノ上デハ臺灣總督ト云フ解釋ヲ取ツテ、而シテ實際ノ上ニ於キマシテハ其ノ御自身ノ重責ニ顧ミテ、事ノ大小輕重ヲ計ツテ、而シテ適宜ニ御相談ニナル、斯ウ云フコトニハ行キマセヌカト云フコトヲ申上ダタリマスルガ、之ニ對シテハ、今法制ノ上カラサウ云フコトニスルコトハムツカシイト云フヤウナ御話デアリマシタ、併シナガラ是ハ批判ニナリマスケレドモ、大體委員會トシテ言葉ヲクツキ島内ノコトハ臺灣總督、島外ノコトハ拓務大臣ト云フ意味デ、之ニ賛成致ス意味ヲ以テ決シテ原案ヲ認メタ次第ハナイノデアリマス、恐ラク批判的ニ申上ダマスルナラバ、一ツノ會社ノ監督ト云フ

モノヲ、横ニ二分シテヤルト云フコトノ如キハ、蓋シ、結局將來ニ於ケル紛亂ノ本ニナルノデハナイカ、殊ニ人事ノ關係ト云フモノハ上下ノ關係ガアツテスラモ、相當面倒ナモノデアアル、況ヤ横ノ關係ニ於テスルト云フコトナラバ、非常ナ混亂ガ起キヤシナイカト云フヤウナコトモ申上ガテ、御注意ハ申上テアル次第デアリマス、ソレ故ニ只今ノ御答辯ノヤウナ結果ニ或ハ勅令ハ出ルカモ知レマセヌガ、私ハ恐ラク結果論トシテハソレゾレノ審議機關ニ御諮リニナツテ決メマス場合ニ於テハ、サウ云フモノガ實際ニ於テハ現レテ來ナイダラウト考ヘテ居リマス、大體併シナガラ一面ニ於テ是ハ法制上ノコトデアツテ、サウシテドウナラレテモ、運用ノ上ニ於テハ少クモ現拓務大臣ハドウツチカラ言ツテ、極メテ圓滿ナル統治ノ趣旨ニ副フ御執行ヲ爲サルモノト、斯ウ云フ風ニ委員會ハ見テ、原案ニ戻リマシタ次第デアリマス、左様ニ御諒承ヲ願ヒマス

九 子爵大河内輝耕君希望

○子爵大河内輝耕君 大變詳シイ御説明ヲ伺ヒマシテ、先ヅ大體其ノ意味ニ於テハ速ヒガナイト云フコトガ能ク分ツタ、ソレデ斯ウ云フ意味ニ於テ速ヒガナイト、臺灣總督ヲ重ンズルコトニ於キマシテハ、チツトモ又是モ速ヒガナイ、サウ致シマス此ノ修正ハ、唯氣持ノ問題ト云フヤウナコトニナリマス、折角御直シニナリマシタモノデゴザイマスカラ是デ衆議院へ御送付ニナルコトモ宜カラウト存ジマスガ、ドウカ私ノ希望スル所ハデス、此ノ法案ハ是非成立シテ戴キタイ、此ノ位ノコトヲソナニ方々デ、兩方デヤカマシク争ハナイデ、コツチハマアツサリ扱ツテ、一ツ是非成立サシテ戴キタイ、ドウツチニナツタツテ結果ハ同ジナシデス、少シモ速ヒマセヌ、其ノ事ハ今スツカリ明カニサレマシテ、此ノ希望ヲ述ベテ私ノ質問ハコ、デ打切ツテ置キマス

特ニ拓務省ダケヲ廢止スルト云フヤウナコトヲ考ヘタコトハナイ、ト述ベラレマシタ、滿洲移民問題ニ付テ一委員ヨリ、滿鐵デハ確カ七千五百萬圓カノ會社ヲ作ツテ、大袈裟ナ山東移民招來ノ計畫ヲ立テテ居ルガ、ドウシテモ日本ノ移民ヲ出來ルダケ澤山早ク滿洲ニ送ルコトガ大事ダト斯ウ考ヘルガ、ドウカト云フ質疑ヲナサレマシタニ對シマシテ當局ハ、國策遂行、又國防上必要ナコトダカラ、出來ルダケ多數、而モ後へ戻ツテ來ルヤウナ心配ノナイヤウニ、十分注意ヲ加ヘテ送リタイト答ヘラレマシタ、……拓務省ニ付キマシテハ滿洲移民、朝鮮農村ノ更生、樺太ノ石油問題、其ノ他臺灣、南洋ノ問題ニ付キ質疑ガ重ネラレマシタ、……昭和十一年度追加豫算案七件トモ原案通り可決セラレマシタ、以上ヲ以テ御報告ヲ終リマス

一〇 公爵一條實孝君航路統制法案 特別委員會ノ經過及結果報告

○公爵一條實孝君 質問ノ主ナル點ヲ申上ゲマスレバ、本案ノ如キ重要ナル法案ヲ何故ニ緊急、此ノ度ノ特別議會ニ出サレタノデアアルカ、一般ノ海運政策ト云フモノヲ立テテ、其ノ一ツトシテ本案ノ如キモノヲ出シタラ宜イノデヤナイカ、又今日ノ國際情勢ヨリスレバ、海運ノ如キハ國家ガ積極的ニ助成、發達スベキモノデアアルニ拘ラズ、斯様ナ制限ヲスルコトニ依ツテ、却テ海運ヲ萎靡セシムル如キ結果ニナリハセヌカ、又統制ノ結果大會社保護ニ偏重シテ、不都合ガアルヤウナコトニナリハセヌカ、其ノ他本案ノ各條項ニ付キマシテ、殊ニ本法案中ニアリマス統制委員會ノ組織ヤ其ノ他ニ付テ、一々丁寧ナル質疑ガアリマシタガ、政府ハ又懇切ニ、本案ノ趣意ハ主トシテ無用ナル競争ノ弊ヲ防ギ、二重投資ノ如キコトガ無イヤウニスル趣意デアルト云フコトヲ反覆説明セラレマシ

公爵一條實孝君航路統制法案特別委員會ノ經過及結果報告

九 男爵千秋季隆君豫算委員會ノ經過及結果報告

○男爵千秋季隆君 是ヨリ豫算委員會ノ經過及結果ヲ御報告申上ゲマス豫算委員會ハ去ル十七日午後ヨリ十八、九兩日ノ午前午後ニ亘リマシテ前後三回總會ヲ開キ、熱心ニ質疑應答ガ行ハレマシタ、次イデ二十日、二十一日兩日ニ亘リマシテ各分科會ヲ開キマシテ、分科ノ審査ヲ終ツテ二十二日更ニ總會ヲ開キマシテ、遂ニ原案七件共ニ可決致シマシタ、豫算額ノコトデゴザイマスガ、當局ノ發表ニ依リマス、實行豫算竝ニ追加豫算ヲ合計致シマスル其ノ額ハ、歳入二十三億五千五百五十餘萬圓、歳出二十三億一千五百五十餘萬圓デアリマシテ、實行豫算額ハ歳入十九億四千九百五十餘萬圓、歳出十九億四千五百萬圓、追加豫算額ハ歳入三億六千四百五十餘萬圓、歳出三億六千六百四十萬圓、内追加第一號ノ分ハ歳入歳出共ニ三億六千二百三十餘萬圓、追加第二號ノ分ハ歳入百二十餘萬圓、歳出三百餘萬圓、追加第三號ノ分ハ歳入歳出共ニ九十餘萬圓デアリマス、而シテ右實行豫算額ト前述ノ追加豫算額ト合計致シマスルト、昭和十一年度豫算ニ於キマシテ歳入歳出ノ差引五百九十餘萬圓ノ歳出超過トナリマスガ、右歳出超過額ハ昭和十一年度豫算實行上生ズル歳入超過額ヲ以テマシテ之ヲ支辨スルト云フ政府ノ説明ハ御承知ノ通りデアリマス……拓務省廢止ノ問題ニ付キマシテ一委員ヨリ、拓務省廢止ト云フ聲ヲ聞クガ、政府ハ拓務省廢止ト云フヤウナコトヲ從來仰セラレタコトデアアルカサウ云フ御考ヲ持ツテオイデニナツタコトガアルカ、ト云フ問ヲ爲サレマシタノニ對シマシテ、政府ハ中央地方ヲ通ジテ、行政機構ノ各般ニ付テ再檢討ヲ加ヘテ、國運ノ進展、社會ノ要求ニ應ジテ相當研究ヲ加ヘタ結果、改ムベキモノガアレバ改メテ參リタイト云フ考ハ持ツテ居ルガ、

テ、又我が海運業者ガ一致團結シテ、對外的活動ヲ要望スル旨ヲ述ベラレタノデアリマス、又航路ノ補助金ニ對スル委員ノ質問ニ對シマシテ、再檢討ヲ補助金ニ對シテスルト云フコトハ、必ズシモ補助金額ヲ減ズルト云フヤウナ意味デモナク、必要ノ場合ニハ増額ヲモ考慮スルノデアアルト申サレテ居リマス、其ノ他積極的海運助長策、船質改善助成費、海事金融等ニ關シマシテ質問ガアリマシタガ、政府ハ十分ニ考慮致スベキ旨答ヘラレタノデアリマス、尙第七條ニアリマス本法ヲ準用スル場合ニ付キマシテノ委員ノ質問ニ對シマシテハ、政府ハ此ノ第七條ヲ設ケタノハ、法人ノ脫法行為ヲ取締ルノ必要上、其ノ必要ガアツタノデアアルト云フコトヲ説明シテ居リマス、先程申上ゲマシタ統制委員會ト云フノハ、選任大臣ヲ會長ト致シマシタ十五名ノ官民カラ成ル委員會デアリマシテ此ノ統制委員會ノ人選ニ付キマシテモ、十分ニ考慮ヲ拂ハル、トノコトデアリマス、質疑應答ヲ終リマシテ討論ニ入り、一委員ヨリ政府ガ説明セラル、所ハ諒トスルモ、海運業ハ積極的ニ保護助長ヲ必要トスル時ニ取締ノミノ本案ガ此ノ議會ニ提出セラレタルコトハ遺憾デアアル、本案ト併行シテ海運政策ヲ定メ、海事行政ノ統一、適正ナラザル補助ニ付テモ再檢討ヲ加ヘテ、同時ニ本案ガ出タナラバ結構デアツタノニ、本案ノミヲ出サレテ、消極的ナ取締デ、其ノ爲ニ海運ガ萎靡スルヤウナコトニナラヤウニナツテハ遺憾デアアルト考ヘルガ、段々政府ノ言明モアリ、當局ヲ信頼シテ本案通過ニ同意ヲスルモノデアアル、併シナガラ施行期日、勅令等、尙十分ニ注意アリタイ、又本法ハ傳家ノ寶刀トシテ、徒ラニ用ヒルコトナカラムコトヲ望ム、就テハ次ニ申述べル所ノ希望決議ヲ委員ノ總意トシテ附シタイ

希望決議
一、政府ハ本法施行ニ當リ其運用ニ慎重ナル考慮ヲ拂ヒ且貿易ノ伸張海運ノ發展ヲ阻害セザル様留意スベシ

一、政府ハ航路補助ノ實績ヲ檢討シ之レガ改善ヲ計リ且不定期運洋航路ノ獎勵助成策ヲ樹立シ速ニ其實現ヲ期スベシ

一、政府ハ内外ノ情勢ニ鑑ミ海事行政ヲ統一シ、併セテ海事金融ノ圓滑ヲ計ルベシ

一、第七條ニヨリ本法ヲ準用スルニ當リテハ特ニ其運用ニ注意シ苟クモ國際關係ニ惡影響ヲ及サザルコトヲ期スベシ

尙一委員ヨリ本案ニハ贊成スルガ、本案ノ裏ニ何カ問題ノアルヤウナ時ニ、此ノ法案ガ出タコトハ遺憾ノ旨ヲ述ベラレタノデアリマス、是ニテ討論ヲ終結致シ、政府ヨリハ希望決議ニ對シ、其ノ決議ニ副フヤウ努メラル、言明ヲ得タノデアリマス、斯クテ衆議院修正ノ該法案ヲ原案ト致シマシテ可否ヲ諮リマシタ所、全會一致可決致スコトニ相成リマシタ、尙希望決議ハ委員會一致ノモノト相成ツタノデアリマス、之ヲ以テ報告ヲ終リマス

一 侯爵池田宣政君大正十三年法律第二十四號中改正法律案外二

件(朝鮮事業公債法中改正法律案)特別委員會ノ經過及結果報告

○侯爵池田宣政君 只今上程ニナリマシタ大正十三年第二十四號中改正法律案外二案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマス、今回ノ大正十三年法律第二十四號中改正法律案ハ、關稅定率法中改正法律案ニ伴フモノデゴザイマシテ、實質上從來ト何等變更ナク、唯法文ノ記載方ニ關

スル整理的改正ニ過ギナイノデゴザイマス、次ニ昭和七年法律第四號ト申シマスルノハ、輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律デゴザイマシテ、即チ關稅定率法別表輸入稅率ニ定メタル從量稅率ハ當分ノ内之ヲ其ノ百分ノ百三十五トス、但シ、同輸入稅率ニ掲グル物品ニシテ、本表ノ別表ニ掲グルモノノ從量稅率ハ此ノ限ニ在ラズト云フノデゴザイマス、今回ノ關稅定率法中改正法律ニ依リマシテ、從量稅率ヲ廢ラレマシタ「シトロネラ」油ナドハ、其ノ生産、輸入及需給ノ關係ト諸般ノ事情ヲ勘案致シマシテ、其ノ稅率ヲ廢シタモノデゴザイマスカラ、此ノ上更ニ三割五分ヲ課スルノ必要ヲ認メナイノデ、前例ニ依リ是等品目ヲ本法ノ別表ニ追加スル爲メ、改正セムトスル趣旨ノモノデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ、「イオノン」、「シトロネラ」、「レモングラス」等ノ輸入生産情況等ニ付キマシテ、質問應答ガゴザイマシタ、而シテ討論ニ入り、全會一致ニ案トモ政府原案ノ通り可決決定致シマシタ次ニ朝鮮事業公債法中改正法律案デゴザイマスガ、本案ハ現行公債發行法定額六億一千五百八十萬圓ヲ六億九千六百二十萬圓ニ改正セムトスルモノデゴザイマシテ、今回特第二號追加豫算ニ計上致サシテ居リマスル朝鮮ノ鐵道建設及改良費總額八千餘萬圓、港灣ノ修築改良費ノ中、總額六百餘萬圓合計八千七百餘萬圓ノ中、現行法定額ノ餘額ヲ差引キマシタ八千四百萬圓ヲ總督府財政ノ現狀ニ鑑ミマシテ、公債支辨トスルコトニ計畫シ、現行法定額ニ追加スルモノデゴザイマス、其ノ事業ノ内容ハ、慶尙北道永川ヨリ京城郊外清涼里ニ至ル三百五十八「キロ」ノ鐵道ヲ新設スルト共ニ京釜、京義、兩線及馬山線ノ輸送力ノ増進ヲ圖ル爲メ必要上、改良工事ヲ施行シ、尙是等鐵道ノ建設改良工事ニ伴ヒ、釜山港及馬山港ノ海陸連絡設備ノ擴張ヲナスモノデゴザイマシテ、昭和十一年度以降三年乃至五年ニ互ツテ施行スルコトトナツテ居ルノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ、政府ノ說明ニ次ギ質疑ノ應答ヲ重ネタノデゴザイマスガ、其ノ質問ノ主ナルモノハ

○子爵渡邊千冬君 私人臺灣拓殖株式會社法案ニ關スル兩院協議會ノ審議ノ經過ト結果トヲ御報告申上ゲタイト存ジマス、兩院協議會ハ昨日及今日引續キマシテ數回ニ互ツテ開會ヲ致シテ、只今報告ガアリマシタ通り、漸ク其ノ成案ヲ得タノデアリマス、臺灣拓殖株式會社法案ニ付キマシテ「政府ノ原案ニ對スル衆議院ノ修正ノ内容ハ、皆様御承知ノコトデアラウト存ジマスカラ、之ヲ改メテ申上ゲマセス、御承知ノ通り其ノ第六條及第十條ニ關シテ居ルノデアリマス、其ノ衆議院ノ修正案ニ對シマシテ、貴族院ハ之ニ同意致サズシテ、再ビ之ヲ修正ヲ致シマシテ、總テ之ヲ政府ノ原案通りニ決定ヲ致シタノデアリマス、茲ニ於テ兩院協議會ガ要求セラレテ、審議ヲ致スコトニナツタノデアリマス、兩院協議會ニ於キマシテハ、先ヅ慣例ニ依リマシテ、貴族院側ノ修正ノ理由ヲ説明致シタノデアリマス、其ノ修正ノ意見ノ要旨ヲ申上ゲマス、臺灣總督ハ臺灣統治ノ重職ニ當ツテ居ルノデアリマシテ、異民族ヲ統治スルノデアリマスカラ、其ノ地位ヲ重シク、其ノ威信ヲ高カラシメテ、新附ノ民ヲシテ帝國ノ統治ニ對シ、絕對ノ信賴ト尊敬ヲ拂ハシムルコトガ必要デア

一 子爵渡邊千冬君臺灣拓殖株式會社法案兩院協議會ノ經過及結果報告

ルノデアリマス、此ノ故ニ其ノ趣旨ガ臺灣總督府官制ニ於テ現レテ居ル

ノデアリマス、從ツテ主普大臣ト臺灣總督トノ關係ハ、內務大臣ト地方長官トノ關係トハ異ツテ規定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ衆議院ノ修正ニ於キマシテハ、第六條ニ「社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」トアルノデアリマス、此ノ認可ト云フ文字ハ、通常ノ場合ニ於キマシテハ、上級下級ノ官廳ノ間ニ於テ用ヒラレテ居ル例デアリマシテ、之ヲ臺灣總督ノ場合ニ、法律ノ明文ニ之ヲ用ヒマスノハ、臺灣總督ノ特殊ノ地位ニ鑑ミマシテ、其ノ權威ヲ輕カラシムル嫌ガアルカラ、斯ノ如キ文字ヲ用フルコトハ面白クナイ、官制上ニ於キマシテハ拓務大臣ハ臺灣總督ノ監督ヲ致シテ居ルノデアリマスカラ、事實上ノ取扱ニ於キマシテハ、此ノ明文ト同様ノコトガ行ハレテモ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、茲ニ新シク之ヲ法律ノ明文ニ書キ現スト云フコトハ、從來ノ例ニ反シテ居ルコトデアリマシテ、統治上面白クナイト云フノガ、是ガ第六條ニ關スル貴族院ノ意見ノ要旨デアリマス、次ニ第十條ノ衆議院ノ修正ニ付キマシテハ、衆議院ハ第一次ニ臺灣總督ガ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督シ、第二次ニ於テ主務大臣ガ之ヲ監督スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ只今申シマシタ所ノ地方制度ニ於ケル知事ト內務大臣トノ關係ヲ聯想セシメルモノデアリマシテ、斯カル文字ヲ明文ニ現シマスコトハ、先キニ述べマシタ所ト同様ノ理由ニ依リマシテ、臺灣ノ統治上面白クナイ、是ガ貴族院ノ衆議院ノ修正ニ同意スルコトガ出來ナイ理由デアアルノデアリマス、之ニ對シ衆議院側デ述べマシタ所ノ修正原案ノ說明ヲ大略申述ベタイト存ジマス、先ヅ第六條ノ方カラ申シマス、今日マデ特殊銀行、特殊會社等ノ役員ノ任命ト、其監督權ノ所在等ハ、悉ク之ヲ法律ノ明文ニ依ツテ規定致シテ居ルノデアリマス、勅令ヲ以テ規定シテアルモノハ今日マデ其ノ例ハナイノデアアル、是ハ誠ニ左様デナクテハナラナイコトデア

ト云フモノハ、最モ鄭重ニシナケレバナライノデアル、理事者ノ任命
ト云フモノハ、其ノ會社ノ運命ニモ關係ノ有ル重大ナルコトデアルカラ
我々ハ此ノ從來ノ慣例ヲ飽ク迄守ラナケレバナライノデアル、其ノ實
例ヲ舉グレバ特種銀行ノ役員ノ選任ノ規定ハ、皆法律ノ明文ニ規定シテ
アルノデアリマス、東洋拓殖會社、日本無線電氣株式會社、日本製鐵會
社等皆然リデアリマス、又本議會ニ政府ガ提出致シマシタ所ノ類似ノ他
ノ二ツノ會社、即チ東北興業株式會社、東北振興電氣株式會社ニ於キマ
シテモ、其ノ役員ノ任命ノ規定ヲ法律ニ立派ニ現シテ居ルノデアル、然
ルニ何ガ故ニ此ノ臺灣拓殖會社ニ於テノミ、理事者ノ任命ヲ勅令ニ讓ツ
タノデアルカ、是ハ了解ノ出來ナイコトデアル、我々ガ：我々ガト云
フハ衆議院ノコトデ、我々ノ處レル所ハ此ノ勅令ニ讓ツタ規定ヲ認メ
ルナラバ、必ズヤ是ガ先例トナツテ、是カラ先ハ特種會社銀行ノ理事者
ノ任命ノ規定ト云フモノハ、勅令ニ讓ラル、コトニナルデアラウ、我々
ノ政府原案ニ反對スルノハ、斯カルコトノ宜シクナイト云フコトヲ信ズ
ルカラ、之ヲ修正シテ、サウシテ尙且政府ニ警告ヲ與ヘムト欲スルモノ
デアルト云フノガ、衆議院ノ第六條ノ修正意見デアリマス、第十條ノ意
見ノ要點ハ、此ノ度ノ臺灣拓殖株式會社ノ業務ト云フモノハ、獨リ臺灣
島内ニ限ラレテ居リマセズ、南支南洋ニ於テモ其ノ業務ヲ營ムコトニ
ナツテ居ルノデアリマス、臺灣島内ノ事ニノミ關係ノアル會社デアレバ
是ハ別デアリマスケレドモ、南支南洋ニモ關係ノアルヤウナ重要ナル業
務ヲ營ム會社デアリマスカラ、此ノ會社ノ性質ハ重大ナル一ノ國策會社
ト言ハナケレバナライト思フ、從ツテ其ノ業務ノ範圍ハ外務省關係ノ
業務モアルカモ知レナイ、又事柄ニ依ツテハ陸海軍等ニモ關係ノアル業
務ガアルカモ知レナイ、然ルニ總テ之ヲ唯臺灣總督ノ一存ニノミ委シテ
置クト云フノハ如何ナルモノデアラウカ、主務大臣ハ又是等ノ業務ニ付
テハ監督ノ必要ガアル場合ガ必ズヤアルデアラウト思フ、政府ハ其ノ説

明ノ中ニ於テ、業務ガ主トシテ島内ニ關スル場合トカ、主トシテ島外ニ
關スル場合デアルト云フヤウナ説明ヲサレタノデアルガ、業務ト云フモ
ノハ多クノ場合ニ島内ト島外ト關係スル場合ガ多イノデアラウト思フ、
之ヲ或業務ニ付テソレガ島内ノ業務デアルカ、島外ノ業務デアルカト云
フコトヲ全ク區別スルコトガ困難デアルカラ其ノ監督系統モ島内ニアル
島内ニ關スル業務ハ臺灣總督ガ之ヲ監督シ、島外ニ關スル業務ハ主トシ
テ之ヲ拓務大臣ガ監督スルト云フヤウナ考ヘ方ハ採ルコトノ出來ナイ考
ヘ方デアル、衆議院ニ於テ第一次ノ監督ヲ臺灣總督ガ行ヒ、第二次ノ監
督ヲ主務大臣ガ爲スト云フ修正ヲ爲シタノハ、貴族院ニ於テ懸念スルヤ
ウニ階級ノ意味ヲ用ヒタノデアライノデアル、右申述べタ通り、總テ
ノ業務ハ臺灣總督ガ之ヲ監督シテ、主務大臣ハ唯重大ナル事項ニ付テ監
督スルヤウニ、即チ大綱ヲ極メテ監督スルト、サウ云フノガ衆議院ノ修
正ノ趣旨デアリマス、斯ウ云フ説明デアツタノデアリマス、ソレヨリシ
テ質問ニ入りマシテ議論ヲ交換致シタノデアリマスケレドモ、貴族院
ノ委員ノ述ブル所ハ兩方トモ熱心ニ此ノ法案ノ成立スルコトヲ希望シテ
居ルト云フコトガ明白ニナツタノデアリマス、又先キニ申述べマシタ貴
族院ノ主張スル所ノ理由ハ、決シテ衆議院ニ於テ之ヲ否定スルモノデナ
イト云フコトガ明白ニナツタノデアリマス、又衆議院ノ主張スル所モ首
肯スベキ點ガ少クナイト云フコトヲ貴族院側ニ於テ認メタト云フ事實モ
明白ニナツタノデアリマス、茲ニ於テカ協議會ノ空氣ハ懇談デモシタナ
ラバ、何か茲ニ一ツノ成案ヲ見ルコトガ可能デアラウト云フコトニナリ
マシテ、ソレデ昨日協議會ハ小委員ヲ設ケルコトニナツタノデアリマス
兩院ヨリ三名宛ノ小委員ヲ選出致シマシテ、之ニ兩院ノ議長、副議長ガ
加リ、昨日ヨリ今日ニ至ルマデ數回懇談の協議ヲ致シタノデアリマス、
一時ハナカノ議論ガ合致致シマセズ爲ニ、果シテ成案ヲ得ルカドウカ
ト云フコトガ懸念サレタノデアリマス、此ノ際申上ゲテ置カナケレバナ

ラナイコトハ、只今問題ニナツテ居リマス所ノ政府原案ノ十條ニ對スル
政府ノ本當ノ趣旨ハ何處ニ在ルカト云フコトデアリマス、是ハ段々小委
員會ニ於テ話合ヲ致シテ見マス、政府ノ趣旨トシテ衆議院議員ノ了解
致シ居テリマス所ト貴族院側ノ委員ノ了解致シテ居リマス所ト、必ズシ
モビツタリ合致シテ居ラナイコトヲ發見致シタノデアリマス、又貴族院
ニ於テ拓務大臣ガ述べラレマシタ御説明モ、速記録ヲ取寄セテ詳細ニ取
調ベタノデアリマスガ、十分一同ノ満足致スホドノ了解ヲ致スコトガ出
來ナカツタノデアリマス、ソコデ小委員會ニ於キマシテハ改メテ拓務大
臣ノ御出席ヲ願ヒマシテ、十條ノ政府ノ監督ニ關スル本來ノ趣旨ハ如何
デアルカ、改メテ其ノ御説明ヲ願フタノデアリマス、其ノ時ニ拓務大臣
ヨリハ左ノ通り御答辯ガアツタノデアリマス、會社ニ對スル政府ノ監督
ハ、其ノ業務ガ島内ニアルト島外ニ涉ルトハズ臺灣總督之ニ當リ、
大綱ニ付テハ主務大臣モ之ヲ監督スルト云フ意味デアリマシテ、此ノ趣
旨ヲ施行勅令ニ規定スル積リデアリマス、斯様ニ申サレタノデアリマス
此ノ政府ノ御答辯ニ依リマシテ、十條ノ監督規定ノ精神ハ明瞭ニナツタ
ノデアリマス、委員一同満足致シタノデアリマス、尙此ノ趣旨ヲ施行勅
令ニ規定スルト云フ政府ノ聲明ニ依リマシテ、一同ハ安心ヲ致シタノデ
アリマス、斯クテ小委員會ハ懇談ノ結果、遂ニ一ツノ成案ヲ得タノデア
リマス、サウシテ今日午後再ビ兩院協議會ヲ開キ、右小委員會ノ作成致
シマシタ案ノ報告ヲ求メテ審議致シマシタ所、全會一致ヲ以テ此ノ小委
員會案ヲ可決確定致シタノデアリマス、只今ヨリ其ノ成案ヲ御報告致シ
マス、協議會ノ成案ハ、第六條ノ方ハ衆議院ノ修正案ヲ認メタノデアリ
マス、即チ原案六條ノ末段ニ、「其ノ職務、權限、任命選任ノ方法及任
期ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」トアルノデアリマスガ、其ノ中ノ「任命選任
ノ方法」ト云フ七字ヲ削リ、更ニ第二項ヲ設ケマシテ、「社長副社長及
理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」

ト致シ、又第三項ヲ設ケテ、「監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任ス」ト致シ
タノデアリマス、此ノ六條ヲ衆議院修正通りニ讓歩致シタニ付キマシテ
ハ、委員ノ中ニハ多少ノ不滿ヲ持ツテ居ラレル方モアツタノデアリマス、
ソレハ先キニ申述べマシタ此ノ「認可」ト云フ文字デアアルノデアリマス、
如何ニモ上級、下級ノ關係ガアルコトヲ法律デ明記シタヤウデアツテ、
甚ダ面白クナイト云フ御意見ガ強ク主張セラレタノデアリマスケレドモ
ドウモ此ノ案ヲ成立セシメル爲ニハ、多少ノ讓歩ヲ致スコトモ已ムヲ得
ナイノデ、唯議論ヲ貫徹スルト云フコトガケデハ其ノ目的ヲ達スルコト
ガ出來ナイノデ、其ノ「認可」ト云フ文字ニ付テ不滿ヲ感ジテ居ラレタ
委員モ遂ニ之ニ讓歩セラレタノデアリマス、第十條ノ方ハ貴族院ノ修正意
見通りニ決定致シタノデアリマス、即チ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業
務ヲ監督ス」トアル、其ノ原案ヲ復活シテ第一次云々、第二次云々ト云
フ其ノ衆議院ノ修正ノ文字ハ之ヲ削除致シタノデアリマス、兩院協議會
ハ其ノ小委員會ノ成案ヲ報告スルト同時ニ、小委員會ニ於テ拓務大臣ガ
十條ノ監督規定ニ付テ其ノ所見ヲ述べラレタコトヲ報告サレタノデアリ
マスガ、其ノ報告ヲ信ジ、其ノ報告ニ満足ヲ致シテ此ノ成案ヲ可決シタ
ノデアリマスガ、此ノ政府ノ説明ハ、過日來本議場ニ於テモ問題トナリ、
又協議會ニ於テモ問題トナツタ點デアリマスカラ、念ノ爲メ改メテ兩院
協議會ニモ拓務大臣ノ御出席ヲ求メテ其ノ御意見ヲ承リマシタ所、先キ
ニ私ノ申述べマシタ通り、小委員會ニ於ケル御答辯ト少シモ變ラナイ御
答辯デアリマスノデ、一同満足ヲ致シタノデアリマス、此ノ點ハ茲ニ改
メテ御報告ヲ申上ゲテ置キマス、即チ此ノ政府ノ聲明ニ依リマシテ、臺
灣總督ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ニ付キマシテハ、其ノ島内事項タルト
島外トノ關係事項タルトヲ問ハズ、總テ之ヲ監督スルコトガ明白トナリ
唯特殊ノ事項ニ付テノミ主務大臣モ監督致スコトヲナツタノデアリマス
テ、總督ノ威信ニ關スルコトモ憂慮スル程ノコトハナイト云フ確信ヲ、
委員一同得タノデ之ニ満足ヲ致シタノデアリマス、以上ヲ以テ兩院協議
會ノ審議ノ結果ノ御報告ヲ終リマス

委員 會

豫算委員會及關係各分科

會

A 豫算委員會

- 一 拓務行政ノ擴充強化、外地行政ノ統轄、海外拓殖事業ノ發達ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 私ハ拓務行政ニ對シテ總理大臣ノ御意見ヲ伺ツテ見
タイト思フノデアリマス、其ノ第一ハ所謂我が拓務行政ノ擴充強化ト云
フ點デアリマス、……即チ拓務行政ノ見地カラ申スナラバ、外地ト内地
外地ト外地、竝ニ進ムデハ外地ト外國トノ諸關係ヲ彼此考ヘマシテ、其
ノ大局カラ所謂拓務行政ト云フモノヲ行ハナケレバナラヌト思ヒマス、
是レ即チ拓務行政ノ重要ナル責務ノ一半デアアル、所謂外地行政ノ統轄ト
云フコトハ即チ之ヲ指シテ居ルノデアリマス、外地行政ノ統轄ト云フコ
トニ付テモ私ハ今一段ト考慮ヲ廻ラシテ御盡力ニナルベキコトト思ヒマ
ス、我が拓務行政ノ重要部分ヲ占メテ居リマス他ノ一半ハ、言フマデ
モナク我が同胞在外事業ノ發達ヲ圖ルコトデアリマス、……要スルニ外

地行政ノ統轄、コレハモツト考ヘナケレバナラヌ、而ウシテ在外事
業ノ發展助成、是ハモツト力ヲ入レナケレバナラヌ、サウ致シマス
ルト、此ノ二ツノモノヲ包括シテ居ル是方重要ナル部分ヲ爲シテ居ル所
ノ我が拓務行政ト云フモノハ、今一段擴充強化ヲ圖ラナケレバナラヌ、
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、總理大臣ノ是ニ關スル大體ノ御高見ヲ
承リタイト思ヒマス

一 廣田內閣總理大臣答辯

○國務大臣(廣田弘毅君) 只今野村子爵ヨリ拓務行政ノ擴充強化ニ付テ
意見ヲ御述ベニナリマシテ、私モ全然同様ニ感ズルノデアリマス、外地
行政ノ統轄ト云フ事ハ、今日ノ如ク外地ガ非常ニ發展シテ參リマシテ、
内地トノ各種關係ニ於テ、非常ナ重大ナル關係ヲ持ツヤウニナツテ參リ
マス以上ハ、外地ト内地トノ關係ニ付テ一層ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラ
ヌ問題モ多數起ツテ來ツアルヤウニ思フノデアリマス、從テ此ノ外地
行政ノ統轄ト云フ點ニハ、十分ノ注意ヲ拂ハナケレバナラヌト思フノデ
アリマス、又在在外事業ノ點ニ付キマシテモ、最近日本ノ海外各方面ニ對
スル發展ニ鑑ミマシテ、此ノ方ノ行政ニモ十分ノ力ヲ注イデ、一層我が
國ノ海外發展ヲ助長シテ參ラナケレバナラヌト思フノデアリマシテ、從
ヒマシテ、其ノ拓務行政其ノモノノ擴充強化ヲ圖ツテ參ルト云フコトハ
當然ノコトデアルト思ヒマス

一 拓務省廢止ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 所謂拓務省廢止ノ問題デアリマス、既ニ總理ニ於カ
レテハ、拓務省ノ責務ノ重要部分デアアル所ノ外地行政ノ統轄竝ニ海外事
業ノ助成ニ付テハ、滿腔ノ御同意ヲ表セラレタノデアリマス、然ルニ茲ニ

奇怪千萬事ハ、拓務省廢止ト云フ聲方起ツタコトデアリマス、只今ノ御説ヲ伺ヒマシテハ、更ニ拓務省廢止ノ問題ヲ承ル必要ハナイカトハ存ジマス、最早問題トナラヌコトカトモ存ジマス、併シナガラ事ハ在外幾十萬、同胞ノ安危ニ係ルコトデアリマス、尙拓務行政ノ根本ニ關スル問題デアリマスカラ、甚ダ恐縮千萬デアリマスガ、果シテ拓務省廢止ト云フヤウナコトヲ、從來仰セラレタ事デアルカ、サウ云フ御考ヲ持ツテ出デニナツタコトガアルカト云フコトニ付テ明快ナル御話ヲ承ツテ見タイト思フノデアリマス

一 廣田内閣總理大臣答辯

○國務大臣(廣田弘毅君) 拓務省廢止ト云フ噂ガ、新聞ニ出タコトモ私承知致シテ居ルノデスガ、少シモサウ云フコトヲ、拓務省其ノモノノ廢止ト云フコトヲ、是マデ考ヘタコトハナイノデアリマス、唯施政演説ノ中ニモ述ベマシタヤウニ、此ノ内閣トシマシテハ、中央地方ヲ通ジテ、行政機構ノ各般ニ付テ再檢討ヲ加ヘテ、國運ノ進展、社會ノ要求ニ應ジテ相當研究ヲ加ヘタ結果、改ムベキモノガアレバ改メテ参リタイト云フ考ハ持ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ果シテ如何ニ中央機關ノ機構ヲ改メルカ、是非非常ナ重要ナ問題デアリマシテ、過去ニ於ケル日本ノ發展ハ、現在ノ機構ノ上ニ立ツテ是ダケノ發展ヲ致シテ參ツタノデアリマス、其ノ機構ヲ變ヘルト致シマスレバ、餘程慎重ニ研究ヲシテ、確カニ是ナラバ過去ヨリモ一步進ムデ國家ノ發展ヲ助ケルモノダト云フ確信ヲ得ナケレバナラナイ譯デアアルノデアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテ、全般的ニ考ヘテ居ルコトハアリマスガ、特ニ拓務省ダケヲ廢止スルト云フヤウナコトヲ考ヘタコトハナイコトハ、外ノ省ニ付テモ同様デアリマス、ソレ等ノ點ハ將來篤ト研究シタ上ニ致スベキコトデアルト思フノデアリマス

三 子爵野村益三君注意及意見

○子爵野村益三君 庶政一新ヲ致サネバナラヌ今日ニ於テ、行政機構ノ上ニ更ニ一檢討ヲ加ヘラレテ善處サレト云フコトハ、是ハ私ハ道理ト思フヒマス、併シナガラ只今明快ナ御言葉ニ依リマシテ、拓務省廢止ト云フヤウナコトハ言ツタコトモナケレバ、又考ヘタコトモナイ、斯ウ云フ點ヲ承ツタノデアリマス、既ニ拓務行政ノ擴充強化ニ付テ御異議ガナク、而シテ拓務省廢止ト云フヤウナコトハマダ考ヘタコトモナケレバ、研究致シタコトモナイト云フ事情ノ下ニ、ドウシテ拓務省廢止ト云フヤウナ聲方起ツタデアリセウ、私ハ其ノ點ニ付テ甚ダ不安デモアリ、不思議ノ念ヲ懷イテ居ルノデアリマス、拓務省ノ存廢ニ關シマシテハ、或ハ手強ク御注意シタコトハ、私モ此ノ點ニ於テ一度ナラズ二度ナラズ致シタノデアリマス、所ガドウモ此ノ拓務省存廢論ト云フコトハ、何カノ時ニ起ル、今度起リ、マシタコトニ付テモ、只今ノ仰セラレタ如ク、又私ガ申上ダタ如ク、ドウモ矛盾ガアル、甚ダ奇怪千萬ニ思フ、私ハ將來ノ御注意、總理大臣並ニ閣僚諸公ノ御注意ノ爲メ、聊カ拓務省存廢ノ聲ノ影響スル所ヲ申添ヘテ置キタイト思ヒマス、拓務省存廢ノ聲ノ影響致スノハ、先ヅ在外幾十萬同胞ノ上デアリマス、彼等ハ遠ク故山ヲ去リ、不便ヲ忍ビ、艱難ニ堪ヘ尙且非常ナル壓迫ヲモ被リツ、大和民族トシテノ發展ヲ圖リツツアルノデアリマス、彼等ノ力ト頼ム所ハ彼ノ朝風ニ頼ツテ居ル朝日ノ御旗ノ影、而シテ彼等ニ絶エズ同情ト聲援トヲ惜マサル所ノ拓務行政ノ機關デアリマス、然ルニ彼等ヲシテ時ニ其ノ頼ム所ノ行政機關ノ本山ガ、或ハ存廢ノ聲ヲ投ガケラレト云フコトハ彼等ノ不幸、不便、不利ハ言フ迄モナク、轉テ是ハ國力ノ消長ニ關スルコトト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ我々ハ十分考ヲ置カナケレバナラヌト信ジテ居リマス、ソレカラ第二ニ影響ヲ蒙ルノハ、寧ロ是ハ脅威デアリマセウガ、

私ノ杞憂ヲ申述ベテ、尙一段ト考慮ヲ廻ラサレムコトヲ切望シテ置ク次第デアリマス

三 滿洲移民問題ニ就テ

一 男爵大藏公望君質疑

男爵大藏公望君 最後ニタツタ一ツ滿洲移民ノ事ヲ陸軍大臣並ニ拓務大臣カラ伺ヒタイ、……日本ガ折角滿洲ニアレダケノ力ヲ盡シマシテ、サウシテ日滿兩國ノ爲ニモ、日本人ヲ滿洲ニ移民サセルノガ一番宜シイ、過去四年間ノ試驗移民ノ成績ニ依リマシテ、日本ノ移民ハ立派ニ滿洲デテヤウツテ行ケルコトガ明カニナリマシテ、今日……此ノ際我ガ國ノ採ルベキ方策ト致シマシテハ、ドウシテモ日本ノ移民ヲ出來ルダケ澤山早ク滿洲ニ送ルコトガ大事ダト斯ウ考ヘルノデアリマス、……關東軍ニ於キマシテモ此ノ情勢ニ非常ニ苦シクシテ色々討議サレタ結果、二十年間ニ五百萬人入レヨウト云フヤウナ現地案ヲ作ラレテ近ク中央政府ノ方ニ持ツテ來ラレト云フ新聞ガアリマスガ、是ハ無理カラヌ話デアリマス、現地ニ居レバ此ノ情勢ト云フモノハ殆ド皆ノ聲デアル、而モ私ノ知ツテ居リマス限リニ於テハ東北ノ農村ニ人ヲ出シマスト云フト、皆滿洲ニ行クニハドウシテ往ツタラ宜カラウト云フノガ熱心ノ希望デアリマス、現地ニ於キマシテモ希望シテ居リマスルシ、日本ニ於テモ希望シテ居ル、唯決マリマセヌノハ政府ノ吐デアリマシテ、マア本年千人デモ送ラウカ、千人ト何十萬人トハ殆ド比較ニナラヌ御計畫ヲ樹テ居ラレル、是デ果シテ滿洲國ト日本ノ關係ガ本當ニ結バレマセウカ、……本年ハ己ムヲ得ザルトシマシテモ今後ニ於キマシテモ如何ナル御計畫ヲ御樹テニナルノデアリマセウカ……

其ノ脅威ヲ蒙ルノハ言フ迄モナク行政機關ノ本家、本元、本山タル拓務省ノ當局デアリマス、拓務省ノ當局モ、丁度外地並ニ海外ニアリマスル同胞ノ心情ト全ク同ジ心情ヲ以テ、尙且熱心ト同ジ熱心ヲ以テ職務ニ勤ンデ居ラレルノデアリマス、然ルニ時ニ其ノ本山ガ廢止セラレト云フヤウナ聲ヲ聞イテ、ドウ云フ一體考ニナルノデアリマセウカ、殊ニ其ノ總本山、總本家ニ於テハ時ニ起ラムトスル、又起リツツアル廢止ノ反對ノ理由材料ヲ常ニ蒐集シテ持ツテ居ラナケレバナラヌト云フコトハ、如何ナル矛盾デアリマセウ、如何ナル悲慘事デアリマセウ、實ニ是ハ案外千萬ト申シマスカ、奇怪千萬ト申シマスカ、誠ニ我々ハ同情ニ堪ヘナイノデアリマス、是ニ關シテハ流石ニ超説セラルル所ノ我が拓務大臣ハ實ハ苦笑ヲ禁ゼザルヲ得ナイノ御心境ニアラウト思フノデアリマス、第三ニ此ノ拓務省存廢ノ聲ノ影響スルノハ、此ノ聲ガ或ハ内閣不統一ノ聲ト變ツテ行キハシナイカト云フコトヲ憂ヘルモノデアリマス、尤モ是ハ私人ノ杞憂カハ存ジマセヌ、併シナガラ事内閣ニ關スルコトデアリマスカラ、之ニモ一言申添ヘテ見タイト思フノデアリマス、過日我が拓務大臣ハ新聞紙ヲ通ジテ、拓務省廢止反對ニ關スル意見ノ御發表ガアリマシタ、私ハ拓務大臣ノ意見御發表ニ付テ言フノデアリマセヌ、拓務大臣臣ヲシテ拓務省廢止反對ノ御意見ヲ御發表ニナラネバナラナカツタ事情ヲ言フノデアリマス、私ハ此ノ事情ヲ考ヘテ、或ハ内閣不統一ト云フヤウナ非難ガ起リハシマイカト云フコトヲ慮レルノデアリマス、言フ迄モナク、此ノ時勢ニ於テ重任ヲ擔ハレル所ノ現内閣ニ於テハ、勿論終始協心協力ヲ以テ御進ミニナラナケレバナラヌ、我々モ之ヲ期待シテ居リマス、國民モ勿論之ヲ期待シテ居リマス、サウ云フ内閣ノ中ニ於テ萬一不統一ト云フヤウナ批評ヲ招來スルガ如キ事柄ハ努メテ之ヲ除キ去ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、私ハ此ノ意味ニ於テ尙一段ト御注意ヲ御願ヒシタイト思フノデアリマス、是ハ別ニ御答辯ニハ及ビマセヌガ、

一 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 只今大藏男爵カラ滿洲移民ノ事ヲ御尋ニナリマシタ、御承知ノ通りニ滿洲移民ニ付テハ過去四回ノ團體移民ヲ送りマシテ之ヲ試驗致シテ居リマスガ、其ノ成績ガ幸ニ良好デアリマシテ十分アテラデ移住シテヤツテ行ケルト云フ確信ガ附キマシタノデ、本年カラ意々試驗移民時代ヲ過キテ實行時代ニ移ルノデアリマス、然ルニ實行時代ニ移ツテ僅カ千戸ノ者バカリシカ送ル計畫ガ繼ツテ居ラヌト云フコトハ誠ニ慚愧ニ堪ヘマセヌ、苟モ試驗移民時代ヲ過キテ、實行時代ニ移ツテ居ルト言ヒナガラ、千戸デバイケナイト云フコトハ、私モ全ク其ノ氣持ヲ同ジクスルノデアリマシテ、唯今日マデ滿洲ヘハ人ヲ澤山送ツテ見テモ旨ク移住シテ行ケルト云フ確信ガ付カナケレバ、幾ラ人ヲ大勢ヤツテモ舞戻ツテ來ルノデアリマス、アチラニ行ツテ十分移民シテヤツテ行ケルト云フ確信ヲ付ケ、移民モ其ノ積リデヤツテ行ケルト云フ見込ガ付カナケレバ留マラナイト考ヘマス、其ノ爲ニ念ヲ入レテ、四回ノ間試驗ヲヤツテ居リマシタガ、モウ確信ヲ得マシタ、其ノ點ニ付キマシテハ内地ノ各府縣ニ於テモ、滿洲ノ移民ニ付テハ非常ニ希望者ガ多クナツテ來テ居リマス、今後ドウシテモ斯ウ云ツタヤウナ僅カナコトデハナラヌカラ、其ノ實際ノ土地ヲ今滿洲拓植會社ノ方デ用意ヲシテ吳レテ居リマスカラ、準備ヲシテ相談ヲ付ケタ以上ニ於テ、出來ルダケ多數、而モ後ヘ戻ツテ來ルヤウナ心配ノナイヤウニ十分注意ヲ加ヘテ、出來ルダケ多數送りタイ、斯ウ云フ考デ居リマス、マダ直グニ何人送ルヤウナ工合ニ行クカト云フコトニ付テハ、只今明白ハ出來マセヌケレドモ、非常ニ決意ヲ以テ多數ノ移民ヲ送りタイト云フ熱意ヲ持ツテ居ルコトヲ此處デ表明致シテ置キマス

三 寺内陸軍大臣答辯

○國務大臣(伯耆寺内壽一君) 滿洲移民ニ對シマスル大藏男爵ノ御意見ハ國策ノ遂行、殊ニ國防ノ見地ヨリ致シマシテモ、私トシテハ全然御同感デゴザイマシテ、私モ政府ノ一人トシテ、速ニ是等ノ事ハ具體的ニ進捗スルヤウニ努力致シタイト存ジテ居リマス

四 男爵大藏公望君希望

○男爵大藏公望君 只今拓務大臣ノ御話ノ中ニアリマシタ滿洲拓植會社ノ如キハ僅カニ千五百萬圓ノ會社デアリマス、是バカリノ金デハ如何トモスベカラズ、ソレニ此ノ會社ノ大部分ノ金ヲ使ツテ居リマシテ、後ガ幾ラモナイ、然ルニ滿洲ニ於キマシテハ、此ノ國策ヲ遂行スルガ爲ニハ今後一千萬町歩位ノ地面ヲ買ハナケレバドウシテモイケナイ、進モ是バカリノ金デハ買ヘナイノデアリマシテ、移民ノ方モサウデアリマスガ、早ク其ノ地面ヲ買フ方ノ手配モ、ソレ等ノ會社ヲ大キクスルコトニ依ツテ御決行ヲ願ヒタイ

四 男爵大藏公望君第六分科會ノ經過及結果報告

○男爵大藏公望君 拓務省所管ニ於キマシテハ拓務本省ニハ別段是ト云フモノハアリマセヌガ、朝鮮總督府所管ニ於キマシテハ今回新シク釜山カラ京城迄從來ノ線ノ東側ニ一本線路ヲ敷カウト云フ計畫ガアリマシテ其ノ爲ニ千數百萬圓ノ金ガ計上サレテ居ルノデアリマス、又朝鮮人ヲ滿洲ニ送ラウト云フ鮮滿拓殖株式會社ト云フ會社ガ近ク設立シマスノデ、

其ノ補給金ガ僅カナガラ計上サレテ居ルノデアリマス、臺灣ニ於キマシテモ、是ハ金額ハ僅カデアリマスガ、先程通信省ノ御話ノ中ニアリマシタヤウニ臺灣、「パンコック」間ノ航空事業ガ今度開始サレルト云フ費用ガ計上サレテ居リマス、樺太ニ付テハ別ニ申上ゲルコトハアリマセヌガ、南洋廳關係ニ於キマシテ、南洋廳ヲ中心トシマシテ、南洋拓殖株式會社ナルモノガ今回二千萬圓ノ資本ヲ以テ設立セラレ、其ノ爲ニ六萬圓ノ創立費其ノ他ノ金ガ計上サレテ居ルノデアリマス、是等ガ先ヅ目ボシイ新シイ仕事カト存ズルノデアリマス、……拓務本省ニ付テハ、專ラ滿洲移民ノ實績ニ付テ集注セラレ、殊ニ内地人移民ト、鮮人移民トノ關係ニ付テハ質問ガ多數出マシタ、ソレ以外ニハ別段ニ大シタ質問モナカツタノデアリマス、次デ朝鮮ヲ初メ外地各屬ニ對スル質問ニ入ツタノデアリマスガ、茲ニ特ニ御話ヲシナケレバナラヌコトハ一員ノ申出ニ對シマシテ、出席全員ノ賛成ガアリマシテ、朝鮮、臺灣、樺太、南洋ノ四ツノ外地官廳ハ、其ノ管轄ガ餘リニ多ク、内地カラ離レテ居リマスノデ、委員ノ多クノ者ガソレ等ノ土地ニ付キマシテ十分ノ認識ヲ持チ得ナイ、大變持チニクイカト云フノデ、ドウカソレゾレノ關係ノ政府委員ニ於テ、各地現狀及將來施政上ノ抱負ニ付テ會議ニ入ル前ニ大凡二十分位ヅツ御説明ヲ願ヒタイト云フコトノ希望ヲ申出シマシタ所ガ、拓務大臣ハ快ク之ヲ御承諾下サイマシテ、本年カラ直チニ其ノコトガ實行サレタノデアリマス、私此ノコトハ今後先例トナツテ、毎年ノ議會ノ豫算委員會第六分科會ノ席上ニ於テ同様ノ説明ガ行ハレラウト存ジマス、サウシテ本年ハ突然ノ要求デアリマシタノデ、政府委員モ準備ナク、尙事ハ外地ニ關係シマスノデ、説明中何カ果テ貽シテハイカヌト云フコトヲ惧レマシテ、南洋廳以外ハ總テ速記ヲ中止シテ御話ヲ承ツタノデアリマスガ、來年カラハ勿論全部速記ヲ取ツテ説明サレル豫定デアリマス、僭テ質問ノ内容ニ付キマシテハ、朝鮮デハ、朝鮮ノ農村更生十箇年計畫ハ餘リニ永過ギ

ハシナイカ、朝鮮ノ鐵道幹線ハ國防上モツト充實サスベキデハナイカ、等ニ付キマシテ質問ガ行ハレマシタ、次イデ臺灣ニ付キマシテ、二、二六事件ノ影響ガアツタカドウカト云フ質問ガアリマシタガ、當局ハソレハ全然ナイト云フ御返事デアリマシタ、其他ノ質問ハ速記ヲ止メテ居ル間ニ行ハレマシタノデ此處デハ申上ゲマセヌ、次ニ樺太廳ニ付テハ質問ハ一委員カラ石油ハ望ミアルカナイカト云フ問ニ對シマシテ、當局ハ今迄ハマルデ望ガナイ、併シナガラ尙昨年カラ本年ニ掛ケテ徹底的ニ調査中デアルト云フ御返事ガアリ、マタ他ノ委員カラ林業ニ關スル詳細ナル御質問ガアリ、今當局ガ最モ苦心シテ居ルノハ何カト云フ御質問ヲ發セラレタノデアリマス、南洋廳ニ付キマシテハ、一委員カラ南洋廳ハ其ノ規模ガ極メテ小サイノデアルカラ、此處ヲ南方發展ノ中心點トスルナドノ大ソレタ考ヲ出サズ、專ラ地方統治ノ任ニ當ルコトトシ、南方發展ハ之ヲ臺灣總督府ニ委セタ方ガ良イデハナイカトノ意見ニ對シ、當局ハ南洋廳ハ主トシテ其附近ノ水産ナリ交通ナリノ發展ニ努力スルノデ、臺灣ノヤル範圍トハ自ラ遠フノダト云フ御答辯ガアリマシタ、最後ニ一委員カラ、日本ハ水産ヲ目的トスル大洋政策ヲ樹立スベキデアルト云フコトニ關シマシテ、非常ニ詳細ナ、マタ堂々タル御意見ノ開陳ガアリ、モウ一人ノ委員ガ之ニ賛成セラレテ、色々感想ヲ詳細ニ述べラレマシタソレニ對シテ拓務大臣カラ全然同感デ今後十分ニ考慮スル意味ノ極メテ熱ノ籠ツタ御答辯ガアリマシタ、斯クテ質疑ハ鐵道、拓務兩省ニ互リマシテ、全部終了シマシタノデ、拓務、鐵道ノ順序デ討論及採決ニ入りマシタ、兩省所管ノモノ何レモ滿場一致可決サレタノデアリマス

第一分科會(大藏)

B 分科會

B 分科會 第一分科會(大藏)

一 各種國策會社ノ機能分割ニ就

テ

一 野村德七君質疑

○野村德七君 最後ノ質問ヲ申上ゲマス、國策會社ノ機能分割ト云フコトニ付キマシテ一點御尋ネシタイノデアリマス、既ニ國策會社ト致シマシテハ、滿鐵、東拓、興中公司ト云フヤウナモノガアリマシテ、又今次ノ特別議會ニハ臺灣拓殖トカ、南洋拓殖トカ、鮮滿拓殖、或ハ東北興業、東北振興電力ト云フヤウナ會社ガ、ソレゾレ設立ガ出來ルヤウニ計畫テレテ居ルノデアリマスガ、此ノ機會ニ際シマシテ是等國策會社ノ金融、又計畫ト云フヤウナモノニ對シマスル機能ヲ一大中樞會社ニ集中シマシテ、國策ノ所謂大局ヲ誤ラシメザルヤウニ圖ツテ、如上ノ諸會社ハ此ノ中樞會社ノ提供スル資金及其ノ計畫ニ從ツテ、專ラ現業ニ於ケル經營ニ任ズルヤウニ一面カラ統制、一面カラ分割シテハドウデアラウカト云フコトガ考ヘラレルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテハドウ御考ニナツテ居リマスカ

二 馬場大藏大臣答辯

○國務大臣(馬場大藏一君) 只今ノ野村君ノ御意見モ一ツノ考ヘルベキ方策デアラウト思ヒマスルガ、併シ是ハ現在ノヤウニ分立主義ヲ採ツテ居リマシテモ、適當ナ此ノ指導監督、即チ計畫ニ付キ、又其ノ金融ニ付テ政府ガ適當ニ之ヲ指導監督致シテ居ツテモ差支ナインデヤナイカ、或ハ場合ニ依ツテハ、寧ろ其ノ方宜イノデハナイカト今考ヘテ居リマスルレタドモ、併シ今ノ野村君ノ御質問中ニ含マレテ御意見ハ、將來大イニ考ヘテ見タイト思フテ居リマス

シテ補填セラルベキ性質ニナツテ居リマス、尙外地特別會計カラ繰入レマス方ハ是ハ繰入トナツテ居リマノデ、言葉ノ上カラ當然ニ、將來之ヲ返ス返サスト云フコトハ決ツテ居リマセヌ、ソレデ此ノ繰替使用等ニ關スル法律案ニ於キマシテハ、外地カラ繰入ハ後年度之ヲ返還スルト云フコトヲ特ニ規定致シテ居リマス、但シ其ノ時期ノ何時デアルカハ分リマセヌ、ト申シマスノハ斯ウ云フコトヲ致シマシタ原因ハ、外地特別會計ト一般會計ト比較致シマスル場合ニ於テ、比較ノ外地特別會計ニ餘裕アリト云フ見地カラデアリスルカラ、將來一般會計ニ餘裕ヲ生ジ外地特別會計ニ財源ノ必要ヲ緊切ニ感ジマシタ場合ニ之ヲ返還スル、斯ウ云フ建前デアリマス、尙將來之方増加スルカドウカト云フコトデアリマスルガ、之ニ關シマシテハ我が國ノ財政一般ノ所謂檢討ヲ致スト申シマスカ、特別會計ト一般會計トノ調整ト云フコトガ矢張り其ノ再檢討ノ一ツノ題目デアラウト思ヒマス、其ノ際ニハ本年度ノ如ク所謂繰替使用デアルトカ繰ヘレテ今後ニ返還スルトカト云フヤウナ風ノ形式ヨリ、更ニ基本的ニ相當額ヲ繰入レルト云フコトモ考ヘラレルダウト思ヒマス、是ハ寧ろ形ノ問題デアリマスルガ、然ラバ金額ニ於テハドウカ、斯ウ云フ問題ニナリマス、只今ノ所ハ、是方今後増加スルト云フコトハ是ハハツキリハ申上ゲラレヌ次第デアリマスガ、十分ニ特別會計ノ收支ヲ檢討致シマシテ、斯カル現在ノ財政ノ狀況デアリマスカラ、特別會計ト雖モ元々國ノ一ツノ會計ノ中ニ過ギナイノデアリマシテ、便宜上獨立シテ居ルノデアリマスルカラ、ソレヲ或意味ニ於テ綜合的ニ考ヘル爲ニ、比較的ニ餘裕アレバ其ノ金ハ一般會計ノ方ノ助ケニスル、斯ウ云フコトハ行ハレルダウト思ヒマス、金額ニ付キマシテ増加スルカドウカト云フコトハ、是ハ寧ろ檢討ガ濟ミマシタ上デ申上ゲタ方適當デアラウト思ヒマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス、此ノ金ハ只今是ダケ餘裕ガアル各外地特別會計ヨリ一般會計繰入ニ關シテ

二 各外地特別會計ヨリ一般會計繰

入ニ關シテ

子爵大河内輝耕君、賀屋政府委員トノ一問一答

○子爵大河内輝耕君 次ニ此ノ特別會計ノ受入ガゴザイマスガ、是ハ御面倒デスガ一ツドウ云フ風ナシデスカラ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマスガ第十三款デスカ……、尙若シ出來タナラ將來是モ増加ノ餘地アリヤ否ヤト云フコトモ、大體ノ御見込ヲ御知ラセ願ヒマス

○政府委員(賀屋興宣君) 特別會計カラ受入レテ居リマスモノニ、豫算ノ科目ヲ御覽ニナリマス、特別會計ヨリ繰入ト、特別會計ヨリ一般財源受入ト兩方アリマス、特別會計ヨリ繰入ト申シマス方ハ、從來カラ特別會計ノ營業ヲ、大藏省ノ營業管財局ヲ致シマス爲ニ、其ノ財源ヲ入レテ居リマス此ノ方デアリマスガ、只今御尋ノ分ハ、特別會計ヨリ一般財源受入ト申シマスハ初メノ科目、此ノ方ノコトデアラウト存ジマス、是ハ鐵道特別會計及通信事業特別會計カラ其ノ資金ヲ一般財源ニ繰替ヘ使用致マスモノト、朝鮮總督府、臺灣總督府、樺太廳及關東廳並ニ南洋廳ノ各特別會計カラ繰入レマスモノデ、其ノ二種類デアリマス、繰替使用ト申シマスモノハ、今ノ鐵道及通信事業會計資金ヲ受入使用シマスルモノデアリマス、他ノ五ツノ外地ノ特別會計カラ入りマスモノハ普通ノ繰入デアリマス、其ノ金額ハ總額デ千七百五十萬圓デアリマスガ、此繰替ノ使用ノ方ハ、此ノ言葉ノ意味ハ從來度々アリマスル法律ノ先例ニ依ツテ明カデアリマスルヤウニ資金トシテハ矢張り當該特別會計ニ存在スルノデアリマス、一時目的外ニ繰替使用スルノデアリマシテ、後年度ニ於キマ

ト云フコトダケデ、別ニ何カ具體的ナ標準ヲ置イタ譯デモ何デモナイノデスネ

○政府委員(賀屋興宣君) 其ノ繰入ヲ政府部内ニ於テヤリマスコトノ相談ヲ始メマシタ時分ニ、色々標準ヲ考ヘテ居リマス、併シナガラ從來是ハ行ハレナカツタコトデアリマスノデ、特別會計ノ方ノ事情モアリマスノデ、結局此ノ程度ハ繰入ガ出來ルデアラウト云フ特別會計ノ方ノ見込ニ據リマシタ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 小サナ問題デスガ、南洋廳ハ今回官業ヲ取上ゲラレルノデ餘程財政ガ苦シカラウト思ヒマスガ、此ノ受入モノクナルダラウシ、或ハ進ンデコチカラ補填モシテヤラナケレバナラヌダラウト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(賀屋興宣君) 南洋廳ノ將來ノ財源ノコトデアリマスルガ、御話ノ如ク南洋拓殖會社ガ出來マスルト、現在ノ擔額ガ出資スルコトニナツテ居リマス、從ツテ其ノ收入ハ無クナリマスガ、只今ノ見込デハ會社カラ受ケマスル配當ニ依ツテ左程將來財政上困ルコトハナイ、斯ウ云フ考ヲ有ツテ居リマス、同時ニ南洋廳ノ砂糖ニ付キマシテハ、臺灣或ハ其ノ他ノ如ク砂糖消費稅ト云フモノヲ消費地ニ於ケル一般會計ニ於テ收入致シテ居リマスノチ、南洋デハ出港稅トシテハ南洋廳ノ收入ニナル、是方相當増加致ス見込デアリマス、此ノ出港稅ハ或ハ事實上ハ是ハ南洋廳ニ對スル經費補助ト申シタ方宜イヤウナ實態ニアリマスルノデ、色々檢討スベキ點ハアリマスガ、御話ノヤウニ今後此ノ繰入ノ形ニ於テ南洋廳ガ一般會計ニ繰入レルト云フコトハ、今ノ所續ケテ行クトモ判斷申サレマセヌ

○子爵大河内輝耕君 ソレデハ幾ラカ減ルコトハ減リマスノデスネ
○政府委員(賀屋興宣君) ソレハ減ルカモ判リマセヌガ、或ハ南洋廳ノ方ハ止メニナリマシテ別ノ徵稅方法ガ考ヘラレマス、今後ノ研究ノ爲ニ

移民問題ニ就テ 在滿鮮人ノ保護指導ニ就テ

今チヨツト申上ゲマシタヤウニ、砂糖消費税ノヤウナモノガ出港税トシテ取ラレトカ、色々ナ關係ガアルノデアリマス。○子爵大河内輝耕君 私ノ伺ウタノハ、會社ガ出來ル爲ニ、外ノ關係ハ別トシテ、會社ガ出來ルト云フ關係カラダケ言ヘバ歳入ガ減ルダラウ、斯ウ云フコトヲ伺ウタノデスガ……○政府委員(實業興宣君) 御説明ノ通りデアリマス。○子爵大河内輝耕君 ドノ位減ルノデスカ。○政府委員(實業興宣君) 歳入ハ減リマスガ、同時ニ鑛鑛ノ經營費ガ要ラナクナリマスノデ、差引幾ラニナリマスガ、チツヨト今其ノ材料ヲ持チ合シテ居リマヒス。

第二分科會(外務)

一 移民問題ニ就テ

一 關屋貞三郎君質疑

○關屋貞三郎君 移民ノ保護指導費ト云フモノガアリマスガ、……無論滿洲ノ方モ國策上是非ヤラナクハナラヌコトデアリマスカラ、是モ是非望マシイコトデアリ、又是ハ是非必要ダト思フノデスガ、併シ實際ニ於テ「ブラジル」ニ十何萬ト云フ風ニ既ニ入ツテ居ルモノニ較ベテ見ルトマダナカク「微々デアツテ、矢張り移民トシテハ南米ナラ南米殊ニ「ブラジル」、北米ノ方ハナカク「ムツカシイヤウデアリマスガ、サウ云フ方面ニ力ヲ入レルト云フニトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、……矢張り是モ國策ノ一ツデアラウト思ヒマスノデ、力ヲオ入レニナル必要ガアルノデハナイカト思フノデスガ……

一 有田外務大臣答辯

アリマス

一 有田外務大臣答辯

○國務大臣(有田八郎君) 滿洲ニ於ケル移民ハ特殊ナ狀況ニアリマスノデ、外務省ヨリモ拓務省ノ方ガ主トシテ主管ヲ致シテ居ルノデアリマス、今ノ團體トシテノ移民デナク、從來カラ朝鮮カラ滿洲ニ移動シテ來テ居ルヤウナ朝鮮人ノ保護取締ト云フコトハ無論致シテ居リマス、領事館總領事館デ致シテ居ルノデアリマス、ソレニハ御話ノヤウニ特別ニ任用シタ所ノ副領事等モアツテ、又警察官ノ特殊ナモノモアツテ、保護取締ニハ任ジテ居ルノデアリマス、最近ノ狀況變化シタ狀況カラシテ色々軍、拓務省アタリト協議ヲシテ、或ハ多少改善ヲシテ行カナケレバナラヌ所モアルカト思フノデアリマス、今ノ御説ニ對シマシテハ、十分一ツ今後トモ連絡ヲ執ツテ、考究シテ見ルコトニ致シマス。

第五分科會(遞信)

一 國際航空路ノ開設問題ニ就テ

一 子爵曾我祐邦君質疑

○子爵曾我祐邦君 日本ニシテモ國際航空路ニ付キマシテ、汽車デ申シマスレバ一ツノ連絡ト云フヤウナモノガモウ具體的ニ出來テ居ルノデアリマスガ、出來ムトシテ居ルノデアリマスガ。

一 片岡政府委員答辯

○政府委員(片岡直道君) 國際航空路ノ開設ト云フコトハ非常ニ意義ノ深い、重大ナコトト考ヘマス、區域トシテハ航空事業調査委員會ノ諮問

第五分科會(遞信) 國際航空路ノ開設問題ニ就テ

○國務大臣(有田八郎君) 此ノ移民ノ問題ハ、外務省トシマシテハ屢々申シテ居ル所デアリマスガ、日本ノ移民ヲ歡迎シナイトカ、或ハ日本移民ニ差別的ノ待遇ヲ與ヘルトカ云フ風ナ所ニハ、先ヅ是等ノ誤解ト申シマスガ、能ク日本移民ナル者ヲ了解セシメ、歡迎スルト云フ風ナ氣分ヲ作ラナイ中ハ、マア餘リ送り出サナイト云フ方針ヲ執ツテ居ルノデアリマシテ、從ツテ相當歡迎シテ居ル所デモ、送りツ、アル中ニ、此ノ情勢ヲ續ケテ行クト云フト、或ハ排日ニ轉向シハシナイカト云フ風ナ處ノ微候ガ見エマス時ニハ、矢張り自制的ニ之ヲ控ヘルト云フ風ニ、今ヤツテ居ル積リデアリマス、此ノ外務省ノ移民ノ保護指導ニ關スル費用ハ、主トシテ向ウニ行ツテ居リマス移民ノ教育トカ衛生トカ云フコトニ對シテ移民ダケデハソレ等ノ施設ニ十分ナルヲ得ナイト云フ際ノ補助ト云フ程度デアル譯デス、南米ニシテモ、南洋ニシテモ、移民ノ出來ル所ハ出來ルダケ調査ヲシ、サウシテ排日的ノ氣分ノナイ所ニハ、出來ルダケ一ツ移民ヲ送り出シタイ、斯ウ云フ方針ナノデアリマス。

一 在滿鮮人ノ保護指導ニ就テ

一 關屋貞三郎君質疑

○關屋貞三郎君 滿洲デ朝鮮ノ移民ニ付テ、是モナカク「微妙ナ問題」デスカラ、又他日直接ニ御話シテ見ヨウカト思ヒマスケレドモ、割合ニ滿洲國デ歡迎サレヌト云フヤウナ憾ガアル、……政府ノ方針トシテ、朝鮮人ノ滿洲國ニ入ルニ付テ、ドウ云フ御方針ヲ御執リニナルカト云フコトニ付テハ、十分ニ御考ヘテ願ツテ置キタイ、……朝鮮人ハ兎ニ角今マデ數萬人人間ガ滿洲ニ流レルヤウニ遣入ツテ居ツタノデスカラ、割合ニ移民トシテ樂デアリマス、唯之ヲ統制シ教育スルト云フコトハ、非常ニ必要デアリマス、又之ヲ保護シテ載クト云フコトガ、非常ニ必要ナコトト

ヲ經テ振興計畫ノ一部ヲナシテ出來テ居ルノデアリマスガ、實際ニ於テハマダ何處モ飛ンデ居リマセヌ、主ナ計畫ノ内容ヲ申上ゲマスト、本年度豫算ニ御審議ヲ願ツテ居リマス、臺北カラ「シヤム」ノ「パンソック」ニ達シマス、是ハ只今是非本年度内ニ實現致シタイト云フ意圖ノ下ニ外交機關其ノ他ヲ通ジテ極力實現ヲ努メテ居リマス、ソレカラ第一ニ南方「コリス」ノ今一ツノ航路ト致シマシテ、臺北カラ「フイリツピン」ノ「マニラ」方面ヲ經テ「セレベス」若シクハ「ボルネオ」ヲ通過シテ「バタヴィヤ」方面ニ行ク航路、ソレカラ北ノ方デ札幌カラ稚内ヲ經テ豊原ニ行ク國內幹線ガ完成致シマシタ曉ニハ、豊原カラ更ニ北樺太ノ「ア」港若シクハ「オハ」ト云フ方面ニ連絡シタイ、考デアリマス、其ノ外ニ根室ヲ起點トシテ千島列島ヲ經テ「カムチヤツカ」ノ「ベトロバウロスク」ニ至ル線ヲ計畫シテ居リマス、是ハ「ソ」聯邦ト「アメリカ」トノ間ノ北極「コース」デ連絡スルコトノ話ハ前カラアルノデ、何レノ時ニカハ是ハ實現スルデアラウト云フコトヲ豫想シテ居リマスカラ、之ニ依リマシテ「ベトロバウロスク」デ其ノ線ヲ結ビタイト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソレカラ尙「アメリカ」ノ「ハンアメリカン」カン「エアーウエイ」デヤツテ居ル太平洋橫斷飛行ノコトハ御承知ノ通りデ、二回バカリヤリマシタガ、其ノ後ニ於テモ何度カ縮尻ツテ居ルナカナカ難「コース」デアリマスカラ、將來ハ確實ニ成功スルカ知レマセヌガ、今ノ所確實ニアレガ行ハレルト云フ程度ニナツテ居リマセヌガ、先ヅ「マニラ」ニ於テ連絡スル外將來ニ於テハ「グアム」方面ニ於テ連絡スル必要モ起ルカモ知レヌト思ツテ居リマス、其ノ他大陸ニ對シテ二三ノ計畫ハ持ツテ居ルノデアリマスガ、是ハ支那政府トノ外交上ノ關係モアリマシテ發表シナイコトニナツテ居リマス、左様御承知ヲ願ヒマス。

第六分科會(拓務)

一 滿洲移植民事業ノ内容ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 餘り御質問ガナイノモドウカト思ヒマスカラ、私御説明ヲ願フテ置キタイノハ、此ノ滿洲移植民事業ノ内容ヲ一ツ御説明願ヒタイト思ヒマス。

二 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 滿洲移植民事業ノ問題ハ、御承知ノ通り滿洲事變以來日本カラ澤山移民ノ出來ルモノト我々モ想像シテ居リマシタガ、實地ヲ能ク精査シテ見マス。ナカク、サウ簡單ニ參ラナイヤウデアリマシテ、個人トシテアチラニ行キマシタ者ハ、多クハ居付カナイデ、皆一攫千金ヲ夢ミテ行ツタヤウナ者ハ、殆ド總テ歸ツテ來ルト云ツタヤウナ工合デアリマス。是ハ團體移民トシテ世話ヲシナクチャイカヌダラウト云フ考ヘ方ヲ持チマシテ、團體移民ヲコチカラ第一回ニ五百人、ソレカラ二回、三回、四回ト分ケテ千八百戸ダケアチラニ送りマシタノデアリマシテ、ソレ等ハ皆適當ナ土地ヲ調査シテ置イテ、サウシテ佳本斯其ノ他ノ方面ニ送りマシタノデアリマスガ、過去數年間ノ經驗ニ依リマシテ、今日デハ非常ニ其ノ確實性ヲ認メ、第一回、第二回ノ者ナドハモウ落著イテ其處ニ定住シテヤウテ行ケルト云フ見通シガ付イタノデアリマス、ソレデ幸ヒニ各府縣ノ方デモ是カラ滿洲ニ行ツテ移民シヤウト云フ氣分ガ段々起ツテ來タヤウデアリマシテ、希望者モ餘程增加シテ來タノデアリマス、ソレデスカラ今回更ニ、今迄ヲ試驗期間トシ、是カ

ラテ實行期間ト云フヤウナコトニシテ、此ノ豫算ニハ千戸ダケ向フヘヤルコトニナツテ居リマスガ、實行期ニ際シテマダ千戸ト云フノハ我々トシテ其物足りナイノデアリマス、御承知ノ通り此ノ計畫ニ付テハ滿洲國ノ方デモ日本カラ移民ヲ送ルト云フコトニ付テ、非常ニ共鳴ヲシテ與レマス。既ニ滿洲移植株式會社ト云フモノガ出來マシテ、ソレガ土地ノ世話ヲスルコトニナツテ居リマス、是ハ資本金一千五百萬圓ノ會社デアリマス、併シ是レ位ノ少額ノ會社デハ土地ノ買收其ノ他ガマダ十分ニ出來マセヌノデ、ドウシテモ此ノ會社ノ擴大ト云フコトヲモ一方デ見ナケレバナラヌ、斯ウ云フ状態デ居リマス、又更ニ朝鮮人ト滿洲トノ關係ニ付テ見マスルト、朝鮮ニ於テハ鮮滿移植會社ト云フモノヲ作りマシテ、サウシテ朝鮮人ノ南方、朝鮮地方ノ朝鮮人ヲ北鮮及滿洲ノ方ニ送ルト云フヤウナ計畫ヲ立テ、進ンデ居リマス、最モ現在朝鮮人デ滿洲ニ居ルモノガ凡ソマア統計デハ八十三萬トカ何トカト云フコトニナツテ居リマスガ、先ヅ八十萬カラ百萬位朝鮮人ガアチラニ居ルノデアリマス、是等ハ間島地方カラ並ニ南部ノ方面ニ掛ケテ居ルノデアリマシテ、是等ノ朝鮮人ガ色々ト迫害ヲ受ケタリスルヤウナ場合モアルシ、又非常ニ生活狀態ガ困ツテ居ルヤウナ情況ガアルノデ、朝鮮ニ於テハ是等ノ在滿朝鮮人ノ生活ニ付テ色々骨折ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、滿洲ニ於ケルマア移民ノ状態ト致シマシテハ、朝鮮人ノ問題ト内地人ノ問題トゴザイマスガ、内地ノ問題ニ付キマシテハ、先キ申シタヤウニ實行期ニ入ツテ千戸ト云フコトニナツテ居リマスガ、何トカシテ之ヲモウ少シ多數ニ送リタイト思ツテ折角計畫中デゴザイマス、是ハホソノ大要ノコトデゴザイマスガ、尙詳細ノコトハ政府委員カラ申スコトニ致シマス。

二 滿洲拓植株式會社及鮮滿拓植株

式會社ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 今大臣ノ御説明デ滿洲移民會社デスナ、アレノ御話ガアリマシタガ、アノ方ノ成績ハ概近ドウナツテ居リマスカ、併セテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、大體デ宜シウゴザイマス。

二 高山拓務局長答辯

○政府委員(高山三平君) 只今御尋ノ滿洲移民ニ付テノコトハ大臣カラ……拓務大臣ヨリ御説明ガアリマシタ、尙滿洲拓植會社ノコトデゴザイマスガ、是ハ昨年ノ暮ニヤウク、滿洲國ノ特殊法令ニ依リマシテ、滿洲國ノ特殊法人トシテ昨年ノ十二月ノ末ニ設立サレマシテ、事業ハ今年ノ正月カラ開イテ居ル次第デアリマスガ、差當ツテノ仕事トシマシテハ東亞勸業ノ名前デ以テ商租致シテアリマス。……重モ二三江省ノ土地デアリマスガ、日本ノ移民ヲ入レマス爲ニ滿洲國並ニ滿鐵其ノ他カラ出資致シマシテ、日本ノ移民ノ爲ニ東亞勸業ノ名義ニ於テ商租致シテアリマス。……地券面デハ、約七十五萬町歩バカリアリマスガ、實際ノ面積ハ遙カニ多イ筈ニナツテ居リマスガ、此ノ土地ガ差詰メ滿洲拓植ノ占有地ニ相成ツタ次第デアリマシテ、此ノ土地ノ管理ト云フコトガ差詰メノ仕事ニナツテ居ル次第デアリマス、尙御承知ノ通り、云フ特別ナ會社デアリマス。……之ヲ實際仕事ヲ擔當スル人モ、特別ナ經驗ノアル仕事ニ慣レタ人ヲ得マセヌト實績ガ舉リマセヌノデ、色々主要職員ナドノ補充ニ付キマシテモ、慎重ナ人選ヲ經マシタ結果、補充ガ少シ遅レマシテ、最近ニナツテヤウノ陳容モ整ツタト云フヤウナ次第デアリマスガ、差詰メノ仕事トシマシテハ、其ノ土地ノ管理ヲ致シ、拓務省ノ移民

滿洲拓植株式會社及鮮滿拓植株式會社ニ就テ

三 大谷尊由君質疑

ニ對シマシテ金融ノ便宜ヲ圖リマス。……現在ノ整理地ニシマシテ小作ニ致シタルヤウナ土地モアリマスシ、未墾地モアリマス。……シカラ、サウ云フ地方ニ對シテ鮮人トカ或ハ山東苦力ナドガ無願開墾ヲシナイヤウニ、十分ナ管理ヲシテ居リマス、尙ソレ以外ニ拓務省ノ世話シテ居ル集團移民ニ對シマシテ、營業上ノ色々計畫ヲ立テマス。……農業上ノ色々仕事ヲスルト云ツタヤウナ仕事ヲモ計畫シテ居ル次第デアリマス、尙只今大臣カラモ御説明ガアリマシタヤウニ、今年度ノ豫算デ御審議ヲ御願シテ居リマス。……千戸ト云フノガ非常ニ少イヤウナ感ジモ致シマス。……是ハ滿洲拓植ノ色々ナ現在ノ機構上、今年ハサウナツテ居ル次第デアリマシテ、集團移民トシテモ尙多ク計畫モシナクヤナラタト思ツテ居リマス、又集團移民以外ノ移民ニ付キマシテモ、十分ナ計畫ヲ立テナケレバナラヌト考ヘテ居ル次第デアリマス。

四 高山拓務局長答辯

○政府委員(高山三平君) 只今御尋ノ鮮滿拓植ノコトデアリマス。……是ハ滿洲拓植ノ今持ツテ居リマス。……土地トハ全然別ナ地方ニ土地ヲ用意スル豫定ニナツテ居リマス、ソレカラ其ノ監督其ノ他ノコトニ付キマシテハ、朝鮮總督府ニ於テ主ニヤル譯デアリマシテ、拓務省モ其ノ限度ニ於キマシテ共ニ色々御相談ニ與リマシテ、此ノ仕事ヲ進メテ行クヤウニ

滿拓ト鮮拓トノ二ツノ命令系統ノ關係ヨリ植民政策上對抗セザルヤ
シタイト考ヘテ居ル次第アリマス

三 滿拓ト鮮拓トノ二ツノ命令系統

ノ關係ヨリ植民政策上對抗セザルヤ

ルヤ

一 大谷尊由君質疑

○大谷尊由君 同ジ日本人ノ移民デアリナガラ、片方ハ朝鮮總督府、片方ハ拓務本省ト云フ風ニナツテ、同ジ日本人ノ植民事業ガ二ツノ命令系統カラ出ルト云フハ餘リ面白クナイト私共ハ感ズルノデアリマスガ、ドウカオヤリニナル上ニ付テハ、總督府ガヤルカラト云ヒ、片方ハ本省ガヤルノダカラト云フ風ニ、同ジ日本人ノ植民事業ガ二ツノ系統ガアツテ、若シモ一ツノ方針ニ滿洲ニ對シテ進ムコトガ出來ヌヤウナコトガ起リマス、甚ダ遺憾ニ存ジマスカラ、ドウゾ其ノ邊ハ一ツノ植民政策ト云フ上ニ付テ、對抗シナイテヤツテ行クヤウニ私共希望シテ置キタイト思ヒマスガ、當局ノ御考ヲ承リマス

二 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 御尤モナコトデアリマスシテ、朝鮮ニ對シテモ總テ一視同仁ノ政ヲ行フコトヲ方針トシテ居リマス爲ニ、滿洲ニ移民スル上ニ付テモ、朝鮮人内地人ト云フヤウニ區別ヲシタクナイノデアリマスガ、唯朝鮮ノ方ハ朝鮮カラ直チニ地續キノ所ニ移民スルト云フ關係ト矢張り自然又内地人ト朝鮮人ト同ジニ、總テ一緒ニシテ移民サスト云フヨリモ、朝鮮人ハ朝鮮人ダケニシテ世話シテヤルト云フ方ガ、理

論デナク實際カラ申シマシテモ、矢張り一緒デアイ方ガ、御互ニ都合ガ宜サウニ考ヘラレルノデ、ソレデ朝鮮ノ方ハ御承知ノ如ク、主トシテ大體間島方面カラ多ク入ツテ行クノデアリマシテ、サウシテ能ク集團的ニ矢張りアチラデ農作等ニ從事シテ居ルノデ、是等ノ生活狀態ニ付テハ特別ノ保護ヲ加ヘル、世話シテヤルト云フコトガ必要デ、ソレ等ハドウシテモ朝鮮總督府ノ方デ直接世話スル方ガ能ク行届クノデアリマス併シ精神トシテハ何處迄モ一視同仁ノ精神デ行キタイノデアリマスカラ拓務省ニ於テモ實情ニ即シテ今日デハヤツテ居リマスガ、今御述ベノ精神ニ付テノコトハ、十分其ノ趣旨デ進ンデ行キタイト思ツテ居リマス

三 子爵高橋是賢君質疑

○子爵高橋是賢君 實際ニ於キマシテ此ノ滿洲拓植株式會社ハ或地點ヲ選ンデ其處ニ集團移民ヲヤル、一方鮮滿拓植株式會社ノ方モ別ニ土地ヲ選ンデ集團移民ヲヤルト云フコトニナルヤウニ思ヒマスガ、サウ致シマスト丁度朝鮮人部落ト云フモノト、又日本人部落ト云フヤウナモノガ、比較的ニ分レタ移民ガ出來ルヤウナ形ニナルヤウニモ思ハレマスガ、之ガ果シテ將來其ノ間ノ關係ガ融和シテ行クモノデアリマセウカ……

四 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 御話ハ御尤モデアリマスガ、朝鮮人部落ガ出來、内地人ノ部落ガ出來テ、將來都合ガ悪クナイカト云フ御心配デアリマスガ、滿洲ハ御承知ノ通り隨分廣イノデアリマシテ、殊ニ現在ハ滿洲人ガ約三千萬位モ居ルト云フ所ヘ、サウシテ内地カラ今行キマスモノハ、ホンノ僅カナ人開デアリ、朝鮮カラ行ツテ居ルモノハ比較的多數トハ云ヒナガラマダ八十何萬ト云フ位デアリマシテ、ソレニ朝鮮人部落ガ出來、日本人部落ガ出來ルカラ、將來困ルト云フ程、サウ云フヤウナ間

區ニハナカナカ容易ニナツテ來ナイノデ、早クモウ少シ内地人ヲウント澤山入レテ行キタイト思ツテ居ルヤウナ次第デ、何分アノ廣漠タル土地デスカラ、サウ云フ風ナ問題ガ急ニ起ツテ來ル心配ハナイト思フ、マア斯ウ云フ風ニ思ツテ居リマス

四 分科會ニ於テ各外地ノ統治方針

報告方ニ關シテ

一 男爵大藏公望君質疑

○大藏公望君(男爵) 尙ホ私カラ野村子爵ノ御話ニ關聯シテ皆サンニ御相談申上ゲタイト思ヒマスノハ、昨年ノ……、イヤ一昨年デアリマシタカ、此ノ分科會ニ於キマシテ、私カラ前ノ拓務大臣兒玉サンニ御願シマシテ、ドウモ各省ノ分ハ何レモ近邊ニアリマスノデ、色々御話ヲ伺ヘルノデアリマスガ、拓務省關係ノ外地ノ各官廳ノ御仕事ニ關スル御抱負ナリ若シクハ重要ナル御施設ナリト云フモノハ、ナカノ私共同ヘナイ、議會ガ始マリマスト云フト臺灣事情トカ、朝鮮事情トカ云フヤウナ厚イ本ハ頂戴シマスケレドモ、ナカノソレヲ全部讀ム譯ニハ行カナイ、ドウカ外地ニ限リマシテハ此ノ分科會ニ於キマシテ質問スル前ニ、一ツ各外地ノ關係ノ方カラシテ、凡ソノ御報告ナリ、狀態ナリト云フモノヲ御説明願ヒタイト云フコトヲ希望シマシテ、其ノ當時ニ於キマシテハ各委員ノ方々、全會一致ノ御賛成ヲ得マシテ、又前拓務大臣モ御承認下サツタノデアリマス、所ガ大臣ガ御更リナリマシタノデ、新シク又サウ云フコトヲ御願ヒシテ置カウ、サウシテ此ノ機會ニハムツカシイニシマシテモ、此ノ次ノ議會カラハ是非サウ云フ慣例ニ爲サツテ、分リニクイ外地ノ情況ニ對シマシテ、極メテ簡單ニ十分カ二十分カノ時間ヲ以テ、

分科會ニ於テ各外地ノ統治方針報告方ニ關シテ

大體ノ情況若シクハ只今野村サンノ御話ニナツタヤウナ、非常ニ重要ナ我々ノ知ラナケレバナラヌヤウナコトモアリマスノデ、斯ウ云フ抱負ダト云フコトヲ承リタイト思フノデアリマスガ……

二 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 各外地ニ於テモ、サウ云フ自分ガ一年間苦心シテ來タ事柄ニ付テ、皆サンニ御諒解ヲ願フト云フコトハ、當方ヨリモ希望スベキコトダト思フテ居リマス、ソレデ實際問題ト致シマシテ之ヲ各外地ト申シマシテモ、方々朝鮮、臺灣、樺太、南洋羣ト云フ風ニ、餘リ長クナルト御困リノ場合ガアラウト思ヒマスカラ、何トカ餘リ長ク掛ラナイ時間ニ於テ、サウシテ其ノ概括ノコトヲ申述ベルヤウナ慣例ヲ作リマスレバ、ソレハ至極宜カラウ、ソレハ此ノ分科會ノ所デ申述ベルト云フコトガ一番實際トシテ行ハレ易イインヂヤナイカト思フノデスガ、若シ分科會デヤツテ見テ、分科會ノ其ノ事ヲ推シ擴メテ豫算總會ノ方デヤツテ宜カラウト云フコトニナリマスレバ、ソレヲ致シテ宜シウゴザイマスガ、一番行ハレ易イ方法トシテ、此ノ分科會ニ於テ拓務省ノ審査ノ始マル前ニ、朝鮮ノ當局者カラ何分間、二十分間ナラ二十分間、臺灣ノ當局者カラ何分間ト云ツタヤウナ風ニ、大體其ノ一年間ノ經過ト外地ノ現狀、ソレカラ大キイ問題ニ付テ御話ノ出來ル機會ガアレバ非常ニ宜カラウト思ツテ居リマス

三 子爵野村益三君希望

○子爵野村益三君 大變拓務大臣ハ御遠慮ナスツテイラウシヤルガ、分科デサウ云フコトヲ御述ベニナルノハ當然ナコトヂヤナイデスカ、我々ハ二年餘リ前ノ時ニハサウ云フ風ナコトニ心得テ居リマシタノデスガ、モウ是ハ當然過ギル程當然ダト思フ、是非ソレハ御實行ヲ希望致シマス

四 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) コチラモ申述ベルコトガ當然ト考ヘテ居
リマスガ、何分突然ニサウ申サレテモ確カリト準備ヲ拵ヘテ居リマセ
ノデ、大體ノコトヲ何分間ヲ限ツテ話ラヌト云フコトハ、チヨウト今
直グト仰シヤラレテモ少シ困リハセヌカト思フ、明年カラデアリマスレ
バ確ト拓務省自體トシテ御約束申上ゲテ置イテモ宜シイ、大臣ガ更
タカラ知ラヌノダト云フヤウナコトデナク、此ノ分科會ノ始マル勢頭ニ
各外地ノ方カラ、其ノ外地ノ大要ニ付テ大凡ソ時間ヲ限ツテ御説明申上
ゲルト云フコトハ、コチラノ當然ノ義務デアリカト考ヘテ居リマス

五 朝鮮ノ交通幹線ニ就テ

一 大谷尊由君質疑

○大谷尊由君 滿洲國ガ獨立致シマシテカラ、朝鮮ノ交通ト云フモノガ
非常ニ大切ニナツテ來テ居リマス、...私ハ此鐵道ノ、今モウ少シ輸送力
モ大ニシ、尙朝鮮ノ海運ト申シマスカ、之ニ付テモモウ少シ發達サシテ、
滿洲國ノ獨立ニ伴フテ日本トノ幹線ガ非常ニ安心ノ行ク、十分ナル狀態
ニマデ進ンデ行キタイト思フノデアリマスガ、先程カラ朝鮮ノ大要ヲ承
リマシタガ、マダ交通ニ關スルコトヲ承ツテ居リマセンノデ、差支ナケ
レバ御伺ヒ致セテラ仕合セト思ヒマス

二 今井田朝鮮政務總監答辯

○政府委員(今井田清徳君) 私カラ極ク大要ヲ申上ゲマシテ、尙詳細ノ
コトハ鐵道局長ガ參ツテ居リマスカラ、其ノ方カラ御話致サセマス、内
地滿洲ノ中間ニ介在シテ居リマス朝鮮ノ交通施設、是等ヲ連絡スル交通

施設トシマシテ、十分ナル施設ヲシナケレバナラヌコトハ御話ノ通りデ
アリマス、而シテ現在ノ情況ニ於キマシテハ十分ハ申上ゲラレマセヌ
ソレデ先年來既設線ノ改良並ニ新線ノ建設、新線ノ建設ハ平壤ヨリ下度
鴨綠江ノ中間ノ滿浦鎮ニ至リマシテ、滿洲國カラ參リマシタ鐵道ト接続
スルト云フ新線ノ建設モ致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、併シ之ヲ以
テシテモ向内地カラ朝鮮ヲ經由シテ滿洲ニ連絡スル中間ニ於テ、輸送力
ガ不十分デアルト云フ考ヲ以テマシテ、本年度ヨリ釜山ヲ起點トシテ平
壤ニ至ル新シイ幹線ヲ一線設クタイ、勿論其ノ幹線ノ一部ハ既設線ヲ利
用スルガ、大部分ハ中央ニ新線ヲ設ケマシテ輸送力ノ増大ヲ圖ル、ソレ
ト共ニ一面ニ於テハ港灣ノ施設並ニ既成線ノ改良ト云フコトヲ計畫シテ
居ルノデアリマス、就テハ豫算ノ追第ニ號トシテ之ニ要スル經費ヲ要求
シテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙港灣ノ方ニ付キマシテハ其ノ幹線ニ
附隨シテ居リマス釜山デアリマス、或ハ馬山、麗水等ノ改築ハ勿論デア
リマスガ、尙此線ニ於キマスル諸港ニ付テモ相當ニ改善ヲ致シタイト考
ヘテ居ルノデアリマス

六 樺太ノ林政改革問題ニ就テ

一 佐々木八十八君質疑

○佐々木八十八君 樺太廳ノ林政改革ニ依ル北洋材ノ出材ヲ制限シテ、
南洋材ニ依ツテ之ガ代用タラシムルコト...樺太ニ於ケル樺内川ノ流
域材ヲ輸入スルコトニ對スル政府御當局ノ對策、御高見ヲ伺ヒタイノデ
リアマス...

二 今村樺太廳長官答辯

○政府委員(今村武志君) 第一問ノ樺内川流域材ノ件デアリマスガ、御話

ノ通り、樺内川ハソノ源ヲ「ソウイェト」領ニ發シテ居リマス、此ノ樺内
川流域ハ邦領樺太ノ方ニ於キマシテモ優秀ナ森林地帯デアリマシテ
從ツテ只今此ノ樺内川ニ流送致シテ居リマスル木材數量ハ、約百萬石近
クニナツテ居リマス、此ノ關係者ガ十七人ホドデアリマスノデ、此ノ十七
人ノ者ガ流送組合ヲ組織致シマシテ此ノ地方ノ流シテ居ルノデアリマス
此ノ流送ノ方法ハ、一定ノ場所ニ、此ノ場所ヲ選定致シマスノニモ色々
ナ條件ガアリマスガ、或一定ノ場所ニ堰ヲ設ケマシテ、其處ニ一應其ノ
木ヲ集メマシテ、ソレカラ選材シテ逐次流送ヲ致シマシテ、從ツ
テ其ノ選材ニ相當ノ時間ヲ要シマスノデ、選材シ得ル能力ガ自然限定致
サレマス、其ノ選材能力ハ本數デ申シマス、約二百四五十萬本、石數
デ七八十萬石ト云フヤウナ程度デアリマス、尤モ時ニ依リマシ
テ多少ノ増減ハアリマスケレドモ、大體其ノ程度ガ最モ適當ナ數ナノデ
アリマス、從ツテ百萬石モ流シマスト約一割内外ノ木ガ残りマス、斯様
ナ狀態デアリマスノデ、是レ以上此ノ樺内川ニ流送スルト云フコトハ、
事實上至難デアルト斯ウ云フ見解ヲ有ツテ居リマス、又此ノ樺内川ハ、
樺ノ非常ニ上ボル川デアリマス、只今デモ網場ノ上ノ約二里位ハ、木詰
リト稱シテ木ガ詰ツテ居リマス、之ガ爲ニ非常ニ樺ノ溯上ヲ阻害シテ居
リマス、斯様ナ現況デアリマスノデ、樺太廳ト致シマシテハ、事實上出
來ヌノデアリマスカラ、數年來請願其ノ他モアリマシタケレドモ、御斷
リ致シテ居ル次第デアリマス、同業者ニ對シテモ、實際ニ於テ
果シテ流セルカ流セナイカ、其ノ實情ヲ能ク調査シテ與レト云フコトヲ
私ハ度々申シテ居ルノデアリマス、ノミナラズ、「ソウイェト」領ノ方面
ハ一向分リマセヌガ、恐ラク此ノ上流ハ領有當時ノ情況カラ推シテ考ヘ
マスルト、數十年來、或ハ數百年來ノ倒木ガ川ニ一杯詰ルノデ、之ヲ木
詰リト稱シテ居リマスガ、之ヲ流スト云フコトハナカナ困難デアリ
デハナイカト思ハレマス、ソレニ拘ラズ唯流送スルト云フヤウナ請願デ

アリマスカラ、樺太廳ハ其ノ都度其ノ事實ヲ指摘シテ説示致シテ居ルヤ
ウナ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ次ニ森林ノ蓄積
量ガ大分殖エタヤウデアルガ、之ヲ増伐スルカドウカト云フ御質問ノヤ
ウデアリマス、樺太ノ蓄積量ハ、從來殆ド推定デアリマスノデ、確實ナ
數ハナカツタノデアリマス、デアリマスルガ昭和五、六年、ソレカラ八、
九年、此ノ二回ニ互リマシテ、陸軍ノ方ノ飛行機ニ依賴シテ航空撮影ヲ
シマシテ、立體寫眞ニ依ツテ材積ヲ明カニ致シタノデアリマス、其ノ結
果大體ノ石數ヲ得タノデアリマスルカラ、更ニ進ンデ現地ニ就イテ施業
案ヲ編成致シマシタ、其ノ結果、從來申シテ居リマシタ材積ヨリハ約八
千萬石ホド増加致シテ居ルノデアリマス、此ノ増加致シマシタ石數ハ、
實ハ樺太廳デ全然豫想シナカツタ石數デハナイノデアリマス、從來木ノ
價值ノ非常ニ安カツタ時ニハ隨分贅澤ニ伐リマシタ、其ノ當時ハ殆ド利
用價值ナシト云フノデ棄テテ置キマシタ木ヲ、昨今木ノ價值モ高クナリ
マシタノデ、非常ニ節約的ニ利用スルコトニナリマシタモノデスカラ、
其ノ標準ヲズツト下ゲマシタ、其ノ結果ソコニ八千百萬石バカリノ木ガ
殖エテ參ツタノデアリマス、併シ樺太ノ現狀カラ申シマス、將來約千百
萬石ハドウシテモ必要ナ材ナノデアリマスルガ、其ノ千百萬石ト申スノ
ハ、島内ノ需要デアリマス、之ニ依ツテ人口ノ約半數、十數萬人間ガ
直接間接衣食致シテ居ルノデアリマス、從ツテ此ノ木ヲ島内ニ供給スル
ト云フコトハ絕對必要條件ト考ヘテ居リマス、然ルニ千百萬石乃至二百
萬石ノ木ヲ輪伐方針ニ依ツテ將來永久ニ供給スルニハ總材積ガ約十一億
程度ノモノガナケレバ不可能ナノデアリマス、然ルニ現在此ノ殖エマシ
タ約八千萬石ヲ入レマシテモ、五億三千萬石シカナイノデアリマスルガ、
樺太ノ現狀カラ申シマス、最早是レ以上ニ他ニ供給スルト云フ餘地
ハナイノデアリマシテ、如何トモ致シ方ナイ情況ナシデアリマス、御承
知ノ通り北海道モ樺太ト略々同様ノ石數ヲ有ツテ居リマスガ、北海道ノ

方ハ現在僅カニ五百萬石、之ガ施業案ノ最モ安全石數デアリマス、然ルニ樺太ハ現在ニ於テ舊契約ノ下ニ引渡シタ材積ガ千三四百萬アル、約三倍ト云フ數ヲ出シ居リマシテ、非常ニ過伐ナノデアリマス、デアリマスカラ樺太ノ拓殖ト云フ見地カラ云ヒマシテモ、是レ以上ニ最早伐採スル餘地ハナイノデゴザイマス、從ツテ八千萬石程度ノ増加ガアリマシテモ、是等ガ根本方針ニ變更ヲ來ス程度ノモノデハナイト存ジマス、第三ハ、朝日新聞ニ緩和スルヤウナ記事ガアツタト云フ御話デゴザイマスガ、是ハ新聞記事ハ私ツイ記憶致シテ居リマセヌガ、只今申上ゲマス通り樺太廳ト致シマシテハ、現在出來マシタ施業案ニ依ツテ將來デモ合理的ニ伐採ヲシテ、其ノ數量ハ先ヅ最モ適當ナ數ハ七百萬石程度ニ相成ルノデアリマスケレドモ、要スルニ從來ノ方針ヲ緩和スルト云フ意圖ハ有ツテ居ラヌノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

七 樺太拓殖計畫ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 外ノ御方デ樺太廳ニ付テ御尋ガナケレバ、私御尋ネシテ見タイト思ヒマス、多少言ヒ過ギルコトカモ知レマセヌガ、私ハ實ハ樺太ノ開拓ニ付テハ何時モ心配シテ居ルノデス……一ツ拓殖上最モ御苦心ノアル所ヲ一應承アテ見タイト思フノデス

二 今村樺太廳長官答辯

○政府委員(今村武志君) 御尤モ御質問デ隨分苦心ヲ要スルコトト思ヒマス、御話ノ通り樺太ノ拓殖計畫ハ、隨分其ノ效果ヲ擧グルニ苦心ヲ要スルコトト存ジマス、ト申シマスルノハ先刻モチヨウト申上ゲタノデアリマスルガ、先ヅ樺太ニ移住シテ参リマス人々ノ氣持デアリマスルガ先ヅ樺太ニ行ツタラバ何カ好イコトガアリハセヌカト云フヤウナ氣分デ從來樺太ニ渡ルヲ致シタモノガ多クツタノデアリマス、殊ニ森林ト云フ

モノガ非常ナ魅力ヲ持ツテ居リマシタノデ、先ヅ森林ヲ目當テニ集ツテ來ルト云フヤウナ者ガ可ナリ多クツタヤウニ思フノデアリマス、從ツテ來テ見ルハ見タガ、サウウマイ事ガナイト云フノデ、直ダ引上ゲルト云フヤウナ者ガ可ナリ多クツタノデアリマス、現ニ農村ナンカヲ廻ツテ見マシテ、成功シテ居ル部落ニ参リマシテ色々話ヲ聞イテ見マスルト、却テ數多イ東北地方ヨリ高知縣アタリカラ移住シタ者ニ相當成功シテ居ル者ガアルノデアリマス、サウ云フ人ノ氣分ナンカヲ聞イテ見マス、自分等ハ内地ニ居ツテ幾ラ働イテモ一坪ノ土地モ持テナイ、然ルニ樺太ヘ來レバ十町歩位ノ土地ハ與ヘラレテ、而モ働ケバ十分燕麥ニセヨ、麥ニセヨ、馬鈴薯ニセヨ立派ニ出來ル、從ツテ斯ウ云フ安樂ニ生活ガ立ツヤウニ出來ルノデアリマシテ、自分等ハ到底郷里ニ歸ルヤウナ意思ハ起ラヌト、斯ウ云フコトヲ申シテ居リマス、サウ云フヤウナ先ヅ成功シタ多クノ人々ノ氣分ハ、皆サウ云フ考カラ移住シタ人デアリマシテ、唯樺太ニ行ケバウマイコトガアルダラウト云ツテ、漫然参リマシタ者ハ餘リ成功ハシテ居ラヌノデアリマス、併シナガラ現在既ニ三十三萬ト云フ島民モアリマスノデ、之ガ自然増加ヲ見マシテモ、數年ナラズシテ、五十萬ト云フ人口ニナルダラウト思ツテ居リマス、サウシマスドドウシテモ島民ノ生活ノ安定ヲ得サセル爲ニハ、有ラユル方面カラ施設ヲ致サネバナラヌノデアリマスガ、先刻申上ゲマシタ通り道路ニシロ、鐵道ニシロ、道路ノ如キハ面積カラ申シマシテモ、人口一人當リカラ申シマシテモ北海道ニモ及バナイ程ノ貧弱ナモノデアリマス、從ツテ從來ノ施設モ行届カズニ居ツタ、從ツテ或程度ノ施設ヲ致シマスレバ、島ニ居リマス人々ノ生活ノ或程度ノ安定ヲ得ラレルノデナカラウカ現ニ三十三萬程デアリマスルガ、昨今ノ情況ヲ見マスルト殆ド失業者ト云フモノモナク、先ヅ生活シテ行クニハ左程ノ苦痛ヲ感ゼズニ居ルノデアリマシテ、御話ノ通り總テノ仕事ガ北海道ノ後塵ヲ拜シテ居ルト云フ御話デアリマスガ是ハ事實サウ

一 倉知鐵吉君質疑

○倉知鐵吉君 拓務省トシテハ兩方ニ南方殊ニ南洋方面ノ進出經營ヲヤラセテ、本省デ之ヲ調節シテ行クト云フ御考デモアルノデアリマセウカラ私共ハモット臺灣總督府ニ重キヲ置イテ、大抵ノコトハ臺灣總督府デオヤリニナリ、南洋廳ナンカハ餘リ出ナイ方宜イト思フノデス、南洋拓殖株式會社ナンカ餘リ出ナイ方宜イ、斯ウ云フヤウニ思ヒマスガ、其ノ根本ノ御考ハドウ云フ風ニ御考ニナツテ居ルデセウカ

二 稻田政務次官答辯

○政府委員(男爵稻田昌植君) 只今ノ倉知君ノ御質問ニ私カラ御答テ申上ゲマスガ、行政上ノ區別カラ言ヒマスレバ、勿論南洋廳ハ南洋群島デアリ、臺灣總督府ハ臺灣方面ダケデアリマス、只今モ南洋廳長官カラモ申サレマシタガ、是ハ南洋廳ヲ根據地ト致シマシテ南方發展、南方進出ノ將來ノ抱負ト云フ立場カラ申述ベラレタノデアリマスカラ、行政上ハ勿論ハツキリ致シテ居ルノザアリマス、然ルニ臺灣ニ於キマシテハ只今衆議院デ御審議ニナツテ居リマス臺灣拓殖株式會社ノ半官半民ノ會社ガ出來ルト云フコトニナリマス、ソレトソレカラ今ノ南洋廳管轄内ニ於キマシテ、是ハ勅令デ致シマスルノデ、法律案トシテノ御審議ハ願ハナイノデアリマスガ、此ノ豫算ニ載ツテ居リマスケレドモ、南洋拓殖株式會社ト云フモノガ恐ラク本年度内ニ其ノ設立ヲ見ル運ビニナルダラウト思ヒマスガ、臺灣拓殖株式會社ハ勿論臺灣島内ヲ主トシテ仕事ヲ致シマスルシ、又南支、南洋ノ方ニ出テ參ツテ其ノ仕事ニ當ルノデアリマス、ソレカラ南洋拓殖株式會社ノ方ハ主トシテ「マーシャル」群島、其ノ他ノ群島ノ仕事ヲ致シマスルケレドモ、更ニ先程南洋廳長官カラ話ガアリマシタ水産及海運ノ方デ南洋ノ方面ニ互ツテ、自然會社ノ仕事ト致シマシテハ仕事ヲ

八 南方進出ノ諸問題ニ就テ

南方進出ノ諸問題ニ就テ

デアリマスデアリマスケレドモ、又樺太ノ物産デ、北海道ヨリモ尙寒地帯ノ物産トシテ相當優秀ナモノモアルノデアリマシテ、是等ノモノハ從來ハ北海道産ト云フ名目ノ下ニ出テ居リマシタノガ、昨今ハ樺太カラ直接各地ニ移出スルト云フヤウナ形ニナツテ居ルノデアリマシテ、樺太自體ノ特異性ヲ以テ之ヲ開發シテ行キマシタラバ、相當ノ效果ヲ擧ゲ得ルノデヤナイカソレニ致シマシテモソレノ基本トナルベキ各種ノ施設ハ從來山ノ利用ト云フ方面ニ走リマシタカラ非常ニ手遅レニナツテ居リマスガ、是等ノ施設ヲ或程度マデヤリマシタラバ相當人口モ島ニ多クナツテ行クトト思ヒマス、尙森林ニ付テ御話ガアリマシタガ、伐採數量ハ此ノ天然更新ノ點カラ見マシテモ非常ニ多イノデアリマス、併シ御承知ノ通り樺太ノ地味ハ非常ニ發育ガ宜イノデアリマス、山火事サヘナケレバ相當ニ是ハ育成シテ行クモノト思ヒマスケレドモ、從來山火事ガ非常ニ禍ヲナシテ居リマシテ、更ニ昨今全島民擧ツテ山火防止ニ力ヲ致シテ居リマスノデ、昨年、一昨年ハ非常ニ件數モ面積モ減ツテ居リマス、尙今年カラ造林地ヲ貸付シテ造林ヲ獎勵シ、成功ノ上民間ニ無償テ讓與スルコトニ致シマシタ、是等ノ造林者ニ對シマシテハ相當ノ補助ヲ與ヘルコトニ致シマシタカラ、是等ノ施設ガ進んで参リマシタラバ、或程度ノ植林ト云フモノガ出來ルノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、尙此ノ林政改革ニ依ツテ新規ノ拂下ハ全然止メタノデアリマスガ、斯ウ云フ風ニ山ノ方ニ從來ノ如ク經營スルコトガ出來ナイト云フコトニナリマシタ結果、餘程島民ニ眞面目ナ感じヲ與ヘタヤウナ感モアルノデアリマス……從ツテ昨今農業者ノ方ニ轉業スル者モ相當ノ數ニ上ボツテ居リマス、斯カル情勢ヲ参リマシタラバ、或程度ノ成績ヲ擧ゲ得ルノデヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス

致ス事ナリマスガ、サウスルト同シ内容ヲ持ツタ南洋拓殖株式會社ト
臺灣拓殖株式會社ガ南支、南洋ノ方面ニ混ガラガツテ仕事ヲヤルト云フ
コトニナルト云フ御懸念モ實ハオアリカト存ジマスガ、是ハ大體ニ於テ
地域の二分ケテ置キマシテ、東拓其ノ他ノ關係ガゴザイマスガ、出來ル
ダケ協同ヲ保ツテ行キタイト云フ、其ノ點ニ觸レテ申上ゲタノデアリマ
スカラ、南洋屬ガ南洋方面ニ重キヲ置イテ色々仕事ヲスルト云フ、御懸
念ノ點ノ意味デ申上ゲタノデハ勿論ナイノデゴザイマス、サウ云フヤウ
ニ本省トシテハ考ヘテ居リマス、一應私カラ御答ヲ申上ゲテ置キマス

九 海洋政策樹立ニ就テ

一 子爵野村益三君質疑

○子爵野村益三君 私人實ハ海洋政策ト云フモノヲ樹立シナケレバナラ
ナイト考ヘテ居ル 最近大陸政策ト云フコトガ叫バレテ、我々御同僚ニ
其ノ方面ニ向ツテ考ヘテ居ルノデアリマスガ、是ト相對シテ所謂海洋政
策ト云フモノモ考ヘナケレバナラス、斯ウ信ジテ居リマス……私ハ大キ
ク見タ所謂海洋政策ト云フモノヲ考ヘル必要ガアラウト思フ、北ハ「カ
ムヤツカ」南ハ氷山浮ブ南緯六七十度、而シテ西ハ印度洋ヲ越エテ「ア
フリカ」ヲ沿岸ニ達シ東ハ「ハワイ」ヲ越エテ「アメリカ」ノ沿岸ニ達スル、
其ノ間ニ介在スル所ノ東西ハ一萬一千哩、南北ガ八千哩ノ間ノ仕事ヲ如
何ニシテヤルカト云フコトヲ考ヘルノガ海洋政策ノ仕事ダト思フ、是ニ
ハ拓務大臣一人ノオカトハ行クマイト思ヒマス、是ハ内閣ガ考ヘテ善處
サレナケレバナラヌト思フ、農林大臣ガ俺ノ領分ダト言ツテハイカヌ、
又拓務省ノ方デハ中心トナラナケレバナラヌガ、是ハ全ク自分ノ領分ダ
トノミ仰セラレテハイカヌ、是ニハ農林省モ、或ハ外務省、或ハ海軍省
モ、拓務省ヲ中心トシテ考ヘラレテ、サウシテ國運ノ進展ニ副フベク、

ヤウナ状態ニ居ル、從ツテ現状ヲ打開スルト云フヤウナ氣分ガ各方面ニ
現レテ、現状ニ満足シナイ、進出、生活權ノ確保ヲ求メルト云フコトハ
自然ノ要求デアルト考ヘラレルノデアリマス、ソレ故ニ既ニ滿洲ノ方面
ニ於テハ、出來得ル限り之ニ對シテモ移植民ヲ送ツテ、其ノ發達ヲ致シ
タイト思ツテ居リマスガ、更ニ又日本ノ使命ト云フモノハ、斯ク島國デア
リマスル關係上、海洋ニ向ツテ活動ヲシナケレバナラヌト云フ、自然ノ運
命ヲ持ツテ居ルヤウニ考ヘラレマス、野村子爵モ仰セラレマシタヤウニ
南洋委任統治ノ各島ノ面積ト云フモノハ誠ニ狭イノデアリマスケレドモ
海洋ヲ利用スルト云フコトガ出來ル時代ヲ考ヘテ見マスルト云フト、其
ノ面積ハ實ニ廣漠タルモノデアリマス、現在ノ我が國ノ漁民ガ方々ニ活
動ヲ續ケテ、非常ナル困難ト闘ツテ、廣ク働イテ居ルコトハ只今申サレ
マシタ通りデゴザイマシテ、既ニ遠海漁業ハ「フィリッピン」ノ方ナリ
「シンガポール」、「ジャバ」、「セレベス」ノ方面ニモ色々活動シテ居リマ
スルシ、又經テ捕ヲ獲ルヤウナ漁業ニ付テハ、「ボルネオ」、「ペラオ」方
面ニモ動イテ居リマス、又蝶貝ノ採取其ノ他ニ付テハ濠洲方面ニマデ發
動シテ居ル、又野村子爵モ仰セラレタヤウニ、「アフリカ」ノ方面ナリ、
南氷洋方面マデ進出シテ活動シテ居ル、コンナ力強イ状態ヲ見テ居ルノ
デアリマシテ、サウシテ「アメリカ」ノ方面デハ「メキシコ」ノ方面カラ、
更ニ「ブラジル」、「サントス」ノ方カラ「アルゼンチン」ノ方ニ掛ケテ、色
々水産會社ガ出來タリ、「トロール」船ガアチラヘ廻ルト云ツタヤウナ風
ニ、相當ニ活動ハサレテ居リマスケレドモ、大體シテ見マスルト云フト
マダ方々ニ散ラバツテ活動シテ居ルト云フダケデアリマシテ、力強イ活
動ガマダ十分ニナイト云フヤウナ状態ニ在ルノデゴザイマス、デ、斯ウ
云フコトノ事情ハ詰リ漁業ノ發達ト云フコトガ、又民族ノ他ノ方面ノ發
達ノ前提ヲナスモノデアルトハ御話ノ通りデアリマシテ、將來此ノ漁
業ヲ先ヅ契機トシテ、十分ニ活躍スルヤウニ仕向ケテ行カナクチャナ

今ノ中ニ考ヘテ策ヲ樹立セラレルト云フコトガ私一番必要デアルト思ヒ
マス、ソレニ其ノ點ニ付テ考慮ヲ廻ラサレテ、サウシテ大臣カラ御發議
ガアツテ、サウ云フヤウナ其ノ目的ヲ達スル方法ガ立ツナラバ、非常ニ
帝國ノ爲ニ幸ヒト思フノデアリマス

一 藤原銀次郎君質疑

○藤原銀次郎君 新開地ヲ開拓スルニハ、矢張り一番先驅ヲ爲スモノハ
漁業デアルト云フコトハ、矢張り實際ニ分リマシタ……日本漁業ノ大
イニ……即チ日本人ノ漁業ノ天才ノ如何ニ優越シテ居ルカト云フコトヲ
實際面ノアタリニ見マシテ、是等ハ少シモ國家ノ補助モ何モ受ケテ居ル、
ノデアリマセヌ……如何ニ日本ノ漁民ガ勇敢デアツテ、サウシテ經濟
的能力ガ單ニ漁業ノ力ガアルベカリデナク、此ノ漁獲物ヲ金ニシテ、サ
ウシテ經濟上ニ發展スルト云フ知識ガ優越デアルカト云フコトヲ面ノア
タリ私ハ見マシテ、ドウモシミジミト感ジタノデアリマス、其ノ頭デ只
今ノ野村子爵ノ御話ヲ伺ヒマス、如何ニモ、主トシテ南洋方面ノ御話
ガゴザイマシテ、北洋ニモ關聯シタ御話デアリマスガ、シミジミト感ジ
マシテ、全然同感デアリマスカラ、此ノ意ヲ披瀝致シマシテ、大臣ノ御
參考ニ供シタイト思ヒマス

三 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 只今野村子爵、藤原君ヨリ極メテ力強イ御
意見ヲ承リマシテ、誠ニ深ク感動ヲ催ス次第デアリマス、御承知ノ通り
日本ノ現在ハ、年々百四十六萬ト云フヤウナ人口ノ増加ヲ、過去五年前
平均シテ毎年増加ヲ見ルト云フヤウナ状態ニ居リマス、サウシテ各地方
ニ於テ、我々ノ移民ト云フコトニ付テ種々ノ制限ヲ受ケルト云フヤウナ
状態デアリマシテ、全ク日本民族トシテハチツトシテ居レバ窒息ヲスル
ラヌ、ソレハ單ニ役所ノ人間ベカリノ態度ダケデハ出來ルコトナクシテ
事實之ニ活躍セラレル民間ノ人ノ活躍ヲ俟ツテ、之ヲ助長シ、之ヲ後援
シテ行ク所ノ力強イ當業者ノ力添ガアツテ、初メテ行ケルモノデアルト
思ヒマス、藤原君ガ言ハレマスヤウニ、外ノ國ノ漁業ニ雇ハレテ居ツテ
實際活動シテ居ルノガ、日本バカリト云フ御話モ伺ヒマシタガ、日本人
トシテハサウ云フ方面ニ活躍スベキ素質ヲ有ツテ居ルノデアリマシテ、
之ヲ適當ニ導キ、適當ニ援助シテヤレバ、將來非常ニ活躍スルコトガ出
來ルモノデアルト思ツテ居リマス、今回出來マスル南洋拓殖ト申シマス
ル會社ハ、是ハ主トシテ南洋委任統治領ヲ先ヅ根據ト致シマシテ、水産
ノ仕事ヲ主トシテ營ミ、ソレカラ加ヘテ海運ノ仕事其ノ他ニ及ボスト云
フコトデアリマス、ガ斯ウ云フモノガ唯ホンノ皮切位ノ積リデアリマシ
テ、將來ノ是等ノ發達如何ニモ依リマシテハ、所謂海洋政策トデモ申シ得
ラレルヤウナ、相當ノ規模ノ活動ガ出來得ル端緒デハナイカト考ヘテ居
リマス、唯サウ云フ事柄ハ自然諸外國ノ關係モゴザイマスルノデ、色
々微妙ナ國際的關係ヲ惹キ起シマスカラ、是等ニ付キマシテハ總テ平和
的ニ、經濟的ニ活動ヲ始メテ、サウシテ共々ニ利益ヲ得ル、サウシテ遺
利ヲ拾フ、斯ウ云フヤウナ心掛テ進ンデ行キタイ、又サウ云フ活動ノ餘地
ガ十分ニアルモノト考ヘテ居リマス、何分日本ノ現狀デアリマスルト、所
謂世界ニ於ケル國際間ノ不満足國デアリマス、チツトシテ居ラレナイ狀
態ニ在ルノデゴザイマスカラシテ、斯ウ云フ方面ニ付テモ已ムニ止マレ
ナイ民族的活動ノ現レトシテ諸外國ノ方デモ我が國ノ現狀ニ對シテ相當
ノ諒解ヲ有ツテ呉レルコトヲ、我々ハ非常ニ熱望シテ居ル次第デアリマ
ス、御話ノ趣旨ニハ全然御同感デアリマスノデ、將來斯ウ云フ方面ニ付
テモ出來得ル限りノ努力ヲ致シタイト考ヘテ居リマス、此ノ機會ニチヨ
ツト是ダケ申上ゲテ置キマス

決算委員會、分科會及小委員會

一 南洋廳ノ剩餘金ニ就テ

一 男爵松田正之君質疑

○男爵松田正之君 數年來南洋廳ノ剩餘金ノ多イト云フコトハ議會デ何時モ質問ニナツテ居ル所デゴザイマスガ、此ノ剩餘金ノ多イノハ將來ドウ云フ風ニオ使ヒニナル積リデゴザイマスガ、只今ノ御説明ダト、十一年度ハ大藏省ノ方ヘト申シマスガ、一般會計ノ方ニオ出シニナツタト云フコトデアリマスガ、將來モサウ云フ御方針デ尙進マレルノデゴザイマスガ

二 林南洋廳長官答辯

○政府委員(林壽夫君) 御答ヘ致シマス。南洋廳ノ剩餘金ハ、松田男爵ハ其ノ事ハ能ク御承知デアリマスガ、此ノ剩餘金ハ只今申サレタヤウニ一般會計ヘノミ繰入レテ行クコト云フ考ヘハ有ツテ居リマセヌ昨年南洋廳ニ於キマシテハ指務本省ノ御諒解ヲ得マシテ、將來南洋群島ノ開發ノ爲ノ各種ノ施設計畫ヲ立テマシテ、現在ノ所デハ此ノ施設計畫ハ先ヅ今後十箇年ヲ以テ終ル考ニ相成ツテ居リマス、是等ノ仕事ヲヤリマスルノニハ、目下ノ財政ノ狀況ト致シマシテ他ニ財源ヲ求ムルコトガ誠ニ困難デアリマシテ、此ノ剩餘金ヲ此ノ事業ノ爲ニ使フ考デアリマス、左様ニ計畫ヲ進メテヤツテ居ルヤウナ次第デアリマス

二 國有財産法ノ外地施行ニ關シテ

一 男爵東久世秀雄君質疑

○男爵東久世秀雄君 決算委員會デ毎回問題トナツテ居リマスル國有財産法ヲ外地ニ施行スルト云フ問題ニ對シテ其ノ後政府ハドウ御考ヘニナツテ居リマスガ、一應御伺ヒ致シマス

二 關原政府委員答辯

○政府委員(關原忠三君) 國有財産法ヲ外地ニ施行スル問題ニ付キマシテハ、只今東久世男爵ノ仰セニナリマシタ如ク多年ノ懸案デゴザイマシテ、大正十一年ニ國有財産法ヲ施行セラレマシテヨリ出來ルダケ早く之ヲ外地ニモ施行シイト云フノデ、進メテ居リマシタノデゴザイマスガ、御承知ノヤウナ事情ニ依リマシテ今日迄其ノ機ガ熟サズニ及ンダノデゴザイマス、昭和四年ノ春ト覺エテ居リマスガ、決算總會ニ於キマシテ希望決議セラレマシタヤウナコトモアリマスノデ大藏省、拓務省並ニ外地當局ノ間ニ於キマシテ早ク意見ノ一致ヲ見テ一日モ早く之ヲ施行スベク努力シ來ツタノデゴザイマスガ、朝鮮其ノ他外地ニ國有財産法ヲ施行スルニ當リマシテハ、此ノ外地ガ内地ト特別ノ事情ガゴザイマスノデ、其ノ特別ノ事情ヲ加味シテ國有財産法ヲ施行スルニハ、國有財産法ノ規定ニ對シテ相當ノ例外ヲ設ケナケレバナラヌノデゴザイマスノデ、其ノ例外ノ範圍程度ニ付キマシテ今日マデ意見ノ一致ヲ見ザル點ガアリマシタノデゴザイマス、併シナガラ順次其ノ意見ノ接近ヲ見マシタノデ、今日ノ豫想ニ於キマシテハ大體是ハ近ク解決セラレルト云フ確信ヲ得タノデゴザイマス、一方國有財産法ヲ外地ニ施行スルニ當リマシテハ考フベキ點ガ二點アルト考ヘラレルノデアリマス、第一點ハ御承知ノ如ク國有

三 南洋廳ノ出港稅ヲ大藏省ニ移管ノ問題ニ就テ

一 男爵松田正之君質疑

○男爵松田正之君 南洋廳ノ出港稅ヲ大藏省ニ移管スルヤウナ話ガアルノデマスガ、其ノ點長官カラ此處デ御説明戴キマスト大變仕合セダト思ヒマス

二 林南洋廳長官答辯

○政府委員(林壽夫君) 只今御尋デアリマシタ南洋廳ノ出港稅ヲ一般會計ニ移シマシテ、之ニ代ヘルニ補充金ヲ以テスルト云フ移管說ノアツタコトガアルノデアリマス、今後モ恐ラクサウ云フ論ガ起ルト存ジマスルガ、此ノ當否ニ付キマシテハ疾ク論ゼラレテ來ツタノデアリマスケレドモ、現ニ昨年南洋群島ヲ觀察サレマシタ貴族院議員ノ觀察團ノ多クノ方々ニ於キマシテモ「是ガ移管ハ當ラズ」ト云フヤウニ仰セラレテ居ルト承知致シテ居リマス、又衆議院ノ觀察團ノ方々ニ於キマシテハ、「特ニ南洋群島開發ニ關スル意見書」ト云フモノヲ發表セラレテ居リマシテ、「出港稅ノ移管ハ當ラズ」ト断ゼザルヲ得ズ」ト申サレテ居リマスバカリデナク「群島開發ノ爲メ、南洋廳收入ヲ以テ不足ノ場合アラバ公債又ハ補充金ヲ以テシテモ其ノ施設ノ急施完備ヲ期セザルベカラザルモノナリト信ズ」ト迄申サレテ居ルノデアリマス、恐ラク衆議院ノ觀察團ノ御意見ハ、南洋群島ノ施設ニハ出港稅ヲ移管スルトコロカ、是ハ止メテ置イテモ尙不足ガアリマスレバ、此ノ上ニモ補充金ヲ支出スルカ、又公債ヲ起シテモ開發ヲセネバナラヌ、南洋群島ノ形カラ致シマシテ

財産法ハ或時ニ於テ現在額ヲ議會ニ報告致シマシテ、其ノ後毎年増減ノ報告ヲ致シマシテ、一定ノ年限ヲ經タ後、現行ニ於テハ五年トナツテ居リマスガ、五年ノ後ニ更ニ其ノ五年間ニ於ケル増減ヲ差引イテ現在額ヲ御報告致シマシテ、サウ云フ事ヲ續ケテ行クト云フ建前ニナツテ居リマスノデ、出來マスナラバ昭和十二年ノ三月三十一日現在ニ於キマシテ、其ノ現在額ノ報告書ヲ國有財産法ノ規定ニ依ツテ致シマスコトニ相成ツテ居リマスカラシテ、其ノ際ニ外地ニ於キマシテ國有財産法ヲ施行シテ、外地國有財産ノ現在額ヲ内地ノ國有財産ノ現在額ニ盛込シ、内シテ、外地國有財産ノ現在額ガ幾許アルカト云フコトヲ御報告スルノ外ヲ通ジテ國有財産ノ現在額ヲ幾許アルカト云フコトヲ御報告スルノガ一番良イ方法デアルト考ヘルノデアリマス、此ノ點カラ申シマスト云フト、昭和十二年度ノ初頭ニ於テ、國有財産法ヲ出來ルナラバ外地ニ施行スルト云フコトガ最も適當デアルト考ヘルノデアリマス、第二ノ問題ハ御承知ノ如ク國有財産法ノ第三十三條ニ「本法ヲ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行スル場合ニ於テ必要アルトキハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云フコトニナツテ居リマス、即チ朝鮮、臺灣又ハ樺太ニ施行スル場合ニ於テ云々トナツテ居リマスガ、豫算、決算等ニ於テモ同様デアル如ク關東州並ニ南洋群島ニ於ケル國有財産ニ關スル規定モ同時ニ之ヲ完備致シマシテ、内地、外地全體ニ付テ國有財産法ヲ施行スルヤウナ運ビニ致シマスノガ最も適切ナル施設ハナイカト考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ二ツノ點ヲ考慮致シマシテ、大體多年ノ問題デアリマシタ此ノ問題モ解決セラレルコトニナリマシタノデ、之ニハ準備ノ經費ト致シマシテハ、本年度ノ追加豫算ニ各外地ニ於テ準備ノ經費ヲ御要求シヨウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、當委員會ニ於キマシテモ、毎年御議論ヲ願ヒマシタ問題デアリマスガ、幸ヒニ今甲上ガマシタヤウニ解決スルコトニナリマシタノデ、此ノ機會ニ於テ御報告甲上ゲルコトハ私共非常ニ喜ビニ存ジテ居ル次第デアリマス

モ、島ノ地理的位置カラ致シマシテモ、此處ニ施ス所ノ總テノ仕事ハ、單ニ南洋群島自體ノ産業施設デハナイ、我が海ノ生命線ニ於ケル施設デアリ、廣義ノ國防上ノ施設デアル、群島ノ産業的施設ハ多クノ分量ニ於テ國防的施設タリ得ルモノデアル、故ニ斯様ナ施設ヲ致シマスル經費ヲ南洋廳自體ノ收入ノミニ委セテ置クベキデナイ、是ハ矢張り一般會計カラモ金ヲ出シテ足ラザル所ハ之ヲ補ヒ、又選レテ居ル所ハ之ヲ促進スルダケノ負擔ヲ國民一般ガ致サナケレバナラヌ、群島ノ事ハ群島ノ少數ノ居住民ダケノ負擔デアルト云フコトハ、我が國防第一線ノ設備ヲ完成スルト云フコトハ餘リ酷イデハナイカ、斯様ニ考ヘテ申サレタト私共ハ推察スルノデアリマス、私共トシテハ同感ニ存スルノデアリマス、私共ハ我が國民ノ海外進展ノ現狀、南洋群島ノ位置ニ鑑ミマシテ、群島自體ノ開發ヲ致シマスルコト云フコトハハ勿論デアリマスルガ、之ヲ根據ト致シマシテ、外南洋方面ニ對シ、邦人ノ經濟的施設ヲ致サナケレバナラヌト云フコトヲ重點ト致シテ居ルノデアリマスルガ、併シ是ガ實行具現ヲ期スル爲ニハ施スベキ幾多ノ事業ガアリマスケレドモ、南洋廳ノ財政ヲ顧ミズヤルト云フコトモ出來マセヌ、南洋廳財政ノ許ス範圍デヤツテ行クト云フ覺悟ヲ以チマシテ、群島一般行政施設ノ外ニ、昭和十一年度以降十年間ニ南洋廳自體ノ收入ヲ以チマシテ、即チ補充金ヲ仰ガズ、公債モ起サズ、自給自足デ各種ノ新事業ヲ致サウトスル計畫ヲ樹ツテ居リマス、此ノ計畫ハ閣議ヲ以テ組織サレマシタ開發調査委員會ノ答申ニ基ク計畫デアリマスルカラ、勿論國策ノ一トシテ政府モ其ノ精神ヲ諒セラレテ居ルノデアリマス、問題ニナリマスル出港稅ハ昭和十一年度ニ於テハ三百六十餘萬圓デアリマス、南洋廳收入ノ約六割強ヲ占メテ居リマス、今年ノ後ニハ四百五十萬圓以上、將來ハ五百五十萬圓以上ニモ上ボル見込デアリマシテ、南洋廳特別會計ノ根幹トモ謂フベキモノデアリマス、群島ノ施設計畫ノ財源ハ主トシテ之ヲ中心ト致シマシテ樹テラレテ居ル

ノデアリマス、之ヲ一般會計ニ移管致シマスル時ハ、今回樹テマシタ計畫デアリマスル開發ノ事業ハ勿論根柢カラ破壊サレマスノハ、論ヲ俟タヌ所デアリマスルノミナラズ、是迄ノ財政計畫モ是ガ爲ニ破レルヤウナ有様デアリマス、且又委任統治地域ニ付キマシテハ御承知ノ通り委任國ハ文明國トシテ未開土民ノ福祉及發達ヲ圖ルベキ神聖ナル使命ヲ附託セラレテ居ルノデアリマスルカラ、委任地域ヲ以テ委任國政府ノ資源トスルヤウナコトハ其ノ使命ニ反スルモノデアルト云フ國際聯盟委員會ノ確定セル見解モアリマスルシ、又南洋廳ノ特別會計ニ對シマシテハ、南洋廳ノ特別會計ハ昭和七年度以降ハ獨立シテ居リマスルカラ、其ノ以前、即チ南洋廳開設ニナリマシタ大正十一年度以降昭和六年迄年々一般會計ヨリ支出シテ居リマシタ補充金ノ總額ハ二千九十九萬餘圓ニ相成ツテ居リマスルガ、此ノ補充金ニ付キマシテ帝國政府ハ是ガ償還ヲ豫想シテ居ナイト云フコトヲ聯盟委員會ニ回答致シテ居ル次第デアリマス、左様ナコトデアリマスルカラ假令出港稅ノ移管ガ嚴格ナル意味ニ於キマシテ南洋廳ノ資源トスルモノデアナイト致シマシテモ、亦補充金ノ償還ニアラズト致シマシテモ、今若シ出港稅ヲ移管致シマシテ是ヨリモ少イ補充金ヲ以テスルヤウナコトガアリマシタナラバ、或ハ國際信義ニ反スルト云フヤウナ非難ヲ蒙ル虞ガナイトモ申サレタト存ジテ居ルノデアリマス、餘程考慮ヲ要スベキモノト存スルノデアリマス、左様ナ考ヲ持ツテ居リマスルノデ、南洋廳當局ト致シマシテハ之ニ反對ノ意見ヲ持ツテ居ル次第デアリマス

四 男爵松田正之君第五分科會ノ經過及結果報告

○男爵松田正之君 拓務省ノ關係デゴザイマスガ、朝鮮總督府ニ關スル

モノ、歳出ニ於キマシテ工率ノ施行ニ當リ、矢張り其ノ措置宜シキヲ得ザルモノデアリマス、是ハ洛東江ノ改修工事ニ當リマシテ、護岸工事ノ施行ヲ俟タズニ、西洛東江ノ支流ヲ締切ツタカ、或ハ本堤防ト鐵道線路トノ取付箇所ニ防水ノ方法ヲ致シマセト云フヤウナコトデ以テ、偶々同年ノ大洪水ニ遭ヒマシテ、其ノ堤防ガ破壊シ流出シタト云フコトハ、即チ工率ガ不完全ダト云フ批難デゴザイマス、政府當局ハ此ノ洪水ハ明治十八年以來ノ、五十年ニナイ大洪水デ、所謂不測ノ災害ヲ蒙ツタモノデ殆ド不可抗力ニ因ルモノデアツタト云フ説明デゴザイマス、分科會ニ於キマシテハ政府ノ辯明ヲ認メマシテ、異議ナシト云フ決議ヲ致シマシタ、次ニ物件購入ニ當リ其ノ措置宜シキヲ得ナイモノデアリマス、鐵道局ニ於キマシテ購入致シマシタ「カウパ」ノ單價ハ、内地鐵道局ノ購入ノ單價ニ比シ非常ニ高イト云フ批難デゴザイマス、政府當局ノ辯明ニ依リマス、本件ハ購入ノ數量及其ノ方法等ガ、内地ノ鐵道局ニ於キマシテ購入スル事情ト大變ニ違ヒマスカラ、購入價格モ割合ニ高クナツテ居ルト云フ、斯ウ云フ辯明デゴザイマス、方ハ違ヒマスケレドモ、運賃、箱代及運送中ニ於ケル破損等ヲ考慮致シマシテモ、餘リニ高過ギルヤウニ感ジラレマスノデ、分科會ト致シマシテハ政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スト云フ決議ヲ致シマシタ、次ニ臺灣總督府ニ關スル件デアリマス、臺灣總督府通信部ノ支出ニ係ル件デゴザイマス、「ケーブル」購入ニ當リマシテ其ノ宜シキヲ得ナイト云フコトデアリマス、通信部ガ古「ケーブル」ヲ指名競争入札ニ依リマシテ淺沼某ニ交付シ、新シイ「ケーブル」ニ改造セシメルト云フコトデアリマシテ此ノ件ハ政府ハ新シイ「ケーブル」ノ値段ハ非常ニ高價ニ見積リマシテ、コチラヘ交付シマシタ古イ「ケーブル」ヲ非常ニ安ク見積ツタト云フノガ會計檢査院ノ批難デゴザイマス、政府當局者ハ交付品タル古「ケーブル」ハ解體トカ引取トカ船積等ニ非常ニ不便デアリマスカラ、左程低廉デハナイト云フ辯明デアリマス、併シナガ

ラ同年ノ七月ニ交通局鐵道部デ賣却致シマシタ屑銅等ニ比較致シマス、其ノ評價ガ非常ニ安イヤウニ思ハレマシタノデ、分科會ニ於キマシテハ是亦政府ニ對シ將來ノ注意ヲ促スベキモノト決議致シタノデゴザイマス、次ニ交通局鐵道部支出ニ係ル件デゴザイマス、物品購入即チ材木ヲ購入スルニ當リマシテ其ノ宜シキヲ得ナイト云フコトデアリマス、昭和九年ノ五月天龍木材會社カラ購入致シマシタ檜材ハ、營林署ノ拂下材デアルノデアリマス、ソレヲ臺灣材友會カラ購入致シマシテ、其ノ鐵道部トノ間ニ會社ガ介在シテ居ツタコトニナツテ居リマス、ソレ故營林署カラ直接購入致シマシタヨリモ大變ニ値段ガ高クナツタ、即チ國庫ニ損失ヲ及ボシタノデアラウト云フ會計檢査院ノ批難デゴザイマス、此ノ點ハ、誠ニ會計檢査院ノ批難ノ通りノヤウニ思ハレマス、併シナガラ政府ハ營林署材ノ官公署直接供給ニ當リマシテハ、其ノ營林署ノ事業經營ニ支障ナキ將來ハ考慮スルト云フ言明ヲ得マシタカラシテ、今回ハ特ニ政府ニ對シ將來注意ヲ促スモノト云フ決議ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、次ハ既往年度分デゴザイマス、既往年度分ハ先ヅ第一ニ朝鮮ノ用品費ノ中ニ鐵線購入ニ當リマシテ其ノ宜シキヲ得ナイト云フモノガゴザイマス、本件ニ關シマスル會計檢査院ノ批難ハ、他ニ安ク見積レル鐵線アルニ拘リマセズ、指定納期ニ間ニ合ハナイト申シテ之ヲ排シマシテ、他カラ高價ナル鐵線ヲ購入シ、而モ實際ハ急ニ必要ガアツタヤウナ狀態デハナカツタト云フデアリマス、之ニ對シマスル政府ノ辯明ハ、防空演習又ハ人事配置替等ノ事情ガアツテ已ムナク購入物品ノ使用ヲ、漸次遅ラシタト云フ辯明デアリマス、併シ防空演習ト云ヒ、又人事配置替ト申シマシテモ、共ニ豫期シ得ル事情デアリマスカラ、年度初メニ鐵線ノ全部ヲ急ニ購入スル要ハナイヤウニ思ハレマス、殊ニ僅カ一箇月半ノ納期ヲ短縮シマシテ、高イ物品ヲ購入スル必要ハ更ニナイヤウニ思ハレマ

スノデ、分科會ニ於キマシテハ、本件ハ政府ニ對シ、將來ノ注意ヲ促スベキモノト決議ヲ致シタ次第アリマス、...

五 山岡萬之助君決算小委員會ノ經過及結果報告

○山岡萬之助君 第一ガ臺灣總督ノ問題デアリマシテ、高雄州ノ徵收ニ係ル官有財産ニ關スル件、臺北州ノ徵收ニ係リマス...

ニ移出シタノデアリマス、其ノ次ノハ材積ノ調査ガ杜撰デアツタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、...

請願委員會及分科會

○副主査(子爵大岡忠綱君) 樺太ニ於ケル森林行政及國有林管理ノ件

一 樺太ニ於ケル森林行政及國有林管理ノ件

公爵岩倉具榮君趣旨辯明

○公爵岩倉具榮君 請願ノ趣旨ヲ申上ゲマス、北海道ノ森林ハ面積六百四十二萬餘ヘクタール...

請願委員會及分科會

樺太ニ於ケル森林行政及國有林管理ノ件

保安水源、涵養上ニ至大ノ影響ヲ及ボスノミナラズ、本邦ニ於ケル木材其ノ他林産物ノ需給統制上極メテ重要ナル關係ヲ有シマス...

ノ途ヲ講ズルニ波々タル國際經濟ノ情勢ニ徴シ、此ノ際國內ノ林政機構ヲ統一シ森林ノ整備・充實ト木材供給ノ全面的統制ヲ圖ルコトガ刻下ノ喫緊ノ要務ナリ、是方同道森林行政ト國有林管理ヲ農林省ニ移スベキ理由ノ第二トシテ居リマス、政府ニ於テハ刻下ノ非常時局ニ鑑ミ庶政一新ヲ期シ行政機構ノ改革ヲ斷行スルノ意圖アリ願ハクハ、産業國策ノ遂行上、先ヅ府縣及北海道ニ於ケル林政統一ヲ實行シ、林業ノ發展ヲ圖ルト共ニ木材其ノ他林産物ノ供給統制ヲ完ウセラレルヤウニト云フノガ本請願ノ趣旨デゴザイマス、次ニ樺太ニ於ケル森林行政及國有林ノ管理ニ關スル件ニ付テノ請願ハ今申上ゲマシタト同様ノ趣旨デゴザイマス、何卒政府委員ノ御説明ヲ御願ヒ致シマス

一 林拓務參與官説明

○政府委員(林路一君) 樺太ニ於ケル森林行政及國有林管理ニ關スル請願ニ對シテ、拓務省トシテノ意見ヲ申上ゲタイト存ジマス、大體只今内務省政府委員ノ述ベラレマシタ點ト共通ナ點ガ多クイデアリマスルガ、特ニ樺太ノ特殊事情ニ於キマシテ意見ヲ申述ベタイト存ジマス、樺太ニ於キマシテハ、其森林ハ森林國有林バカリデアリマスルカラ、森林法ヲ其ノ儘適用シ得ル場合ハ甚ダ少クナイノデゴザイマス、森林法中樺太ニモ適用シ得ルモノハ勅令ヲ以テ、樺太ニ於テ現ニ施行シテ居ルノデゴザイマス、尙樺太ノ森林行政及國有林ノ管理ヲ農林省ニ移管スルコトニ付キマシテハ、次ニ申上ゲマズルヤウナ事情ニ依リマシテ、政府トシテハ同意致シ兼ネル次第デアリマス、即チ現在樺太ニ於ケル國有林ノ面積ハ二百九十萬餘ヘクタール其蓄積量六億三千餘萬石デアリマス、内利用可能材積ハ略々五億三千萬石デアリマス、然ルニ御説明ニアリマシタ通りニ、從來ハ拓殖財源ヲ得マズル爲ニ、森林ノ力ニ相當シナイ伐採及山火蟲害等ノ爲ニ、著シク材積ヲ減少シタノデアリマス、斯様ナ伐採方法ハ樺太ノ開

發ラ根本的ニ破壞スルノミナラズ、延イテ内地山村ヲ壓迫致シマシテ、木材市場ヲ亂スト云フコトハ免レマセムカラ、昭和七年森林行政各般ニ互リ、一大刷新ヲ加ヘタノデアリマス、之ニ依ツテ林力ノ永久保護ノ途ヲ講ジ次第デアリマス、即チ林力ノ現況ニ鑑ミマシテ、年期賣拂制度ヲ斷然改メマシテ、新規ノ年期契約拂下ノ方法ヲ全廢致シマシテ、今後ハ林政改革前ニ締結シテヤル、契約ノ引渡及島内需要ニ應ジマスル爲ノ伐採ニ止マスト共ニ、材木賣拂調査方法ノ根本的改善ト、林地區分ノ調査ヲ進メマシテ、航空撮影其ノ他ニ依リマシテ、蓄積ヲ明カニシタノデアリマス、之ニ依リマシテ森林施業計畫ヲ確立致シマシテ、將來ノ年代量ヲ定メマスル等、今日ニ於キマシテハ營林上始下間然スル所ナキ迄ニナツテ居ルノデゴザイマス、由來樺太ノ森林ハ獨リ樺太廳ノ財政上最重要ナル財源デアアルバカリデナク、殆ド各種産業並ニ地方經濟ノ根柢トナツテ居ルノデアリマス、換言スレバ樺太拓殖ノ根柢ヲ成シテ居ルト云フモ過言デナイノデゴザイマス、從ツテ樺太廳ハ森林ノ利用ヲ致シマスルニモ、常ニ各般ノ影響ヲ考慮致シマシテ、是ト調整ヲ圖リマシテ、以テ綜合行政ノ實ヲ舉グルコトニ努力シツツアルノデゴザイマス、例ヘバ島内ニ於テノ製紙、人絹工場ハ合計九ツアリマスガ、此ノ工場ニ依リマシテ、直接間接生活シテ居ル者八十餘萬人ニ達シテ居ルノデアリマス、從ツテ工場ノ盛衰消長ハ、直チニ其ノ工場ノアリマスル町村ニ甚大ナル影響ヲ及ボシマスノデ、樺太廳ハ各工場ニ供給致シマスル木材ノ伐採地並ニ其ノ數量モ指定致シテ居ルノデゴザイマス、其ノ他鑛業、漁業ニ致シマシテモ、或ハ移植民地ノ開拓ニ致シマシテモ、殆ド森林ト不可分ノ關係ニアルノデゴザイマス、昭和九年ニ立テマシタ所ノ樺太拓殖十五箇年ノ計畫モ、森林行政ガ其ノ基本ヲ爲シテ居ルノデゴザイマス、尙山火警防ニ付テ一言致シマスルガ、現在樺太廳ハ林務警察署ハ勿論、各町村ヲ總動員致シマシテ、各地ニ火防組合ヲ設ケテアリマス、火防電話ノ

弊ヲ圖ツテ居リマス、官民一致森林保護ニ非常ナ努力ハ致シテ居ルノデゴザイマス、元來、樺太ノヤウナ、廣大ナル面積ノ山林ヲ有シテ居リマシテ、而モ人口ガ稀薄デアツテ、氣候モ乾燥甚ダシキ處ニアリマシテハ、山火警防ト云フコトハ全島民ヲ總動員致シマシテモ、尙不足ヲ感ズル状態デアアルデアリマス、從來大山火ノ多カツタノハ、森林行政ハ獨リ林務署ノ所管デアルト云フ觀念ニ基ク所ガ頗ル多カツタノデゴザイマスガ、此ノ點カラスルモ、之ヲ農林省ニ移管スルコト云フガ如キコトハ決シテ策ノ得タルモノデハナイト思料セラレルノデゴザイマス、要スルニ本請願ニ對シマシテハ、政府トシテハ御同意致シ兼ネル次第デアリマスガ、詳細ノ事情ニ付キマシテハ、此處ニ樺太長官モ御列席ニナツテ居リマスカラ、長官ヨリ御質問ニ應ジマシテ、御答ヲ致スコトニ致シタイト存ジマス

二 三井清一郎君質疑

○三井清一郎君 北海道ノ件ニ付テハ内務當局ヨリ、樺太ニ關シテハ拓務省當局ヨリ、詳細ナル御説明ガアツテ、大體ハ其ノ要旨ヲ了得致シマシタガ、拓殖上農林省ニ移管スルト云フコトハ、同意ガ出來ナイト云フコトハ、或ハ綜合行政ノ利益ノ上カラ困難カモ知レヌトハ考ヘマスルガ……森林ノ此ノ永久性ヲ持タシテ森林ヲ保護シテ行クト云フコトハ誠ニ國策上重大ナコトト考ヘル……一ツ樺太長官カラ、以前ノ將ニ永久性ヲ失ハムトシタ濫伐時代カラ、今度改良セラレテ、將來是ガドレダケノ效果ヲ擧ゲ得ルト云フ豫測ガ付イテ居ルナラ一應御説明ヲ願ヒマス

四 今村樺太廳長官答辯

○政府委員(今村武志君) 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答ヘ致シマス、御話ノ通り樺太ノ森林ハ大體ニ於キマシテトド松、エゾ松森林デアリマ

樺太ニ於ケル森林行政及國有林管理ノ件

ス、從ツテ「バルブ」ノ生産資源ト致シマシテハ最も重要ナル役目ヲ持ツテ居ルノデアリマス、現在ニ於キマシテモ我領土内ニ生産致シマスル製紙「バルブ」ノ原料ノ約六割乃至七割ガ樺太ノ森林デアリマス、又現ニ樺太ニ製紙工場ガ八ツゴザイマス、此ノ八ツノ工場ニ生産サレマス製紙「バルブ」ハ、約日本内ニ生産スル「バルブ」ノ五割ト申サレテ居リマス、デソレガ重要ナル森林デアリマスルノデ、昭和七年ニ林政改革ヲ致シマシテ、此ノ伐採ノ合理化並ニ山火ノ防止及跡地ノ植林ト云フコトニ對シテ大體ノ計畫ヲ樹テテ實行致シツツアルノデアリマス、樺太ノ總材石ハ、領有當初ニ於キマシテハ十七億乃至二十億石ト申サレテ居リマシタガ、現在ニ於キマシテハ昭和九年ノ調査ニ依リマシテ大體針葉樹六億三千餘萬石デアルト云フコトニナツテ居リマス、デ是ハ昭和五年六年並ニ昭和八年九年ニ互リマシテ飛行機ニ依ツテ斜寫眞ヲ林相ヲ撮影致シタノデアリマス、此ノ撮影ニ基イテ、更ニ現地ニ就キマシテ調査ヲ致シマシタ結果得マシタ數字デアリマスルノデ、大體ニ於テ此ノ數量ガ先ヅ動カシ得ナイ確實ナ數量ト存ジテ居リマス、此ノ六億三千餘萬石ノ中デ、峯地デアリマストカ、或ハ國際河川ノ上流デアルトカ云フ關係上、利用シ得マセヌノガ約四千餘萬石アルノデアリマス、又將來ノ火防ノ關係上殘サナケレバナラヌ所ノ火防地帯ト申シテ居リマスガ、其處ニ四千餘萬石、九千餘萬石バカリハ先ヅ利用ガ當分出來マセヌノデ、結局五億三千餘萬石内外ト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、デ此ノ五億三千餘萬石ニ對シテ本年度終了致ス積リデアリマスルガ施業案ヲ編成致シテ居リマス、此ノ施業案ニ基イテ將來伐採致シテ行キタイ、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リマス然ルニ只今引渡ヲ致シテ居リマスル材木ハ、昭和七年即チ林政改革前ニ契約致シマシタ其ノ契約ノ履行デアリマスルノデ、是ハドウシテモ引渡ラシナケレバナラヌノデアリマス、又島内ニ於キマスル枕木用材デアアルトカ、或ハ漁業用材デアアルトカ、其ノ他建築用材ト云フヤウナモノガア

リマスルノデ、旁々是等ヲ引渡シマスルノガ一年二千三四百萬石ニ達スルト思ハレマス、デアリマスルガ此ノ個人ノ年期拂ノ契約ハ昭和十五年デ終了致シマス、勿論一二年ハ延ビルカト存ジマスルガ、大體十五年デ終了致シマス、製紙會社ニ對スル年期ノ契約ハ昭和二十二年ニ終了致シマス、ソレカラ人相會社ニ對スル契約ハ昭和二十八年ニ終了致シマス、尙其ノ外ニ製紙會社ガ島外ノ製紙用材トシテ引渡契約ヲ致シテ居リマス、數量ガ千三百萬石バカリアリマスノデ、是ハチヨウト年數ハ忘レマシタガ今後六七年繼續致スト思ヒマス、是等ノモノガ全部無クナリマスルト今度ハ樺太廳ノ施業案ニ依ツテ年伐量ヲ確實ニ致シ得ルト云フコトニ相成ルノデアリマス、デ私共ガ林政改革ヲ致シマスル時ニ、最モ力ヲ入レマシタノハ從來兎角ノ批評ヲ受ケ、又濫伐ノ因ヲ爲シマシタノハ、此ノ個人ノ年期契約デアリマス、デ此ノ個人ノ年期契約ハ林政改革ニ於テハ一件モ致サヌノデアリマスノデ、將來モハ絕對ニ禁止スル意思ヲ以テ先刻御説明申上ゲマシタ通り、此ノ年期制度ヲ全廢致シタノデアリマス、又從來ハ拂下值段ヲ大體ニ於テ數年間据置イタノデアリマス、所ガ内地ニ於ケル木材市場ガ變化致シ、殊ニ下落ヲ致シマス、ドウシテモ造林業者ノ方デ伐リ込ム、詰リ濫伐スル、過伐スル、或ハ區域外ヲ伐ルト云フ弊害ガアリマシタノデ、今日ニ於テハ拂下價格ハ、年々市場單價ヲ標準ト致シマシテ、是ヨリ所定ノ生産費ヲ控除致シテ拂下值段ヲ極メテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ結果、只今ノ所デハ此ノ林政ヲ施行スル上ニ於キマシテ大ナル支障ガナク、從來ノ如キ弊風モ起ラズ進行致シテ居リマスルガ、併シナガラ現在ノ五億餘萬石ノ材積ハ如何ニモ少イノデアリマス、現在製紙工場ニ原木トシテ一年間ニ拂下ヲ致シマスノハ七百七十八萬石、入組工場ニ五百五十萬石、合計九百二十三萬石ノ木ヲ出シテ居リマス、又島内ノ需要トシテハ二百萬石乃至三百萬石ト云フコトニ相成リマス、從ツテ計一千百萬石乃至二百萬石ト云フ木ガ必要ナノデアリマス

デアリマスルガ、之ヲ專門家カラ約算シテ見マスルト、ドウシテモ總材積十一億石内外ナケレバ此ノ千二百萬石ヲ引渡スト云フコトガ不可能ナ状態ニナツテ居ルノデアリマス、斯クノ如キ狀況デアリマスルノデ、私共ト致シマシテハ、出來得ルダケ伐採ト云フモノヲ合理化シテ、取締ヲ嚴シシ、一方最モ森林行政ノ恐ルベキ山火ト云フモノヲ絶滅スルト云フ苦心ノ下ニ目下施行シツツアルノデアリマス、尙伐採ノ方法等ニ付キマシテハ、私ハ素人デアリマスルノデ、餘リ詳シイコトハ存ジマセヌガ大體ノ伐採方針ヲ申上ゲマス、此ノ五億三千萬石ノ中ニ將來殖民地トシテ開放スベキ場所ニアリマス立木ノ總材積ガ約六千萬石程アリマス、此ノ六千萬石程ハ所謂農民ヲ收容スル場所デアリマスルカラ、之ヲ一定計畫ノ下ニ皆伐致シテ居リマス、年ニ六百萬石乃至七百萬石位ノ皆伐ヲスルコトガ出來マス、残りノ固定國有林トシテ將來疎林トベキ場所ニ付キマシテハ之ヲ二ツニ見テ居リマス、一ツハ枯損木、大分老齡木ガ多イノデ枯損木ガ毎年相當出テ参リマス、枯損木トカ或ハ蟲害木トカ云フモノノ多イ場所ハ、是ハ皆伐ノ方針ヲ執ツテ居リマス、他ノ部分ニ付キマシテハ其ノ林相並ニ成長率ニ應ジマシテ、三十年間隔ト三十三「パーセント」ツツノ採木ヲ致シ、詰リ九十年目毎ニ戻ツテ來ルト云フ、斯ウ云フ方針ノ下ニ致シテ居リマス、又多少林相ガ悪ク三十三「パーセント」ノ採伐ヲ許サヌヤウナ場所ハ三十二「パーセント」ノ採伐ヲ致シテ、サウシテ是ハ相當年數ノ後ニ原狀ニ戻ル、斯ウ云フ方針ノ下ニ今日ハ伐採ヲ進メテ居ルヤウナ現狀デアリマス、尙先刻モ申シマシタ通り、樺太ノ森林ハ全部國有デアリマスガ、木ガ全部國有林デアリマス云フコトハ愛林思想ノ點カラ見マシテモ、亦山火防止ト云フ點カラ見マシテモ、如何ニモ不自然ナ點ガアリマスノデ、昨年勅令ニ依ツテ將來ハ民有林ノ助成トシテ土地ヲ貸下ゲル、サウシテ一定ノ條件ノ下ニ成功スレバ之ヲ無償デ讓渡スルト云フ勅令ガ發布セラレマシテ、之ニ依ツテ個人ノ造林、公有林

或ハ重要工業、例ハ製紙業、石炭業ト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス者ニ對シテ相當造林ヲ獎勵シテ、政府ノ足ラザル所ヲ補ツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ進行シテ居リマス

五 子爵片桐貞央君質疑

○子爵片桐貞央君 …… 樺太ハ尙更拓殖計畫上森林收入ハ大體才決マリニナツテ居ルノデヤナイカト思ツテ居リマス、森林收入ノ額ガ凡ソオ分リニナルナラバ伺ヒタイ、樺太ノ方ノ財源ハ森林收入ガ主ナ財源デアアルガ、其ノ財源ノ額モ伺ヒタイと思ヒマス

六 今村樺太廳長官答辯

○政府委員(今村武志君) 只今御尋ネノ第一問ノ樺太ヲ内務省ニ移管シ同時ニ森林行政ヲ農林省ニ移スト云フコトガ以前決定サレテアツタト云フコトヲ私モ前ニ耳ニ致シテ居リマスケレドモ、甚ダ申兼ネル次第デスガ其ノ當時一向サウ云フコトニ關係シテ居リマセヌノデ詳シイコトハ存ジマセヌ、今回昭和七年ニ林政改革致シマシタノハ其ノ問題トハ何等關係ハナカツタノデアリマス、唯昭和六年ノ冬ノ議會デゴザイマシタラウカ衆議院ノ方ニ於キマシテモ、樺太カラ無制限ニ木ガ出テ來ルト云フコトハ内地ノ山村ヲ非常ニ壓迫スル、又木材市場ヲ非常ニ混亂サセルデアトカラドウシテモ是ハ何等カノ方法ヲ講ジサケレバナラヌト云フヤウナ御意見ガ隨分強カツタノデス、其ノ當時前長官ニ於キマシテモ大體林政改革ノ方針ヲ研究サレ、又書面ニモ載ツテ居リマス、私ガ引受ケマシタノハ昭和七年ノ七月デアリマス、前長官ノ方針モ篤ト檢討致シ、又其ノ後ニ於ケル研究等モ加味致シマシテ昭和七年ノ十月ニ今回今日ヤツテ居リマス林政改革ノ方針ヲ斷行致シタノデアリマス、御承知ノ通り樺太ハ面積ニ於キマシテモ三萬六千平方「キロメートル」、臺灣ト略々同様ノ面

積ガアリマス、然ルニ北海道カラハ最終端港ノ稚内カラ大泊港ニ約八時間ヲ要スル、丁度函館連絡線ト同ジヤウナ時間ヲ要シテ樺太ニ漸ク行クヤウナ譯デアリマス、又島内ニ於キマシテモ今日ハ三十三萬程ノ人口ヲ保有致シテ居リマスノデ、從ツテドウシテモ何等カ樺太ノ拓殖方針ヲ決メナクチャイカヌダラウト云フ意見ガアリマシテ、又私共ト致シマシテモ最モ必要ト感ジマシテ、昭和七年ニ拓務省内ニ樺太拓殖委員會ト云フモノガ設ケラレマシテ、各方面ノ權威アル方々ノ御意見を綜合サレマシテ、ソレニ依ツテ出來マシタノガ十五箇年計畫ニナツテ居リマス、此ノ十五箇年計畫ノ財源ハ、十五箇年間デ約一億五千萬圓位ノ拓殖費ヲ投ジテ、先ツ第一期ノ産業ノ基礎ヲ樹テヨウ、斯ウ云フコトニナツタノデアリマスガ、其ノ一億五千萬ノ財源ハ、樺太廳デ收入以外ハ公債並ニ補充金ト云フコトニ致シテ居ツタノデアリマスガ、昭和七年ニ林政改革ヲ致シマシテ、樺太ノ木材ノ島外搬出ヲ統制シタノデアリマス、又先刻モ申上ゲマシタ通り新シイ契約ハ致シマセヌノデ、段々内地ニ出ル木ガ減ツテ參リマシタ、之ニ對シテハ、大阪、名古屋、清水、東京地方ノ製業者或ハ木材業者カラシテ、再三再四實ハ林政ヲモウ少シ緩和シテ木ヲ出スヤウニト云フ實ハ要求ヲ毎年受ケテ居ルノデアリマス、デアリマスルガ先刻モ申上ゲマス通り、モウ樺太ト致シマシテハ木ガナイノデアリマスルノデ、幾ラサウ云フ陳情ヲ受ケマシテモ到底出セナイト云フノデ、其ノ方針ヲ一貫シテ參ツタノデアリマス、所ガ畿内ノ方カラ見マスルト、丁度七年ノ上半期ニ於キマシテハ、東京ノ木材市場デハ丸太ガ百石二百四五十圓ト云フ非常ニ安イ値段デアツタノデアリマス、所ガ漸次木ガ出マセヌ關係上、又内地ニ於ケル景氣ガ向上致シマシタ二ツノ關係ガアリマシテ、段々木ガ騰ツテ參リマシタ、昭和八年ノ下期ニ於テハ約八百圓内外ニ相成ツタノデアリマス、サウ云フ關係デ實際ニ於テハ樺太ノ森林收入ガ急激ニ増加致シタノデアリマス、デアリマスガ、豫算面ニ於テハサ

ウ單價ヲ急ニ上ゲルト云フコトモ如何ト思ヒマシテ、豫算面ハ左程ニモ
ナツテ居リマセガ、實收入ハ實ハ數層倍致シタト云フコトニナツテ居
リマス、テ最近昭和七年ノ末ノ拂下單價デアリマスガ、是ハ島内「バル
ブ」ノ原料トシテ拂下ゲマシタ材木ノ單價ガ一石六十錢、總金額デ原木
拂總數量ガ一千五十餘萬石デアリマシテ、其ノ收入ガ六百十五萬七千餘
圓ト云フコトニナツテ居リマス、ソレカラ昭和八年ニ於キマシテハ總數
量ガ一千三百三十餘萬石、此ノ金額ガ五百四十二萬圓ト云フコトニナツテ
居リマス、此ノ時ノ單價ガ四十八錢七厘ト云フ風ニ下ガツテ居リマス、
此ノ下ガリマシタノハ、先刻申上ゲマシタ通り、此ノ六十錢ト云フ單
價ハ實ハ昭和三年ニ決メタ單價ナリトス、サウシテ昭和七年マデ據置イ
テ參リマシタ、所ガ其ノ間ニ於キマシテ、昭和三年ニ單價ヲ決メル時ニ
八百石四百三十四圓致シテ居リマシタ、所ガ昭和七年上期ニハ二百四十
圓ニ下ツテ居リマス、ソレニ拘ラズ六十錢ト云フ單價ヲ以テシマスルト
ドウシテモ伐ル方デ引取ラヌト云フコトニナツテ居リマス、ソコガ
非常ニ弊害ヲ生ズル虞ガアリマス、ソコデ實際ノ單價ニ近イヤウニ直サ
ウト云フノデ昭和八年末ニハ四十八錢七厘ト云フコトニ致シマシタ、昭
和九年ニナリマス、拂下數量ガ千二百四十六萬石、其ノ總金額ガ八百
九十萬圓、單價ハ七十三錢四厘マデ上ツテ參リマシタ、ソレカラ昭和十
年ニ於キマシテハ拂下數量ガ千四百六十萬石、總金額ガ一千二百二十六萬
餘圓、單價ハ七十九錢五厘、ソレカラ昭和十一年、本年度ニ於キマシテ
ハ數量ガ千五百十萬石、金額ガ千四百二十萬圓、單價一圓ト云フコトニ
ナツテ居リマス、先刻三井サンニ御答ヘスル時ニ、成ルベク伐採ヲ合理
的ニ制限スルト云フコトヲ申上ゲマシタガ、只今申上ゲマス通り昭和七
年ヨリ八年ガ多クナリ、九年十年ガ尙多クナリ、十一年ガ千五百萬石ト
云フコトニナリマシタガ、是ハ從來ノ年契約ト云フモノガゴザイマス
ノデ、ドウシテモ其ノ年々ノモノヲ引渡サナケレバナラス、實拂ヲ致シ

マス時ニ、百萬石ヲ十年間ニ賣ルト云フ計畫ヲ致シマシテ、事業計畫ガ
出テ參リマシテ、ソレニ依ツテ毎年十萬石ツツ伐ツテ行クト云フコトニ
ナツテ居リマス、所ガ材木ガ下リマス引取リマセガ、材木ガ段々備カ
ツテ參リマス、手一杯引取ルモノデスカラ、ドウ云フ譯ニモ行キマセ
ノデ、是ハ契約數量ダケ渡スノデアリマス、而シテ此ノ中ニハ新規ノモ
ノハ一ツモ入ツテ居リマセガ、尙全體カラ申上ゲマス、明治四十年カ
ラ昭和十一年マデノ樺太ノ全體ノ歳出ガ二億三千三百萬圓ニナツテ居リ
マス、此ノ中森林收入ガ一億四千百萬圓ト云フコトニナツテ居リマス、
左様御承知ヲ願ヒマス

一 樺太元泊郡知取町ニ區裁判所設置ノ件

一 宮尾舜治君趣旨辯明

樺太元泊郡知取町ニ區裁判所設置ノ件(採決)
○宮尾舜治君 本請願ノ御趣旨ハ、樺太元泊郡知取町ニ區裁判所ヲ速カ
ニ設置願ヒタイト云フ趣旨デアリマス、其ノ理由トスル所ヲ少シ細カニ
申上ゲマス、樺太ノ全面積ハ三萬六千九百九十九方丈、其ノ人口三十
二萬二千四百ト云フデアリマス、而シテ是ガ大體ノ地勢上三ツニ分レ
テ居ルノデアリマス、即チ大泊、豊原方面ガ一ツノ地域、更ニ西海岸ノ
方ノ眞岡、泊居、本斗ガ一ツ及ビ東海岸ニナツテ居リマス、此ノ大泊、
豊原方面ノ面積ハ九千五百九十三方丈、人口十二萬七千九百八十八、西
海岸ノ方ノ本斗、眞岡、泊居方面ハ面積一萬九百五十九方丈、人口十二
萬八千二百二十八人デアリマス、又東海岸ト申シマスノハ元泊、數香兩支
廳管内面積一萬五千五百三十八方丈、人口六萬六千三百六十一人デアリ

マス、人間ハ少イ方面積ハ最モ廣イノデアリマス、現在ノ所ニ於キマシ
テハ豊原町ニ地方裁判所及區裁判所ガアリマス、詰リ豊原及元泊ノ方面
デアリマス、又西海岸ノ方面ニハ眞岡ニ區裁判所ガアリマス、東海岸ノ
狀況ハ全部今日デハ豊原區裁判所ノ管轄ニナツテ居リマス、而シテ往年豊
原及眞岡ニ裁判所ヲ設ケラレタ當時ニ於キマシテハ、東海岸ハ交通ガ最
モ不便デアリマシテ、沿岸百里ニ亘ツテ、僅カニ數香、元泊其ノ他二三
ノ山村ガ點在スルニ過ギナイ位ノモノデアリマシタガ、其ノ後段々拓
殖民ノ進ムニ從ヒマシテ、或ハ定期航路ガ開始ニナリ、又軍用道路ノ開
鑿ガアリ、或ハ鐵道ガ段々豊原方面カラ延ビテ來テ、落合町カラ知取町
ニ、又後ニ知取町カラ新開ノ方ニ進ムデ鐵道ガ開通シタノデアリマス、
又事業方面カラ言ヒマス、大正十四年ニ富士製紙ガ知取ノ製紙工場ヲ
設ケ、又其ノ附屬ノ登帆炭礦會社ノ採炭事業ニ著手シ、又同時ニ色々ノ
造林事業ガ段々起ツテ來マシテ、遂ニ今日ノ發展ヲ見ルニ至リマシタ、
而シテ本請願ニ申シテ居リマス知取町ト云フノハ、丁度東海岸ノ中央
ニ位シマシテ、現在ニ於キマシテハ約二萬ノ人口ヲ包容シテ居リマシテ
物資ノ集散、其ノ他産業經濟上、東海岸ノ中樞ヲ成シテ居ルノデアリマ
ス、然ルニ豊原ニ參リマスノニハ、汽車デ九時間ヲ要シ、如何ナル輕微
ノ訴訟事件デモ其ノ用辨ニハ少クモ三日間ヲ要スル 況ヤソレヨリ北方
ノ數香方面ニナリマス、四五日乃至一週間ヲ要スルト云フ次第デアリ
マス、又冬ニナリマスレバ、風雪ノ害アリ、夏季ニハ風水害等ノ爲メ汽
車ノ不通ハ一箇年ヲ通ジテ五六回乃至十數回ニ及ビマシテ、其ノ日數モ
一回ノ日數、多キハ二箇月ニ達スル場合ガアリマス、殊ニ元泊、數香兩
支廳管内ノ地域ハ樺太全面積ノ半バニモ及ンデ居リマシテ、頗ル廣イ、
其ノ不便不利實ニ名狀スベカラザルモノガアリマス、從ツテ極メテ重大
ナル事件デナイ限りハ、附近ノ警察官吏ニ諭示ヲ願出タリ、又ハ仲介者
ヲ煩ス等姑息ナル手段ヲ以テ解決致シテ居ル次第デアリマシテ、法ノ恩

惠ニ浴スルヲ得ザルハ誠ニ遺憾ノ點デアリマス、斯様ナ次第デゴザイマ
スカラ、本件請願ノ如ク知取町ニ區裁判所ヲ設ケラレタイト云フノガ本
請願ノ趣旨デアリマス

一 秋月司法參與官答辯

○政府委員(子爵秋月種英君) 只今御述ベニナリマシタ所ノ事情ハ當局
ニテ於モ十分承知ヲ致シテ居ルノデゴザイマス、本件ハ昭和二年以來度
々請願又ハ陳情ガアリマシテ、此ノ知取地方ヲ一括シテ、一ツノ區裁判
所ヲ設ケルト云フ必要ハ認メテ居リマシタノデスカレドモ、何分先程モ
申シマシタヤウニ、豫算ガ許シマセヌノデ 今日マデ延ビ延ビニナツテ
居リマスノデアリマス、豫算ノ都合ガ出來マシタナラバ、請願ノ御趣旨
ノヤウナ運ビニ致シタイト思ウテ居ルノデゴザイマス、尙御承知ノ通り
此ノ知取町ノ外ニモ、反對海岸ノ惠須取町カラモ區裁判所ヲ設ケテ與レ
ト云フ陳情其ノ他ガアリマシテ、實ハ競願シタヤウナ工合ニナツテ居ル
ヤウナ状態ニアルノデゴザイマス、能ク慎重考慮致シマシテ、適當ナ處
置ヲ執リタイト思ウテ居リマス

三 海事行政ノ統一ニ關スル件

一 堀啓次郎君趣旨辯明

○堀啓次郎君 此ノ請願ノ要旨ハ内地ト植民地トノ海事行政ヲ統一セラ
レタイ、其ノ理由ト致シマシテ等シク我ガ國ノ國旗ヲ掲ゲタ船舶ノ中、
内地ノ所管ニ屬スルモノ及植民地ノ所管ニ屬スルモノガ受ケル...同ジ
ク船舶デアリナガラ、内地植民地ニ於ケル海事行政ノ手續ガ異ツテ居ル、
從テ沿岸貿易、船舶検査、海技免狀、船員ノ雇傭契約、海難届等ノ公認
及手續、海事審判ヲ異ニシテ居ル 之ガ爲ニ不便ト矛盾ヲ生ジテ至極支

障ヲ被ムルコトガ多イ、特ニ海軍審判デハ内地ト植民地ト兩方ニ跨リ、衝突事件ノ如キハ、其ノ兩方ニ於テ裁決ガ違ツタリスリヤウナコトガアル、サウ云フ場合ニハ甚ダ審判ノ威信ヲモ害スルカラ、矢張りソレモ内地ト同様ニ二審制度トシテ、内地ト植民地トノ連絡統制ヲ希望スル、斯ウ云フ請願デアリマス、當局ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

一 多田遞信參與官答辯

○政府委員(多田滿長君) 御尤ノ事ト存ジマス、船舶ノヤウニ特定地域ニ固定スルノデハナクテ、内外始終移動シテ居リマス特別ノ經濟地域ニ活動ヲ爲スモノヲ對象トシテ居リマス、御話ノ如ク海軍行政ニ在ツテハ其ノ本來ノ性質上カラ重要ナル法令、組織、制度、政策等ニ關シマシテ内外地ヲ成ルベク統一スルコトガ必要デアルト云フコトハ、是ハ多言ヲ要シマセズ、此ノ趣旨ヲ實現スル爲ニ關係各官廳間ニ於キマシテ、多年ニ互ツテ本問題ヲ研究シテ居リマス、遞信省ニ於テハ昨年來之ニ關スル具體案ヲ作りマシテ、關係官廳ト協議中デアリマス、更ニ又關係者ヲ以テ委員會ヲ組織シ、適當ノ方法ニ依ツテ出來得ルダケ速カニ之ガ解決ヲ期シタイ、斯ウ云フ考ノ下ニ現在銳意準備中デアリマス、左様御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

各特別委員會

米穀自治管理法案外二件

委員會

- 一 米穀統制法ノ比率ノ當分ノ内トアルハ期限ハ何時マデカ

松村眞一郎君、永田拓務大臣トノ一問一答

○松村眞一郎君 内地ニ於テハ百分ノ三十五、朝鮮ニ於テハ百分ノ四十三、臺灣ニ於テハ百分ノ二十二ニ統制スルト云フ此ノ率デヤルト云フコトガ法律ノ立前デアツテ、且ツ是ハ當分ノ中行フト云フコトニナツテ居ル、當分ト云フコトハ何時迄ノコトヲ申サレルノデアリマスカ、是ハ拓務大臣ニ伺ヒタイ、當分ト云フコトハ何時迄ノコトヲ考ヘテ居ラレルノカ……六割五分ト云フ職責ヲ全ウセラルル爲ニ於テ、當分ノ中ト云フコトハ凡ソ何時迄ヲ考ヘテ此ノ問題ヲ御取扱ニナルノデアリマスカ

○國務大臣(永田秀次郎君) 統制法ノコトニ付テハ他ノ方カラ申上ゲテ貰フコトニ致シマス、ソレカラ此ノ比率、米穀自治管理法ニ付テスクノ如キ比率ヲ定メテ、ソレヲ當分ノ中行フ、ソレハ何時迄行フカト云フコトハ、只今ノ所マダ何時迄ト云フ期限ハ切ツテ居リマセヌノデ、現在ノヤウナ米穀ノ事情ガ續キマスル限リ當分ノ中之ヲ行フト云フノデ、其ノ期限ヲ今明確ニ申上ゲルコトガ出來兼ネマス次第デアリマス

○松村眞一郎君 何ヲ目標トシテ當分ノ間ト云フコトヲ考ヘテ居ラレル

各特別委員會米穀統制法ノ比率ノ當分ノ内トアルハ期限ハ何時迄カ

カ、モウ少シ具體的ニ御考ガアレバ承リタイト思フデアリマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 當分ノ中ト云フコトニ付テノモウ少シ具體的ニ何カ話ヲシロト云フコトデアリマスガ、是ハ申上ゲモナク内地ノ米穀供給ノ關係ガ眼目ニナツテ、サウシテ外地ニ及ンデ行ツテ居ルノデゴザイマスカラシテ、内地ノ事情ガ此ノ米穀自治管理法ニ必要トシテ此ノ米穀状態ガ……内地ノ米穀状態ガ續ク限リ外地ノ米ヲ管理シマスコトニ於テ「當分ノ中」ト云フコトハ、朝鮮臺灣カラ見テ何時迄ト云フコトヲ私カラ申上ゲルコトハ少シ困難デアルト思ヒマス、矢張り内地ノ實情ニ即シテ、内地ニ於テ米穀自治管理法ヲ必要ト認メラレル間ハ、外地モ之ト相應ジテ進ンデ行クト云フコトヲ申上ゲルヨリ外政方ガナイト思ツテ居リマス

一 各外地過剩米ヲ倉庫ニ保管スル理由

理由

一 松村眞一郎君質疑

○松村眞一郎君 私ハ朝鮮ニ於テノ過剩米ヲ倉庫ニ入レテ保管セラレル理由ガ分ラナクナツテ來タノデアリマス、朝鮮ニ於テ六割五分ト云フモノヲ、臺灣ニ於テ……ソレヲ倉庫ニ入レテ保管サレルト云フノハドウ云フ譯ナンデスカ……先程申ス如ク朝鮮、臺灣ニ於テ内地ノ如ク米穀統制ニ關スル何カ米穀政策ヲ樹テルノデアアル、生産統制デモ是カラヤルノデアルト云フ問題ガアツテ、初メテ倉庫ニ入レルト云フコトニ問題ガ移ルカト思ヒマスガ、其ノ點ニ付テ拓務大臣ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ、伺ヒタイト思ヒマス

一 永田拓務大臣答辯

各外地過剩米ヲ倉庫ニ保管スル理由

需給推算ヲ行フ結果ノ過剩米トハ……ニ就テ各外地ノ米作狀況並將來ノ計畫ニ就テ

二八二

○國務大臣(永田秀次郎君) 先刻申上ダマシタ中デ、米穀自治管理法ハ内地ノ爲メダト……全然全部内地ノ爲メダト云フ風ニ御聽取リ下サイマシタカモ知レマセムガ、ソレハ全然内地ノ爲メトバカリ考ヘテ居ルノデアリマセム、矢張り朝鮮、臺灣、内地全部ノ爲メデアリマスケレドモ、主トシテ斯ウ云フコトノ問題ノ起ツテ來タノハ内地ノ經濟事情カラ起ツテ來タノデアリマシテ、此ノ米穀自治管理法ハ矢張り内地、朝鮮、臺灣全部ヲ一轄ノ目カラ見テ、サウシテ毎年出來ル米ノ過剩米ト云フモノヲ考ヘテ、サウシテ其ノ上デ統制ヲ行フト云フデアリマスカラ、全部内地ノ爲メノミト云フ風ニ申上ダタ意味デハゴザイマセム、ソレカラ只今朝鮮デ或ハマア千六七百萬石出來ル、其ノ中八百萬石ヲ内地ニ常ニ持ツテ來ル、其ノ後ハ要ラナイ米デヤナイカト云フ御話デアリマシタガ、要ラナイ米ト云フ御言葉自身ガ何カ色々誤解ヲ起スヤウナ關係ガアリヤセムカト思フノデス、其ノ過剩米トシテ朝鮮ニ於テ統制スル、サウシテ又米ノ必要ガ出來テ來ル時分ニハ又出ス、之ヲ單純ニ要ラナイ米ダカラドウト云フ風ニ單純ニ申スコトハ出來マスマイト思ヒマス、又後ニ要スルヤウニナツテ來ル事情ガアルシ、米穀ノ年々ノ情勢ニ依ツテハソレヲ唯一時過剩米ヲソコニ管理スルト云フダケノコトデアリマシテ、サウ云フ要ラナイト云フコトノ意味ハ私ニモ能ク分リ覺ネルノデアリマス

三 需給推算ヲ行フ結果ノ過剩米ト

ハ……………ニ就テ

一 松村眞一郎君質疑

○松村眞一郎君 米穀管理法上ノ過剩米ト云ツテ現レテ來ルノハ、内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテノ過剩米トアルケレドモ、朝鮮、臺灣ノ過剩米デ

テ、後詳細ノコトハ又政府委員カラ御説明ヲ申上ダセタイト思ヒマス、御承知ノ通り内地ノ米ガ普通ノ狀態ニ於テ一年ニ一千萬石程足リナイ、サウ云フコトノ爲ニ普通ナラバ朝鮮ガ八百萬石、臺灣ニ、三百萬石カラ四百萬石位内地ニ移入サレルヤウニナツテ居リマスガ、サウ云フコトノ結果通常ノ狀態ニ於テハ一年ニ約五百萬石位内地全體ヲ引ツ括メタ所デ生産過剩ノ狀況ヲ呈スルノデアリマス、ソレデ先刻松村君ノ言ハレテ居ツタヤウナ工合ニ、是ハ生産統制ト、サウ法律的ノ文字デナクモ、少クトモ生産ニ對シテ十分ノ考慮ヲ加ヘナケレバ米穀問題ノ根本ガ解決サレナイト云フコトハ我々モ左様ニ感じテ居ル所デアリマス、朝鮮總督府ノ方デモ其ノ趣意ヲ體シマシテ、既ニ以前ニ產米増收計畫ト云フモノヲ樹テテ進ンデ居リマシタガ、今日デハ其ノ產米増收計畫ヲ一切擲ツテシマツタノデアリマス、唯水利組合其ノ他工事ノ進捗中ノモノハソレヲ中止セシメルコトハ出來ナイカラ、サウ云フ風ナノハヤツテ居ルモノモアリマスケレドモ、大體ニ於テ產米ヲ増收セシメルト云ツタヤウナ方針ヲスツカリ放棄シテ、サウシテ出來得ル限リ現在ヨリ米ヲ殖サナイヤウナ態度ヲ執ツテ居リマス、サウシテ朝鮮ニ於テ米ニ代ル代作獎勵ト云フコトヲヤリマシテ、主ニ棉ヲ作ラストカ、其ノ他種々ノ如作物ヲ作ラスト云フ方針ヲ執リ來ツテ居リマス、ソレデ朝鮮ニ於キマシテハ米ノ産額自體カラ見マスルト云フト、最近ノ狀態デハ餘リ殖エテ居リマセムノデ、詰リ三、四年前カラノコトヲ申上ダテ見マスルト、昭和七年ガ千六百萬石、昭和八年ガ千八百萬石、昭和九年ハ千六百七十萬石、昭和十年ガ千七百八十萬石、斯ウ云ツタ風デ昭和八年ガ一番多額ノ産額ニナツテ居リマスガ、要スルニ大シテ米ノ産額ガ殖エテ居ラス、サウ云フ風ニ餘リニ殖サナイヤウナ方針デ朝鮮總督府トシテハヤツテ居ルノデアリマス、臺灣ノ方ハソレガ年々多少殖エテ居リマス、四年程前カラ見マスルト云フト米ノ産額ガ昭和七年ガ八百九十萬石、八年ハ八百三十萬石、九年ハ九百萬

在滿鮮人ノ農業經營ト日滿經濟關係ニ就テ

アル、斯ウ云フコトニナル、今申シマシタ通り明瞭デアル、内地ダケデハ不足デ朝鮮、臺灣ヲ入レルト云フト米穀管理法上デハ過剩ガ生ズル、ト云フコトハ朝鮮、臺灣ガ過剩ダカラ生ズルト云フコトハ當リ前ノ話デアル、是ハ拓務大臣トシテハ御認メニナルト思フガ、ドウデスカ、數字デアリマスカラ御認メニナリマスガ

二 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 大體サウ云フコトニナリマセウト思ヒマス、内地ノ需要ト云フコトヲ切り離シテ考ヘマスルト、過剩米ト云フコトニナラナイ、採用シマシタノハ内地ヲ一ツトシテ見テ居ラヌノデアリマスガ、内地ヲ一ツトシテ朝鮮、臺灣ニ對立シタ内地ト云フモノヲ考ヘテ見ルト、ソシテ御話ノヤウニナルト思ヒマス

四 各外地ノ米作狀況並ニ將來ノ計畫ニ就テ

一 絲原武太郎君質疑

○絲原武太郎君 午前ノ松村委員ノ御質問ニ關聯シマシテ、現在ノ朝鮮總督府並ニ臺灣總督府ニ於キマシテ米作ニ付キマシテノ現在ノ狀況並ニ將來ノ計畫ト申シマスガ、之ノ豫想又總督府トシテノ態度ニ付キマシテ概略其ノ狀況ヲ承リタイト思ヒマス、尙又總督府ガ將來施設ニナリマス方針モ伺ヒタイト思フノデアリマス

二 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 大體ノ方針ニ付キマシテ私ヨリ申上ダマシ

石、十年ハ九百十萬石ト云ツタヤウナ工合ニ、多少ツツ殖エテ來テ居ルヤウナ傾キガアリマスガ、是トモサウ非常ナ殖エ方デハアリマセム、併シ臺灣ニ對シテハ、特ニ產米ガ餘リニ増加スレバ、非常ナ影響ガ大キイモノデアリマスカラ、主ニ是ハ代作ヲ獎勵シテ甘蔗ヲ作ラスト云フコトヲ眼目ニシテ、其ノ外ニ如作物ヲ獎勵シテ居リマスノデ、棉其ノ他ノモノヲ獎勵シテ居ルノデ、既ニ昨年ハ概ニ於テ八十二萬石程ノ代作ヲ強行、獎勵ヲ加ヘテ代作ヲセシメタト云フヤウナ、少シ行過ギタ位ノ政策ヲ執ツテ居リマス、サウ云フ風ニナツテ兩地トモ米ヲ餘リ殖サナイヤウナ方策ヲ採ツテ居ルノデアリマス、之ヲ大觀シテ見マスルト、何シロ内地ハ約一千萬石米ガ不足デアル、サウシテ内地、朝鮮、臺灣ヲ通ジテ、昨年ノ十月一日ノ統計、人口統計デハ四百四十六萬人、毎年殖エルト云フコトニナツテ居リマス、サウ云フヤウナ狀態デ、米ノ需要モ毎年殖エテ行クコトモアリマセウト思ヒマスガ、今ノヤウナ米ノ生産狀態デ、之ヲ餘リ殖サナイ方針ヲ臺灣、朝鮮ニ於テ執ツテ行キマスレバ、ドウニカ大キイ問題ヲ起サナイヤウニ出來得ルノデヤナイカ、サウ云フ際ニソレヲ根本ノ方針トシテ居リマシテ、サウシテ若シ過剩米ガ出タ時分ニハ、米穀自治管理法ニ依ツテ統制シテ行キマスレバ、當分ノ中ハ何トカシテヤツテ行ケルノデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ思ツテ居ルノデアリマス、尙詳細ノコトニ付キマシテハ、御尋ニ依リマシテ政府委員カラ答辯致シマス

五 在滿鮮人ノ農業經營ト日滿經濟關係ニ就テ

一 絲原武太郎君質疑

○絲原武太郎君 現在ノ所デ、朝鮮カラ滿洲ニ移出シテ居リマス米ハ、

二八三

各外地ニ於ケル代作獎勵ニ就テ 本案ニ對スル希望決議

二八四

下云フ程度デゴイマセウカ、又朝鮮カラ農民ガ滿洲ニ移住シテ居リマ
スノハ、下ノ程度迄移民シテ居ル狀況デゴイマスガ、...現狀並ニ將
來ニ付キマシテ朝鮮、滿洲ハ極メテ密接ナル關係ヲ及ボスモノト考ヘラ
レマス

一 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 大略ノコトヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス
朝鮮デハ今度鮮滿拓殖會社ト云フモノヲ拵ヘマシテ、朝鮮ノ南ノ方ガ人
口ガ多イノデアリマスカラ、南ノ方ノ人口ヲ北ニ移シ、又滿洲ノ方ニ行
クヤウナ方策ヲ取ツテ居リマス、朝鮮人デ今滿洲ニ居リマスノハ八十萬
トカ百萬トカ、正確ナ數字ハ朝鮮總督府ノ調べタモノハ八十三萬ト云フ
ヤウナ數字ニナツテ居リマスガ、極ク正確ナコトハ分リマセマスガ、サウ
云フ八十萬カラ、百萬位ノ程度ト考ヘテ居リマス、是等ノモノハ朝鮮人
ハ米ヲ作ルコトヲ好ムノデアリマスカラ、滿洲ニ入りマシテ米ヲ作ル者
モ少カラズアリマス、併シ滿洲ニ於ケル米作ト云フモノハ、未ダ今日ニ
於テハソレ程將來ヲ憂慮スル程ニ多額ニ生産スルモノトハ考ヘテ居リマ
セマス、現在デモ此方カラ團體移民トシテ千八百戸マデ送ツテアリマ
スガ、是等ニ付テ多數ノ内地人ヲ滿洲ニ移民セシメヨウト考ヘテ居リマ
ス、此ノ問題ニ付テモ、能ク問題ニナリマスコトハ、是等ノ人間ガ滿洲
デ矢鱈米ヲ作ツタナラバ却テ滿洲ノ米ガ内地、日本ヘ來ルヤウナコトニ
ナリハセマス云フヤウナ御心配ヲサレル方モアルノデアリマスガ、ソ
レガ自分ノ需要スルダケノモノヲ今デハ作ルノガヤツトデアリマシテ、
其ノ爲ニ内地ナリ、朝鮮ナリガ脅威ヲ受ケルト云フ程ノ狀態ニハ急ニナ
ルモノトハ考ヘテ居リマセマスノデアリマス、併シ此ノ問題モ將來ニ付テ
ハ重大ナル影響ノアルコトデアリマスカラ、十分注意ヲ致サナケレバナ
ラスコトデアリマスガ、現在ノ推測ヲ以テシマス、サウ心配ナ狀態ニ

ハナカク急ニ來ナイモノト考ヘテ居リマス

六 各外地ニ於ケル代作獎勵ニ就テ

一 絲原武太郎君質疑

○絲原武太郎君 先年來朝鮮ノ米作ニ代リマス代作ノコトニ付キマシテ
色々御計畫ニ相成ツテ居ルヤウデゴイマスガ、此ノ方面ノ情況並ニ結
果ハ如何ヤウナ模様デゴイマスガ

二 北島殖産局長答辯

○政府委員(北島謙次郎君) 朝鮮ニ於キマスル米作ノ代リニ何カ外ノ作
物ヲ獎勵シテ、出來ルダケ米ノ收穫ノ減少ヲ圖ツタラドウカト云フ問題
ニ付キマシテハ、色々農事試驗場デ、例ヘバ棉ダトカ、麻ダトカ、蓖麻
トカ、薄荷トカ、煙草、サウ云フモノニ付テ色々方々デ試驗ヲ致シテ居
リマスケレドモ、マダ的確ナ代作獎勵ノ結果トシテ、産米ノ所謂減産ヲ
圖ルト云フヤウナ意味ニ於テノ具體的ノ計畫トシテハ未ダ立テテ居リマ
セ

七 本案ニ對スル希望決議

希望決議

一、政府ハ米穀ノ生産配給消費ニ互リ内地外地ヲ通シ基礎調査ヲ整ヘ
米穀事情ノ變化ニ適應スル米穀政策樹立並運用ニ遺憾ナキヲ期スヘ
シ
二、政府ハ米穀統制ニ關シ各種法制ノ適正ナル運用ニツキ指導監督ヲ
周到ニシ内地、朝鮮、臺灣ノ官廳ノ職務及協力ニ關シテ遺漏ナキヲ
期スヘシ

二、政府ハ米穀統制施設ニ依リ米穀ノ取引及配給ノ機關ニ及ホス影響
ニ關シ適當ナル對策ヲ講スヘシ

重要輸出品取締法案

特別委員會

一 重要輸出品取締法ノ外地施行ニ

關シテ

一 男爵高崎弓彦君質疑

○男爵高崎弓彦君 此ノ重要輸出品取締法案ハ、是ハ臺灣朝鮮ニモ應用
サレルノデアリマスガ、内地ダケデゴイマスガ

二 池田政府委員答辯

○政府委員(池田秀雄君) 是ハ法域ノ關係上内地ダケニ施行致サレマス
ケレドモ、拓務省其ノ他外地當局ト能ク連絡ヲ取リマシテ、外地ニモ或
ハ施行勅令ヲ致シマスガ、或ハ別ニ今ノ所ハ制令律令等ニ例ツテ此ノ取
締ヲ能クヤルト云フヤウナ諒解ハ經テ居リマスノデアリマス

二 外地ノ取締ニ就テ

男爵高崎弓彦君、池田政府委員、寺尾政府

委員トノ一問一答

○男爵高崎弓彦君 サウシマスルト是ガ若シ内地カラ直接外國ヘ行クモ
ノハ此ノ取締法案ヲ取締レルカモ知レマセマスガ、之ヲマアチヨツト例ヲ

重要輸出品取締法ノ外地施行ニ關シテ 外地ノ取締ニ就テ

引イテ見レバ、朝鮮ナンカニ一時出シマシテ、サウシテ朝鮮カラ出スヤ
ウナ場合ガアリマス、折角内地デ以テ止メテ居テモ、悪イ品物ガ朝鮮カ
ラ出テ行クヤウナコトガアル、サウ云フヤウナ時ハドウナルノデアリマ
スカ

○政府委員(池田秀雄君) 此ノ事ニ付キマシテモ、豫メ拓務省其ノ他外
地當局ト協議ヲ經テ置キマシテ、サウ云フコトハセマヤウナコトニ致シ
テ居リマス、ソレデ又此ノ點ニ付キマシテハ、衆議院ハ委員會ニ於テモ、
朝鮮總督府政務總監ガ政府委員トシテ、ソレハ明言致シテ居ル次第デゴ
イマシテ、朝鮮等ニ一時出シテ、ソレヲ海外ニ輸出シテ粗製濫造品ヲ
出スト云フヤウナコトハサセナイヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵高崎弓彦君 ソレハコトカラ出シマスノハ、サウ云フ風ニシテ
御止メニナルコトハ出來ルカモ知レマセマスガ、若シ朝鮮ニ斯ウ云フ製造
スル磁器鐵器ナンカアルノデスケレドモ、大分朝鮮カラ滿洲領ニ行ク磁
器鐵器ナド惡イモノガ出マス、進モ競争ガ出來ナイ、サウ云フ風ニアチ
ラデ以テ作ツテサウシテ向フカラ出シマシタ場合ハドウナルノデアリマ
スカ、矢張り日本品ト云フコトニナレバ困リハシマセマスガ

○政府委員(池田秀雄君) 御尤モ御質問デゴイマスガ、其ノ點ニ
付キマシテハ朝鮮ニ於テモ實ハ此ノ規定ヲ有ツテ居リマシテ、出來ルダ
ケノコトハヤウテ居リマスルケレドモ、此ノ際尙一層從來ヨリ嚴重ニス
ルヤウナ話ヲシテ居ルヤウナ次第デアリマス

○男爵高崎弓彦君 モウ一ツ御尋ネ致シマスガ、サウスルト此重要輸出
品取締法案ノ第十八條ニ書イテアリマスル、ソレニナルノデアリマスガ
○政府委員(寺尾進君) 御答ヲ申上ゲマスガ、重要輸出品取締法ノ第十
八條ノ規定ハ、此ノ輸出ノ目的ヲ以テ重要輸出品ヲ一時外地ニ出シテ、結
局ハソレヲ外國ニ持ツテ行カウト云フ場合ニ對シテハ、勅令ニ依ツテ本
法ノ全部又ハ一部ヲ準用スルコトヲ得ト云フ規定ヲ設ケテアリマスガ、

先程御尋ノヤウニ、先方ニ、例へば半加工品ノ儘テ持ッテ参リマシテ、更ニ向ウデ以テ加工ヲシテ出スト云フヤウナ物ニ付キマシテハ、是ハ外地ノ方テ取締ツテ貰ハナイト、其ノ取締ガ出来マセヌ譯デアリマス、サウ云フ場合ニ付キマシテハ、現ニ電球ナドニ付テハ、拓務省並ニ外地ト相談ノ結果、外地ニ於テソレニ必要ナル検査制度ヲ實行シテ居ル譯デアリマスガ、今後モサウ云フ場合ガ起ツテ來ルコトヲ豫想致シマシテ、其ノ點ニ付テハ拓務省並ニ外地ノ方ト十分協議ヲ致シマシテ、必要ナル場合ニハ、コチラノ方ト協力シテ其ノ取締制度ヲ設ケルト云フコトニナツテ居リマス

三 重要産業ノ統制ニ關スル法律ヲ

外地施行ニ關シテ

森平兵衛君、後藤政府委員トノ一問一答

○森平兵衛君 此ノ第一條ノ末項ニ從來「主務大臣」トアルノヲ「政府」ト御變ヘニナツタ、是ハ先刻商工大臣ノ御説明ニ依レバ、所謂外地、朝鮮、臺灣ヲモ含ムト云フコトデアリマスガ、併シ其ノ時ノ御説明ニ依リマスレバ、含ムガ、矢張り朝鮮、臺灣ト云フヤウナ所ハ其ノ土地ノ事情ニ考慮ヲセンナラヌカラト云フヤウナ、何ダカ斯ウ明白ナル御説明ガナカツタヤウデアリマスガ、サウスルト必ズ重要産業統制法其ノ儘ヲ外地ニ實行セラレルト斯ウ考ヘルコトハ間違デアリマスガ、或ハ他ニ其ノ土地ニ適應スル産業統制法ト云フモノハ、別ニ御制定ニナルデアリマスガ
○政府委員(後藤保清君) 御答ヘ致シマス、其ノ點ヲ私ハツキリ致シタイト思ヒマシテ、斯ウ云フ意味デゴザイマスガ、本法ヲ假ニ朝鮮ニ施行致シマスト法益ヲ朝鮮迄延バスト云フコトデゴザイマス、本法ガ朝鮮ニ

施行サレナケレバ、此ノ「アウトサイダー」ガ縛ラレマスヤウナコトガ實際ニ行ハレマセヌ、例へば朝鮮ニハ省令ガアリ、臺灣ニハ省令ガアル、同じ趣旨ノコトヲ朝鮮、臺灣テ規定致シマシテモ、サウスルト法益ガ二ツニナリマスルノデ、本法ガ外地ニ適用ニナツタコトニナラナイノデアリマス、ソレデアリマスガ、是非本法ノ統制ヲ必要ト致シマスル建前カラ申シマスルト、本法ガ勅令デ朝鮮ニ施行スルト云フコトガハツキリ致サナケレバ、今申上ゲタコトガ實效ガ擧ラヌカト思ヒマスノデ、其ノ點ヲ申上ゲテ置キマス
○森平兵衛君 サウ致シマスルト、此ノ重要産業法其ノ儘ヲ朝鮮、臺灣ノヤウナ外地ニ適當ナ時期ニ於テ施行スルト、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ思ヒマスガ、……
○政府委員(後藤保清君) 大體其ノ通りデゴザイマスガ、朝鮮ノ實例ヲ申上ゲマス、朝鮮デ「セメント」ナラ「セメント」ヲ重要産業トシテ指定致シマスルトシマシタ場合ニ、本法デ指定シテ居リマスル重要産業ノ範圍デハ、本邦ト朝鮮トハ同じデアリマスガ、朝鮮デハ特有ナ事情カラ、例へば重要産業ノ指定ニ多少本邦ヨリ低イ所ニ限度ヲ置キマスルカ、高イ所ニ設ケマスルカ、其ノ場合ニハ本邦ト共通スルヤウナコトニ付テモ本法ガ適用ニナリマス、例へば因襲ノ關係、其ノ他ノ法規ノ事項ノ建前ハ本邦ト朝鮮ト同じモノニ付テ本法ガ行ク、斯ウ了解致シテ居ルノデアリマス

昭和十一年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別

委員會

付託議案五件

一 一般會計ヘ特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用ニ關シテ

一 男爵松平外與磨君質疑

○男爵松平外與磨君 各特別會計ニ屬スル資金ヲ繰入レ使用スルト云フ法律案デアリマスガ、是ハ現在此ノ資金ヲ各特別會計デ資金トシテ持ツテ居ルノデアリマスガ、或ハ私ハ之ヲ益金ト云フ意味ニ解釋シテ伺ツタノデアリマスガ、所謂特別會計ノ益金ヲ繰替使用スルト云フ意味デ出來テ居ルノデアリマセウカ

二 中島大藏政務次官答辯

○政府委員(中島彌國次君) 特別會計カラ繰替使用ニ依リマシテ一般會計ニ援助ヲ願フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、特別會計ノ方ハ御承知ノ通りニ、比較的豊カデアリマシテ、鐵道ノ方ニ於キマシテハ、益金ハ大體ニ於キマシテ、是ハ改良事業ニ使用サレテ居ルノデアリマシテ、今度鐵道カラ取出シテ來マスル所ノ、繰替使用シテ來ル所ノ金ハ用品勘定ノ内カラ、資金カラ一般會計ヘ繰替ヘテ來ルコトニナツテ居ルノデアリマス、通信事業ニ於キマシテモ、一定ノ資金ヲ持ツテ居リマスノデ、資金ハ御承知ノ通り會計年度ヲ拘束サレズニ、通ジテ數回會計年度ニ互ツテ持ツテ居ルモノデアリマシテ、益金ハ一會計年度毎ニ是ハ計算致シマシテ、其ノ益金ヲ決定スルノデアリマスガ、通信及鐵道會計共ニ、是

一般會計ヘ特別會計ニ屬スル資金ノ繰替使用ニ關シテ 特別會計ヨリ繰入タル資金ハ他日拂戻サル、ヤ

ハ資金カラ繰替ヘ使用スルコトニナリマス、益金トハ全ク別個デアリマス

二 特別會計ヨリ繰入タル資金ハ他

日拂戻サルルヤ

一 岡喜七郎君質疑

○岡喜七郎君 此ノ特別會計ノ先程御話ニナリマシタ資金カラ、一般會計ニ若干ノ何ヲ繰入レラレルノデゴザイマスガ、是ハ他日拂戻ス、特別會計ニ繰入レルト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ一體豫算ノ形式ト致シマシテ、矢張り特別會計カラ繰入ニナリマスル金額ハ、一般會計カラヒマスレバ歳入ニナルノデゴザイマシテ、其ノ歳入ハ即チ特別會計カラ借入レラレルト云フコトニ相成ルノデゴザイマスカラ、チヨツト其ノ整理上、ドウ云フ名義ニ相成ルノデゴザイマスカ承ツテ見タイ

二 中島大藏政務次官答辯

○政府委員(中島彌國次君) 岡サンノ申サレマシタ通りデアリマシテ、一般會計ガ特別會計カラ借入レルコトハデス、サウシテ將來返スト云フ建前デ行ツテ居ルノデアリマス

土地賃貸價格改訂法案特別委員會

別委員會

付託議案 關稅定率法中改正法律案

「シトロネラ油」ノ生産額、關稅率引上ノ影響、輸入數量等ニ就テ

一 「シトロネラ油」ノ生産額、關稅

率引上ノ影響、輸入數量等ニ就テ

一 子爵大河内輝耕君、中島大藏政務次官トノ一問一答

○子爵大河内輝耕君 最初ニ政府ニ對シテ二、三點伺ヒマス、此ノ九五ノ植物性揮發油ト云フノハ、之ハ日本製テ總テヤレルモノノヤウニ御改正ニナツタヤウニ伺ヒマシタガ數量ニ致シマシテ此ノ「シトロネラ油」、或ハ「レモングラス油」ト云フモノハ、數量ニ致シマシテドノ位出來ルモノデアリマセウカ

○政府委員(中島彌國次君) 「シトロネラ」ノ生産額ニ付キマシテ、大河内子爵ヨリ御質問デアリマシタガ、昭和十年ハ是ハ推定デアリマスルガ斤デ申上ゲマスルト云フト、六萬六千斤デアリマス、十年ダケデ宜シウゴザイマスカ

○子爵大河内輝耕君 宜シウゴザイマス、「レモングラス油」ハドウナツテ居リマスカ

○政府委員(中島彌國次君) 最モ矢張り推定デアリマスルガ、昭和十年ニ五千斤デアリマス

○子爵大河内輝耕君 是デ日本ノ需要ヲ總テ充ス譯ニナリマスカ、ソレトモ此ノ關稅ノ結果、モツト増加シテ、ソレデ初メテ充サレルモノデアリマスカ、若シモツト増加スルモノトスレバ、ドノ位ノ程度ニ達セシメラレル御見込ナンドスカ

○政府委員(中島彌國次君) 「シトロネラ油」ノ生産額ニ付キマシテハ、現在、年ニ約底數デ申上ゲマスルト云フト二十遞程度デアリマシテ、ソレ

カラ輸入額ガ約是亦底數ニシマスルト云フト百遞ニナツテ居リマスノデ約五分ノ一程度デアリマスガ「ジャバア」ヨリノ輸入品ハ價格ノ變動ガ著シク、甚ダシクテ、非常ニ低廉ニ輸入サレマスノデ、是ガ爲メ臺灣ニ於ケル此ノ事業ガ非常ニ妨ゲラレマス爲メ、茲ニマア斯業ノ發達ノ爲メ、又臺灣ニ於ケル生産保護ノ爲メ、此ノ稅率ヲ引上ゲルヤウナコトニ致シタヤウナ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 サウ致シマス、此ノ引上ゲタ結果、百二十遞、皆内地デ……内地デヤナイ、臺灣モ無論含シテ譯デスガ、日本デ生産サレルト斯ウ云フコトニナルノデスカ

○政府委員(中島彌國次君) ソレハ現在左様ニナツテ居リマセヌノデアリマスルガ、此ノ關稅率ヲ引上ゲマシテ今後獎勵シテ行キマシタナラバ、臺灣ニ於ケル生産額ト其ノ段別ガ増加シテ參リマシテ、内地ニ於ケル需要ハ十分ニ充スヤウニナルト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、現在ノ所デハマダソレダケノ程度ニハ達シテ居リマセヌ、何セ「ジャバア」品ガ非常ニ安イノデ、向フカラ賣叩イテ來ルノデアリマシテ、是ガ爲ニ臺灣ニ於ケル此ノ面積ガナカノ増加シナイノデアリマシテ、其ノコトヲ考慮致シマシテ、茲ニ關稅率ヲ引上ゲテ徹底的ニ之ヲ保護シ「ジャバア」品ヲ驅逐スルト云フヤウナ考カラヤリマシタノデ、段々ト其ノ目的ヲ達スルヤウニ年々經ルニ從ツテ行クノデアラウト云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 「レモングラス油」ノ只今ノ輸入數量ハドノ位ニナツテ居リマスカ

○政府委員(中島彌國次君) 斤數デ申シマス、昭和十年ニ三萬七千斤ニナツテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 是モ矢張り輸入ハスツカリ拒絶サレル御見込ナンドゴザイマスカ

○政府委員(中島彌國次君) 是モ人造「レモングラス油」ガアルノデアリマシテ、此ノ關稅率ハ引上ゲルニ從ヒマシテ段々ト斯業ハ發達致シマシテ、輸入ヲ杜絶スルコトガ出來ルダラウト考ヘテ居リマス

重要肥料統制法案特別

特員會

一 合成肥料、化學肥料ノ生産量並

ニ内地、朝鮮別ノ數量及内外地

ノ統制ニ就テ

一 男爵岩村一木君質疑

○男爵岩村一木君 又當局デ御調べニナリマシタ合成肥料、化學肥料ノ生産量並ニ是ガ内地、朝鮮別ノ數量ヲ過去三箇年別ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス、……第八ニハ昨年提案ノ法案ニハ主務大臣云々ト云フコトガアリマシタガ、本年ハ政府云々ト云フコトニ改メラレテ居リマス、是ハ本法ニ依ツテ朝鮮臺灣モ適用スル所デアラレタヤウニ考ヘラレマスガ、風聞スル所ニ依ルト拓務省ノ反對デ内地ノミノ適用法トナツタカノヤウニ伺ヒマス、是ガ事實デアツタト致シマシタナラバ、何故ニ拓務省ハ之ニ付テ反對サレタカ、拓務省デハ同法ニハ昨年モ同意シテ居ラレル關係上、朝鮮ニモ臺灣ニモ同法デ是ト同シ意味ノ律令ヲ出スト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスガ、朝鮮ニハ硫酸ヲ造ル會社、燐酸肥料ヲ造ル會社ハ同一會社デ以テ一社シカアリマセヌ、臺灣ニハ是亦一社シカ燐酸

合成肥料、化學肥料ノ生産量並ニ内地、朝鮮別ノ數量及内外地ノ統制ニ就テ

肥料ヲ造ル會社ガアリマセヌノデ、ドウシテ是ガ組合ト云フモノヲ造ルコトガ出來マセウ、若シカ組合ハ造レナクモ本法ヲ直グ其ノ儘、適用ガ出來ルト云フヤウナコトニスルト、斯ウ云フコトニナリマシテモ農林・商工主務省ハ一應拓務省ヲ經ナケレバナラヌ、ドウセサウ云フ風ニスルモノデアリマシタナラバ要ラザル手數ヲ掛ケルコトナシニ、初メカラ一ツノ法律デ朝鮮臺灣ニモ適用サレマシタナラバ簡單デ、單一化セラレヤナイイカト思ハレマス、今審議サレテ居リマス所ノ米穀自治管理法案ニ於テモ内地同様ニ朝鮮臺灣ニ一ツノ法律デ適用出來マス所ノ建前ニナツテ居ル、内地ニモ統制ヲ致シマシテ、臺灣朝鮮ガ稍々緩和サレルヤウナコトガアリマシタナラバ、臺灣朝鮮ニ内地ノ事業家ガ起リ、亂立ノ惧ナシトハ致シマセヌ、又逆ニ臺灣、朝鮮ハ法網ヲ潜ルチ幸ヒト致シマシテ却テ惡イ結果ニナリハシナイイカト思ハレマス、結局今度ハ朝鮮臺灣ニ付テ是ガ統制ヲシナケレバナラナイト云フヤウナ結果ニナリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、ドウ云フ御意嚮ヲ持ツテ居ラレルカ

二 小川商工大臣答辯

○國務大臣(小川郷太郎君) ソレカラ第八ハ主務大臣トシテアルノラ、政府ト改メテ、臺灣・朝鮮等ヲ通ジテ同ジヤウニ之ヲシテ行クノカト云フヤウナ御質問デアリマシタ、寧ロ旨ク行カナイノデヤナイイカト云フヤウナ御意見ヲ以テノ御質問ダト拜承致シマシタ、此ノ法律ハ勿論外地ニハ、結局施行致シマセヌガ、肥料ノ生産又ハ販賣ニ對スル統制ハ、内地外地ヲ通ジテ行ハナケレバ完璧ヲ期シ難イ、ソレデ外地ニ於ケルマシテハ、本法ト同ジ趣旨ノ法制ヲ實施セシメマシテ是ガ運用ニ付キマシテハ、重要事項ニ付キマシテハ、雙方打合せヲ行ヒマシテ、常ニ同一ノ方針ヲ採ルコトニシタイト思ヒマシテ、既ニ外地ノ官廳トモ協議済ミデアリマス、御心配ハナイト御答シテ差支ナイノデアリマス

三 戶田政府委員答辯

○政府委員(戶田保忠君) 此ノ確定等ノ需給推算ヲ致シマス際ニハ、是ハ又別個ノ見地カラ在庫高等ノ支拂別ニ致シマスシ、ソレカラ積極的ニ議會等ヲ御要求ガアツテ發表シタコトハアリマスケレドモ、色々「デリケート」ナ關係ガアリマスケラ、省トシテ積極的ニ之ヲ公表ハ致シマセヌデ、議會ノ御要求ノアツタ時ダケ發表シテ居ルノデ、サウシテソレヲ作リマスノニモ、農林・商工デ別種ノ見地カラ各種ノ材料ヲ基礎ト致シマシテ農林・商工デ打合濟デアリマセヌ場合ニハ發表シタコトモゴザイマセヌ、當業者ノ方ト色々話ヲ致シマス際ニ、兩者ノ意見ガ場合ニ依ツテ多少分レルコトハ無論アリマスケレドモ、兩者デハ肥料要覽ノミカラデハナク、特別ノ考ヲ以テ相談ノ上デヤツテ居リマス點ヲ特ニ申上ゲテ置キマス

二 第十條第二項ニ關シテ

一 男爵岩村一木君質疑

○男爵岩村一木君 本法施行地ト云フモノハ内地デアツテ、施行地域外ト云フモノハ朝鮮臺灣デアル、サウスルト是ハ滿洲化學ノ方ノ御取扱ハドウナツテ居リマセウカ、先程大臣カラノ御話ニ依ツテ、モウ當務者トモ拓務省ノ方トモ全部打合ガ濟ンデ居ルカラシテ、此方ノ法規ハ其ノ儘適用スルト云フコトデアリマスケレドモ、朝鮮臺案、若シクハ臺灣肥料ト云フモノハ、輸出組合ガ出來ルヤウニナレバ加入ノ意思デモ當局ニ漏ラサレテ居ルノデアルカ、其ノ邊ヲ伺ヒタイト思ヒマス

二 小川商工大臣答辯

○國務大臣(小川郷太郎君) 本法施行地域外ト申シマスノハ朝鮮、臺灣、滿洲、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

航路統制法案特別委員會

一 不當競争ト航路統制ニ就テ

八田嘉明君、賴母木遞信大臣、小野政府委員トノ一問一答

○八田嘉明君 此ノ法案ノ第二條ニ特ニ分ケテ、「遠洋區域、近海區域、又ハ勅令ヲ以テ定ムル沿海區域」ト斯ウ三ツニ特ニ分ケテアルノデアリマスガ、只今遠洋區域ニ付テ「ニューヨーク」航路、或ハ南洋航路、南米航路ニ付テ一應ノ御話ガアリマシタノデアリマスガ、沿海區域ニ對シテハドウ云フヤウナ例ガアルノデアリマセウカ、只今御説明ノヤウナ程度デ結構デアリマスガ、沿海區域ノミナラズ、更ニ近海區域ニ付テモ他ニ例ガゴザイマスルナラバ、本案ヲ御提出ニナリマスル必要性カラ見テノ實例等ヲ御差支ナイ程度ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(小野猛君) 沿海區域ニ付キマシテハ、現在ノ所、不當競争ト云フ事實ハ今ノ所ゴザイマセヌガ、之ヲ設ケマシタノハ朝鮮・内地間ガ沿海區域ニナツテ居リマス、所ガ朝鮮・内地間ニ於キマシテハ御承知ノ如ク、朝鮮米ノ輸送ト云フコトデ、始終競争ガ絶エナイ航路デアリマシテ、其ノ他樺太、北海道ノ木材ヲ積ム場合、現在デハ北洋同盟ト云フモノガ出來マシテ、一應茲ニ平和ヲ見テ居ルノデアリマスルガ、此ノ北洋同盟ト申シマスノハ、非常ニ困難ヲ來シタ航路デアリマシテ、ヤツト一昨年頃カラ同盟ヲ作ツテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク沿海、近海等ニ

斷ジテ満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、是ニ付テハ私ハ各種ノ事情ヲ考慮致シマシテ研究ノ上相當ノ施設ヲ致シタイト考ヘテ居リマス

二 北鮮ト裏日本間ノ航路ニ就テ

一 八田嘉明君質疑

○八田嘉明君 先程チヨツト御尋ラ致シマシタ此ノ滿洲ト日本トノ間ノ航路ノコトニ對シマシテ、殊ニ北鮮ト裏日本ノ間ノ航路ノ……海運ノ現狀ニ付キマシテ、一應御説明ヲ煩シタイト思ヒマスガ如何デゴザイマスカ

二 小野政府委員答辯

○政府委員(小野猛君) 北鮮ト裏日本ノ航路ニ付キマシテハ、滿洲事變以來遞信省ニ於キマシテモ非常ニ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、先ヅ御承知ノ如ク敦賀ト北鮮、雄基、清津、羅津等ノ北鮮各港等ニ對シマシテ、現在滿洲丸ト云フ三千噸「クラス」ノ船ヲ配船致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ新潟、北鮮航路、是ニ付キマシテ豫テ問題ガアルノデアリマスガ、是ニハ嘉義丸ト申シマスル二千噸「クラス」ノ船ヲ配船致シテ居ルノデアリマス、前者ニ付キマシテハ政府ハ四萬圓ノ補助金ヲ出シテ居ルノデアリマス、後者ニ對シテハ二萬圓ノ補助金ヲ出シテ居ルノデアリマス、而シテ何レモ日滿聯絡ノ重要ナル幹線デアリマシテ、將來ニ於キマシテハ之ガ充實發展ヲ計ルコトニ私共十分ノ考慮ヲ致シタイト思ヒマス、新潟航路ニ付キマシテハ、從前ハ是ハ新潟縣ノ地方廳ノ命令航路デアツタノデアリマスガ、本年度ヨリ遞信省直轄航路ト致シマシテ將來ノ充實ニ備ヘテ居ルノデアリマス、其ノ外ニ伏木・北鮮ノ航路ガアリマス、レハ富山縣ノ命令航路デアリマシテ、是ハ富山縣カラノ外ニ遞信省ノ方デ

於キマシテ不當競争ノ虞ガ十分アリマスノデ、近海ハ茲ニ書イテ居リマシタガ、沿海ニ付テハ、沿海ノ小サナ所ハモウ問題ニナリマセヌガ、朝鮮、内地、北洋ト云フ沿海ニ付キマシテハ、其ノ將來不當競争ノ虞ガアリマスケラ、勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニ相成ツタノデアリマス

○八田嘉明君 只今ノコトニ關聯シマシテ尙御尋ネ申上ゲタイノデスガ日本海ノ航路ハ、勅令ヲ以テ定ムル沿海區域ノ中ニ御考ヘニナツテ居ルヤウニ今伺ヒマシタガ、サウ致シマス北鮮ノ港灣カラ、北朝鮮ノ港灣カラ裏日本ノ港ニ參リマスル航路ノ如キハ之ニ入ルノデアリマセウカ

○政府委員(小野猛君) 申シ落シマシタガ、朝鮮・内地間ガ沿海ト申シマシタガ、釜山、内地間ガ沿海デアアルノデアリマシテ、新潟・北鮮間、裏日本ト北鮮ノ間ハ當然近海航路デアリマシテ、當然此ノ航路法ノ適用ヲ受ケル、勅令ニ定メズシテ此ノ法ノ直接ノ適用ヲ受ケル航路ニ相成ツテ居ルノデアリマス

○八田嘉明君 私ハ遞信大臣ニ御尋ネ申上ゲタイノデアリマスガ、北鮮ノ港灣カラ裏日本ノ諸港ニ參リマスル航路、海運ノ情勢ガ、今日滿洲ニ於ケル陸上ノ諸交通機關ノ改善、或ハソレニ伴ヒマシテ、諸般ノ産業ノ發展ノ情勢ニ伴ヒマシテ、私共ノ見ル所デハ、北鮮ノ航路カラ日本海ヲ横斷シマシテ裏日本ニ參リマス、此ノ海運ノ情勢ガ甚ダ不十分デアアルヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ、遞信大臣ハ何等カ將來ニ向ツテ之ガ改善ノ方策等ニ付テ御考ガアルノデアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○國務大臣(賴母木桂吉君) 八田サンノ御質問ハ誠ニ將來ノ内地ト滿洲ノ連絡ニ付テ重要ナ點デアリマシテ、羅津ノ築港ノ完成ニ伴ヒ、又滿鐵ノ羅津線ノ竣功ニ伴ヒマシテ、今後ノ朝鮮及滿洲ニ通ズル海運陸送ニ付テハ重大ナ變化ヲ齎シ、又滿洲ト内地トノ經濟關係ニ非常ナ效果ヲ齎シテ參ルノデアリマスガ、此ノ航路ニ付キマシテハ只今ノ海運ノ情勢デハ

四萬圓出シテ居リマス、將來此ノ何レノ航路ヲ幹線トスベキヤト云フコトニ付キマシテハ、是非非常ナ重要ナ問題デアリマシテ、會テ齋藤内閣ノ時ト思ヒマスルガ、交通審議會ト云フモノガ内閣ヲ開カレマシテ、ドレヲ幹線ニスベキカト云フコトヲ審議致シタノデアリマスルガ、結局の確ナル結論ヲ得ズ、兎ニ角滿洲ト日本ノ交通ノ事實ニ即シテ之ヲ極メル外ハナカラウト云フ程度ノ結論ニ相成ツタノデアリマス、私共ノ方ト致シマシテハ、成ルベク良イ早イ船ヲ之ニ向ケタイノデアリマスルガ、マダドウ云フ都合デアリマスルカ、滿洲ノ特産ガ大連ノ方ニ落チル數量ト北鮮ニ落チル數量トニ於テ非常ニ差ガアルノデアリマス、從ヒマシテ交通量ガ所期ノヤウニ増加致シテ行ツテ居ラナイノデアリマス、此ノ點ガ極メテ良キ船ヲ入レテ非常ナ損失ヲ招カセル結果ニ終リマスノデ、甚ダ遺憾デアリマスルガ、實ハ逓信省ノ新鴻、北鮮航路ニ對シマシテ朝鮮總督府デト並行ノ航路ヲ昨年中ヤツテ居タノデアリマス、此ノ航路ノ非常ナ重要性ニ鑑ミマシテ朝鮮ノ方デモ此ノ航路ヲ助長シテヤル價值ガアルト、斯ウ心得テ居ツタノデアリマスルガ、一年間逓信省ノ命令航路ト並行線ヲヤツテ見マシタ所ガ、ドウモ荷物ガ面白クナクテ、朝鮮總督府ニ於テモ本年度カラ其ノ船ヲ廢止致シタヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、斯クノ如クニ船ヲ配船致シテ見マシテモ相當損失ヲ招クト云フノガ新鴻、北鮮航路ノ現狀デアリマス、敦賀航路ニ於キマシテハ新鴻程ノ甚ダシキ情況ニハナツテ居ラヌノデアリマスガ、何レニ致シマシテモ私ノ方デ羅津ノ築港モ完成致シマスレバ、相當數量ノ貨物ガ出ルコトト心得テ居リマス、之ニ對應スルノ計畫ト致シマシテハ十分ニ熱意ヲ以テ考慮致ス積リデアリマス

三 裏日本ニ於ケル逓信省ト朝鮮總督府ノ補助額ニ就テ

一 八田嘉明君質疑

○八田嘉明君 此ノ昭和十一年度ノ豫算ニハ逓信省ノ此ノ方面ノ補助額ハドノ位ニナツテ居リマセウカ、又其ノ以外ノ、例ヘバ朝鮮總督府等ノ補助ハドウナツテ居リマスカ、大體テ結構デアリマス

二 小野政府委員答辯

○政府委員(小野猛君) 今朝鮮總督府ノ方ハチヨツト... 逓信省ノ方ハ敦賀、北鮮ニ四萬圓、ソレカラ新鴻、北鮮ニ二萬圓、ソレカラ伏木、北鮮ニ二萬圓、是ハ地方航路デアリマス、斯ウ云フコトニナツテ居リマス其ノ外ニ地方廳カラモ相當出テ居ルト記憶致シテ居リマス、私ノ方デハ實ハ大藏省ニ致シマシテハ新鴻モ敦賀モ相當増額ヲ要求シタノデアリマスガ、財政ノ都合デ思フ通りニナラナカッタノハ甚ダ遺憾トシテ居リマス

四 監督權ノ統一ニ就テ

一 八田嘉明君質疑

○八田嘉明君 之ニ先キ立チマシテ、例ヘバ關東州其ノ他ノ外地ノ船舶ニ對シテ、或ハ航路ニ對シテ、只今監督權ガ逓信省以外ニアルノデアリマスガ、是等ニ付テ先ヅ改善統一スベキモノガアルンデハナカラウカト考ヘルノデアリマスルガ、其ノ邊ハ如何御考デゴザイマセウカ

二 賴母木逓信大臣答辯

○國務大臣(賴母木桂吉君) 只今ノ御質問ハ重要ナ御質問デ、私ハ八田君ノ御趣旨ニハ全然同意ヲ致シマス、若シモ北鮮航路ニ非常ナ優秀ナ船ヲ以テ只今マデ連絡ヲ取ツテ居リマシテ、清津、羅津、雄基ト連絡シテ居リマスル貨物ナルアノ船舶ニ比較シマシテ、殊ニ今度羅津ノ大施設ニ適應スルヤウナ連絡ヲ取ル爲ニ、非常ナ立派ナ「ハーフ・カーゴ」或ハ「パツセンジャー・ボート」ヲ以テ之ニ充テルト云フ計畫ガアリマスナラバ、私ハ喜ンデ計畫ヲ拜見ヲ致シマシテソレガ非常ニ滿洲ト内地ノ連絡ニ必要ナリト認メマスレバ、私ハ許可スル決心ヲ持ツテ居リマス、私ノ考ヘテ居リマスモノハ此ノ海運業以外ニ滿鮮ノ連絡ヲ飛行機ヲ以テ、優秀ナ飛行機ヲ以テ連絡ヲ取リタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、コチラノ内地ノ方ニ適當ナ飛行場ガ出來マシテ、而シテ滿洲トノ諒解ガ出來マスレバ、裏日本カラ滿洲直通ノ飛行機ヲ、定期航路ヲ開キマス積リデアリマス、決シテ此ノ法案ヲ以テ立派ナ船ヲ以テ何處迄モ滿洲鐵道ノアノ大施設ニ對應スルヤウナモノヲ拵ヘテ連絡ヲ取ルト云フコトナラソレモ喜ンデ歡迎致シマス

五 本法ノ外地施行ニ就テ

橋本辰二郎君、小野政府委員トノ一問一答

○橋本辰二郎君 此ノ法案ハ、外地即チ關東州、朝鮮、其ノ他ノ植民地ニ適用スルモノデアリマスカ、如何デスカ

○政府委員(小野猛君) 此ノ點ニ付キマシテ、拓務省並ニ對滿事務局トモ能ク懇談ヲ致シタノデアリマスガ、外地ニ於キマシテハ、現在幸ヒニ内地ト不常競争ヲヤツテ居ルヤウナ事實ガナイ、今暫ク此ノ法律ノ施行ヲ差控ヘルガ、外地ニ於テ此ノ法律ヲ施行スル意思ハ十分アル、ソコデ實

本法ノ外地施行ニ就テ

左様デアリマス

○橋本辰二郎君 ソレカラ此ノ法律ニ政府トアリマスルノハ誰ガ之ヲ代表スルノデアリマスカ、又行政官廳トアリマスルノハ是ハ誰デアリマスカ

○政府委員(小野猛君) 政府トアリマスルノハ、是ハ内地ニ施行サレタ限度ニ於キマシテハ逓信大臣デアリマス、外地ニ施行サレマシタ場合ニ

ハ外地ノ長官デアリマス、ソレカラ五條、六條ニ行政官廳トアリマスノハ是ハ選信大臣デアリマス、實ハ此處ニモ政府ト云フ文字ヲ用ヒルノガ當然然ルベキデハナカラウカト云フ議論デアリマシタケレドモ届出デテナシタリ、報告ヲナサシムルノニ、政府ニ届出ツベシト云フコトニ書クノハ非常ニ大袈裟デアルト云フノデ、行政官廳ト云フ文字ヲ使ツタノデアリマシテ、實質的ニハ選信大臣ヲ指スノデアリマス

六 希望 決議

- 一、政府ハ本法施行ニ當リ其運用ニ慎重ナル考慮ヲ拂ヒ且貿易ノ伸張海運ノ發展ヲ阻害セザル様留意スベシ
- 一、政府ハ航路補助ノ實績ヲ檢討シ之レガ改善ヲ計リ且不定期遠洋航路ノ獎勵助成策ヲ樹立シ速ニ其實現ヲ期スベシ
- 一、政府ハ内外ノ情勢ニ鑑ミ海事行政ヲ統一シ、併セテ海事金融ノ圓滑ヲ計ルベシ
- 一、第七條ニヨリ本法ヲ準用スルニ當リテハ特ニ其運用ニ注意シ苟クモ國際關係ニ惡影響ヲ及サザルコトヲ期スベシ

大正十三年法律第廿四號 中改正法律案特別委員會

付託議案法案二件承諾案七件

一「イオノーン」ニ就テ

子爵秋元春朝君、加藤政之助君、板谷宮

ノ位出來ル御見込ガアリマスカ

○政府委員(中島彌四郎次君) 輸入ノ數量ハ大體五百七十三斤位ノ程度昭和十年ニ入ツテ居リマス、ソレカラ日本ノ生産ハ一萬七千斤デアリマシテ、輸入ノ數量ハ割合ニ少量デアリマスケレドモ、市價ニ相當ナ影響ヲ受ケテ居リマスノデ、此ノ數量ガ少クテモ市場ニ影響スルコトガ大キイモノデスカラ、波瀾ヲ止メル意味ニ於キマシテ是等ノ物ニ相當稅ヲ掛ケル必要ガアル、今迄無稅ニナツテ居ツタノヲ掛ケルノデアリマス

○加藤政之助君 此ノ稅ヲ掛ケルノデドノ位收入ガ殖エルノデスカ

○政府委員(中島彌四郎次君) 數量ハ極ク僅クゴザイマスガ、大體増加ノ見込ガ三十餘萬圓ト見テ居リマス

○委員長(侯爵池田宣政君) 外ニ御質問ゴザイマセムカ

○板谷宮吉君 是等ノ二ツノ藥品ガ臺灣デ出來ルト云フ御話デアリマシタガ、ソレニ對シテ何カ補助トカ獎勵トカ云フ考ハオアリニナルノデスカ

○政府委員(中島彌四郎次君) 總督ノ方デ此ノ方面ハ獎勵シテ居リマスガ、私記憶シテ居リマセムガ、獎勵金ハ無イサウデアリマス、アリマセムケレドモ中央研究所デ研究シテ獎勵致シマシテ、其ノ結果是ハ關稅ヲ今申上ゲマシタ程度ノ率ヲ引上ゲテ吳レナラバ相當ノ面積ヲ是ガ擴ゲルコトガ出來ルト云フノデヤツテ居リマス、是ハ「シトラネラ」ノコトデスカ「レモンダラス」ノ方ハ英領印度カラ多ク來マスノデ、「シトラネラ」ノ方ハ「ジャバ」カラ來マスガ、片一方ハ小笠原デ出來マス、此ノ兩方面ニ互ツテ獎勵致シマシタナラバ相當ニ發達シテ來ルト思ヒマシテ、今度ノ關稅ノ改正ヲシタ譯デアリマス

臺灣拓殖株式會社法案特別委員會 永田拓務大臣提案理由說明

吉君、中島大藏政務次官トノ一問一答

○子爵秋元春朝君 極ク簡單ナ質問デアリマスガ、私甚ダ淺學デ分リマセムガ、「イオノーン」ト云フノハ是ハ何デアリマスカ

○政府委員(中島彌四郎次君) 「イオノーン」ト云フノハ石鹼ノ原料デアリマシテ、石鹼ノ香ヒノスルモノデアリマス、ソレガ「レモンダラス」ガ原料ニナリマシテ、「イオノーン」ガ製造サレルノデアリマス、其處デ「シトラネラ」「レモンダラス」モ矢張り石鹼ノ原料デアリマスガ、此ノ石鹼ノ原料ニ對シマシテ毎百斤七十二圓、大體二割見當ノ稅ヲカケルコトニナリマシタカラ、從ツテ製品タル「イオノーン」モ掛ケネバイカヌコトニナツテ、之ニ對シマシテモ亦稅ヲ掛ケルコトニナツタノデアリマス、此ノ「レモンダラス」ト云フノハ日本ノ國デハ小笠原島ニ出來ルノデアリマシテ、ソレカラ英領印度カラモ出ルノデアリマシテ、今迄無稅デアリマシタ、小笠原島ノ方ニ此ノ產業ガ發達シテ居リマシテ、之ニ稅金ヲ掛ケマスルト云フト、英領印度カラ來ルノ方段々防止出來マシテ、日本ノ產業ノ獨立ガ出來ルト云フ見地カラ掛ケタシデアリマス、ソレカラ此ノ「シトラネラ」ト云フノモ是ハ矢張り「ジャバ」カラ來マス、是ハ臺灣ニ澤山アル、今栽培面積ヲ増加シツツアリマスガ、「ジャバ」產ガ非常ニ安イノデ、ソレニ壓迫セラレマシテ、臺灣ノ栽培面積ガナカク擴マラナイ、今度之ニ每百斤四十一圓、從價ニ致シマシテ大體三割五分ト云フ限度ノ稅ヲ掛ケル、サウ致シマスルト「ジャバ」ノ品物ヲ驅逐スルコトガ出來マス此ノ「イオノーン」ト云フヤツハ「レモンダラス」ガ原料ニナツテ出來テ居ルノデアリマシテ、石鹼ノ香ヒノスルモノハ全部此ノ「イオノーン」ヲ使ツテ製造シタモノデアリマス、之ニモ矢張り關稅ヲ掛ケル、原料ニ掛ケマスカラ製品ニモ掛ケルト云フコトニナツテ來ルノデアリマス

○子爵秋元春朝君 ドノ位ノ量ガ今迄入ツテ居ツテ、又内地ニ於テハド

臺灣拓殖株式會社法案 特別委員會

一 永田拓務大臣提案理由說明

○國務大臣(永田秀次郎君) ソレデハ臺灣拓殖株式會社法案ニ付キマシテ、私カラ此ノ際本會議ニ申上ゲマシタノニ加ヘマシテ、稍々詳細ニ御説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、臺灣ハ領有以來四十年ヲ經過シマシテ、此ノ文化ノ上ニ於テ、又産業ノ上ニ於テモ往時ト面目ヲ一新スルヤウニナリマシタノデアリマスガ、其ノ臺灣ノ有シテ居ル天惠或ハ資源ト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、今後尙大イニ經營企劃スベキ餘地ガ澤山殘ツテ居ルノデアリマス、殊ニ最近ニ於ケル帝國ノ内外ノ情勢ヲ考ヘテ見マスト云フトドウシテモ一方ニ於テ臺灣島内ノ開發ヲ增進シマス共ニ、又一方ニ於テハ之ニ近接シテ居ル南洋トノ經濟的提携ヲ益々緊密ニスルト云フトガ誠ニ必要ニ迫ラレテ居ルト考ヘラレルノデアリマス、併シ斯ウ云フ事業ハ唯政府當局ノ力ノミヲ以テ遂行スルコトガ困難デアツテ、或場合ニ矢張り官民協力シテ之ニ當ルト云フトガ却テ非常ニ時宜ニ適スルヤウナ場合ガ多イノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ、昨年十月ニ臺灣總督府内ニ於キマシテ熱帶産業調査會ト云フモノガ出來マシテ、ソレニ付議シテ色々ノ研究ヲ致シマシタノデアリマスガ、其ノ熱帶産業調査會ノ答申ノ趣ニ依リマシテ、其ノ中ニドウシテモ官民合同ノ一ツノ有力ナル會社ヲ拵ヘテソレニ活動ヲサスルコトガ宜カラウト云フトガゴザイマス、其ノ結果ニ基キマシテ此處ニ此ノ案ヲ提出シマシタヤウナ次第ゴザイマス此ノ案ノ大綱ニ付テ御説明申上ゲテ見マス、第一ハ資金ヲ三千萬圓ト致シマシテ、サウシテ將來ノ事業ノ發達ニ件ヒマシテ、必要ニ應ジテ之ヲ増加スルコトノ出來ルヤウニ考ヘテ致シテ居

リマス、ソレカラ出資者ニ付キマシテハ本會社ハ政府ト民間トノ共同出資ニ依ルコトニ致シマシテ、三千萬ノ約半額ヲ民間ノ現金出資トシテ、サウシテ第一回ノ拂込ガ四分ノ一、ソレカラ其ノ殘額ノ千五百萬ハ政府カラ官有地ヲ現物出資スルコトニ致シマス、サウシテ會社ノ設立ヲ容易ナラシメテ其ノ基礎ヲ鞏固ナラシメヨウト云フ建前ニナツテ居リマス、政府ガ出資スル約千五百萬圓ト考ヘラレマスル官有地ニ付テハ、之ヲ評價委員會ニ附シマシテ、サウシテ評價委員會ニ依ツテ公正妥當ナル評價ニ依ツテ、其ノ土地ヲ幾ラノ出資ト見ルト云フコトヲ決ルコトニナツテ居リマス、ソレカラ此ノ會社ノ役員ニ付キマシテハ社長、副社長各々一人、理事三人以上、監事二人以上ヲ置クト云フコトニ致シマシテ、其ノ職務權限、任命選任ノ方法、任期ニ付キマシテハ他ノ特殊會社ノ例ニ倣ヒマシテ勅令ヲ以テ然ルベク規定スルト云フ、斯ウ云フ見込ニナツテ居リマス、此ノ役員ノ任命ノコトニ付キマシテハ、衆議院ノ方デ一ツノ修正案ガ出テ居リマス、是ハ衆議院ノ修正案ハ勅令ニ總テ委ネルト云フコトヲ、ハツキリ書イテ置イテ貴ヒタイト云フコトデアリマシテ、衆議院ノ修正デハ此ノ第六條ノ箇條ヲ「社長副社長及理事ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」政府ガ之ヲヤルト云フコトヲハツキリ「主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズ」斯ウ云フ風ニハツキリシタイト云フコトノ修正案ガ出テ居リマス、ソレカラ次ニ本會社ノ事業ハ一面臺灣及南洋、南洋ニ於ケル拓殖事業ノ經營ヲ致シマスルコトト一面ハ拓殖資金ノ供給ヲスルト云フコトニナツテ居リマスガ、更ニ具體的ニ申上ゲマス、臺灣島内デハ土地ノ取得、經營、管理、ソレカラ山林原野、海埔地等ノ開拓ソレカラ棉花、黃麻、苧麻等ノ栽培、ソレカラ移民事業、尙是等事業ニ附帶スル事業サウ云フコトヲ經營致シマシテ、更ニ、南支南洋ノ方面デハ、主トシテ拓殖資金供給ノ方法ニ依リマシテ、邦人ノ拓殖事業ヲ援助シテ發達セシムルコトニ協力スルト云

フ考デゴザイマス、此ノ會社ノ特典ノ第一ハ本會社ハ他ノ特殊銀行會社ノ例ニ倣ヒマシテ、其ノ資本増加ノ際ニハ、増資スル場合ニハ株金ノ全額拂込ガナクテモ増資ガ出來ルト云フノガ會社ノ特典ノ一ツ、ソレカラ第二ニハ本會社ノ事業資金ハ相當多額ヲ必要トスルト豫想セラレマスノデ、株拂込金額ノ三倍ニ至ル迄ハ臺灣拓殖債券ト云フモノヲ發行スルコトガ出來ルト云フヤウニナツテ居リマス、ソレカラ第三ニハ政府ノ出資ニ係ル不動産ノ登記、並ニ臺灣拓殖債券ノ發行登記ニ付キマシテハ、ソレゾレ登録稅ヲ減額スルコトニナツテ居リマス、次ニ會社ノ利益配當ニ付キマシテ、本會社ノ事業ノ採算ハ是ハ當初ナカナカサウ有利ニ、多額ニ配當スルト云フヤウナ工合ニハ參リマスマイト思ヒマスガ、會社ノ設立ヲ經營ヲ容易ナラシメル爲ニ斯ウ云フ次ノヤウナ特典ガゴザイマス、ソレハ本會社ノ民間持株ニ對スル利益配當ガ年六分ノ割合ニ達シナイ時ニハ、ソレ迄ハ政府ノ持株ニ對シテハ、利益ノ配當ヲセナイデモ宜シイト云フコトソレカラ本會社ノ利益金額ガ民間ノ持株ニ對シテ年六分ノ利益配當ヲ行ツテ尙餘リアルト云フヤウナ都合ナ場合ガ參リマスレバ、其ノ超過額ハ民間ノ持株ト政府ノ持株トノ各拂込金額ニ應ジテ、一ト四トノ割合デ配當スル、ソレヲ例ヲ以テ申シマスレバ、民間ノ持株ニ對シテ年七分ノ配當ヲ致シマス時ニハ、政府ノ持株ニ對シテ年四分、ソレカラ民間ノ持株ニ對シテ年八分ノ配當ヲ致シマス時ニハ、超過額ガ二分デアリマスカラ、政府ノ持株ニ對シテモ一ト四トノ割合デ、年八分ノ配當ヲスル、八分以上ハ常ニ政府ト民間ト同率ノ配當ヲスル、斯ウ云フヤウナ規定ニナツテ居ルノデアリマスソレカラ會社ノ監督ニ付キマシテハ、此ノ會社ハ國策代行ノ機關ノ性質ヲ有スルモノデアリマスカラ、從ツテ國カラ色々ノ方面ニ特典ヲ與ヘラレテ居リマスルガ故ニ、政府ノ特別ノ監督ヲ受ケルコトト致シマシタノデアリマス、即チ定款トカ、利益金ノ處分、臺灣拓殖債券ノ發行、ソレカラ合併解散ノ決議等ノ重要事項ハ、

男爵松田正之君、永田拓務大臣、北島殖產局長トノ一問一答

○男爵松田正之君 先ヅ初メニ衆議院修正ノ點ヲ今少シク承リタイト思ヒマス、モウ一ツハ衆議院ノ修正ニ依リマシテ、原案トドウ云フ差異ガ生ジマシタカト云フ、其ノ二點ヲ簡單ニ承リタイト思ヒマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 衆議院ノ修正ノ内容ニ付キマシテ政府委員カラ申上ゲタ方ガ便利ガ宜シウゴザイマスカラ、サウ致シマス

總テ政府ノ認可ヲ受ケルノデナケレバ效力ヲ發生シナイト云フコトニ致シテ居リマス、尙監督ニ關スル細則ハ勅令ヲ以テ之ヲ規定スルコトニ致シテ居リマス、所デ此ノ監督ニ關スルコトニ付キマシテ、衆議院ノ方デ第十條ニ對シテ修正ヲ致シテ居リマスノデ「臺灣拓殖株式會社ノ業務ハ第一次ニ於テ臺灣總督之ヲ監督シ第二次ニ於テ主務大臣之ヲ監督ス」斯ウ云フヤウナ風ニ衆議院ノ方デ修正意見ガ通過シテ居ルノデアリマス、又本會社ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令定款等ニ違反シ、又ハ公益ヲ害スルノ虞ノアリマス時ニハ、其ノ決議ヲ取消シ、又ハ役員ヲ解任スルコトガ出來ルト云フ風ニ致シマスル共ニ、本會社ガ本法若シクハ本法ニ基ク命令又ハ之ニ基ク處分ニ違反スル行爲ガアリマシタ場合ニハ、關係役員ヲ科料ニ處スルト云フ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマス、以上ガ大體本會社設立ノ趣旨並ニ大綱デゴザイマス、尙此ノ衆議院ノ修正ノ箇條ニ付キマシテハ、政府ニ於テモ固ヨリ原案ヲ支持致シマスルガ、斯クノ如ク改正セラレマシテモ、大ナル不都合ノナイモノト考テ居リマスルノデ若シ貴族院ニ於テモ、此ノ衆議院ノ修正ニ御同意ノヤウナ場合ニハ、其ノ通りニナツテモ差支ガナイト、斯ウ云フ考ヘ方ヲ致シテ居リマス、以上ガ臺灣拓殖株式會社法案ニ對スル御説明ヲ申上ゲマシタ次第デアリマス

一 衆議院修正ノ點、原案トノ相異、同社事業ノ輕重、南洋拓殖會社トノ事業上ノ區劃、會社ガ南洋ニ於ケル海運業ヲ營ムヤ等ニ就テ

○政府委員(北島謙次郎君) 衆議院デ修正ニナリマシタ箇所ハ先程大臣カラ御話ノアツタ通りデアリマスガ、尙修正ノ趣旨ヲ今少シク詳シク私カラ御説明申上ゲテ置キタイト思ヒマス、此ノ第六條、役員即チ社長、副社長及理事ハ、原案デハ勅令ヲ以テ其任命選任ノ方法ヲ規定スルト云フノガ、原案ノ趣旨デゴザイマスガ、衆議院ノ方デハ之ヲ勅令ノ定ムル所ニ依ツテ主務大臣ノ認可ヲ經テ、臺灣總督ガ之ヲ命ズル、監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任スルト云フ風ニ修正ニナツタ譯デアリマスガ、此ノ衆議院ニ於ケル修正ノ趣旨ハ、私共諒解致シテ居リマスル所デハ政府ノ元々ノ腹案ト致シマシテモ、本來カラ申シマスト云フト、朝鮮ニシマシテモ、臺灣ニ致シマシテモ、或ル特殊會社ノ業務ガ朝鮮内、或ハ臺灣内ノ範圍ニ限ラレテ居リマスル場合ニ於キマシテハ、例ヘバ朝鮮ノ殖產銀行ダトカ、或ハ臺灣ニ於キマシテハ臺灣電力株式會社、斯ウ云フヤウナ特殊會社ニ付キマシテハ、其ノ業務ガ朝鮮及臺灣内ニ限ラレテ居リマスル關係モアリマスルシ、モウ一ツハ、朝鮮ニ於キマシテハ制令、臺灣ニ於キマシテハ律令デ制定セラレテ居リマスル關係モアリマスノデ、朝鮮總督、臺灣總督ガ全部ノ役員ノ任免權、監督權一切ヲ保有シテ居ルノデアリマス、然ルニ朝鮮又ハ臺灣ニ業務ノ範圍ガ及ンデ居ル特殊銀行、會社、例ヘバ朝鮮銀行、或ハ臺灣銀行、或ハ東拓ト云フヤウナモノニ付キマ

シテハ、從來ノ例カラ申シマス云フト、其ノ役員ノ任免權並ニ會社ノ監督ニ關スル全般的ノ監督ニ付キマシテハ、中央政府ニ於テ一切ノ重要事項ニ付テハ監督權ヲ保有シテ居ルノガ例デアリマス、然ルニ御承知ノ通り臺灣總督ノ地位ハ重大デアリマスノデ、政府ト致シマシテモ、此ノ役員ノ任免權ハ矢張り臺灣總督ニ少クトモ名義ニ於テハヤラシタ方宜イ、併シ臺灣總督ノミニ之ヲヤラセルト云フノモ如何ト存ゼラレマスノデ、政府ト致シマシテハ事前ニ主務大臣ニ内示シテ、臺灣總督ガ之ヲ任免スルト云フ風ニ政府トシテハ衆議院ニ説明ヲシテ居ラレタノデアリマス、然ルニ衆議院ノ方デハソレヲ、ソレデハ法律ノ規定ニハツキリサシタラ宜イデヤナイカト云フヤウナ趣旨デ、特ニ此ノ社長、副社長及理事ハ主務大臣ノ認可ヲ經テ、臺灣總督ガ之ヲ行フト云フ趣旨ノコトヲ明文ヲ以テ規定シタ方宜カラウト云フノデ、修正ニナツタト我々ハ諒解致シテ居リマス、從ヒマシテ只今松田委員ノ御質問ノ點ニ付キマシテ、政府ノ最初考ヘテ居ル趣旨ト此ノ衆議院ノ修正ノ趣旨トハ別段其ノ間ニ齟齬スル點ハナイト云フ風ニ我々考ヘテ居リマス、ソレカラ第十條ハ、原案デハ「政府ハ臺灣拓殖株式會社ノ業務ヲ監督ス」ト云フ風ニナツテ居リマシタノデアリマスガ、衆議院ノ修正デハ、臺灣拓殖株式會社ノ業務ハ第一次ニ於テ臺灣總督ノ監督シ第二次ニ主務大臣ノ監督スト云フ風ニ修正ニ相成リマシタ、是ハ當初政府ノ考ヘテ居リマシタ處デハ大體臺灣内ノ業務ニ付キマシテハ臺灣總督、ソレハ臺灣外ノ業務ニ付キマシテハ主務大臣ノ監督スルト云フ風ニ拓務大臣カラ衆議院ノ委員會ニ於テモ御説明ニナツテ居リマス、其ノ趣旨ハ大體斯ウ云フ會社ノ性質上臺灣内ニ付テハ臺灣總督ノ地位ヲ尊重スル必要ガアルカラ、勿論臺灣總督ヲ無視スル譯ニ行カナイ、臺灣内ノ事務ニ付テハ現地ニ居ル關係モアルシ、臺灣總督ヲ十分ニ尊重シナケレバナラヌト云フ趣旨カラ、臺灣總督ニ監督權ヲ

大臣カラモ明言サレタコトト我々ハ了解致シテ居リマス、臺灣外ノ事務ニ付キマシテハ拓務大臣ノ從來ノ權限カラ申シマシテモ、亦此ノ會社ノ色々ナ國際的ニ重大ナル關係モアリマスルシ、中央政府トシテ、或ハ外務省ナリ、或ハ大藏省ナリ、或ハ其ノ他ノ各省トノ間ニ色々ナ權限ノ衝突、衝突ト云フト語弊ガアリマスガ色々ナ複雜ナル關係モ起リマスノデ、是ハ臺灣總督ニ任セナイデ、或程度中央政府デ之ヲ監督シタ方宜クハナイカ、併シ其ノ場合ニ於キマシテモ、全部ヲ拓務大臣、中央政府デヤツテ行ツテ臺灣總督ノ地位ヲ全然考ヘナイ、臺灣總督ニ對シテハ此ノ會社ノ島外ニ於ケル業務ニ於テ、全然携ハラセナイト云フノデゴザイマセヌノデ、臺灣總督ノ意圖ヲ尊重シテ、中央政府ニ於テ之ヲ監督スルト云フノガ政府ノ趣旨デアツタラウト我々了解致シテ居リマスガ、從ヒマシテ政府ノ考ト致シマシテモ島内ハ勿論ノコト、島外ノ業務ニ付キマシテモ或程度臺灣總督ニ對シテ此ノ會社ノ監督ニ對スル權限ヲ與ヘル必要ガアルト云フコトハ考ヘテ居ツタ所デゴザイマス、併シ所謂第二次ト申シマスカ、總括的ノ監督權トシテハ中央政府ニ於テ握ツテ置ク方宜イト云フ風ニ我々了解致シテ居ツタノデアリマス、ソレデハ其ノ細目ニ付キマシテハ政府ト致シマシテ今迄特殊銀行會社ノ例モゴザイマスノデ、サウ云フ點ハ法律ヲ布カナイデ、大體官制ノ規定デアルカラ勅令ニ讓ツテ、勅令デ其ノ邊ノ關係ヲ明ニスル積リデゴザイマシタガ、衆議院ノ方デハソレハ非常ニ重大デアアルシ、特ニ法律ニ其ノ趣旨ヲ明定シタ方宜クハナイカ、ソレデ會社ノ業務ニ付キマシテハ島内タルト島外タルトノ間ハズ、第一次ニ於テ臺灣總督ガ之ヲ監督スルト云フコトヲ明ニシテ、島外ノ問題ニ付テモ、此ノ會社ニ付テ臺灣總督ガ或程度ノ發言權ヲ持ツト云フ趣旨ヲ明ニ致シマシタ、ソレデ衆議院ト致シマシテハ、此ノ會社ノ業務ヲ、一切ノ業務ニ付テ、第一次ニ於テ臺灣總督ノ監督シ、第二次ニ於テ主務大臣ノ監督スト云フ趣旨ヲ茲ニ明定サレタモノト我

我了解致シテ居リマス、此ノ書キ方ニ付キマシテハチヨット斯ウ云フ、特殊銀行會社ニ餘リ例ノナイ規定デハゴザイマスルガ、町村制ノ百三十七條ニ「町村ハ第一次ニ於テ府縣知事ノ監督シ第二次ニ於テ内務大臣ノ監督ス」ト云フ規定ガゴザイマスルガ、其ノ規定ヲ真似テ衆議院ト致シマシテハ斯ウ云フ風ニ第十條ノ規定ヲ修正シタノデゴザイマス、尙ホ念ノ爲ニ申上ゲテ置キマスルガ、斯ウ云フ風ニ第六條及第十條ヲ修正シタ場合ニ他ノ條項ニ於テ、政府トアルノハ一體ドウ云フ趣旨カ、ドウ云フ意味カト云フ御疑問ガ起ルカト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ衆議院ノ委員會ニ於キマシテ、或委員カラ特ニ發言ガゴザイマシテ、此ノ其ノ他ニ書イテアル政府ト云フノハ矢張り第一次ニ於テ臺灣總督、第二次ニ於テ主務大臣ト云フ風ニ了解スルト云フ意味ノ特別ノ發言ガゴザイマシタ、我々ト致シマシテモ恐ラク衆議院ノ修正ノ趣旨ハ其ノ點ニマリハシナイカ、サウ云フ風ニナリマスルト云フト、假ニ衆議院ノ修正通り兩院ヲ通過致シマシタ場合ニ於キマシテハ、其ノ他ノ條文ノ政府ト云フモノハ此ノ法律ノ第十六條ノ規定ニ依リマシテ、「會社ノ業務ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム」ト云フ規定ガゴザイマスノデ、其ノ邊ノ細目ニ付テハ此ノ第十六條ノ規定ニ依ツテ細目ヲ規定スベキモノト我々了解致シテ居リマス

ノ拓殖資金供給ト云フヤウナモノニ從事サレルヤウニ書イテゴザイマスガ……ドチラニ政府ハ重キヲ置イテ此ノ事業ヲヤラレルカト云フコトガ承知出來ナイノデアリマス……

○國務大臣(永田秀次郎君) ドチラガ重イト云フコトニ付テハ、臺灣ノ現狀ニ鑑ミマシテ、先程御説明申上ゲマシタヤウニ、臺灣島内ニ開發ト云フコトモシナケレバナラヌ、ソレバカリデハイケナイ、今マデハ動モスルトサウ云フコトノミニ限ラレテ居ル嫌ヒガアリマシタカラシテ、臺灣ノ南方發展ノ基礎ニナルト云フ、其ノ地位ニ鑑ミテ、更ニ南支、南洋ノ拓殖事業ニ直接從事ラシ、又資金ノ供給ヲモスルト云フ風ニ考ヘテ居リマスノデ、ドチラヲ特ニ重キヲ置クト云ヘバ雙方共ニ重キヲ置クト申上ゲルノ外ハナイカト思ツテ居リマス

○男爵松田正之君 南洋拓殖株式會社ト云フノガアリマスガ、是ハ此ノ點モ承リタイノデスガ……

○國務大臣(永田秀次郎君) 南洋拓殖株式會社モ矢張り南洋方面ノ拓殖事業ヲ致シマスノデアリマスガ、其ノ地域ニ於テモ自ら區別ガ生ジテ來、又其ノヤル仕事ニ於テモ大分性質ガ違ツテ參リマス、南洋拓殖ノ方ハ「バラオ」ニ本店ヲ置イテ、サウシテ主トシテ水産業ヲヤル、サウシテ並ニ船ヲ仕立テテ、其ノ船ガ「セルベス」「ニューギニア」方面、ソレカラ「オーストラリア」ノ方ニ活動スルト、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、臺灣拓殖ノ方ノ南洋ト云フノハ、自ら其ノ航路ノ關係上、南支カラ「シヤム」、「マレイ」半島、「ボルネオ」、「ジャワ」ト云ツタヤウナ方面ニ主トシテ仕事ヲスル、斯ウ云フ風ニナリマス、ソレカラ臺灣拓殖ノ方ハ、今申上ゲマシタヤウニ、臺灣ノ土地ヲ政府トシテハ提供ヲシテ、ソレガ其ノ主ナモノニナツテ居リマスガ、南洋拓殖ノ方ハ、「アンガウル」ノ礦ヲ採掘ト云フコトガ會社ノ主ナル資本トシテノ基本ニナルノデアリマス、デ、自然其ノ仕事ト其ノ範圍、地域トガ餘程別ニナツテ居リマス、

南洋ハ御承知ノ非常ニ廣イモノデアリマスカラ、此ノ兩方ノ會社ガ出來マシテ、何等其ノ爲ニ衝突ヲシテ困ルト云フヤウナコトハナイト考ヘテ居リマス

○男爵松田正之君 地理的ニ區別ガ出來ルノデスカ、ソレトモ事業上ニ於テ區別ヲシテ、兩方ノ會社ガ競合シナイヤウニ按配ヲ取ツテ行カレルト、斯ウ云フ思召デスカ

○國務大臣(永田秀次郎君) 大體地理的ニ區別ガ出來ルノデアリマス、ソレカラ仕事ノ性質モ、南洋拓殖ノ方ハ主トシテ水産ニ重キヲ置イテ行クヤウニナツテ居リマスノデ、水産ト海運トニ重キヲ置キマスカラ、仕事ノ性質モ大部違ツテ居リマス、地域ノ方ニ於テハ少シモ重ナル所ガナイト云フ程ニ嚴格ニ行キマスカドウカ、是カラ實際ヤリマシタ上ニハ、多少「セレベス」方面ヤ何カデ、「ポルネオ」カ「セレベス」デ、多少重ナルコトガナイトモ言ヘマセヌケレドモ、海運ノ都合上自ラ地域ガ區別サレルト思ツテ居リマス

○男爵松田正之君 南洋ニ於ケル海運業ハドチラデスルコトニナルノデスカ
○國務大臣(永田秀次郎君) 海運業ヲ營ム航路ニ付テモ、大體豫定シタモノガゴザイマス

○政府委員(北島謙次郎君) 臺灣拓殖株式會社ノ方デハ、別ニ直接航路ヲ經營スルト云フ計畫ハ今ノトコロ考ヘテ居リマセヌ、内地ト南洋方面ノ現在所謂定期航路其ノ他ノ關係ハ、是ハ現在通りノ積リデゴザイマスガ、南洋拓殖株式會社ト致シマシテハ、主トシテ委任統治地域タル南洋群島ト、其ノ接壤スル「ニューギニア」、「アラフラ」海トノ方面ノ連絡ヲ此ノ會社ヲシテ付ケサセルト云フノガ、南洋拓殖株式會社ノ目論ンデ居ル航路デアリマシテ、是ハ御承知ノ通り「アラフラ」海ノ沿岸、或ハ「ニューギニア」ノ方面ニ、大部眞珠貝ノ採取其ノ他色々ナ仕事ヲ經營致シ

テ居ルノガ相當ニ澤山ゴザイマス、ソレカラ現在サウ云フ眞珠貝ノ採取船ノ如キハ、「バラオ」トノ聯絡ニ付テ非常ナ不便ヲ感ジテ居リマス、ソレデ何等カサウ云フ連絡スル機關ヲ設ケテ欲シイ、而モ其ノ中心ハ「バラオ」ガ一番適當デアラウ、サウシテ從來デモ當業者自身デ此ノ連絡ニ付テハ或程度考ヘテ居リマスケレドモ、尙不十分デアリマスノデ、折角南洋拓殖株式會社ガ出來マシタカラ、船トシマシテハ二百噸カソコラノ小サナ船デ宜イト思ツテ居リマスガ、サウ云フ方面ノ連絡ヲ付ケテ、「バラオ」ヲ中心ニシテ眞珠採取ヲヤツテ居リマス當業者ノ便益ヲ圖リタイ、ソレカラモウ一ツハ、併セテ其ノ方面ニ對スル事業家ニ對シテ、金融ノ途モ作ツテヤリタイ、ソレカラ又此ノ會社自ラ事業モ經營シタイ、サウ云フ意味ノ航路ヲ經營スル積リデゴザイマス

○男爵松田正之君 何カ臺灣拓殖會社ノ方デ關領印度ノ方ニ航路ヲ開クト云フヤウナ御考ハ別ニナイノデスカ

○政府委員(北島謙次郎君) 臺灣拓殖會社トシテハ關領印度等ノ關係ノミナラズ、航路ニ付テハ全然今ノ所ハ考ヘテ居リマセヌ、唯南洋拓殖ノ方ハ、只今申上ゲマシタヤウナ風ニ「アラフラ」海沿岸、主トシテ「ニューギニア」、「セレベス」、其ノ方面デアリマスガ、眞珠貝ノ採取、其ノ外ノ事業ニ從事シテ居ル者ノ便宜ヲ圖ル爲ニ、二百噸カソコラノ小型ノ船ヲ廻シマシテ、サウシテコツチカラ物資ヲ供給シ、又向フニ居ル者ノ生産シタ眞珠貝其ノ外ノモノヲ内地ニ持ツテ來ルニ付テノ便宜ヲ圖リタイ、只今御話ノ廣イ意味ノ、内地ト關領印度トノ間ヲ連絡スル意味ノ航路ニ付テハ、南洋拓殖會社トシテハ考ヘテ居リマセヌ

○男爵松田正之君 臺灣拓殖會社ハ如何デスカ
○政府委員(北島謙次郎君) 臺灣拓殖ノ方モ、今ノ所此ノ會社デ航路ヲ經營スルト云フ計畫ヲ持ツテ居リマセヌ

一二 鮮滿拓殖會社ト臺灣拓殖會社ニ於ケル社長ノ任命權ノ相異、東拓、臺拓トノ事業ノ範圍劃定、南洋ニ於ケル金融等ニ就テ

倉知鐵吉君、永田拓務大臣、平塚臺灣總務長官トノ一問一答

○倉知鐵吉君 衆議院ノ修正ノ二點、即チ重役ノ任命及ビ監督ノコトデアリマスガ、...今度衆議院ノ修正デ、此ノ二點ガ變リマス、二點ノ任命及ビ監督ノ形ガ出來ルノデアリマスガ、...制令ガ定メル鮮滿拓殖會社ノ役員任命及ビ監督規定モ自然御變ヘニナル積リデアリマセウカ、
○國務大臣(永田秀次郎君) ソレハ、其ノ通りニシテ置ク積リデアリマス、尙附加ヘテ申上ゲテ置キマス、此ノ臺灣拓殖株式會社ノ方ハ、仕事ガ臺灣島内ノコトバカリデナク、島外ニモ及ブコトデアリマス爲ニ、規定トシテハ、大體勅令ニ於テ、臺灣總督ガ社長ヲ任命スルト云フ規定ヲ設ケテ置キマシテ、内部ニ於テ内部ノ監督トシテ拓務大臣ニ相談ヲセシメルト云フ積リデ居ツタノデアリマス、所デ、之ヲ衆議院ノ方デ、ハツキリト主務大臣ノ認可ヲ經テ臺灣總督之ヲ命ズトハツキリト明文デ規定シテ置クト云フコトニ付テハ、内容ニ於テ大シテコトヲ考ヘ方トハ違ヒガナイカラ、實際ノ運用上ニ於テハ別段故障ノ無イモノト考ヘテ、同意...同意ハ明言ハ致シマセヌガ、差支ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、鮮滿ノ方ハ、朝鮮内部ノ事柄デアルト、朝鮮總督ガ之ヲ監督ストナツテ居ツテ宜イカト考ヘテ居ルノデ、滿洲ニ關係シタ事柄ニ付テハ更ニ滿洲デ一ツノ鮮滿拓殖株式會社ト云フ特別滿洲國ノ會社ガ出來テ、其ノ會社ニ鮮

滿拓殖會社ガ全部出資スル、サウシテ監督ハ滿洲國ガ之ヲ監督スルト、斯ウ言ツタヤウナ、マア建前ニナツテ居ルノデアリマシテ、自然其ノ明文上ニハ雙方差異ガ生ジテ居リマスガ、實際ソレニ於テ差支ヘガナイト考ヘテ居ルノデアリマス

○倉知鐵吉君 東洋拓殖會社モ此ノ方面、南支、南洋ノ方ニ活動スルコトニナツテ居ルノデアリマス、現ニ問題トナツタ南洋林業會社ト云フヤウナモノハ東拓ノ援助デ出來テ居ルノデアリマスガ、是ト今度ノ臺灣拓殖會社トハ、ドウ云フ關係ニナリマスガ、...南支、南洋ノ金融事業ニ臺灣拓殖會社ヲシテ從事セシメルト云フコトニナリマス、現在同方面ニ活動シテ居ル臺灣銀行及其ノ子銀行タル華南銀行等トノ關係ハドウナリマセウカ、...南洋拓殖會社ト、臺灣拓殖會社ト云フヤウナ關係ガ、方方ニ起リハシナイカト思ヒマスガ、...

○國務大臣(永田秀次郎君) 大體ノコトヲ私ガ申上ゲマシテ、又詳細ノコトヲ政府委員カラ説明スルトニ致シマスガ、東拓ノ仕事モ御承知ノ朝鮮滿洲ヲ主トスト云フヤウニナツテ居リマシタノガ、段々仕事ノ範圍ヲ擴張シテ、南洋ノ方ニモ投資ヲシテ居ルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマスガ、今後ニ於テハ自然南洋ノ方ノ仕事ハ、臺灣拓殖ガ主トシテ之ニ當ルコトニナツテ行カウト思ヒマス、デ、矢張り専門的ニ其ノ地域ニ付テ、主トシテ研究シテ行ク爲ニ、臺灣拓殖ガ南洋ニ於テ活動スルト云フヤウニ、今後ハナツテ行カウト思フノデアリマス、今マデハ斯ウ云フモノガナイ爲ニ、東拓ノ方デ非常ニ手ヲ延バシテ居ツタノデスケレドモ、今後ハ絕對ニ無イトハ、マダハツキリ言ヘマセヌケレドモ、自然ニ南洋ノ方面ニ於ケル、東拓ノ活動ガ無クナツテ行クモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ金融ノ關係デゴザイマスガ、是ハ此ノ臺灣拓殖ハ金融ノコトモアリマスガ、是ハ普通銀行ト違ツテ、長イ年月ニ亙ツテ、拓殖ノ爲ニスル金融ヲ致スノデアリマスカラ他ノ臺灣銀行ヤ華南銀行ノヤウニ、

主トシテ普通銀行トシテ短期ノ貸出ヲスルト云フヤウナモノトハ其ノ仕
事ノ行ハレル性質ガ自ラ違ツテ參ラウト思フノデ、二ツ三ツアル爲ニ衝
突シテ困ルト云フヨリモ、或ハ助合ツテ却テ都合好ク行クヤウナ結果ニ
ナルモノト考ヘテ居ルノデアリマス。

○倉知鐵吉君 拓務大臣ガ御話ニナツタヤウニ、其ノ方ハヤラサナイノ
ダ、普通銀行事務ニ立戻ラスノダト云フヤウナ御考デレバ能ク分リマ
スガ……

○政府委員(平塚廣義君) 只今倉知委員ノ御質問ノ華南銀行、臺灣銀行
トノ關係デゴザイマスガ、只今大臣カラ御説明ノアリマシタ通りデア
リマシテ、長期ニシテ低利ノ資金ヲ必要ト致シマスル拓殖資金ノ供給ニ
關シマシテハ、華南銀行、臺灣銀行ニ於キマシテモ不十分ニ考ヘテ居ル
ノデアリマス、殊ニ華南銀行ハ只今整理ヲ致シテ居リマスルノデ、其ノ
整理ヲ大蔵省ノ命令ニ從ヒマシテ十分進捗致シテ居ルノデアリマス、尙
進ンデ、華南銀行ガ拓殖方面ニ資金ヲ投ズルト云フコトハ目下ノ所困難
ナ狀態ニ相成ツテ居リマス、臺灣銀行ハ是レ亦只今倉知委員ノ御質問中
ニアリマシタ如ク、本來ハ拓殖金融機關デハナイノデアリマスルカラ、
自ラ拓殖事業ヲ營ムト云フヤウナコトハ出來ナイノデアリマス、併
シ此ノ臺灣銀行ニ於キマシテモ南支南洋ニ支店ヲ有シテ居リマスルガ、
現狀ニ於キマシテハ活動ガ出來ナイヤウナ狀態ニ相成ツテ居リマス、唯
南支方面、殊ニ福建方面ニ於キマシテハ、一昨年ナドヨリ致シマシテ領
事方ノ協力ヲ願ヒマシテ、臺灣銀行ノ活動モ多少著手ヲ致シテ居ルト云
フヤウナ現狀ニ相成ツテ居リマス、斯様ナ次第デアリマスルガ、本來ノ
使命ガ拓殖ノ銀行デハゴザイマセスカラ、十分ニ開發ノ目的ヲ達スル譯
ニハ參ラヌト考ヘテ居リマス、從ツテ只今大臣ノ御説明ノ如ク今同ノ臺
灣拓殖會社ガ出來マシテ本來ノ使命タル其ノ拓殖資金ノ供給ト云フコト
ニ向ツテ進ンデ參リマスル考デアリマスルガ、華南銀行、臺灣銀行ト協

力致シマシテ、今迄貸出シタモノガ相當ゴザイマスルカラシテ、其ノ整
理ヲ圖リ回收ヲ圖リツ、協力致シテ今度ノ會社ノ目的ヲ達スルヤウニ致
シタイ、斯ウ考ヘテ居リマス、序ニ申上ガマスルガ、是等ノ銀行等ニヤ
ツテ居リマシタ資金ヲ統制致シマシタノヲ肩代リシタルト云フ考ハ持
ツテ居リマセヌ、新方面ニ向ツテ開拓ヲシテ、從來ノ華南、臺灣銀行ノ
ヤリ來ツタコトト尙多少近來ハ新方途ニモ放資致シテ居リマス、放資ト
云フト語弊ガアリマスガ、貸付ヲ致シテ居リマス、是ハ互ニ協力シテ帳
簿ノナイヤウニ致シタイト思ヒマス、島内ノ金融ニ付キマシテモ臺灣銀
行ノ從來ノ使命ト帳簿ノナイヤウニ、協調ヲ保ツテ行ク、殊ニ今度ノ拓
殖會社ノ目的ハ拓殖資金ノ供給ニアリマススカラ帳簿ノナイヤウニ當業者
トモ能ク協調ヲ附ケテ行キタイト思ヒマス。

四 南進政策ニ對スル政府ノ方針其

ノ他ニ就テ

一 赤池 濃君質疑

○赤池 濃君 南進政策ニ對シマスル政府ノ御方針ガ決ツテ居リマスル
カドウカ、ソレカラ又此ノ會社ニ何ヲサセルカト云フ御方針ガハツキリ
決ツテ居リマスカドウカ、ト云フコトヲ先ツ承リタイト思フノデアリマ
ス、而シテ支那方面ト申シマシテモ主トシテ活動スル舞臺ハドノ地方デ
アルカ、南支ト申シマシテモ廣イノデアリマスガ、例ヘバ福建ガドウデ
アルカ、廣東ガドウデアルカ、マア私ハ大抵福建カ、廣東ガドウデアルカ、
マスルガ、其ノ他ノ地方マデオ及ボシニナル御積リデアアルカドウカ、而
シテ又サセヨウトル事業ハドウ云フ事業ヲサセヨウトルノデアアルカ
即チ資金ヲ供給シテ援助サセヨウト云フノハドウ云フ方面デアアルカ、又

之ヲ爲サルニ付テハ今ノ排日ノ盛ナ時ニ於テハ何カ特別ノ工作ヲ御用ヒ
ニナルカドウカ、此ノ邊ノ事ヲヨク承ツテ置キタイト思フノデアリマス
御答辯ノ秘密ヲ保ツコトガ御必要デアラナラバ、速記ヲ止メテデモ御腹
藏ナイ御意見ヲ承ツタナラバ結構ダラウト思ヒマス。

一 有田外務大臣答辯

○國務大臣(有田八郎君) 南支、南洋方面ニ事業ヲ經營致シテ參リマス
ニ付キマシテハ、赤池委員ノ御話ノヤウナ色々國際的ニ考ヘナケレバナ
ラヌコトガアルノデアリマスルガ、ソレ等ノ具體的ノ問題ガ起リマシタ
際ニハ拓務省、外務省、又出先キノ兩省關係ノ間ニ於テ十分連絡協議ヲ
送ダテ、外交上ニ支障ノナイヤウニ致スコトニナツテ居ルノデアリマス
此ノ事業ノ内容其ノ他方針ニ付キマシテハ他ノ係員カラ御説明申上ゲマ
ス。

五 臺拓ノ役員任命ニ關シテ拓相ハ

臺灣總督ノ意思ヲ尊重スルヤ

一 倉知鐵吉君質疑

○倉知鐵吉君 衆議院ノ修正ノ結果社長、副社長及理事ノ任命ハ、臺灣
總督ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要スルコトニナリマシタシ、
又會社業務監督ハ臺灣總督ニ於テ第一次ノ監督ヲ爲スヤウニナリマシタ
ガ、先刻來拓務大臣ノ御説明ヲ承リマス、右ハ當初ノ政府ノ原案ノ趣
旨ニ著シク相違スルモノデアリマセヌノデ、役員ノ任命ニ付テハ十分
總督ノ意見ヲ尊重シ、認可ト云フ文字ハアリマスルガ、實ハ十分協議ヲ
送デルノ意味ニ外ナラヌト云フ御話デアリマスルシ、又會社ノ監督モ主

拓務大臣ガ認可ヲスル立法例アリヤ否ヤ等……

トシテ現地ニ居リマス總督ノ意見ニ基キテ、主務大臣ノ第二監督ノ爲ニ
總督ノ監督權ニ多大ノ制限ヲ加フルヤウナ考ハナイト云フ御説明デゴザ
イマシタガ、是ハ重要ナル點デゴザイマスカラ……

一 永田拓務大臣答辯

○國務大臣(永田秀次郎君) 大體只今御尋ノ通りデゴザイマス、監督ノ
コトニ付キマシテハ十分臺灣總督ノ意思ヲ尊重スル考デアリマス、又其
ノ社長、副社長ノ任命等ニ付キマシテハ、社長ノ任命ハ特ニ重キヲ置キ
タイト考ヘテ居リマスノデ、是ハ臺灣總督ト能ク協議ヲシマシテ、臺灣
總督ノ意思ヲ十分尊重シテ適當ナ人ヲ得ルヤウニ努メタイト考ヘテ居リ
マス。

六 拓務大臣ガ認可ヲスル立法例ア

リヤ、原案ニ還ス意思アリヤ否
ヤ、監督權ノ問題、外地統治上
ニ於ケル臺灣總督ノ地位、各條
ニ於ケル政府ノ意味等ニ就テ

柴田善三郎君、永田拓務大臣、北島殖産
局長トノ一問一答

○柴田善三郎君 外ノ法令ノ關係ニ於テ、臺灣ト拓務省トノ關係ニ於テ
人ノ問題ニ付テ總督ガ拓務大臣ノ認可ヲ受ケテモノヲ決メルト云フヤウ
ナ立法例ガアルデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ……衆議院ノ修正
案ヲ御否認ニナツテ、サウシテ原案ニ還ツテ行クコトヲ希望スルト云フ

御意思ハナイダラウカドウカ

○國務大臣(永田秀次郎君) 臺灣總督ノ地位ニ關シテ、只今柴田君カラ御述ノ御言葉ハ私モ全然御同感デアツテ、異民族統治ノ大責任ヲ有ツテ居ル總督ノ地位ト云フモノハ、非常ニ威嚴ヲ持タナクテハナラヌモノダト考ヘマスノデ、臺灣總督ガ光輝アル地位ニ居ラナクバナラヌト云フコトハ全ク御同様ニ感ジテ居リマス、唯此ノ會社ノコトニ付キマシテハ此ノ會社ノ、主トシテ社長ニ付テ私ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ會社ノ成功スルモナイハ、殆ド社長ニ適當ナ人ヲ得ル得ナイト言ツタヤウナコトニ繫ルノデヤナイカト考ヘル、衆議院ニ於テモ其事ヲ非常ニ強調サレル人ガアリマシタ、又衆議院デハ多少今柴田君ノ述ベラレタルノト少シ違ツタ方面カラ議論ヲ立テル人モゴザイマシタ、併シマア政府ノ方デハ、飽ク迄モ臺灣總督ニ此ノ社長ノ任免權ヲ有タシメル、唯行政上ノ行キ方ニ付テ、斯ウ云フ重大ナコトデアラカラ相談シテ社長ナシカハ決メルヤウニシタイト云フコトヲ、内閣カナンカデ相談シテ決メルヤウニシテ置イタラ宜イト云フ位ニ考ヘテ居ツタノデス、斯ウ云フ風ニ衆議院ガ修正シテ來マスト云フト一政府トシテハ固ヨリ原案ノ儘デ通ルコトヲ希望致シマスケレドモ、併シ今日ニ於テ特ニ此ノ衆議院ノ意思ヲ……全會一致ノ意見ヲ無視シテ、之ニドモ逆モ反對ダト云フコトデアリマス程ノ考ハ無イノデ、若シ貴族院ノ方デモ此ノ衆議院ノ通りデ宜イト云フ御考ニナリマスレバ、政府ノ方デモ此ノ儘デモ實際ノ運用ニ於テハ餘リ變ラナイ方法デアツテ行ケルト信ジマスカラ、成ルタケ此ノ案ノ速カニ成立スルコトヲ希望スル意味ニ於キマシテ原案ヲ主張致シマスケレドモ此ノ案ニ對シテ正副カラ強ク反對ヲスルト云フ氣持モアリマセト云フコトヲ申上ゲテ置キマス

ニ於テ小サクシテシマフト云フコトノ弊ノ方ガ大キイモノデハナイカト云フコトヲ心配致シマスルガ……

○國務大臣(永田秀次郎君) ドウモ衆議院デノ色々ノ議論ハ、先刻チヨウト申上ゲマシタヤウニ、二通りノ物ノ考ヘ方、見方ガアツテ、相反スルヤウナ強イ議論ガマア事實出テ居ツタノデアリマス、併シ政府ニ於テハドコ迄モ臺灣總督ノ地位ヲ尊重スルト云フ建前カラ、臺灣總督ニシテ置イテモ、行政監督ノ運用上、サウ不都合ナコトハ出テ來ナイト云ウテ一方ノ人ニ説明ヲシタヤウナ次第デアリマス、サウ云フヤウナ經過ヲ取ツテ居リマスルノデ、衆議院ノ満場一致ヲ以テ修正ラシテ來タ事柄ニ付テ、飽ク迄反對デアルト云フ態度ハ今日取り兼ネルノデアリマシテ、原案ノ通りニナルコトニハ原案ノ提出者トシテ原案ノ通りヲ希望致シマスケレドモ、併シ衆議院ノ此ノ修正ニ絕對反對ダト云フコトハ、此ノ際申上ゲ兼ネル經過ニナツテ居リマスカラ、ドウカ其ノ邊ハ惡シカラズ御了承ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 拓務大臣トサレテハ衆議院ノ修正ニ拘ラズ原案ノ方ガ宜イト思フ、故ニ原案ノ通過ヲ希望スルケレドモ、併シ強ヒテ衆議院ノ修正ニ反對シテ迄之ヲ押通スト云フ氣ハナイ、斯ウ云フ御答辯ト承ツテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 其ノ通りデゴザイマス、原案ノ提出者トシテハ原案ヲ希望スルノハ當然ダト思ヒマス、唯サウ云フ衆議院ノ修正通リニナツテモ強イ反對ノ意思ハ持ツテ居ラス、斯ウ云フ意味ニ御了承御願ヒシタイト思ヒマス

○柴田善三郎君 監督權ノ問題ニ付テ少シ承リタイ

○國務大臣(永田秀次郎君) 倉知君ニ對シテ御答ヘ申シタ通りデ宜シウゴザイマス、唯、一言附ケ加ヘテ申上ゲテ置クコトハ、斯ウ云フ風ニ修正サレタカラ、非常ニ政府ノ最初考ヘテ居ツタコトト非常ニ喰違ツテ居

ルヤウニ御考ノヤウデアリマスガ、實際ノ行政ノ運用、行政監督ノ運用ト云フモノハ、サウ云フモノデヤナイト私ハ心得テ居ルノデアリマス、島内ノ事ヲ臺灣總督ニ大體任ス積リデ居ルト云ツテモ、事ノ重要ナルモノニ付テハ自然豫メ相談スルト云フ場合ハアリマセウト思フ、又島外ニ關係シタ事柄ト云フテモ、無論重要ナ事ニ付テハ、臺灣總督、臺灣ニ居ル、臺灣ニアル會社ノ社長、常ニ臺灣ニ居ル社長デスカラ、臺灣總督ニ相談ラシタ上ニ、拓務大臣ニ相談ニ來ルヤウニナリマセウカラ、自然島外ノ事デモ臺灣總督ヲ全然抜キニスルト云フヤウナ考ハ最初カラ持ツテ居ラス、サウ云フコトハ運用ノ實際カラ云ヘバ、同ジ事ニナルト考ヘテ居ルノデアリマスガ、法文ニ斯ウ書イテ、コンナ風ニ書イタカラト云ツテ、第二次監督權ヲ持ツテ居ルト云ツテ、何デモ拓務大臣ガ直接ニヤルト云フコトハ、是ハヤリ切レナイト思フ、矢張り事ノ重大ナルコトニ付テハ、特ニ島内ノ事島外ノ事ニ拘ラズ、拓務大臣ガ其ノ重大ナ事柄ニ付テハ相當ニ干與シテ聽イテ行クト云フ風ニナリマセウカラ、其ノ運用ノ實際ノ運用ニ於テハ、私ハ大ナル變化ノナイモノト心得テ居リマス、約メテ言ヒマスレバ、倉知君ニ御答ヘシタノトモウ何等變ツタコトハゴザイマセ

○柴田善三郎君 衆議院ノ第二次監督權ニ變ヘタト云フコトハ島外ノ事ニ付テハ制度上カラ非常ニ先ノ御考ヘトハ違ツタモノニナル、ソレデモマア大キイ點ハ敬服致シマスケレドモ、簡單ニモウ強ヒテ反對スル氣ハナイト云フ言葉デオ片付ケニナリマシタヤウデスガ、此ノ點一ツ御意見ヲ承リタイ

○國務大臣(永田秀次郎君) 氣持ダケデハイカンカラハツキリ明文デ明カニシテ置イタラト云フ御言葉デアリマスガ、法制トシテハ誠ニサウ云フ御議論ハ御尤デアルト思ヒマス、併シマア私ノ考ヘ方カラシマスレバ此ノ法制バカリニ依ツタノデハ實際ノ運用ノ出來ルモノデナイノデ、萬

事ハニアル、又運用ニアルト思ヒマスノデ、拓務大臣ト云フモノハ、其ノ臺灣總督ヲシテ十分手配ヲ振ハシメテ、臺灣總督ノ功績ハ即チ拓務大臣ノ功績デアルト云フ肚デナクチヤ仕事ノ出來ルモノデナイト信ジテ居ルノデ、ソレデ今御話ノヤウナ第二次監督ト云フ、ドウ云フ風ニヤルカト云フコトニ付テハ、只今御話ノヤウナコトハ勅令ヲ定メマス時二十分其ノ御精神ヲ取入レルヤウニ考慮致シマス

○柴田善三郎君 勅令ヲ決メル時ニ第二次監督ト云フコトニ付テノ、ドウカ何カ適當ニ、決メルヤウナ氣持ノ現レテ適當ニ決メルヤウナ御話ノヤウニ承リマシタガ、是ハ法律デ斯ウ云フコトガ決ツテシマツタ以上ハ是ハ幾ラドンナ御氣持ガアツテモ、運用ノ上デハ兎モ角、制度ノ上デハ是ハ勅令ノ上デハ一步モ出ルコトガ出來ナイモノト思ヒマスガ……

○國務大臣(永田秀次郎君) 此ノ制度ハ第一次監督ヲ臺灣總督ガ之ヲ行ヒ、第二次監督ヲ拓務大臣ガ之ヲ行フ、此ノ制度ニハ別段政府トシテハ異議ヲ差挟ム考ハナイノデ、ソレカラ先ハ運用ニ依ツテ然ルベク處置スルコトノ出來ルモノデ、是デ運用宜シキヲ得レバ臺灣總督ノ地位ニ非常ニ不安ヲ來スト云フヤウナコトハナイモノト心得テ居ルガ、現在ノ法制ニ於テモ臺灣總督ハ、拓務大臣ガ臺灣總督ヲ監督スルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ風ニナツテ、斯ウ云フ條文ガ出來タカラト云ツテ、其ノ間ニ非常ニ臺灣總督ノ權限ヲ非常ニ削ツタモノニナルトハ實ハ考ヘテ居ラヌノデアリマス

○柴田善三郎君 政府ノ原案デモナク、衆議院ノ修正案デモナク、拓務會社ハ臺灣總督之ヲ監督スト云フコトニナサレバ、一番アナタノ御心持ニ適フモノデナイカト云フヤウナ風ニ想像致シマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 先程申上ゲマシタヤウニ此ノ修正案ハ衆議院デモ満場一致ヲ以テ、斯ウ云フ修正案ヲシテ來タノデアリマスカラ事實ニ於テ非常ナ支障ガナイト思ヒマシテ、出來得ル限り此ノ法案ノ成

立ア是非共望ミマスル關係上、ドウカ兩院ノ一致シテ御意見デアリマス
レバ、政府モ出來ル限リ其趣意ニ從ヒタイト云フ積リデアリマシテ、此ノ
衆議院ノ修正案ニ付キマシテハ、政府トシテモ別段特ニ反對スル意思ヲ
持ツテ居ラヌト云フコトヲ重ネテ申上ゲマス、非常ニ不十分ナ御答カモ
知レマセムガ、サウ御答へ申上ゲルヨリ外致方ナイカト思フテ居リマス
○柴田善三郎君 初メノ政府原案ノ場合ニ於ケル各條ノ政府ト云フ意味
ト、修正案ヲ御採用ニナツテカラ後ニ於テノ政府ト云フ意味ト、變リハ
ナイモノデアリマセウカ

○政府委員(北島謙次郎君) 政府ノ元々ノ原案ニ書イテアリマス政府ト
云フノモ、拓務大臣カラ御説明ニナリマシタ通りニ、大體臺灣總督府ト
拓務大臣ト云フ積リデ、ソレニ必要ナ勅令ハ施行細則デ措ヘルト云フ豫
定ニ相成ツテ居リマス、其ノ點衆議院ノ修正第十條ガ第一次臺灣總督、
第二次主務大臣ト云フコトニナリマスルト云フト、範圍ノ廣狭ハ或ハド
ウカト思ヒマスガ、等シク矢張り主務大臣ト臺灣總督ガ此ノ會社ヲ監督
スルト云フ點ニ於テハ、政府ノ原案モ、衆議院ノ修正案モ全然同様デア
ルト思ヒマス、ソレデ此ノ法律ノ各條ニ書イテアリマスル十條以外ノ政
府ト云フ文字ハ、此ノ十六條ノ規定ニ依リマシテ、「本法ニ定ムルモノ
ノ外臺灣殖産株式會社ノ業務ノ監督ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之
ヲ定ム」ト云フ規定ガゴザイマスノデ、此ノ規定ニ基イテサウ云フ事務
ノ配分、ドウ云フ事項ハドウスルカト云フコトハ、此ノ勅令デ規定スベ
キモノト我々了解シテ居リマスノデ、大體ニ於テハ要スルニ政府ハ最
初ノ原案デモ、又衆議院ノ修正案デモ主務大臣ト臺灣總督、兩方含ムト
云フ趣旨ニ於テハ變リナイモノト我々了解シテ居リマス
○柴田善三郎君 資本金ノ増額ハ政府ノ認可ヲ受ケルト云フコトガアリ
マスガ、是ハドウ云フ風ニ御解釋ニナリマスルカ
○政府委員(北島謙次郎君) 二條ノ政府ト申シマスノハ、此ノ衆議院ノ

修正ノ趣旨カラ申シマスルト、當然第一次ニ於テ臺灣總督ニ、會社カラ
増資ノ認可ヲ申請致シマシテ、サウシテ臺灣總督ガソレヲ妥當ト認メタ
場合ニ於テハ、主務大臣ガ又更ニ之ヲ認可スルト云フ形式ニスルノガ確
當デハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス
○柴田善三郎君 一體例ヘバ増資ノ認可ノ申請書ヲ出スト云フ時ニハ、
雖ノ宛名ニシテ出シマスカ、是ハチヨウト細カイ事ヲ伺フヤウデスガ、
斯ウ云フ言葉デ第一次、第二次ト云フト、非常ニ妙ナ事ニナリハセヌカ
ト私考ヘマスカラ、御伺ヒ致シマス

○政府委員(北島謙次郎君) 此ノ只今私申上ゲマシタノハ、第二條修正
ノ場合モ、此ノ第二條ノ政府ヲ第一次ハ臺灣總督、第二次ハ主務大臣ト
云フ風ニスルノガ、衆議院ノ修正ノ趣旨ニ副フグラウト云フ意味デ申上
ゲタ譯デゴザイマスガ、是ハ先程申上ゲマス通りニ、十六條ノ規定ノ仕方
如何ニ依ル問題デゴザイマシテ、今私自身トシテ必ズサウシマスルト云フ
コトハ、チヨウト政府ヲ代表シマシテハ申上ゲ兼ネル次第デアリマス、
ソレカラ宛名ノ問題ニナリマスルト云フト、是ハ例ヘバ滿鐵グトカ、或
ハ滿洲電信電話株式會社ノ例ヲ申上ゲタ方ガ、却ツテ御了解ガ早イカト思ヒ
マスガ、是ハ第一次ニ於テハ、所謂第一次ニ於テハ現在デハ關東局ヲ主
管スル全權大使ガ所謂監督權ヲ持ツテ居リマス、是ハ官制上持ツテ居リ
マス、ソレカラ第二次的ニハ對滿事務局ヲ主管スル内閣總理大臣ガ監督
權ヲ持ツテ居リマス、是モ官制上持ツテ居リマス、サウシテ例ヘバ増資
ノ認可申請ガ參リマシタ場合ニハ、マア所謂關東局ヲ主管スル全權大使
ガソレヲ調査シテ妥當ト認メタ場合ニハソレヲ内閣ノ方ニ提出致シマシ
テ、内閣デ認可スル、從ツテ書面モ内閣總理大臣宛ニ從來提出致シテ居
ルヤウナ實情デアリマス
○柴田善三郎君 政府ノ意見トシテ御答ヘニナルコトハ出來スト云フコ
トデアリマス

○國務大臣(永田秀次郎君) 宛名ノコトデスカ
○柴田善三郎君 政府ト云フノハ或ハ拓務大臣或ハ臺灣總督、或ハ其ノ
兩方ダト云フコトハ政府委員チヤ分ラヌ、斯ウ仰シヤルノデアリマス
○國務大臣(永田秀次郎君) 若シ衆議院ノ修正通りニ決リマスモノトシ
テ考ヘマスレバ、衆議院ニ於テ此ノ十條ノ政府ト云フコトハ、第一次ノ
監督ヲ臺灣總督トシ、第二次ノ監督ヲ拓務大臣トスル、サウ云フコトニ
修正サレルノデアリマスカラ、此ノ趣旨ノ一貫スルヤウニ總テノ政府ト
云フ字ヲ考ヘテ行カナクチヤナラヌト思ヒマス、從ツテ勅令ヲ作りマス
時ニ其ノ趣意ニ依ツテ勅令デ政府ト云フコトノ意味ヲ確定シテ行カウト
思ツテ居リマス

昭和十一年八月三日印刷納本
昭和十一年八月九日發行

【定價金參圓五拾錢】

拓務大臣官房文書課編纂

發行兼印刷人 菱 沼 右 一

東京市麹町區內幸町一ノ六

發行所 中央情報社

電話銀座(57)七六七番

振替東京六七八〇〇番

資本金拾萬圓

營業路線 知 取 國 境

敷香運輸株式會社

取締役社長 齋藤三代吉

專務取締役 鎌田正三

本社 樺太敷香町



王子製紙株式會社

本社 東京市王子區王子町
營業所 東京市麴町區有樂町三信ビル内

社長 藤原銀次郎
副社長 高島菊次郎



東洋拓殖株式會社

創立 明治四十一年

資本金 五千萬元

總裁 高山長幸

